
中山間地域の現状と将来に関する調査研究

2014(平成 26)年 4 月

SURV さがみはら都市みらい研究所

～ 目 次 ～

序 章 調査研究の概要

| | | |
|---|---------------------------|----|
| 1 | 調査研究の背景 | 3 |
| | (1)本格的な人口減少時代と急速な少子高齢化の進行 | 3 |
| | (2)地域によって大きく異なる将来人口 | 4 |
| | (3)老朽化する公共施設 | 5 |
| 2 | 調査研究の目的及び視点 | 5 |
| | (1)人口減少問題がもたらす地域課題 | 5 |
| | (2)調査研究の目的及び視点 | 6 |
| 3 | 調査研究の項目と方法 | 7 |
| | (1)調査研究の項目 | 7 |
| | (2)調査研究の方法 | 8 |
| 4 | 調査研究結果の概要 | 9 |
| | (1)中山間地域の将来人口推計 | 9 |
| | (2)中山間地域の日常生活の実態と将来予測 | 11 |
| | (3)中山間地域の将来像を考えていくためのポイント | 17 |

第1章 中山間地域の将来人口推計

| | | |
|---|-----------------------|----|
| 1 | これまでの人口の推移と将来人口推計の必要性 | 21 |
| | (1)将来人口推計とは | 21 |
| | (2)中山間地域の将来人口推計 | 21 |
| | (3)地域別の人口推移 | 22 |
| 2 | 推計の方法と仮定 | 24 |
| | (1)推計の方法 | 24 |
| | (2)基準人口 | 26 |
| | (3)出生に関する仮定 | 28 |
| | (4)死亡に関する仮定 | 31 |
| | (5)移動に関する仮定 | 32 |
| 3 | 推計結果 | 40 |
| | (1)地域別の推計結果 | 40 |
| | (2)人口減少の様子 | 88 |
| | (3)高齢化の様子 | 90 |
| | (4)少子化の様子 | 94 |

第2章 データでみる中山間地域の実態と将来予測

| | | |
|---|-------------------|-----|
| 1 | 地域の実態把握調査と将来予測の概要 | 99 |
| 2 | 調査結果 | 101 |
| | (1)中山間地域における移動の実態 | 101 |
| | (2)中山間地域における買物の実態 | 106 |
| | (3)中山間地域における介護の実態 | 119 |
| | (4)家族とのつながり | 123 |
| | (5)地域とのつながり | 128 |

第3章 地域の将来を考えるグループワーキング調査

| | | |
|---|---------------------------|-----|
| 1 | 調査概要 | 139 |
| 2 | グループワーキング調査結果 | 141 |
| | (1)青野原地域におけるグループワーキング調査結果 | 141 |
| | (2)千木良地域におけるグループワーキング調査結果 | 148 |
| | (3)名倉地域におけるグループワーキング調査結果 | 156 |

第4章 中山間地域の目指す将来像と行政・地域の役割、取組の検討

| | | |
|---|-------------------------|-----|
| 1 | 中山間地域の現状と問題点の整理 | 171 |
| | (1)本調査研究結果から抽出された現状と課題点 | 171 |
| | (2)目指すべき将来像を考えていく前提 | 172 |
| | (3)目指すべき将来像への取組の視点 | 174 |
| 2 | 地域課題の解決にむけた取組の検討 | 178 |
| | (1)移動に関する地域課題の取組検討 | 178 |
| | (2)介護に関する地域課題の取組検討 | 179 |
| | (3)空き家・空き地に関する地域課題の取組検討 | 180 |
| | (4)地域資源を活用した取組の検討 | 181 |
| 3 | おわりに | 183 |

参考資料

| | | |
|---|------------------------------|-----|
| 1 | 中山間地域における日常生活実態アンケート調査票 | 189 |
| 2 | 中山間地域における日常生活実態アンケート調査単純集計結果 | 195 |

序章

調査研究の概要

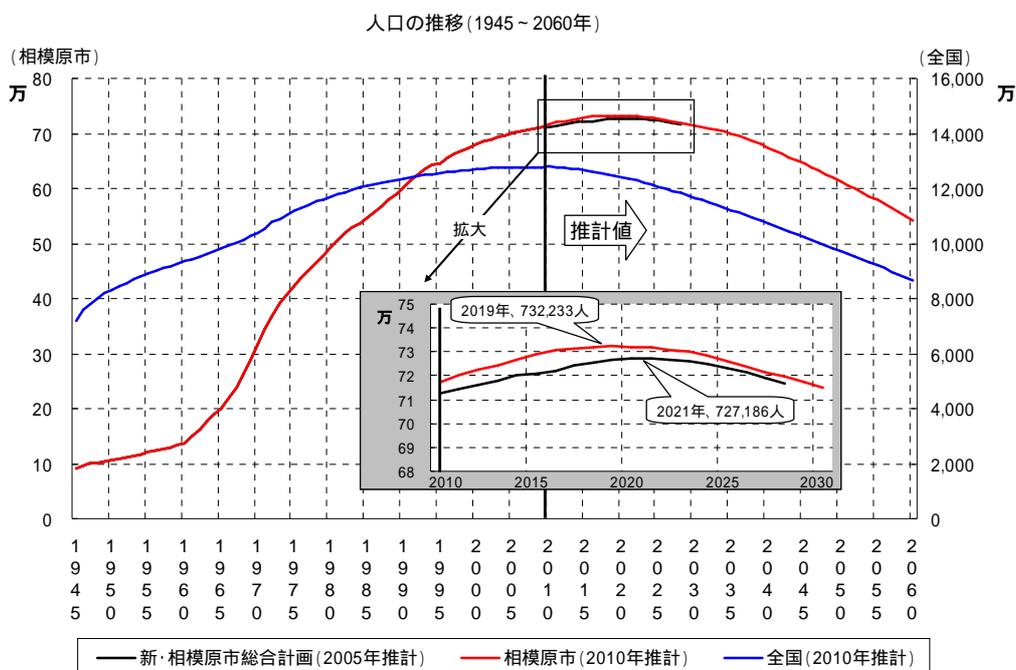
序章 調査研究の概要

1 調査研究の背景

(1) 本格的な人口減少時代と急速な少子高齢化の進行

2060年(平成72年)の日本の人口は、現在の2/3程度となり、8,674万人程度まで減少すると予測されている。そのような中、本研究所が平成24年度に行った本市の将来人口推計では、2019年(平成31年)の73万2千人をピークに減少に転じ、2060年(平成72年)にはピーク時の3/4程度である54万人まで減少する見込みとなり、本格的な人口減少時代に突入すると予測している。

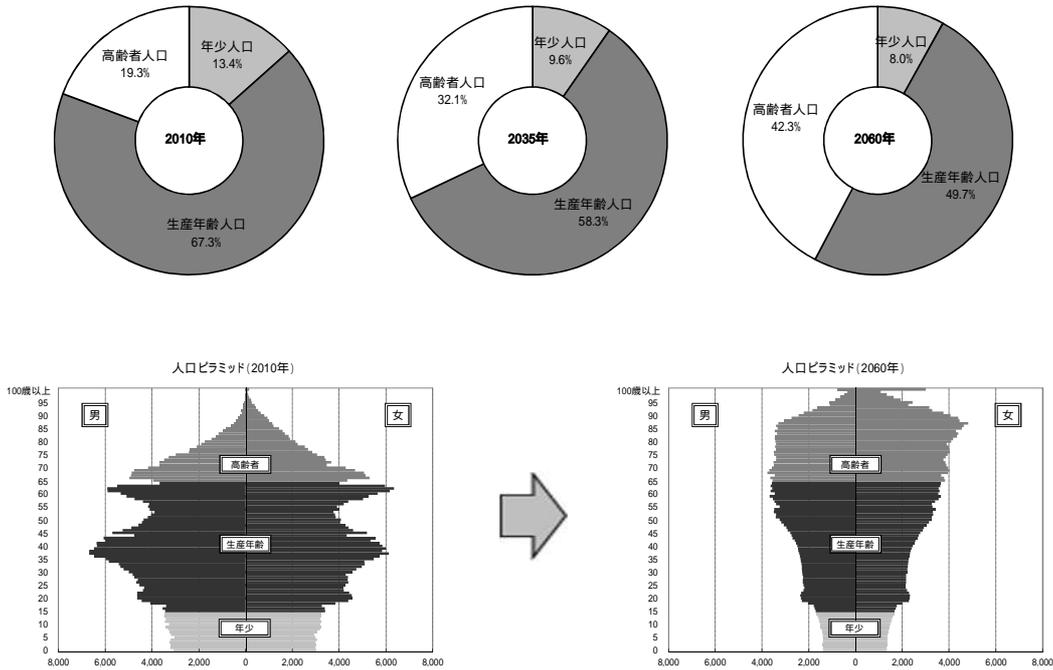
図表 0-1 将来人口推計値に基づく人口の推移



この将来人口推計における本市の人口構成をみてみると、本市の高齢者人口の割合は、2010年(平成22年)が19.3%であるのに対し、2060年(平成72年)には全国平均を上回る42.3%まで増加し、少子高齢化が一層進む。

また、高齢者人口の内訳に目を向けてみると、2010年(平成22年)には約60%が比較的健康で活動的である65歳から74歳であるが、2025年(平成37年)には75歳から84歳のほうが多くなり、人口構成を表す人口ピラミッドは少子化の進展とあいまって、「逆三角形型」へと変化してゆく。

図表 0-2 市将来人口推計に基づく本市の人口構成の推移



(2)地域によって大きく異なる将来人口 - 出生数が0となる恐れがある地域 -

本市の人口は全国と比べ、やや緩やかに人口減少が進んでいくものの、まちづくり地区単位（22地区）でみると、それぞれの状況は大きく異なっている。人口の流動性が高く、現在も人口増加が続いている地域もあれば、急速に高齢化が進んでいる地域があるなど様々である。

その中でも中山間地域を含む津久井地区、相模湖地区、藤野地区においては既に人口減少が始まっており、高齢化率が他の地区よりも高い。また、若年層の流出、少子化傾向が強い等の理由から、2060年（平成72年）頃には出生数が0となる恐れを含んでおり、人口も現在の1/3以下になる見込みである。

図表 0-3 中山間地域を含む地区の人口等推移

| | 2010年（平成22年） | | | ➡ | 2060年（平成72年） | | |
|-------|--------------|-------|-------|---|--------------|-------|-------|
| | 総人口 | 高齢化率 | 出生数 | | 総人口 | 高齢化率 | 出生数 |
| 市全体 | 717,544 | 19.3% | 5,985 | | 542,692 | 42.3% | 2,678 |
| 津久井地区 | 27,584 | 23.4% | 173 | | 10,326 | 62.1% | 18 |
| 相模湖地区 | 9,596 | 26.3% | 54 | | 2,650 | 70.3% | 0 |
| 藤野地区 | 10,180 | 27.8% | 54 | | 2,590 | 66.9% | 0 |

出典：2010年国勢調査結果に基づく相模原市の将来人口推計

(3) 老朽化する公共施設

本市は昭和 29 年の市制施行後、高度経済成長を背景とした首都圏域の拡大に伴い、昭和 40 年代から 50 年代前半に全国でも稀にみる人口急増を経験し、急速に都市化が進んだ。それに伴い道路や下水道、小・中学校、市営住宅等をはじめ、健康で文化的な生活を送るためのスポーツや文化、生涯学習、産業支援施設等、多様な公共施設を整備してきた。

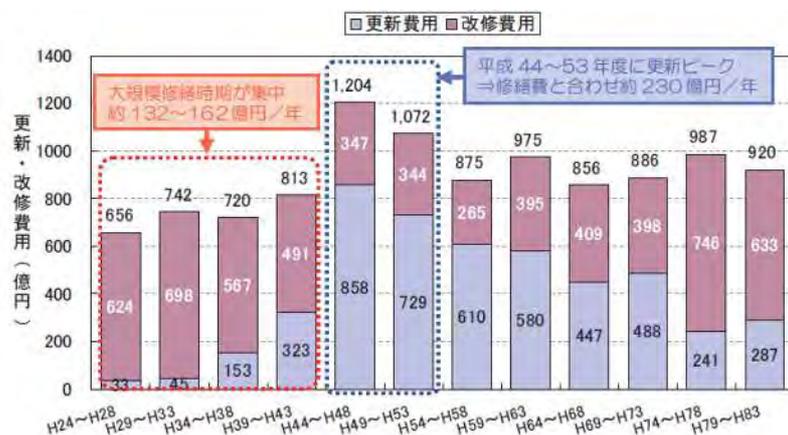
また、平成 18 年に旧津久井町及び旧相模湖町と、平成 19 年に旧城山町及び旧藤野町との合併により 4 つの町のそれぞれ異なる歴史・政策のもとに建設された公共施設も引継ぎ、平成 23 年 4 月時点で道路、橋梁等を除くいわゆる「ハコモノ」は 757 施設を数える。

これらの施設は順次、更新、改修時期を迎え、更新、維持・改修にかかるコスト負担は今後の財政運営における大きな課題の 1 つとなっている。

平成 24 年 3 月に公表された「相模原市公共施設白書」によれば、平成 44 年～53 年度に大量

の更新・改修時期を迎えることとなり、その 10 年間で約 2,276 億円(単年度平均で約 230 億円)程度の費用がかかると試算されている。今後は人口減少や社会経済情勢、市民ニーズ等をもとに保有施設の削減も含む再編・再配置の取組を積極的に行っていく必要がある。

図表 0-4 改修費を含めた更新費の試算結果(5年集計)



出典：相模原市公共施設白書

2 調査研究の目的及び視点

(1) 人口減少問題がもたらす地域課題

人口減少の問題は「数」そのものだけではなく、「人口構成の変化」つまり、生産年齢人口(15歳～64歳)が減少し、高齢者人口(65歳以上)が増加するというところにある。

この問題を地域の日常生活で考えてみると、人口(数)が減少することで、総体的に地域におけるサービス購入力が低下するため、サービス提供者(商店や金融機関、交通機関等)は採算性等の理由から、サービスの縮小や撤退が進み、地域の活気とともに、利便性が失われていく。そのため、住民は地域外の商店や金融機関等を利用することとなり、車の運転が出来ない住民は日用品等の調達に苦労し、住み慣れたまちに住み続けにくくなる。

また、まちの利便性が下がることで、利便性を求める住民（特に若者世代）は地域外へ流出し、防犯や祭事等の担い手がいなくなり、今まで行われていた地域活動の存続も難しくなる。そうなることで地域はさらに活気が失われ、人口減少が進み、地域は負の連鎖へと陥ってゆく。そのため、行政は今まで地域で対応できていたことへも支援せざるを得ない状況となっていく。人口減少により必ずしもこのような状況になるとは限らないが、その可能性は否定できない。

(2) 調査研究の目的及び視点 - 将来を見据えた早急な対応の必要性 -

地域の将来を考えていく上で、上述のような背景・人口減少がもたらす課題をきちんと認識し、かつ、地域特性を考慮しながら施策を検討していかなければ、多様な市民ニーズに応えることは難しい。特に市街地地区よりも人口減少の進展が早いと考えられる中山間地域を含む地区については問題が顕在化するのも早く、今から 20 年後、30 年後を予測し、対応していかなければ、問題は深刻化してゆく。

そこで本調査研究は、市街地地区よりも問題が顕在化するのが早いと考えられる中山間地域を含む地区（津久井地区・相模湖地区・藤野地区）を対象に今後想定される地域の実情・課題を明らかにするとともに、今後、中山間地域が目指す将来像と行政及び地域の役割を整理し、地域政策を担当する職員の業務の一助とすることを目的とする。

なお、調査研究をするにあたり、以下の視点をもって進めることとした。

視点 1：問題の顕在時期予測

中山間地域で起こりうる問題・課題が どのような分野で、いつ頃発生しそうか、を将来人口推計、アンケート調査等の分析結果から、問題の顕在時期を予測し、それに伴う行政・地域の役割等の検討を行う。

視点 2：地域の目指す将来像を考えていく際の仕組（モデル）の構築

地域の目指す将来像を考えていくためには、地域の現状を正確に把握するとともに地域住民の意思を集約することが重要である。しかし、その方法は確立しておらず、地域政策を担当する職員の能力に委ねられている部分が多い。地域の課題は個々に異なるため、一律な方法が馴染まない面もあるが、本調査研究の調査過程が地域政策を担当する職員の業務の一助となるような調査研究とする。

3 調査研究の項目と方法

(1) 調査研究の項目

調査研究の目的及び視点を踏まえ、調査項目として次の4項目を掲げた。報告書の各章は本項目に従い、取りまとめている。

中山間地域の将来人口推計（第1章）

データでみる中山間地域の実態と将来予測（第2章）

地域の将来を考えるグループワーキング調査（第3章）

中山間地域の目指す将来像と行政・地域の役割、取組の検討（第4章）

報告書の各項目（章）の概要は次のとおりとなっている

中山間地域の将来人口推計（第1章）

平成25年4月1日現在住民基本台帳人口をベースに出生、死亡、移動等のデータを分析し、小地域別（町丁字単位）の将来人口推計を行い、中山間地域における今後の人口推移について取りまとめた。

データでみる中山間地域の実態と将来予測（第2章）

中山間地域に居住する住民の現在の生活状況及び住民が考える地域の将来像等を把握するため、津久井地区青野原地域、相模湖地区千木良地域、藤野地区名倉地域を対象にアンケート調査結果を実施するとともに、最新の統計データを用い、中山間地域の実態を取りまとめた。

また、「中山間地域の将来人口推計」で得られた結果を活用して、小地域（アンケート調査対象地域）における問題・課題の顕在時期を団塊ジュニア世代が65歳～70歳を迎える30年後を目安に地域の将来予測を行った。

地域の将来を考えるグループワーキング調査（第3章）

「データでみる中山間地域の実態と将来予測」で得られた結果をもとに、アンケート対象地域においてグループワーキングを実施し、地域が目指す将来像と地域住民が主体となって取り組む課題、具体的な解決方法及び行政・地域の役割等について検討を行った。

中山間地域の目指す将来像と行政・地域の役割、取組の検討（第4章）

～の調査項目をもとに中山間地域の目指す将来像とその将来像に向けた行政・地域の役割等について先進事例調査、文献調査等を含め、検討を行い、取りまとめた。

(2) 調査研究の方法

調査項目について明らかにするため、下記の調査を行った。

図表 0-5 調査研究の方法

| 区分 | 調査名 | 調査方法 | 調査内容 |
|------|----------------------|---------------|---|
| 調査 1 | 中山間地域将来人口推計 | 統計調査 | 調査対象：津久井地区、相模湖地区及び藤野地区 調査内容：2043年（平成55年）までの将来人口を大字単位で推計 調査方法：「H25.4.1 現在住民基本台帳人口」をベースに出生、死亡、移動等のデータを分析、推計 |
| 調査 2 | 中山間地域現況調査 | 統計調査 | 調査対象：本市及び近隣市町 調査内容：世帯の状況、5年前の常住地等 調査方法：時系列データを用い、中山間地域の現状を分析 |
| 調査 3 | 中山間地域における日常生活実態調査 | アンケート調査 | 調査対象：青野原地域・千木良地域・名倉地域に居住する20歳以上の方 調査内容：日常的な買物先、地域活動の参加状況等 調査方法：郵送・戸別配布、郵送による回収 平成25年9月実施 |
| 調査 4 | 地域の将来を考えるグループワーキング調査 | ヒアリング調査 | 調査対象：アンケート調査実施地域でアンケートに回答いただいた方のうち、グループワーキング調査に協力を示された方 調査内容：日常生活における課題及び地域住民が主体となって問題解決に取り組む事項の検討等 調査方法：ブレインストーミングの手法を用いたグループワーキング 平成25年11月～12月実施 |
| 調査 5 | 先進事例調査 | 視察調査 文献調査等 | 調査内容：取組の経緯、内容、効果等 調査方法：インターネットや文献等から情報収集、電話による聴きとり等 平成26年1月～3月実施 |

4 調査研究結果の概要

(1) 中山間地域の将来人口推計

30年後には多くの地域で人口は半減する

「2010年国勢調査に基づく相模原市の将来人口推計」によると、30年後の本市人口は概ね現在の9割程度の人口が維持されるが、中山間地域を含む地区は概ね6割から5割程度となる見込みである。

今回行った各地域の将来人口推計でも人口集積がみられる中野、太井、又野地域は、概ね現在の7割程度の人口が維持される見込みだが、交通の利便性が低い山間地ほど人口減少が進み、各地域とも30年後の人口は概ね半減する結果となった。中でも青根地域の減少率は高く、現状の1/3程度まで減少する。

その一方で、名倉地域は平成17年にシュタイナー学園が開校し、子育て世代が転入した効果もあり、30年後も現在の人口が維持される結果となった。ただし、シュタイナー学園はこれから本格的に卒業生を輩出する時期となるため、卒業生とその家族の定着率次第では推計結果が大きく変わる可能性がある。

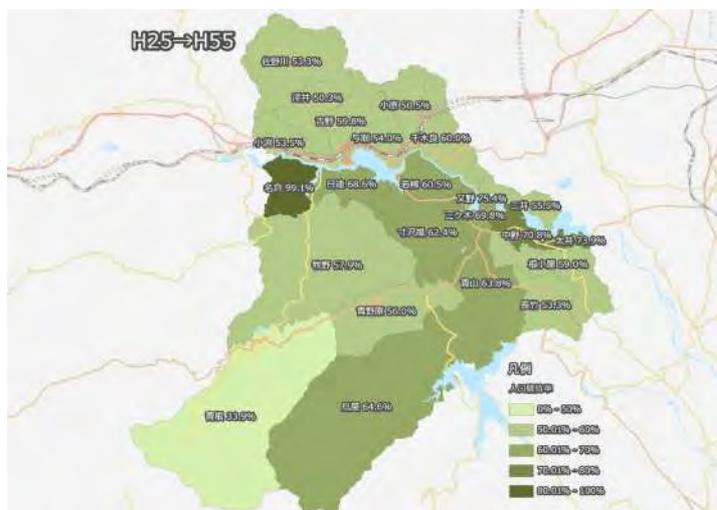
今回行った各地域の将来人口推計は「平成25年4月1日現在住民基本台帳人口」をベースに出生、死亡、移動等のデータを分析、推計しており、「2010年国勢調査に基づく相模原市の将来人口推計」の推計方法とは異なる。

図表 0-6 各地域の将来人口推計結果

| 地域名 | 総人口 | | | 人口維持率 H25/H55 |
|---------|-------|-------|-------|------------------|
| | H25年 | H40年 | H55年 | |
| 青根 | 669 | 402 | 227 | 33.9% |
| 青野 | 1,746 | 1,380 | 978 | 56.0% |
| 青山 | 2,887 | 2,433 | 1,841 | 63.8% |
| 太井 | 3,214 | 2,925 | 2,375 | 73.9% |
| 鳥屋 | 1,940 | 1,629 | 1,253 | 64.6% |
| 長竹 | 2,609 | 2,025 | 1,391 | 53.3% |
| 中野 | 4,960 | 4,418 | 3,513 | 70.8% |
| 根小屋 | 3,467 | 2,832 | 2,044 | 59.0% |
| 又野 | 2,113 | 1,970 | 1,593 | 75.4% |
| 三井 | 1,030 | 829 | 572 | 55.5% |
| 三ヶ木 | 2,983 | 2,625 | 2,081 | 69.8% |
| 小原 | 479 | 363 | 242 | 50.5% |
| 寸沢 | 2,800 | 2,318 | 1,747 | 62.4% |
| 千木 | 1,924 | 1,576 | 1,154 | 60.0% |
| 与瀬・与瀬本町 | 2,089 | 1,624 | 1,129 | 54.0% |
| 若柳地 | 1,481 | 1,225 | 896 | 60.5% |
| 小淵 | 1,895 | 1,485 | 1,014 | 53.5% |
| 佐野川 | 872 | 662 | 465 | 53.3% |
| 澤井 | 638 | 481 | 321 | 50.3% |
| 名倉 | 1,175 | 1,202 | 1,165 | 99.1% |
| 日連 | 1,840 | 1,616 | 1,262 | 68.6% |
| 牧野 | 1,814 | 1,437 | 1,050 | 57.9% |
| 吉野 | 1,265 | 1,042 | 756 | 59.8% |

人口維持率：平成55年人口と平成25年人口を比較し、30年間でどの程度人口が維持できているかを表した数値

図表 0-7 各地域の人口維持率



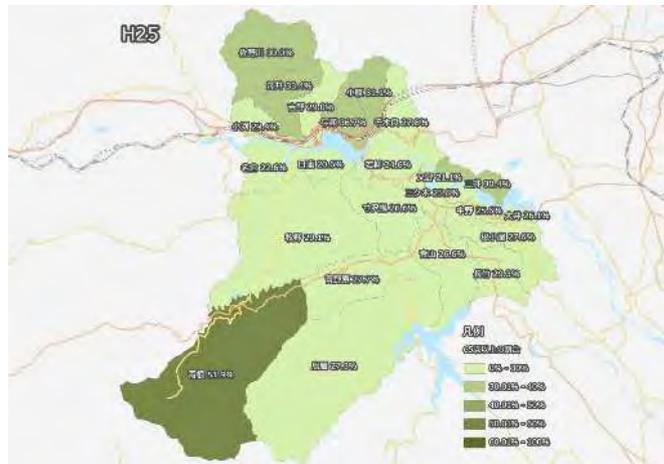
2025年問題は現実的なものになる

人口減少が進む各地域において、現在の高齢化率をみてみると、青根地域では既に50%を超えており、30%を超える地域も5地域（三井、小原、与瀬、澤井、佐野川地域）存在する。これが平成40年になると、30%を下回る地域はなくなり、平成55年にはほとんどの地域で人口の半数以上が高齢者となる。

この高齢化率を75歳以上の高齢者（いわゆる後期高齢者）に目を向けてみると、青根地域を除く全ての地域で20%未満であるが、平成40年には名倉地域を除く全ての地域で20%を超え、平成55年にはほとんどの地域で人口の30%～40%が後期高齢者となる。

また、高齢者人口の内訳をみてみると、75歳以上が占める割合は、平成40年にはほとんどの地域で50%を超え、「超」高齢化が進み、社会保障等で大きな問題が発生すると言われている「2025年問題」は本市においても現実的なものとなる。

図表 0-8 各地域の高齢化率の推移



| 地域名 | 高齢者人口割合 | | | 75歳以上高齢者人口割合 | | | 高齢者人口のうち75歳以上が占める割合 | | |
|---------|---------|-------|-------|--------------|-------|-------|---------------------|-------|-------|
| | H25年 | H40年 | H55年 | H25年 | H40年 | H55年 | H25年 | H40年 | H55年 |
| 青根 | 51.9% | 64.2% | 74.0% | 37.1% | 43.8% | 59.0% | 71.5% | 68.2% | 79.8% |
| 野原 | 27.7% | 50.0% | 57.5% | 12.7% | 29.6% | 44.3% | 45.9% | 59.1% | 77.0% |
| 青山 | 26.6% | 41.6% | 52.5% | 10.7% | 26.8% | 33.6% | 40.2% | 64.5% | 63.9% |
| 太井 | 26.1% | 37.7% | 46.2% | 9.0% | 24.5% | 28.8% | 34.5% | 65.2% | 62.4% |
| 鳥屋 | 27.3% | 41.7% | 50.5% | 13.8% | 25.9% | 33.3% | 50.5% | 62.1% | 65.9% |
| 長竹 | 29.3% | 47.4% | 63.3% | 11.1% | 32.6% | 41.1% | 37.9% | 68.8% | 64.9% |
| 中野 | 25.6% | 38.6% | 46.6% | 10.3% | 25.1% | 29.3% | 40.2% | 65.0% | 63.0% |
| 根小 | 27.6% | 45.2% | 56.7% | 10.2% | 29.5% | 37.9% | 37.0% | 65.2% | 66.9% |
| 又野 | 21.1% | 40.3% | 47.0% | 7.0% | 23.4% | 33.1% | 33.2% | 57.9% | 70.5% |
| 三井 | 30.4% | 51.0% | 57.3% | 11.4% | 34.7% | 39.2% | 37.4% | 68.1% | 68.3% |
| 三ヶ | 25.8% | 37.8% | 47.4% | 10.7% | 24.3% | 30.4% | 41.5% | 64.4% | 64.1% |
| 小原 | 31.1% | 49.3% | 61.6% | 12.7% | 32.0% | 43.4% | 40.9% | 64.8% | 70.5% |
| 寸沢 | 26.6% | 42.8% | 53.8% | 12.1% | 26.0% | 37.8% | 45.6% | 60.7% | 70.2% |
| 千木 | 27.8% | 45.4% | 57.3% | 12.1% | 27.2% | 38.0% | 43.4% | 59.9% | 66.4% |
| 与瀬・与瀬本町 | 36.7% | 49.1% | 57.9% | 18.9% | 32.9% | 40.3% | 51.6% | 67.0% | 69.6% |
| 若柳 | 24.6% | 47.4% | 57.0% | 10.3% | 28.1% | 40.6% | 41.9% | 59.2% | 71.2% |
| 小川 | 29.4% | 48.0% | 60.1% | 13.6% | 31.2% | 40.1% | 46.1% | 64.9% | 66.8% |
| 野川 | 30.0% | 51.2% | 64.1% | 17.0% | 28.1% | 44.5% | 56.5% | 54.9% | 69.5% |
| 澤井 | 33.4% | 50.5% | 59.2% | 15.0% | 33.1% | 43.3% | 45.1% | 65.4% | 73.2% |
| 名倉 | 22.6% | 34.4% | 35.7% | 10.0% | 19.8% | 23.8% | 44.5% | 57.5% | 66.6% |
| 日連 | 20.6% | 40.8% | 47.7% | 8.3% | 23.9% | 33.1% | 40.1% | 58.6% | 69.4% |
| 牧野 | 29.1% | 45.4% | 57.4% | 15.8% | 27.1% | 39.8% | 54.2% | 59.8% | 69.3% |
| 吉野 | 29.0% | 45.4% | 54.9% | 12.3% | 29.2% | 35.7% | 42.5% | 64.3% | 65.1% |

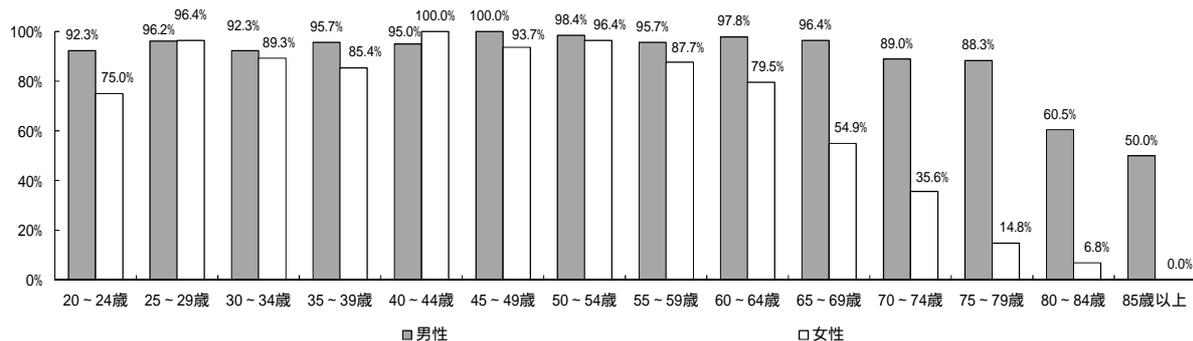
(2) 中山間地域の日常生活の実態と将来予測

日常生活に欠かせない自動車と高齢運転者の増加

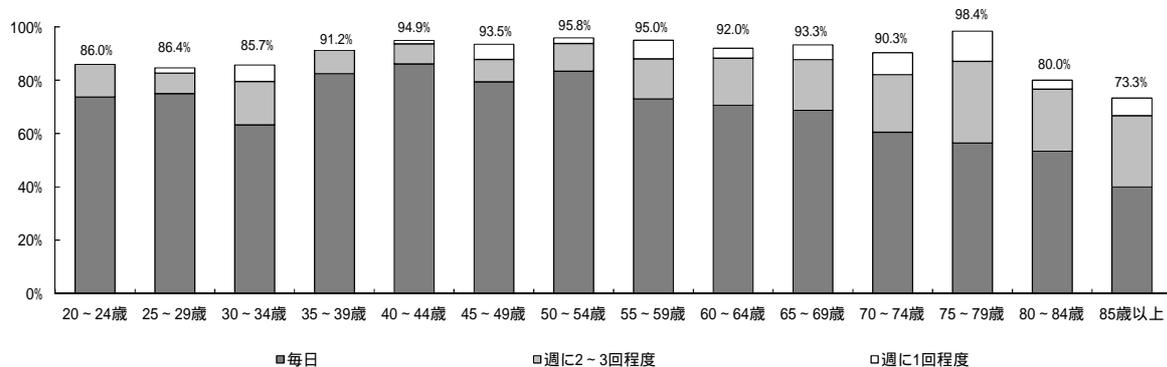
津久井地区青野原地域、相模湖地区千木良地域、藤野地区名倉地域を対象に実施したアンケート調査結果によると、概ね8割の人が自動車またはバイクの運転免許を所持し、うち、約9割の人が週1回以上の頻度で運転をしている。

この運転免許の所持率を性・年齢別にみると、64歳以下では男女ともに高い所持率であるが、65歳以上になると、特に女性の所持率が低い結果となった。また、運転頻度を年齢別にみると、年齢が高くなるにつれ、毎日運転する頻度は低くなるものの、85歳以上でも約7割の人が週1回以上運転しており、公共交通の利便性が低いアンケート対象地域では、日常生活を営む上で自動車またはバイクが欠かせないものとなっていることがうかがえる。

図表 0-9 自動車やバイクの運転免許所持率（性・年齢別）



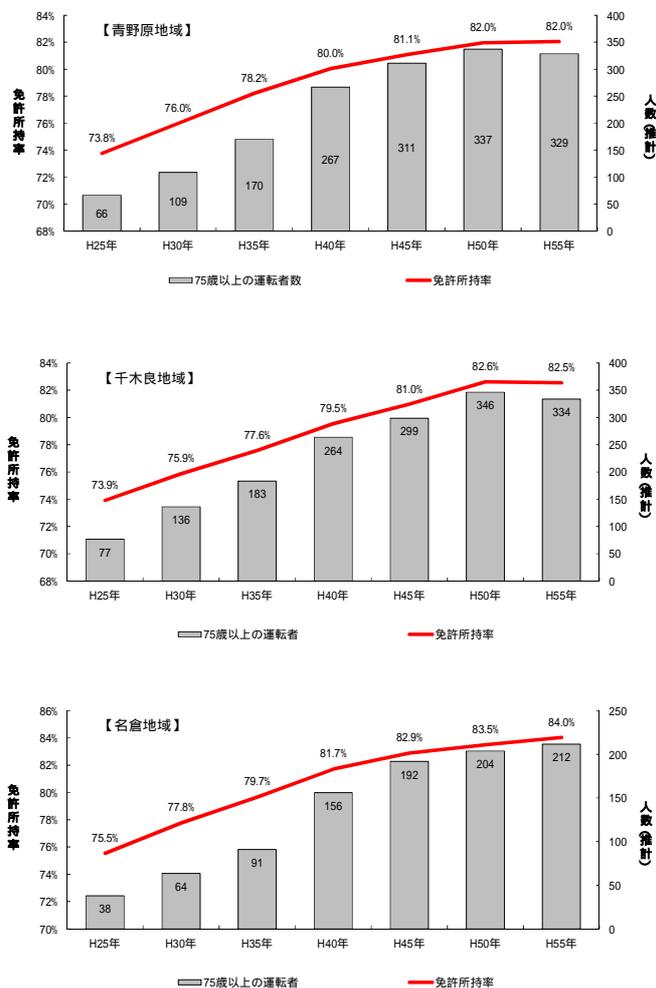
図表 0-10 自動車やバイクの運転頻度（年齢別）



上記状況を踏まえ、各地域における今後の75歳以上の運転免許所持率と高齢運転者数を予測すると、10年～20年後に75歳以上となる現在64歳以下の世代の約9割は免許を所持しているため、運転免許保持者は現状の7割程度から8割を超えると予測され、自動車またはバイクでの移動可能者は現状よりも増加することが考えられる。しかし、それは高齢運転者の増加を意味しており、交通安全対策の強化が大きな課題となることが予想される。

一方、運転免許を所持していない人は65歳以上の女性に多く、75歳～85歳となる10年～20年後には、ますます、移動に関する不便さが際立つ可能性がある。これから10年～20年が免許を持たない高齢者の移動・買物支援をどのように行っていくかが中山間地域での生活を支える上で最も早急に対策を講じなければいけない問題となる可能性が高い。

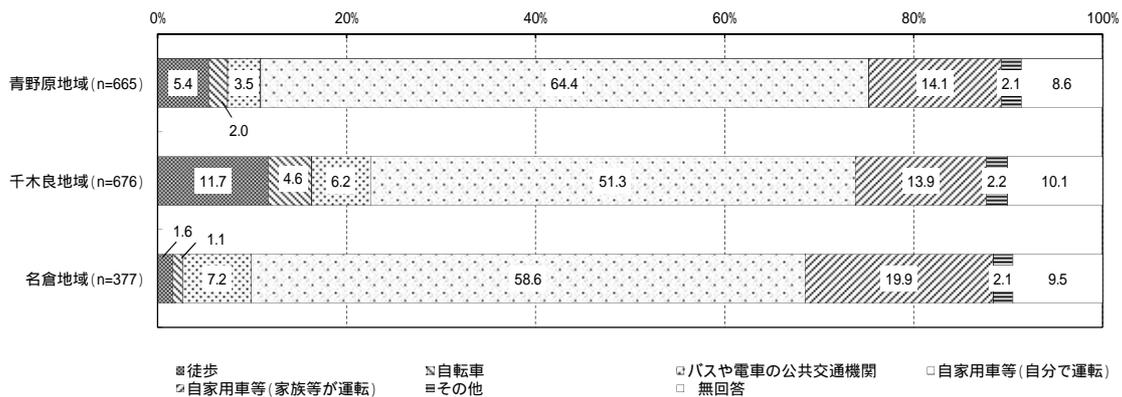
図表 0-11 75歳以上の高齢運転者数と運転免許所持率（推計）



車で買物に出かける状況は変化しない可能性が高い

日常生活には欠かせない食料品や日用品等の買物の実態をみると、地域内に小型のスーパーマーケットが立地する千木良地域においては、徒歩で買物に行く人が一定数いるものの、運転免許の有無に関わらず、各地域とも車で近隣地区、市町へ買物に出かけている人が最も多く、自家用車への依存度はとても高い。

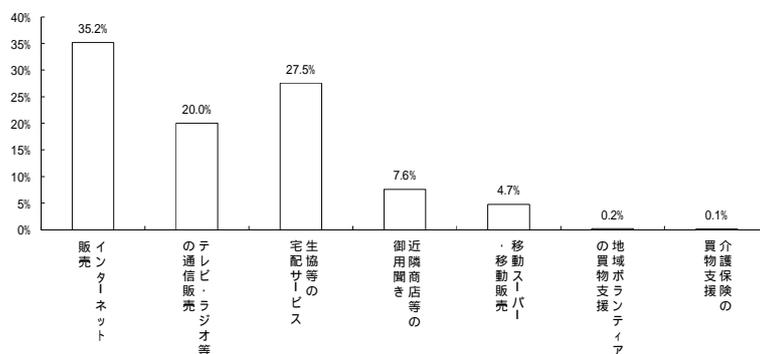
図表 0-12 買物の主な交通手段



また、買物をする本人が直接店舗へ行かずに商品を購入できるサービスの利用経験については、1年以内にインターネット販売を利用したことがある人は3人に1人程度、生協等の宅配サービスは4人に1人程度が利用している結果となり、それらのサービスが日常的な買物の代替や補完として定着しつつあることが推察される。

インターネットを利用できる人の割合が今後、増えつつあり、大手コンビニチェーンによる宅配サービスの充実などの社会状況の変化等を踏まえると、これらのサービス利用は今後、更に拡大していくものと考えられる。

図表 0-13 1年以内に店舗以外の買物サービスの利用経験



また、上記の状況に加え、運転免許所持率が向上することも踏まえると、自動車やバイクで買物に出かけるという状況はさほど変化しない可能性が高い。その一方で、現在、運転免許を所持していない高齢者の買物を如何に支援していくかは課題である。新たに店舗を誘致することが一筋縄にはいかない現状を踏まえると、今ある店舗（地域の拠点）を如何に維持し、存続させていくかが大きな焦点となると考える。

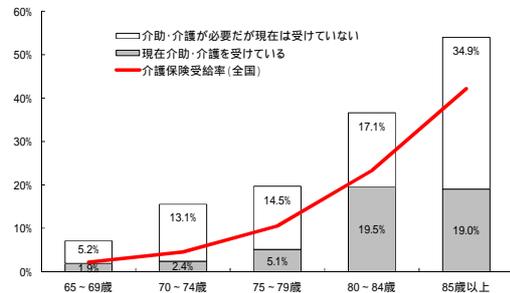
要介護者は15年後に3倍増となる

アンケート調査に回答した65歳以上の高齢者のうち、介助・介護が必要な人の割合は図表0-14のとおりで、全国の介護保険受給率と比較すると、介助・介護を受けている人の割合はかなり低くなっている。しかし、介助・介護が必要だが受けていない人も相当数存在するため、介護需要の傾向は全国と大きく変わらないと考えられる。

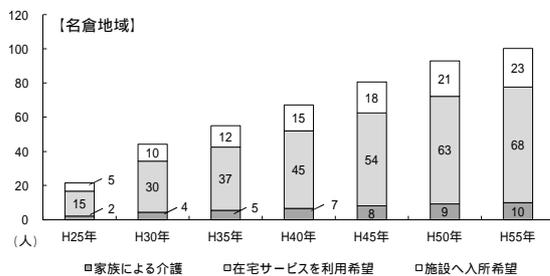
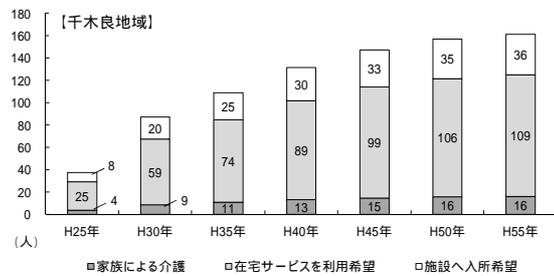
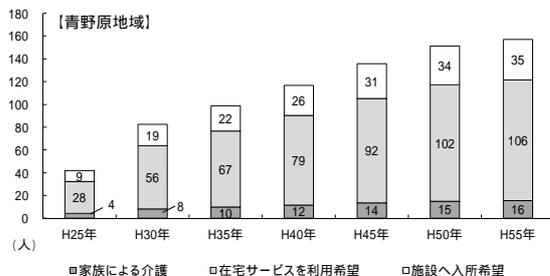
また、希望する介護の方法は、介護する立場、される立場ともに大きな希望の違いはなく、在宅サービスと施設入所の比率は3対1程度となっており、全国の介護サービス利用者の実態と大きく変わらない。

介護需要の量、介護方法の希望がともに全国の傾向と変わらないという前提のもと、各地域の今後の介護需要を予測すると、介護を必要とする人は5年後の平成30年には現在の倍増、15年後の平成40年には3倍増、30年後の平成55年には4~5倍増と右肩上がりに増加する。この増加に伴い、地域内に在宅介護サービスが不足する可能性が高く、事業所の立地が求められる可能性が高い。

図表0-14 65歳以上の介護の状況と介護保険受給率（全国）との比較



図表0-15 各地域の介護需要数（推計）

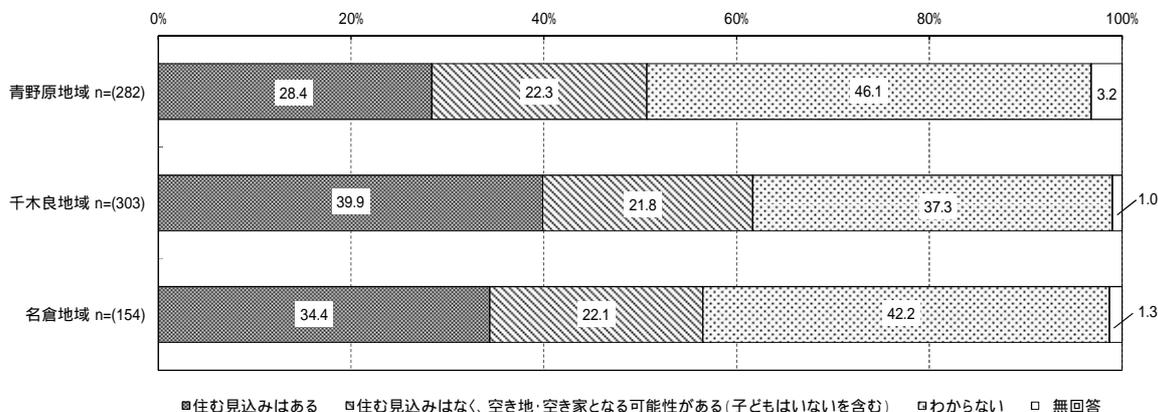


空き家・空き地の増加による地域防災体制の検討が必要

現在居住している家屋や土地に子どもや相続者が「住む見込みがある」と回答した世帯主は青野原地域で若干低いものの、各地域とも概ね 3 割程度で、2 割程度が「住む見込みはなく、空き家・空き地となる可能性がある」と回答した。一方、「わからない」と回答した人が各地域とも概ね 4 割程度おり、空き家・空き地となる可能性は更に高くなる可能性を含んでいる。

空き家、空き地の増加は、不法投棄の増加や治安、景観の悪化等、地域に様々な問題を引き起こす可能性があり、今から地域で防犯、防災体制をどのようにしていくか十分な検討が必要である。特に若い世代が就労等で居住地から離れている日中の防犯、防災体制は早急な課題となる。

図表 0-16 現在の住居等を相続し、住む見込みがある割合（地域別）

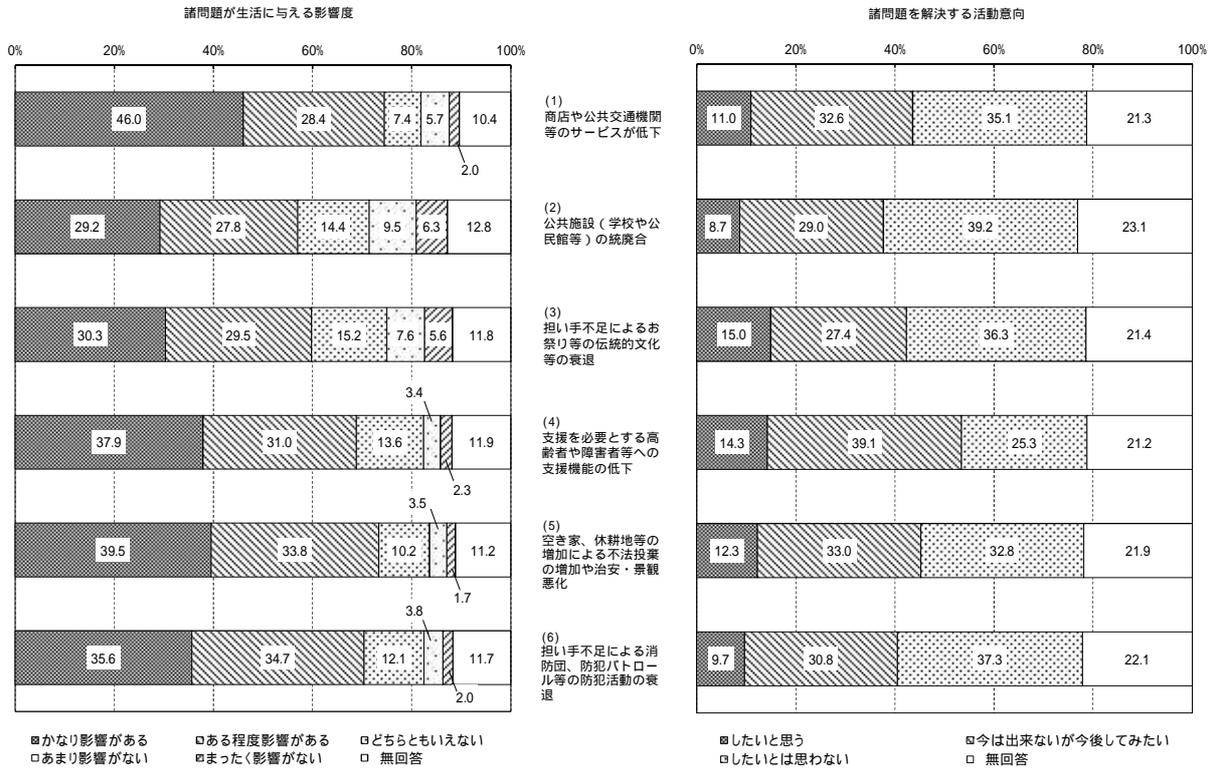


地域問題の解決に向けた活動には消極的

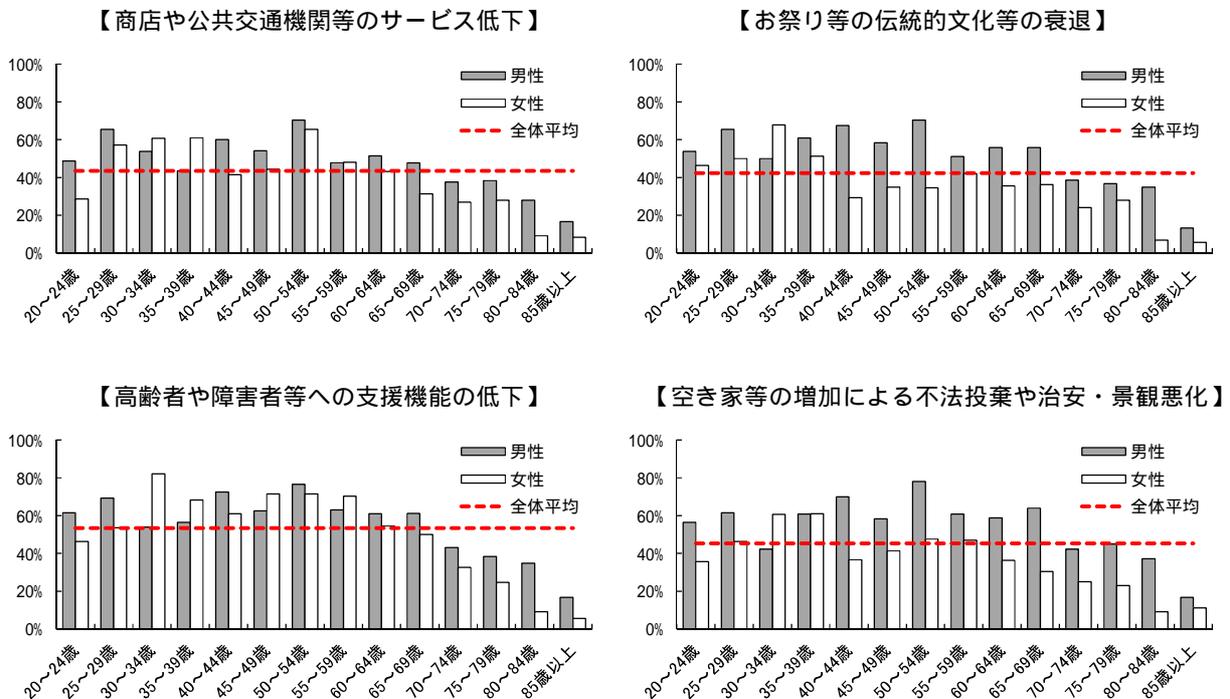
人口減少により、一般的に地域で発生すると言われている諸問題に対して、住民は高い問題意識を持っているものの、実際にその解決に向けた取組には消極的であるというアンケート調査結果を踏まえると、既に起きている担い手不足という問題はより一層厳しくなる可能性は高い。

しかし、地域課題の解決に向けた活動意向を性・年齢別に見てみると、現在働き盛りである 40 歳～50 歳代の男性の意向は高く、この世代が退職する 10 年～20 年後にはある程度の担い手が確保できる可能性は秘めている。この潜在的な人材が活動しやすい環境整備をいかに行っていくかが早急な取組となってくる。

図表 0-17 地域で発生する諸問題が生活に与える影響度



図表 0-18 地域で発生する諸問題を解決する活動意向(性・年齢別)



(3) 中山間地域の将来像を考えていくためのポイント

調査結果による将来予測では、本市の中山間地域は大都市圏内という地理的条件もあり、日常生活の中心である移動や買物に関しては一定の利便性が確保される可能性が高く、今回予測対象とした30年後までは現状と大きく変化しない可能性が高い。そのため、人口減少・地域活性化といっても、他の地域で成功をおさめている地域活性化方策をそのまま持ち込んでも成功するとは限らない。

地域の将来像及びそれに向けた地域の取組は地域の実情によって異なるため、一律の答えはなく、その地域に存在する資源、人材、予算を活用し、多くの主体を巻き込みながら行政と地域が連携し取り組んでいく必要がある。行政が主導するにしても、民間が主導し、行政がその取組を支援していくにしても以下の点が重要である。

目指すべき将来像を考えていく3つの前提

自家用車により確保されている利便性

日常生活に一定の利便性が確保される可能性はあるものの、この利便性は自家用車の利用が望めるから確保されているに過ぎず、運転が出来なくなれば、その世帯・個人は一気に過疎地域と同じ状況に陥る。そのような状況を行政（職員）はきちんと把握して、地域の将来設計を行っていかなければならない。

地域住民が望む地域の将来像

地域の将来設計を行っていくにあたり、上記とともに地域の意向もきちんと把握しなければならない。アンケート調査やグループワーキングの調査結果で明らかになったように地域住民の多くは人口増加し、地域が活性化することを望んでおり、そのために必要なことは「公共交通の利便性を向上すること」と「地域内に雇用の場を確保すること」が重要だと考えている。

行政の限界、地域の限界の共有

長引く不況が改善しつつあるものの、生産年齢人口の減少により経済成長が鈍化する可能性や高齢化による義務的経費の増大、それに伴う財政の硬直化等を踏まえると、今後、行政がこれまでのような地域サービスを担うことは困難である。

一方、地域においても人口減少、少子高齢化に伴い、活動できる人自体が減るという事実を踏まえると、これまで行政が地域にお願いしてきた防犯や防災、環境美化、地域福祉、親睦ふれあい活動等が存続できない可能性も十分に考えられる。お互いに何が出来て、何が出来ないかをきちんと理解し、互いに協力しながら地域課題を解決していく必要がある。

目指すべき地域の将来像への取組に必要な3つの視点

危機感の共有を如何に図っていくか

一般的に言われている限界集落とは様相は異なり、過疎地でもなく、都会でもないという中途半端な状況にある本市の中山間地域の最大の課題は、中途半端ゆえに地域の課題（危機感）が共有しづらい点にある。これから起こりうる地域課題を地域住民と如何に共有し、対策を講じていくかが重要である。そのためには、「地域の中心となるメンバーを見出すこと」と「地域の実情を把握し、課題を可視化する作業」は避けては通れない。

身の丈にあった取組・目標設定の必要性

危機感を共有するとともに重要なのは、地域の将来像を具体的に地域住民と共有（イメージ）し、適切な目標に向かって取組を行うことである。例えば、将来の地域像を「地域外の人が訪れた際に懐かしさを感じられるような地域にしたい」というイメージが共有されたとすると、「空き家等を活用して民泊事業をやってみてはどうか」や「地域で昔から行われている行事や祭事を体験メニューとして組み込んでみてはどうか」等、イメージを実現するためのアイデアは自ずとわいてくる。行政は「地域住民は地域の将来をどうしたいのか」、「地域を活性化することとはどういうことなのか」を地域住民と一緒に考えることが重要である。そうすることで地域住民には主体性が生まれ、活動へのモチベーションに繋がっていく。

また、その取組は右肩上がりの発展が望めない前提（将来）を踏まえると、必ずしも人口増加に繋がる取組とは限らない。急速な人口減少による地域における不便を少しでも緩和するような取組も視野に入れる必要がある。

地域資源の活用

財政的に厳しい状況や活動できる人自体が減少する今後においては、如何に地域の資源を活用し、効率よく課題解決につなげていくかが重要である。地域資源となりうる場所や特産品及び地域で活動を担う人材、団体、事業所等を把握し、これを如何に効率よくネットワーク化していくかが地域政策を考える上で重要な視点となる。

第1章

中山間地域の将来人口推計

第1章 中山間地域の将来人口推計

1 これまでの人口の推移と将来人口推計の必要性

(1) 将来人口推計とは

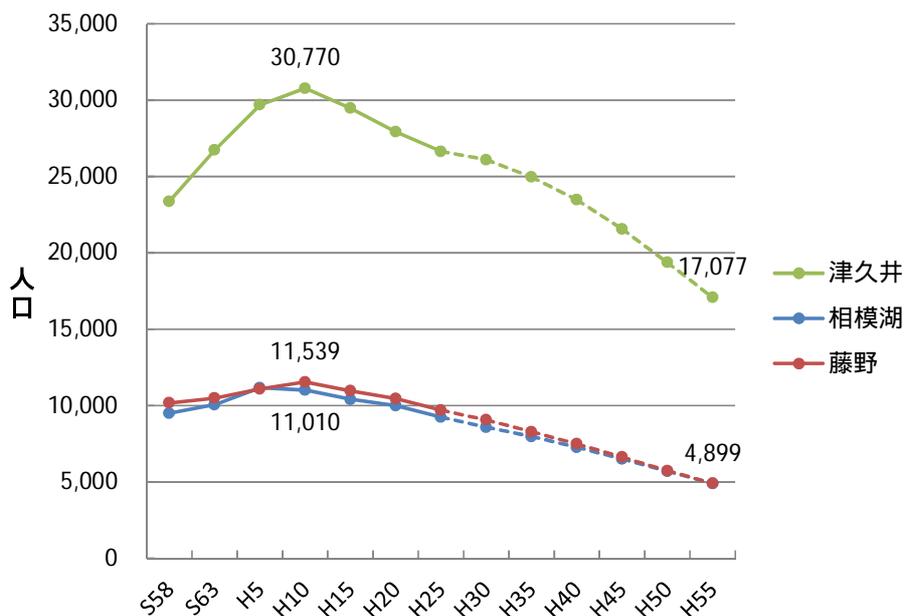
将来人口推計とは、現在の人口構成から将来の人口構成を予測する行為である。国勢調査や住民登録といったデータにより、現在の年齢別人口が把握されており、ここに死亡数の予測、出生数の予測、移動数の予測を加味することで将来の人口を予測することができる。

では、なぜ将来の人口を予測する必要があるのか。行政においては、総合計画の策定、財政の推計、サービスの需要予測、施設整備など、正しい将来予測を基に実施することが当然に求められる。これらの点については、「2010年国勢調査に基づく相模原市の将来人口推計」(さがみはら都市みらい研究所)に詳しく記述している。

(2) 中山間地域の将来人口推計

本調査研究において中山間地域として調査の対象としている津久井地区、相模湖地区、藤野地区の人口は、平成10年前後をピークに既に減少の局面にある。「2010年国勢調査に基づく相模原市の将来人口推計」による地区別推計においても、これらの地区は相模原市の中で特に人口減少が大きいと予測している。津久井地区では、これからの30年間で現在のおよそ65%である17,000人程度まで人口が減少する。同じく相模湖地区、藤野地区では現在のおよそ半分である5,000人を割り込む見込みとなっている。

図表 1-1 中山間地域の人口推移と推計



S58～H25までは実績値(各年10/1現在)、H30～55は推計値

(3)地域別の人口推移

中山間地域は人口減少局面にあるとは言うものの、現実には鉄道駅があり利便性の高い地域、従前より一定の商業集積のある市街地なども存在しており、簡単にまとめて考えるのは安易である。手始めに、各地域別にこれまでの人口推移を示したものが次の表（図表 1-2）及びグラフ（図表 1-3）である。

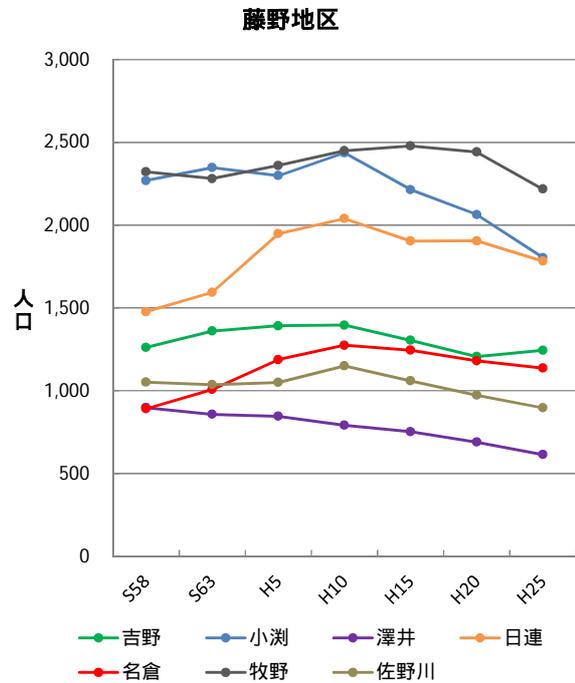
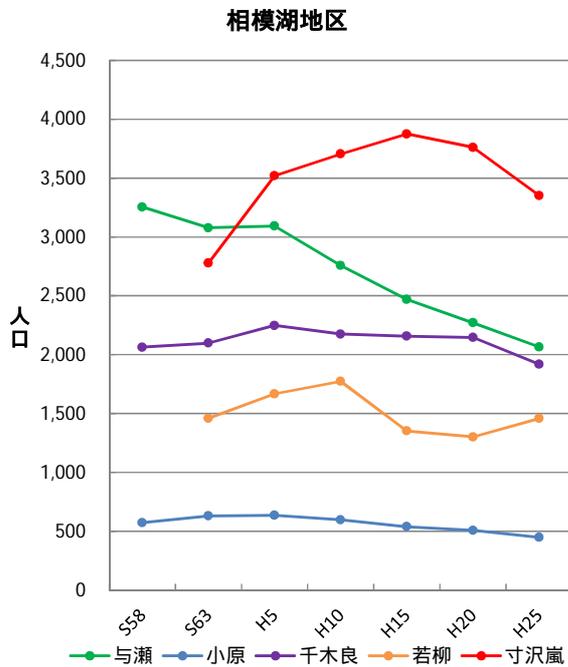
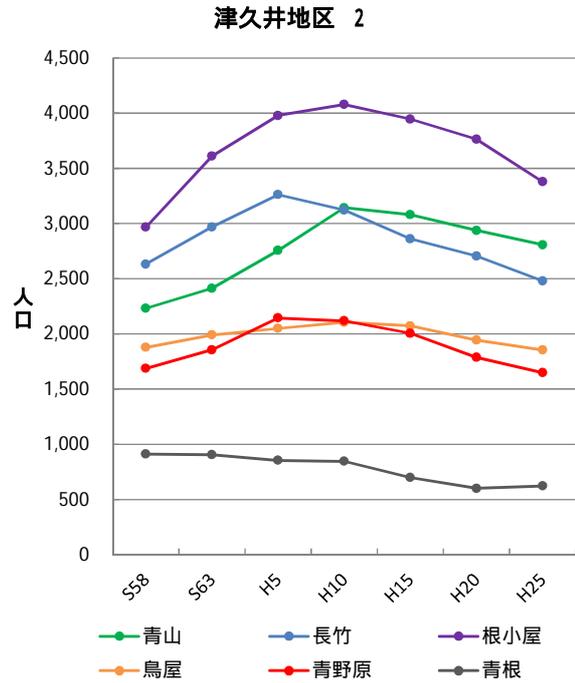
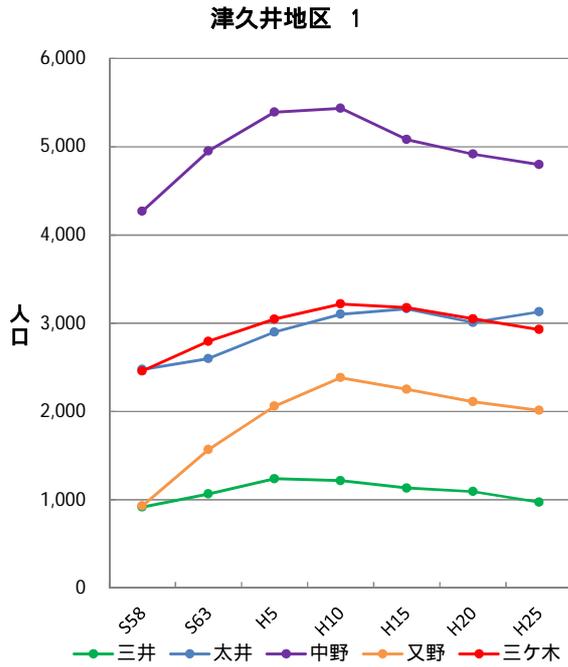
総じて近年は人口減少傾向にあるとは言え、中野、又野、根小屋、青山、寸沢嵐、日連地域などのように平成 10 年頃までに大きく人口が増加した地域、青根、小原、澤井地域などのように人口が減り続けている地域というように、いくつかの異なった傾向が表れている。中でも、相模湖駅前の与瀬・与瀬本町地域、藤野駅前の小淵地域の人口減少が大きくなっているのは特徴的である。

このような地域差を考慮し、より詳細に地域の将来を予測するためには、「2010 年国勢調査に基づく相模原市の将来人口推計」だけではやや不足がある。そこで、本調査では、津久井地区、相模湖地区、藤野地区に存在する地域別に将来人口推計を行い、本市の中山間地域の現状を把握するための資料とする。

図表 1-2 地域別人口の推移（昭和 58 年～平成 25 年、各年 10 月 1 日現在）

| 地域名 | S58 | S63 | H5 | H10 | H15 | H20 | H25 |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 三井 | 918 | 1,067 | 1,239 | 1,217 | 1,133 | 1,094 | 973 |
| 太井 | 2,476 | 2,599 | 2,900 | 3,102 | 3,165 | 3,009 | 3,129 |
| 中野 | 4,269 | 4,951 | 5,391 | 5,434 | 5,081 | 4,916 | 4,797 |
| 又野 | 932 | 1,568 | 2,062 | 2,384 | 2,251 | 2,111 | 2,014 |
| 三ヶ木 | 2,458 | 2,794 | 3,047 | 3,219 | 3,177 | 3,050 | 2,929 |
| 青山 | 2,232 | 2,413 | 2,757 | 3,143 | 3,080 | 2,937 | 2,807 |
| 長竹 | 2,632 | 2,968 | 3,262 | 3,122 | 2,862 | 2,706 | 2,480 |
| 根小屋 | 2,967 | 3,611 | 3,978 | 4,079 | 3,946 | 3,764 | 3,379 |
| 鳥屋 | 1,878 | 1,991 | 2,050 | 2,105 | 2,072 | 1,943 | 1,855 |
| 青野原 | 1,688 | 1,856 | 2,145 | 2,119 | 2,005 | 1,787 | 1,649 |
| 青根 | 912 | 905 | 855 | 846 | 699 | 600 | 623 |
| 与瀬・与瀬本町 | 3,255 | 3,078 | 3,093 | 2,758 | 2,470 | 2,272 | 2,065 |
| 小原 | 573 | 631 | 636 | 598 | 540 | 508 | 449 |
| 千木良 | 2,063 | 2,099 | 2,248 | 2,175 | 2,158 | 2,147 | 1,919 |
| 若柳 | - | 1,460 | 1,667 | 1,774 | 1,353 | 1,301 | 1,459 |
| 寸沢嵐 | - | 2,779 | 3,520 | 3,705 | 3,875 | 3,761 | 3,352 |
| 吉野 | 1,262 | 1,361 | 1,392 | 1,396 | 1,304 | 1,206 | 1,244 |
| 小淵 | 2,269 | 2,348 | 2,299 | 2,437 | 2,214 | 2,064 | 1,804 |
| 澤井 | 898 | 858 | 846 | 791 | 753 | 690 | 615 |
| 日連 | 1,477 | 1,594 | 1,949 | 2,040 | 1,904 | 1,905 | 1,783 |
| 名倉 | 891 | 1,008 | 1,188 | 1,275 | 1,245 | 1,181 | 1,137 |
| 牧野 | 2,322 | 2,281 | 2,360 | 2,450 | 2,478 | 2,442 | 2,218 |
| 佐野川 | 1,052 | 1,037 | 1,050 | 1,150 | 1,060 | 973 | 897 |

図表 1-3 地域別人口の推移グラフ（昭和 58 年～平成 25 年、各年 10 月 1 日現在）



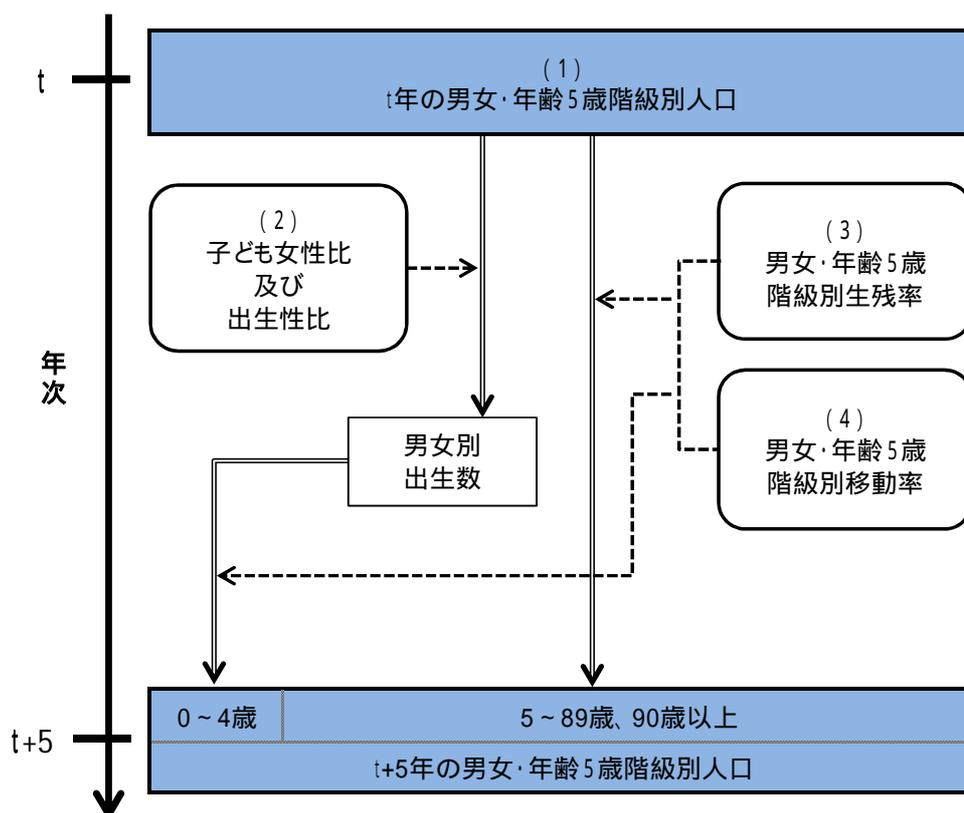
2 推計の方法と仮定

(1) 推計の方法

コーホート要因法

本推計は、コーホート要因法によって行った。コーホート要因法とは、年齢階級別人口（コーホート）の加齢にともなって生じる年々の変化をその要因（死亡及び人口移動）ごとに計算して将来の人口を求める方法であり、5歳以上の人口推計においては生残率と移動率の仮定が必要である。また、0～4歳人口の推計においては生残率と移動率に加えて出生率及び出生性比に関する仮定が必要である。しかしながら、地域別の出生率のデータが存在しないこと、仮にデータを収集したとしても年による変動が大きく、推計に使用するにはふさわしくないことから、出生率は用いず子ども女性比の仮定によって推計した。

図表 1-4 コーホート要因法による人口推計の手順



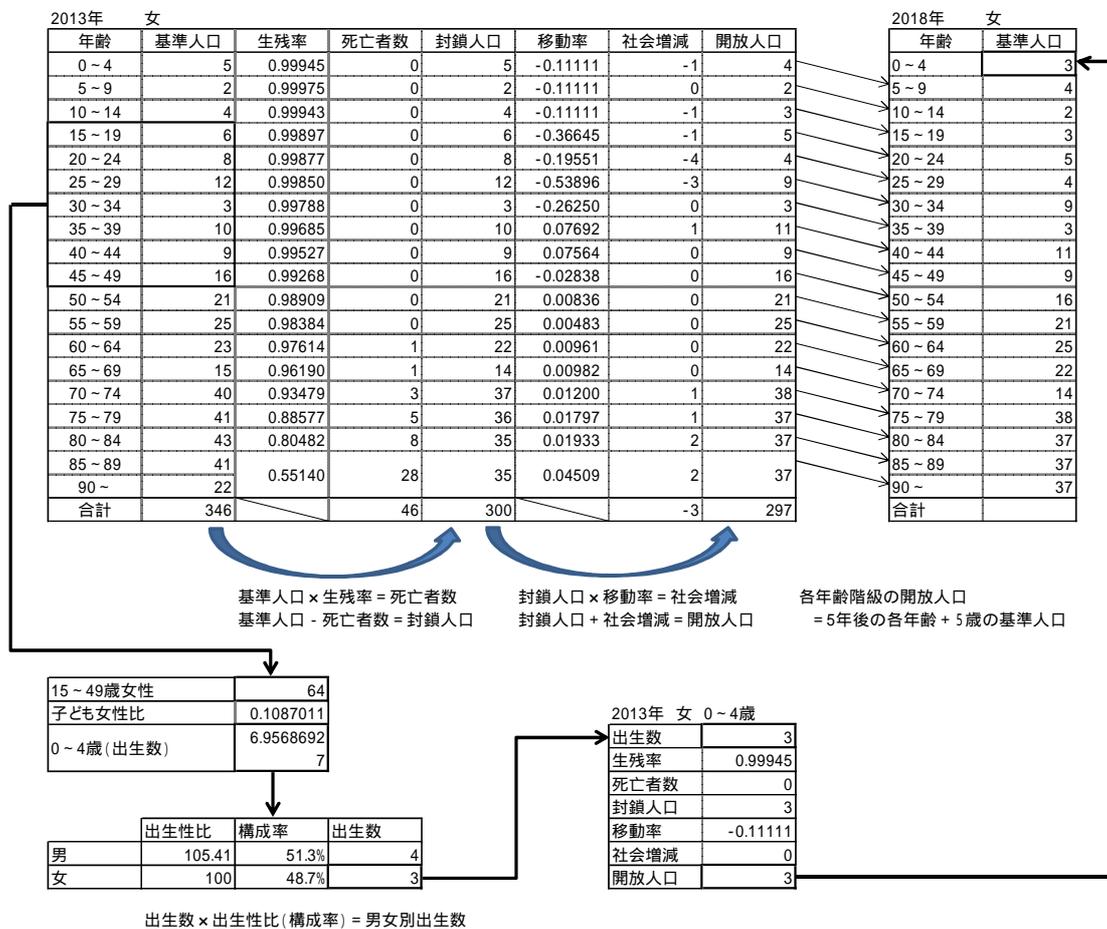
このコーホート要因法によって将来人口を推計するためには、(1) 基準となる年（ t 年）の男女・年齢5歳階級別人口、(2) 子ども女性比及び出生性比、(3) 男女・年齢5歳階級別生残率、(4) 男女・年齢5歳階級別移動率に関する仮定が必要である。本推計では、これら

の仮定について、各要因に関する統計指標の実績値のほか、国及び国立社会保障・人口問題研究所の提供するデータに基づいて設定した。上記の推計要素(1)～(4)については、次項以降において説明する。

コーホート要因法による推計の例

前述の手順による推計の実例として、実際に本推計の計算表の一部を紹介する。抜粋したのは、青根地域の2013年の女性の推計である。

図表 1-5 コーホート要因法による推計例(青根地域 2013年女性)



推計の対象と期間

本推計では、津久井地区、相模湖地区、藤野地区の3地区に存在する地域を対象に、平成25年から平成55年までの30年間について、5年置きに推計を行った。

(2) 基準人口

基準人口は、2013年4月1日現在の住民基本台帳人口とする。国勢調査結果及び国勢調査結果から出生、死亡、転出、転入を積み上げて算出する推計人口とは値が異なるため、注意が必要である。

図表 1-6 地域別基準人口

| 年齢 | 青根 | | | 青野原 | | | 青山 | | | 太井 | | |
|-------|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 総数 | 男 | 女 | 総数 | 男 | 女 | 総数 | 男 | 女 | 総数 | 男 | 女 |
| 0～4 | 9 | 4 | 5 | 34 | 17 | 17 | 71 | 31 | 40 | 98 | 50 | 48 |
| 5～9 | 7 | 5 | 2 | 54 | 27 | 27 | 98 | 43 | 55 | 120 | 58 | 62 |
| 10～14 | 11 | 7 | 4 | 51 | 29 | 22 | 132 | 63 | 69 | 159 | 87 | 72 |
| 15～19 | 18 | 12 | 6 | 87 | 45 | 42 | 157 | 77 | 80 | 160 | 86 | 74 |
| 20～24 | 16 | 8 | 8 | 102 | 56 | 46 | 141 | 69 | 72 | 154 | 78 | 76 |
| 25～29 | 28 | 16 | 12 | 86 | 51 | 35 | 122 | 70 | 52 | 144 | 69 | 75 |
| 30～34 | 13 | 10 | 3 | 80 | 48 | 32 | 139 | 71 | 68 | 162 | 79 | 83 |
| 35～39 | 12 | 2 | 10 | 66 | 39 | 27 | 171 | 98 | 73 | 220 | 117 | 103 |
| 40～44 | 23 | 14 | 9 | 80 | 43 | 37 | 220 | 122 | 98 | 236 | 115 | 121 |
| 45～49 | 37 | 21 | 16 | 119 | 57 | 62 | 185 | 97 | 88 | 210 | 107 | 103 |
| 50～54 | 39 | 18 | 21 | 141 | 74 | 67 | 170 | 88 | 82 | 200 | 95 | 105 |
| 55～59 | 51 | 26 | 25 | 162 | 85 | 77 | 217 | 113 | 104 | 212 | 99 | 113 |
| 60～64 | 58 | 35 | 23 | 200 | 110 | 90 | 296 | 148 | 148 | 299 | 147 | 152 |
| 65～69 | 40 | 25 | 15 | 143 | 84 | 59 | 249 | 126 | 123 | 306 | 158 | 148 |
| 70～74 | 59 | 19 | 40 | 119 | 62 | 57 | 210 | 112 | 98 | 244 | 121 | 123 |
| 75～79 | 77 | 36 | 41 | 79 | 36 | 43 | 125 | 61 | 64 | 137 | 69 | 68 |
| 80～84 | 76 | 33 | 43 | 80 | 34 | 46 | 89 | 43 | 46 | 86 | 37 | 49 |
| 85～89 | 68 | 27 | 41 | 37 | 19 | 18 | 60 | 17 | 43 | 40 | 15 | 25 |
| 90～ | 27 | 5 | 22 | 26 | 8 | 18 | 35 | 10 | 25 | 27 | 7 | 20 |
| 総数 | 669 | 323 | 346 | 1,746 | 924 | 822 | 2,887 | 1,459 | 1,428 | 3,214 | 1,594 | 1,620 |

| 年齢 | 鳥屋 | | | 長竹 | | | 中野 | | | 根小屋 | | |
|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 総数 | 男 | 女 | 総数 | 男 | 女 | 総数 | 男 | 女 | 総数 | 男 | 女 |
| 0～4 | 50 | 19 | 31 | 58 | 28 | 30 | 155 | 80 | 75 | 86 | 40 | 46 |
| 5～9 | 82 | 41 | 41 | 69 | 30 | 39 | 188 | 97 | 91 | 98 | 46 | 52 |
| 10～14 | 93 | 51 | 42 | 123 | 53 | 70 | 237 | 112 | 125 | 163 | 92 | 71 |
| 15～19 | 101 | 65 | 36 | 140 | 73 | 67 | 234 | 115 | 119 | 156 | 84 | 72 |
| 20～24 | 82 | 47 | 35 | 105 | 50 | 55 | 223 | 120 | 103 | 165 | 74 | 91 |
| 25～29 | 84 | 46 | 38 | 103 | 54 | 49 | 268 | 123 | 145 | 167 | 96 | 71 |
| 30～34 | 66 | 33 | 33 | 115 | 66 | 49 | 265 | 148 | 117 | 159 | 89 | 70 |
| 35～39 | 117 | 68 | 49 | 156 | 72 | 84 | 300 | 163 | 137 | 223 | 116 | 107 |
| 40～44 | 130 | 73 | 57 | 187 | 98 | 89 | 381 | 206 | 175 | 213 | 116 | 97 |
| 45～49 | 125 | 67 | 58 | 174 | 83 | 91 | 286 | 139 | 147 | 227 | 119 | 108 |
| 50～54 | 109 | 56 | 53 | 134 | 72 | 62 | 285 | 130 | 155 | 198 | 103 | 95 |
| 55～59 | 171 | 88 | 83 | 187 | 87 | 100 | 357 | 181 | 176 | 280 | 135 | 145 |
| 60～64 | 201 | 111 | 90 | 293 | 142 | 151 | 510 | 247 | 263 | 375 | 198 | 177 |
| 65～69 | 129 | 66 | 63 | 275 | 136 | 139 | 431 | 221 | 210 | 339 | 159 | 180 |
| 70～74 | 133 | 64 | 69 | 200 | 103 | 97 | 329 | 169 | 160 | 264 | 147 | 117 |
| 75～79 | 99 | 37 | 62 | 121 | 72 | 49 | 224 | 113 | 111 | 161 | 84 | 77 |
| 80～84 | 84 | 45 | 39 | 87 | 32 | 55 | 140 | 63 | 77 | 99 | 45 | 54 |
| 85～89 | 50 | 19 | 31 | 48 | 16 | 32 | 88 | 24 | 64 | 55 | 14 | 41 |
| 90～ | 34 | 5 | 29 | 34 | 12 | 22 | 59 | 16 | 43 | 39 | 8 | 31 |
| 総数 | 1,940 | 1,001 | 939 | 2,609 | 1,279 | 1,330 | 4,960 | 2,467 | 2,493 | 3,467 | 1,765 | 1,702 |

| 年齢 | 又野 | | | 三井 | | | 三ヶ木 | | | 小原 | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-----|-------|-------|-------|-----|-----|-----|
| | 総数 | 男 | 女 | 総数 | 男 | 女 | 総数 | 男 | 女 | 総数 | 男 | 女 |
| 0～4 | 45 | 28 | 17 | 25 | 11 | 14 | 85 | 50 | 35 | 12 | 6 | 6 |
| 5～9 | 76 | 39 | 37 | 24 | 11 | 13 | 127 | 62 | 65 | 17 | 9 | 8 |
| 10～14 | 77 | 46 | 31 | 25 | 15 | 10 | 145 | 67 | 78 | 15 | 9 | 6 |
| 15～19 | 105 | 55 | 50 | 28 | 12 | 16 | 147 | 84 | 63 | 17 | 9 | 8 |
| 20～24 | 131 | 60 | 71 | 46 | 20 | 26 | 147 | 84 | 63 | 22 | 10 | 12 |
| 25～29 | 112 | 59 | 53 | 63 | 30 | 33 | 159 | 82 | 77 | 26 | 16 | 10 |
| 30～34 | 90 | 48 | 42 | 55 | 29 | 26 | 137 | 67 | 70 | 15 | 7 | 8 |
| 35～39 | 122 | 63 | 59 | 55 | 33 | 22 | 191 | 106 | 85 | 25 | 15 | 10 |
| 40～44 | 136 | 75 | 61 | 60 | 43 | 17 | 213 | 115 | 98 | 29 | 12 | 17 |
| 45～49 | 163 | 83 | 80 | 45 | 18 | 27 | 213 | 112 | 101 | 33 | 18 | 15 |
| 50～54 | 151 | 75 | 76 | 66 | 38 | 28 | 189 | 104 | 85 | 36 | 17 | 19 |
| 55～59 | 208 | 97 | 111 | 83 | 39 | 44 | 188 | 96 | 92 | 32 | 18 | 14 |
| 60～64 | 251 | 141 | 110 | 142 | 78 | 64 | 273 | 138 | 135 | 51 | 30 | 21 |
| 65～69 | 159 | 85 | 74 | 121 | 66 | 55 | 246 | 116 | 130 | 46 | 20 | 26 |
| 70～74 | 139 | 75 | 64 | 75 | 37 | 38 | 204 | 108 | 96 | 42 | 22 | 20 |
| 75～79 | 68 | 38 | 30 | 50 | 30 | 20 | 153 | 68 | 85 | 30 | 15 | 15 |
| 80～84 | 51 | 16 | 35 | 32 | 13 | 19 | 96 | 42 | 54 | 16 | 8 | 8 |
| 85～89 | 21 | 5 | 16 | 24 | 6 | 18 | 43 | 16 | 27 | 6 | 1 | 5 |
| 90～ | 8 | 2 | 6 | 11 | 3 | 8 | 27 | 10 | 17 | 9 | 1 | 8 |
| 総数 | 2,113 | 1,090 | 1,023 | 1,030 | 532 | 498 | 2,983 | 1,527 | 1,456 | 479 | 243 | 236 |

図表 1-6 地域別基準人口 - つづき -

| 年齢 | 寸沢嵐 | | | 千木良 | | | 与瀬 | | | 与瀬本町 | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-----|-------|-----|-----|------|----|----|
| | 総数 | 男 | 女 | 総数 | 男 | 女 | 総数 | 男 | 女 | 総数 | 男 | 女 |
| 0～4 | 59 | 31 | 28 | 50 | 25 | 25 | 52 | 26 | 26 | 2 | 0 | 2 |
| 5～9 | 96 | 44 | 52 | 69 | 44 | 25 | 45 | 25 | 20 | 2 | 2 | 0 |
| 10～14 | 116 | 57 | 59 | 65 | 31 | 34 | 53 | 29 | 24 | 2 | 2 | 0 |
| 15～19 | 143 | 74 | 69 | 92 | 49 | 43 | 86 | 42 | 44 | 2 | 2 | 0 |
| 20～24 | 181 | 106 | 75 | 91 | 50 | 41 | 75 | 43 | 32 | 6 | 3 | 3 |
| 25～29 | 137 | 76 | 61 | 76 | 43 | 33 | 86 | 40 | 46 | 8 | 4 | 4 |
| 30～34 | 110 | 61 | 49 | 80 | 39 | 41 | 77 | 36 | 41 | 2 | 1 | 1 |
| 35～39 | 135 | 73 | 62 | 118 | 57 | 61 | 96 | 49 | 47 | 5 | 3 | 2 |
| 40～44 | 165 | 91 | 74 | 138 | 76 | 62 | 114 | 62 | 52 | 9 | 9 | 0 |
| 45～49 | 226 | 107 | 119 | 120 | 61 | 59 | 120 | 68 | 52 | 8 | 4 | 4 |
| 50～54 | 181 | 104 | 77 | 162 | 85 | 77 | 126 | 59 | 67 | 11 | 2 | 9 |
| 55～59 | 239 | 118 | 121 | 147 | 80 | 67 | 128 | 56 | 72 | 18 | 11 | 7 |
| 60～64 | 267 | 133 | 134 | 182 | 96 | 86 | 168 | 99 | 69 | 22 | 12 | 10 |
| 65～69 | 233 | 130 | 103 | 143 | 70 | 73 | 193 | 95 | 98 | 18 | 10 | 8 |
| 70～74 | 172 | 90 | 82 | 159 | 77 | 82 | 144 | 73 | 71 | 16 | 7 | 9 |
| 75～79 | 138 | 64 | 74 | 99 | 54 | 45 | 155 | 64 | 91 | 14 | 6 | 8 |
| 80～84 | 96 | 43 | 53 | 76 | 26 | 50 | 120 | 56 | 64 | 10 | 1 | 9 |
| 85～89 | 68 | 23 | 45 | 42 | 19 | 23 | 53 | 19 | 34 | 15 | 9 | 6 |
| 90～ | 38 | 6 | 32 | 15 | 3 | 12 | 25 | 5 | 20 | 3 | 1 | 2 |
| 総数 | 2,800 | 1,431 | 1,369 | 1,924 | 985 | 939 | 1,916 | 946 | 970 | 173 | 89 | 84 |

| 年齢 | 若柳 | | | 小湊 | | | 佐野川 | | | 澤井 | | |
|-------|-------|-----|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | 総数 | 男 | 女 | 総数 | 男 | 女 | 総数 | 男 | 女 | 総数 | 男 | 女 |
| 0～4 | 23 | 11 | 12 | 56 | 28 | 28 | 13 | 9 | 4 | 13 | 8 | 5 |
| 5～9 | 36 | 17 | 19 | 69 | 33 | 36 | 19 | 14 | 5 | 16 | 8 | 8 |
| 10～14 | 59 | 34 | 25 | 75 | 35 | 40 | 23 | 14 | 9 | 26 | 12 | 14 |
| 15～19 | 83 | 38 | 45 | 84 | 41 | 43 | 35 | 19 | 16 | 31 | 12 | 19 |
| 20～24 | 86 | 47 | 39 | 78 | 36 | 42 | 50 | 26 | 24 | 26 | 13 | 13 |
| 25～29 | 74 | 33 | 41 | 72 | 38 | 34 | 34 | 19 | 15 | 20 | 9 | 11 |
| 30～34 | 56 | 30 | 26 | 75 | 37 | 38 | 27 | 16 | 11 | 40 | 21 | 19 |
| 35～39 | 74 | 40 | 34 | 95 | 42 | 53 | 45 | 25 | 20 | 26 | 14 | 12 |
| 40～44 | 91 | 50 | 41 | 148 | 69 | 79 | 56 | 30 | 26 | 29 | 17 | 12 |
| 45～49 | 99 | 51 | 48 | 102 | 59 | 43 | 49 | 26 | 23 | 39 | 23 | 16 |
| 50～54 | 130 | 68 | 62 | 125 | 65 | 60 | 78 | 49 | 29 | 36 | 19 | 17 |
| 55～59 | 124 | 67 | 57 | 143 | 80 | 63 | 91 | 45 | 46 | 56 | 29 | 27 |
| 60～64 | 181 | 102 | 79 | 215 | 106 | 109 | 90 | 51 | 39 | 67 | 33 | 34 |
| 65～69 | 122 | 60 | 62 | 153 | 73 | 80 | 51 | 35 | 16 | 61 | 30 | 31 |
| 70～74 | 90 | 44 | 46 | 148 | 79 | 69 | 63 | 26 | 37 | 56 | 27 | 29 |
| 75～79 | 63 | 33 | 30 | 112 | 55 | 57 | 45 | 22 | 23 | 23 | 12 | 11 |
| 80～84 | 45 | 19 | 26 | 76 | 31 | 45 | 43 | 14 | 29 | 31 | 12 | 19 |
| 85～89 | 34 | 7 | 27 | 49 | 20 | 29 | 36 | 13 | 23 | 26 | 11 | 15 |
| 90～ | 11 | 3 | 8 | 20 | 4 | 16 | 24 | 7 | 17 | 16 | 4 | 12 |
| 総数 | 1,481 | 754 | 727 | 1,895 | 931 | 964 | 872 | 460 | 412 | 638 | 314 | 324 |

| 年齢 | 名倉 | | | 日連 | | | 牧野 | | | 吉野 | | |
|-------|-------|-----|-----|-------|-----|-----|-------|-----|-----|-------|-----|-----|
| | 総数 | 男 | 女 |
| 0～4 | 30 | 15 | 15 | 67 | 43 | 24 | 37 | 18 | 19 | 34 | 21 | 13 |
| 5～9 | 53 | 29 | 24 | 81 | 34 | 47 | 52 | 33 | 19 | 41 | 26 | 15 |
| 10～14 | 60 | 29 | 31 | 76 | 32 | 44 | 70 | 37 | 33 | 60 | 30 | 30 |
| 15～19 | 66 | 28 | 38 | 97 | 54 | 43 | 94 | 59 | 35 | 53 | 27 | 26 |
| 20～24 | 65 | 38 | 27 | 102 | 49 | 53 | 80 | 41 | 39 | 60 | 33 | 27 |
| 25～29 | 45 | 20 | 25 | 95 | 55 | 40 | 76 | 45 | 31 | 38 | 20 | 18 |
| 30～34 | 47 | 17 | 30 | 104 | 46 | 58 | 70 | 40 | 30 | 69 | 40 | 29 |
| 35～39 | 60 | 35 | 25 | 103 | 62 | 41 | 96 | 51 | 45 | 68 | 33 | 35 |
| 40～44 | 80 | 42 | 38 | 111 | 58 | 53 | 125 | 65 | 60 | 95 | 38 | 57 |
| 45～49 | 88 | 35 | 53 | 113 | 65 | 48 | 127 | 62 | 65 | 64 | 36 | 28 |
| 50～54 | 83 | 43 | 40 | 139 | 63 | 76 | 127 | 69 | 58 | 75 | 37 | 38 |
| 55～59 | 109 | 56 | 53 | 154 | 76 | 78 | 155 | 78 | 77 | 109 | 54 | 55 |
| 60～64 | 124 | 70 | 54 | 219 | 114 | 105 | 177 | 93 | 84 | 132 | 71 | 61 |
| 65～69 | 76 | 36 | 40 | 122 | 67 | 55 | 119 | 62 | 57 | 115 | 54 | 61 |
| 70～74 | 71 | 36 | 35 | 105 | 49 | 56 | 123 | 63 | 60 | 96 | 42 | 54 |
| 75～79 | 47 | 25 | 22 | 70 | 37 | 33 | 92 | 43 | 49 | 69 | 33 | 36 |
| 80～84 | 31 | 12 | 19 | 41 | 20 | 21 | 98 | 37 | 61 | 41 | 22 | 19 |
| 85～89 | 27 | 12 | 15 | 23 | 8 | 15 | 68 | 27 | 41 | 31 | 14 | 17 |
| 90～ | 13 | 5 | 8 | 18 | 1 | 17 | 28 | 5 | 23 | 15 | 8 | 7 |
| 総数 | 1,175 | 583 | 592 | 1,840 | 933 | 907 | 1,814 | 928 | 886 | 1,265 | 639 | 626 |

(3)出生に関する仮定

子ども女性比

年齢5歳階級別人口を基準に将来人口を推計する場合、子ども女性比とは、ある年の0～4歳の人口(男女計)を同年の15～49歳女性人口で除した値である。地域別の子ども女性比は年によって変動が大きいいため、2007年から2013年までの7年の各4月1日現在における地域別の子ども女性比と相模原市全体の子ども女性比の較差を求め、7年の較差の平均値を各地域の倍率とした。この倍率を国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」において示された相模原市の子ども女性比の将来予測に乗じて地域別の子ども女性比を算出した。

図表 1-7 地域別子ども女性比の算出例(青根地域)

直近7年の子ども女性比

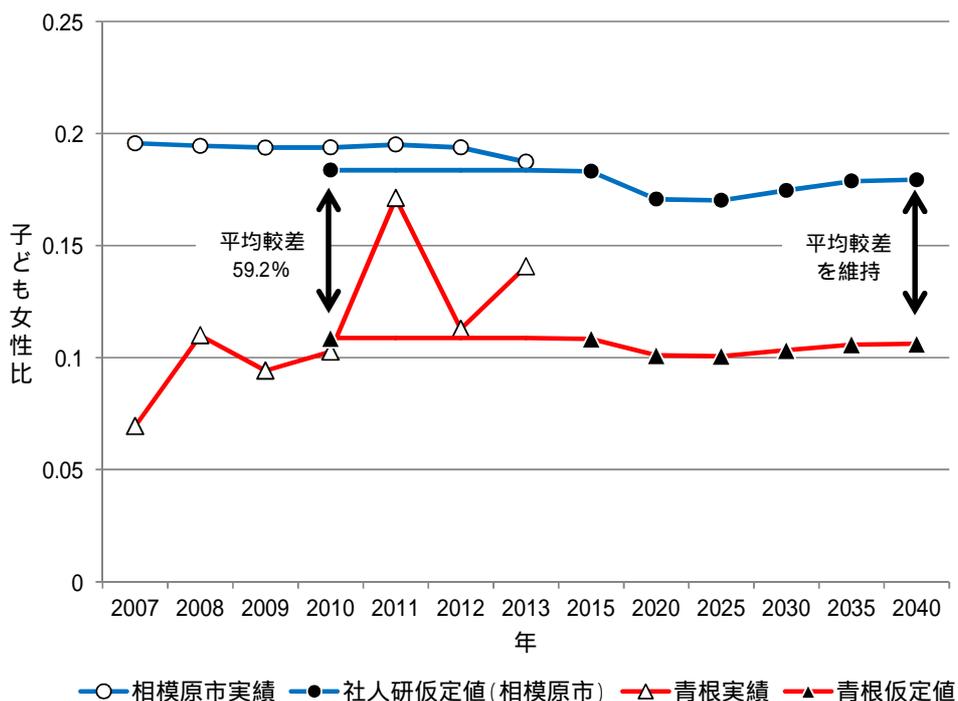
| | 2007年 | 2008年 | 2009年 | 2010年 | 2011年 | 2012年 | 2013年 | |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 相模原市 | 0.196 | 0.194 | 0.194 | 0.194 | 0.195 | 0.194 | 0.187 | |
| 青根地域 | 0.069 | 0.110 | 0.094 | 0.103 | 0.171 | 0.113 | 0.141 | 平均 |
| 較差 | 35.4% | 56.5% | 48.6% | 52.9% | 87.7% | 58.2% | 75.1% | 59.2% |

較差 = 青根地域の子ども女性比 / 相模原市の子ども女性比

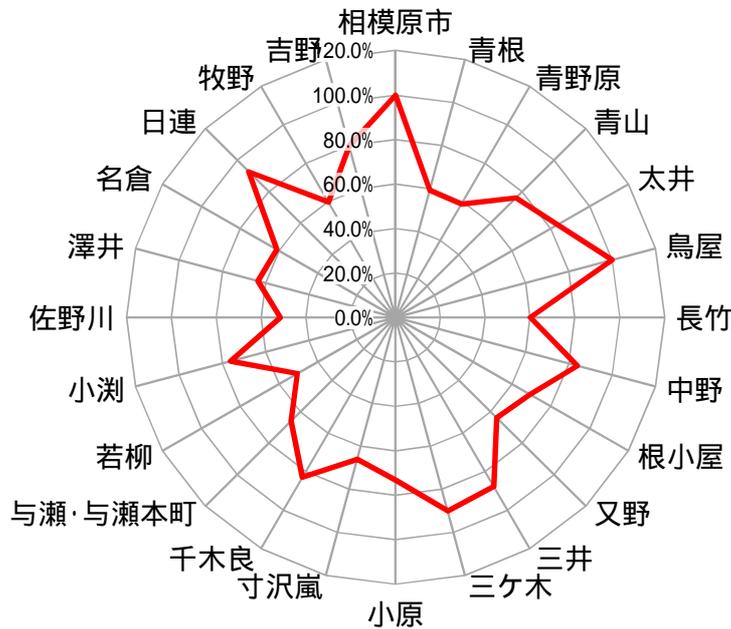
将来の子ども女性比

| | 2010年 | 2015年 | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 相模原市 | 0.184 | 0.183 | 0.171 | 0.170 | 0.175 | 0.179 | 0.179 |
| 青根地域 | 0.109 | 0.108 | 0.101 | 0.101 | 0.103 | 0.106 | 0.106 |

青根地域の子ども女性比 = 相模原市の子ども女性比 × 59.2%



図表 1-8 地域別子ども女性比倍率



図表 1-9 地域別子ども女性比の仮定値

| | 倍率 | 2010年 | 2015年 | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 |
|---------|--------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 相模原市 | 100.0% | 0.183610 | 0.183130 | 0.170680 | 0.170130 | 0.174550 | 0.178730 | 0.179340 |
| 青根 | 59.2% | 0.108701 | 0.108417 | 0.101046 | 0.100721 | 0.103337 | 0.105812 | 0.106173 |
| 青野原 | 58.8% | 0.108028 | 0.107745 | 0.100420 | 0.100097 | 0.102697 | 0.105157 | 0.105515 |
| 青山 | 75.9% | 0.139351 | 0.138987 | 0.129538 | 0.129121 | 0.132475 | 0.135648 | 0.136111 |
| 太井 | 83.5% | 0.153393 | 0.152992 | 0.142591 | 0.142131 | 0.145824 | 0.149316 | 0.149826 |
| 鳥屋 | 100.1% | 0.183813 | 0.183333 | 0.170869 | 0.170318 | 0.174743 | 0.178928 | 0.179538 |
| 長竹 | 60.0% | 0.110198 | 0.109910 | 0.102438 | 0.102107 | 0.104760 | 0.107269 | 0.107635 |
| 中野 | 84.0% | 0.154314 | 0.153911 | 0.143447 | 0.142985 | 0.146700 | 0.150213 | 0.150726 |
| 根小屋 | 69.2% | 0.126975 | 0.126643 | 0.118033 | 0.117653 | 0.120710 | 0.123600 | 0.124022 |
| 又野 | 63.8% | 0.117137 | 0.116831 | 0.108888 | 0.108537 | 0.111357 | 0.114024 | 0.114413 |
| 三井 | 87.7% | 0.160972 | 0.160551 | 0.149636 | 0.149154 | 0.153029 | 0.156693 | 0.157228 |
| 三ヶ木 | 90.1% | 0.165439 | 0.165007 | 0.153789 | 0.153293 | 0.157276 | 0.161042 | 0.161592 |
| 小原 | 73.0% | 0.134068 | 0.133718 | 0.124627 | 0.124226 | 0.127453 | 0.130505 | 0.130950 |
| 寸沢嵐 | 66.0% | 0.121182 | 0.120865 | 0.112648 | 0.112285 | 0.115203 | 0.117961 | 0.118364 |
| 千木良 | 83.0% | 0.152374 | 0.151975 | 0.141643 | 0.141187 | 0.144855 | 0.148324 | 0.148830 |
| 与瀬・与瀬本町 | 65.8% | 0.120906 | 0.120590 | 0.112391 | 0.112029 | 0.114940 | 0.117692 | 0.118094 |
| 若柳 | 50.5% | 0.092667 | 0.092425 | 0.086142 | 0.085864 | 0.088095 | 0.090205 | 0.090512 |
| 小淵 | 76.2% | 0.139955 | 0.139589 | 0.130099 | 0.129680 | 0.133049 | 0.136235 | 0.136700 |
| 佐野川 | 51.4% | 0.094404 | 0.094157 | 0.087756 | 0.087473 | 0.089746 | 0.091895 | 0.092209 |
| 澤井 | 63.5% | 0.116613 | 0.116308 | 0.108401 | 0.108052 | 0.110859 | 0.113514 | 0.113901 |
| 名倉 | 61.2% | 0.112333 | 0.112039 | 0.104422 | 0.104086 | 0.106790 | 0.109347 | 0.109721 |
| 日連 | 92.6% | 0.169990 | 0.169546 | 0.158020 | 0.157510 | 0.161602 | 0.165472 | 0.166037 |
| 牧野 | 59.8% | 0.109845 | 0.109557 | 0.102109 | 0.101780 | 0.104424 | 0.106925 | 0.107290 |
| 吉野 | 79.7% | 0.146356 | 0.145973 | 0.136050 | 0.135611 | 0.139134 | 0.142466 | 0.142952 |

出生性比

出生数（0～4歳人口）を男女に分けるためには、出生性比（女児数100に対する男児数の比）を仮定する必要がある。出生性比には地域別で有意な差がないため、本推計では、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」において示された相模原市の出生性比を各地域にそのまま適用する。

図表 1-10 相模原市の出生性比

| | 2015年 | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 |
|---|--------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 男 | 105.41 | 105.4 | 105.4 | 105.4 | 105.4 | 105.41 |
| 女 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |

(4) 死亡に関する仮定

死亡数を算出するためには、将来の生残率を仮定する必要がある。5歳階級別に将来人口推計を行う際の生残率とは、ある年齢層の人口が5歳分年齢を重ねる間に生き残る確率のことである。2010年に0～4歳だった者が2015年に5～9歳になるまでの間を例にとると、生残率は0.99926なので、10万人のうち99,926人が生残し、74人が死亡する。

生残率は、医療水準、交通事故死や自殺の件数などにより変化するものであるが、相模原市内においては地域による差が大きくないため、地域別の仮定値を算定せず、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」において示された相模原市の将来の生残率を各地域にそのまま適用する。

図表 1-11 相模原市の将来の生存率

| 生残率・男 | 2010年 | 2015年 | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | |
|--------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | 2015年 | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | |
| 0～4歳 | 5～9歳 | 0.99926 | 0.99937 | 0.99944 | 0.99949 | 0.99954 | 0.99958 |
| 5～9歳 | 10～14歳 | 0.99967 | 0.99971 | 0.99974 | 0.99976 | 0.99977 | 0.99979 |
| 10～14歳 | 15～19歳 | 0.99922 | 0.99930 | 0.99935 | 0.99940 | 0.99944 | 0.99947 |
| 15～19歳 | 20～24歳 | 0.99805 | 0.99819 | 0.99829 | 0.99837 | 0.99843 | 0.99848 |
| 20～24歳 | 25～29歳 | 0.99764 | 0.99773 | 0.99778 | 0.99783 | 0.99786 | 0.99788 |
| 25～29歳 | 30～34歳 | 0.99726 | 0.99736 | 0.99742 | 0.99747 | 0.99751 | 0.99753 |
| 30～34歳 | 35～39歳 | 0.99647 | 0.99663 | 0.99673 | 0.99682 | 0.99689 | 0.99695 |
| 35～39歳 | 40～44歳 | 0.99457 | 0.99483 | 0.99503 | 0.99519 | 0.99534 | 0.99545 |
| 40～44歳 | 45～49歳 | 0.99150 | 0.99193 | 0.99227 | 0.99256 | 0.99279 | 0.99299 |
| 45～49歳 | 50～54歳 | 0.98669 | 0.98735 | 0.98785 | 0.98827 | 0.98862 | 0.98891 |
| 50～54歳 | 55～59歳 | 0.97810 | 0.97921 | 0.98006 | 0.98078 | 0.98140 | 0.98193 |
| 55～59歳 | 60～64歳 | 0.96473 | 0.96651 | 0.96788 | 0.96907 | 0.97009 | 0.97099 |
| 60～64歳 | 65～69歳 | 0.95113 | 0.95379 | 0.95586 | 0.95766 | 0.95924 | 0.96064 |
| 65～69歳 | 70～74歳 | 0.92108 | 0.92533 | 0.92857 | 0.93135 | 0.93375 | 0.93584 |
| 70～74歳 | 75～79歳 | 0.86810 | 0.87602 | 0.88215 | 0.88736 | 0.89181 | 0.89562 |
| 75～79歳 | 80～84歳 | 0.78007 | 0.79313 | 0.80333 | 0.81219 | 0.81990 | 0.82665 |
| 80～84歳 | 85～89歳 | 0.64987 | 0.66888 | 0.68379 | 0.69693 | 0.70855 | 0.71885 |
| 85歳以上 | 90歳以上 | 0.42071 | 0.43737 | 0.45077 | 0.46271 | 0.47335 | 0.48285 |

| 生残率・女 | 2010年 | 2015年 | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | |
|--------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | 2015年 | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | |
| 0～4歳 | 5～9歳 | 0.99945 | 0.99952 | 0.99957 | 0.99960 | 0.99963 | 0.99966 |
| 5～9歳 | 10～14歳 | 0.99975 | 0.99977 | 0.99979 | 0.99981 | 0.99982 | 0.99983 |
| 10～14歳 | 15～19歳 | 0.99943 | 0.99947 | 0.99951 | 0.99954 | 0.99956 | 0.99959 |
| 15～19歳 | 20～24歳 | 0.99897 | 0.99902 | 0.99906 | 0.99909 | 0.99912 | 0.99915 |
| 20～24歳 | 25～29歳 | 0.99877 | 0.99882 | 0.99886 | 0.99890 | 0.99893 | 0.99895 |
| 25～29歳 | 30～34歳 | 0.99850 | 0.99858 | 0.99864 | 0.99869 | 0.99873 | 0.99876 |
| 30～34歳 | 35～39歳 | 0.99788 | 0.99800 | 0.99809 | 0.99817 | 0.99823 | 0.99829 |
| 35～39歳 | 40～44歳 | 0.99685 | 0.99702 | 0.99715 | 0.99727 | 0.99736 | 0.99745 |
| 40～44歳 | 45～49歳 | 0.99527 | 0.99553 | 0.99574 | 0.99591 | 0.99606 | 0.99619 |
| 45～49歳 | 50～54歳 | 0.99268 | 0.99308 | 0.99339 | 0.99366 | 0.99390 | 0.99411 |
| 50～54歳 | 55～59歳 | 0.98909 | 0.98968 | 0.99014 | 0.99054 | 0.99089 | 0.99120 |
| 55～59歳 | 60～64歳 | 0.98384 | 0.98470 | 0.98540 | 0.98602 | 0.98656 | 0.98705 |
| 60～64歳 | 65～69歳 | 0.97614 | 0.97739 | 0.97836 | 0.97922 | 0.97997 | 0.98063 |
| 65～69歳 | 70～74歳 | 0.96190 | 0.96403 | 0.96570 | 0.96713 | 0.96838 | 0.96948 |
| 70～74歳 | 75～79歳 | 0.93479 | 0.93901 | 0.94232 | 0.94514 | 0.94758 | 0.94971 |
| 75～79歳 | 80～84歳 | 0.88577 | 0.89414 | 0.90066 | 0.90627 | 0.91113 | 0.91539 |
| 80～84歳 | 85～89歳 | 0.80482 | 0.82048 | 0.83263 | 0.84307 | 0.85208 | 0.85989 |
| 85歳以上 | 90歳以上 | 0.55140 | 0.56854 | 0.58220 | 0.59422 | 0.60482 | 0.61418 |

(5) 移動に関する仮定

0～49歳の移動率の算定

本推計では、0～49歳の移動に関する仮定にコーホート変化率を使用している。コーホート変化率とは、各コーホートが一定の期間にどの程度増減するかを割合で表したものである。

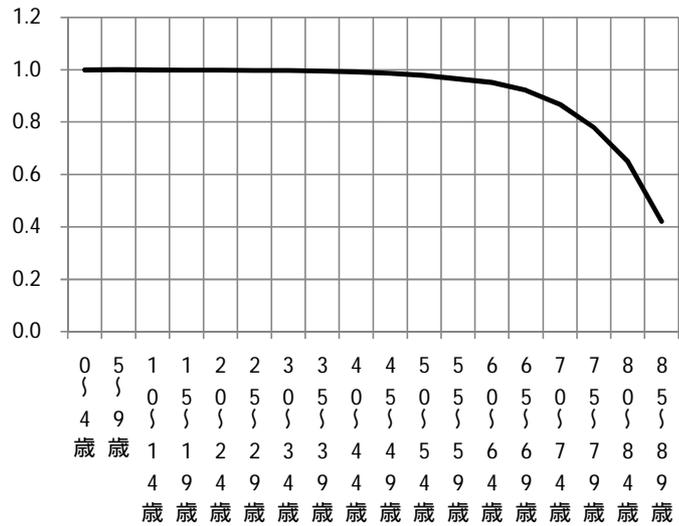
下表によると、2008年の0～4歳は7人であるが、彼らは5年後の2013年には5～9歳となっており、この間に人口は5人へと減少している。これを変化率で表すと、0.7143となる。人口減少の要因には、転出超過による社会減と死亡による自然減があるが、同コーホートの生残率は0.9993、計算上の死亡者数はほぼ0人であり、この人口減少はほぼ全てが社会減によるものであると言える。

図表 1-12 コーホート変化率算出の例（青根地域）

| | 2008年 (1) | | 2013年 (2) | コーホート変化率 (3)=(2)/(1) | 生残率 (4) | 死亡率 (5)=1-(4) | 死亡数 (6)=(1)×(5) |
|--------|--------------|--------|--------------|-------------------------|------------|------------------|--------------------|
| | | 0～4歳 | 4 | | | | |
| 0～4歳 | 7 | 5～9歳 | 5 | 0.7143 | 0.9993 | 0.0007 | 0.0052 |
| 5～9歳 | 7 | 10～14歳 | 7 | 1.0000 | 0.9997 | 0.0003 | 0.0023 |
| 10～14歳 | 15 | 15～19歳 | 12 | 0.8000 | 0.9992 | 0.0008 | 0.0117 |
| 15～19歳 | 12 | 20～24歳 | 8 | 0.6667 | 0.9981 | 0.0020 | 0.0234 |
| 20～24歳 | 22 | 25～29歳 | 16 | 0.7273 | 0.9976 | 0.0024 | 0.0519 |
| 25～29歳 | 16 | 30～34歳 | 10 | 0.6250 | 0.9973 | 0.0027 | 0.0438 |
| 30～34歳 | 6 | 35～39歳 | 2 | 0.3333 | 0.9965 | 0.0035 | 0.0212 |
| 35～39歳 | 16 | 40～44歳 | 14 | 0.8750 | 0.9946 | 0.0054 | 0.0869 |
| 40～44歳 | 22 | 45～49歳 | 21 | 0.9545 | 0.9915 | 0.0085 | 0.1870 |
| 45～49歳 | 18 | 50～54歳 | 18 | 1.0000 | 0.9867 | 0.0133 | 0.2396 |
| 50～54歳 | 30 | 55～59歳 | 26 | 0.8667 | 0.9781 | 0.0219 | 0.6570 |
| 55～59歳 | 32 | 60～64歳 | 35 | 1.0938 | 0.9647 | 0.0353 | 1.1286 |
| 60～64歳 | 23 | 65～69歳 | 25 | 1.0870 | 0.9511 | 0.0489 | 1.1240 |
| 65～69歳 | 19 | 70～74歳 | 19 | 1.0000 | 0.9211 | 0.0789 | 1.4995 |
| 70～74歳 | 26 | 75～79歳 | 36 | 1.3846 | 0.8681 | 0.1319 | 3.4294 |
| 75～79歳 | 24 | 80～84歳 | 33 | 1.3750 | 0.7801 | 0.2199 | 5.2783 |
| 80～84歳 | 28 | 85～89歳 | 27 | 0.9643 | 0.6499 | 0.3501 | 9.8036 |
| 85～89歳 | 4 | 90歳～ | 5 | 1.2500 | 0.4207 | 0.5793 | 2.3172 |
| 90歳～ | 2 | | | | | | |

生存率を年齢 5 歳階級別にみると、0～49 歳がほぼ 1.0 であるのに対し、50 歳以上となると急激に低下する傾向があることがわかる。よって、コーホート変化率を移動に関する仮定値として使用するのには 49 歳までが適当である。

図表 1-13 年齢 5 歳階級別生存率



50 歳以上の移動率の算定

50 歳以上の移動率は、地域により一定の差があるものの、人口規模の小さい地域単位では年ごとの変動が大きすぎるため、推計に用いるには適切でない。また、そもそも 50 歳以上のコーホートは 0～49 歳のコーホートに比べ移動の規模が非常に小さい。

よって本推計では、50 歳以上の移動率について地域別の仮定値を算定せず、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口（平成 25 年 3 月推計）」において示された相模原市の年齢 5 歳階級別純移動率を各地域にそのまま適用する。

地域別移動率の仮定値

地域別移動率の仮定値は次ページ以降の表(図表 1-14)及びグラフ(図表 1-15)に示した。移動率がプラスの場合は転入超過、マイナスの場合は転出超過を表す。グラフをみると、津久井地区、相模湖地区、藤野地区におおよそ共通する特徴として、10 歳代から 20 歳代にかけての大幅な転出超過があげられる。一方で、30 歳代では転入超過の地域と転出超過の地域が存在しており、これら 3 地区の中でも一部の地域に人口が集約されつつあることがわかる。

図表 1-14 地域別移動率

| | | 青根 | | 青野原 | | 青山 | | 太井 | |
|--------|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 |
| 0～4歳 | 5～9歳 | 0.126984 | -0.111111 | 0.185325 | 0.340351 | 0.021465 | 0.156763 | 0.243708 | 0.078373 |
| 5～9歳 | 10～14歳 | 0.128571 | -0.111111 | -0.053829 | -0.034695 | -0.004760 | 0.038926 | -0.017987 | 0.043665 |
| 10～14歳 | 15～19歳 | -0.066667 | -0.111111 | -0.017999 | -0.123782 | -0.067401 | -0.022475 | -0.022156 | -0.019934 |
| 15～19歳 | 20～24歳 | -0.338889 | -0.366451 | -0.234255 | -0.180665 | -0.167419 | -0.206656 | -0.137716 | -0.225199 |
| 20～24歳 | 25～29歳 | -0.322236 | -0.195513 | -0.156058 | -0.305696 | -0.261309 | -0.277423 | -0.070059 | -0.161525 |
| 25～29歳 | 30～34歳 | -0.358766 | -0.538961 | -0.140965 | -0.151146 | -0.100171 | -0.095814 | 0.071294 | 0.009298 |
| 30～34歳 | 35～39歳 | -0.407407 | -0.262500 | -0.096904 | -0.073232 | 0.010293 | -0.041412 | -0.035980 | 0.021733 |
| 35～39歳 | 40～44歳 | -0.009259 | 0.076923 | -0.097400 | -0.046080 | -0.005351 | 0.029630 | -0.034333 | 0.010893 |
| 40～44歳 | 45～49歳 | -0.015152 | 0.075641 | -0.021023 | 0.011111 | 0.008082 | -0.011423 | 0.050404 | -0.025159 |
| 45～49歳 | 50～54歳 | -0.013889 | -0.028382 | -0.008147 | -0.018790 | -0.028318 | -0.030075 | -0.042206 | -0.012801 |
| 50～54歳 | 55～59歳 | 0.003180 | 0.008360 | 0.003180 | 0.008360 | 0.003180 | 0.008360 | 0.003180 | 0.008360 |
| 55～59歳 | 60～64歳 | 0.001900 | 0.004830 | 0.001900 | 0.004830 | 0.001900 | 0.004830 | 0.001900 | 0.004830 |
| 60～64歳 | 65～69歳 | 0.004650 | 0.009610 | 0.004650 | 0.009610 | 0.004650 | 0.009610 | 0.004650 | 0.009610 |
| 65～69歳 | 70～74歳 | 0.007720 | 0.009820 | 0.007720 | 0.009820 | 0.007720 | 0.009820 | 0.007720 | 0.009820 |
| 70～74歳 | 75～79歳 | 0.008610 | 0.012000 | 0.008610 | 0.012000 | 0.008610 | 0.012000 | 0.008610 | 0.012000 |
| 75～79歳 | 80～84歳 | 0.007840 | 0.017970 | 0.007840 | 0.017970 | 0.007840 | 0.017970 | 0.007840 | 0.017970 |
| 80～84歳 | 85～89歳 | 0.004710 | 0.019330 | 0.004710 | 0.019330 | 0.004710 | 0.019330 | 0.004710 | 0.019330 |
| 85歳以上 | 90歳以上 | 0.028130 | 0.045090 | 0.028130 | 0.045090 | 0.028130 | 0.045090 | 0.028130 | 0.045090 |

| | | 鳥屋 | | 長竹 | | 中野 | | 根小屋 | |
|--------|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 |
| 0～4歳 | 5～9歳 | 0.177382 | -0.096472 | -0.173352 | 0.005724 | 0.123796 | 0.179241 | 0.024764 | 0.110380 |
| 5～9歳 | 10～14歳 | 0.081941 | -0.016101 | -0.105089 | 0.054874 | 0.150545 | 0.069334 | -0.024668 | -0.065011 |
| 10～14歳 | 15～19歳 | -0.065561 | -0.025784 | -0.034949 | -0.005905 | 0.018206 | 0.006364 | -0.039649 | -0.067340 |
| 15～19歳 | 20～24歳 | -0.183589 | -0.263384 | -0.200757 | -0.265285 | -0.094091 | -0.182271 | -0.185984 | -0.178233 |
| 20～24歳 | 25～29歳 | -0.267789 | -0.310142 | -0.306075 | -0.235518 | -0.203430 | -0.236007 | -0.137657 | -0.265351 |
| 25～29歳 | 30～34歳 | -0.135825 | -0.221316 | -0.172370 | -0.279675 | -0.114390 | -0.115412 | -0.139589 | -0.179601 |
| 30～34歳 | 35～39歳 | 0.101041 | 0.069157 | -0.141446 | -0.131940 | 0.005860 | -0.039359 | -0.062582 | 0.009309 |
| 35～39歳 | 40～44歳 | 0.125263 | 0.104638 | -0.016533 | -0.069138 | 0.034137 | 0.085229 | -0.042996 | -0.052677 |
| 40～44歳 | 45～49歳 | 0.055622 | -0.016487 | -0.023810 | -0.016057 | -0.023821 | -0.006939 | 0.004970 | -0.069189 |
| 45～49歳 | 50～54歳 | -0.043769 | -0.038499 | -0.009678 | 0.001326 | -0.018264 | -0.021919 | -0.041078 | -0.022556 |
| 50～54歳 | 55～59歳 | 0.003180 | 0.008360 | 0.003180 | 0.008360 | 0.003180 | 0.008360 | 0.003180 | 0.008360 |
| 55～59歳 | 60～64歳 | 0.001900 | 0.004830 | 0.001900 | 0.004830 | 0.001900 | 0.004830 | 0.001900 | 0.004830 |
| 60～64歳 | 65～69歳 | 0.004650 | 0.009610 | 0.004650 | 0.009610 | 0.004650 | 0.009610 | 0.004650 | 0.009610 |
| 65～69歳 | 70～74歳 | 0.007720 | 0.009820 | 0.007720 | 0.009820 | 0.007720 | 0.009820 | 0.007720 | 0.009820 |
| 70～74歳 | 75～79歳 | 0.008610 | 0.012000 | 0.008610 | 0.012000 | 0.008610 | 0.012000 | 0.008610 | 0.012000 |
| 75～79歳 | 80～84歳 | 0.007840 | 0.017970 | 0.007840 | 0.017970 | 0.007840 | 0.017970 | 0.007840 | 0.017970 |
| 80～84歳 | 85～89歳 | 0.004710 | 0.019330 | 0.004710 | 0.019330 | 0.004710 | 0.019330 | 0.004710 | 0.019330 |
| 85歳以上 | 90歳以上 | 0.028130 | 0.045090 | 0.028130 | 0.045090 | 0.028130 | 0.045090 | 0.028130 | 0.045090 |

| | | 又野 | | 三井 | | 三ヶ木 | | 小原 | |
|--------|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 |
| 0～4歳 | 5～9歳 | 0.385313 | 0.353405 | -0.383918 | -0.208664 | 0.108889 | 0.127230 | -0.003030 | 0.166667 |
| 5～9歳 | 10～14歳 | 0.062675 | 0.156881 | 0.060541 | -0.210012 | -0.023200 | 0.013717 | -0.070370 | 0.003704 |
| 10～14歳 | 15～19歳 | 0.037088 | 0.054383 | -0.056299 | -0.080515 | -0.043065 | -0.096851 | 0.004630 | -0.185185 |
| 15～19歳 | 20～24歳 | -0.211634 | -0.094874 | -0.123457 | 0.043636 | -0.105618 | -0.191293 | -0.095344 | -0.025641 |
| 20～24歳 | 25～29歳 | -0.200901 | -0.334296 | -0.231728 | -0.058304 | -0.079344 | -0.223491 | -0.328433 | -0.353067 |
| 25～29歳 | 30～34歳 | -0.139744 | -0.132858 | -0.050637 | -0.054113 | -0.072432 | -0.041644 | -0.302694 | 0.040293 |
| 30～34歳 | 35～39歳 | 0.056127 | 0.151424 | 0.030258 | -0.257133 | 0.010222 | 0.095178 | 0.023810 | -0.194444 |
| 35～39歳 | 40～44歳 | 0.133464 | 0.178125 | -0.006151 | -0.208623 | -0.032904 | -0.009984 | -0.132585 | -0.083995 |
| 40～44歳 | 45～49歳 | 0.083351 | 0.023884 | -0.065079 | -0.055356 | -0.009180 | -0.071013 | -0.038708 | 0.044643 |
| 45～49歳 | 50～54歳 | -0.030562 | -0.140107 | 0.044007 | 0.025641 | -0.029646 | -0.029712 | -0.183333 | -0.142266 |
| 50～54歳 | 55～59歳 | 0.003180 | 0.008360 | 0.003180 | 0.008360 | 0.003180 | 0.008360 | 0.003180 | 0.008360 |
| 55～59歳 | 60～64歳 | 0.001900 | 0.004830 | 0.001900 | 0.004830 | 0.001900 | 0.004830 | 0.001900 | 0.004830 |
| 60～64歳 | 65～69歳 | 0.004650 | 0.009610 | 0.004650 | 0.009610 | 0.004650 | 0.009610 | 0.004650 | 0.009610 |
| 65～69歳 | 70～74歳 | 0.007720 | 0.009820 | 0.007720 | 0.009820 | 0.007720 | 0.009820 | 0.007720 | 0.009820 |
| 70～74歳 | 75～79歳 | 0.008610 | 0.012000 | 0.008610 | 0.012000 | 0.008610 | 0.012000 | 0.008610 | 0.012000 |
| 75～79歳 | 80～84歳 | 0.007840 | 0.017970 | 0.007840 | 0.017970 | 0.007840 | 0.017970 | 0.007840 | 0.017970 |
| 80～84歳 | 85～89歳 | 0.004710 | 0.019330 | 0.004710 | 0.019330 | 0.004710 | 0.019330 | 0.004710 | 0.019330 |
| 85歳以上 | 90歳以上 | 0.028130 | 0.045090 | 0.028130 | 0.045090 | 0.028130 | 0.045090 | 0.028130 | 0.045090 |

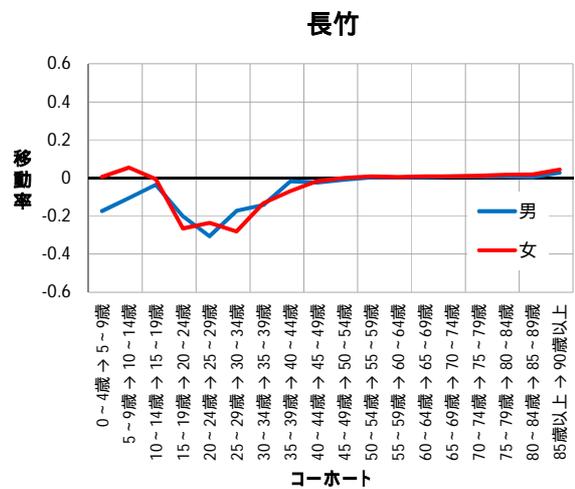
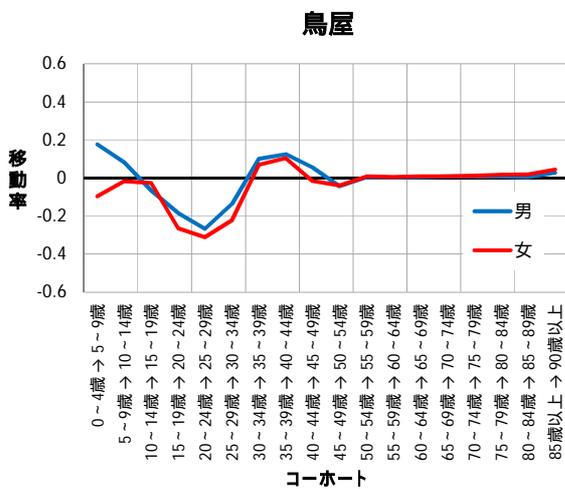
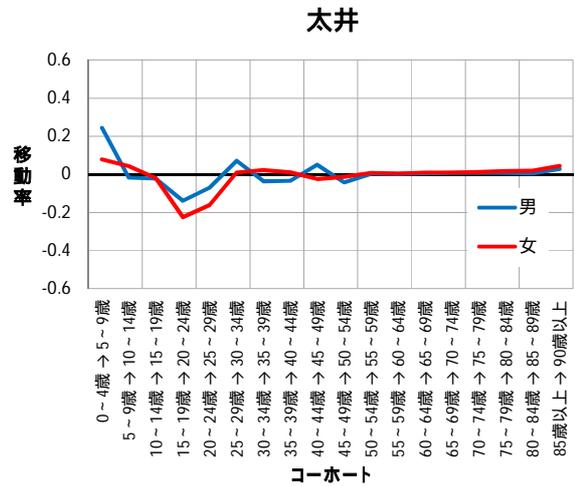
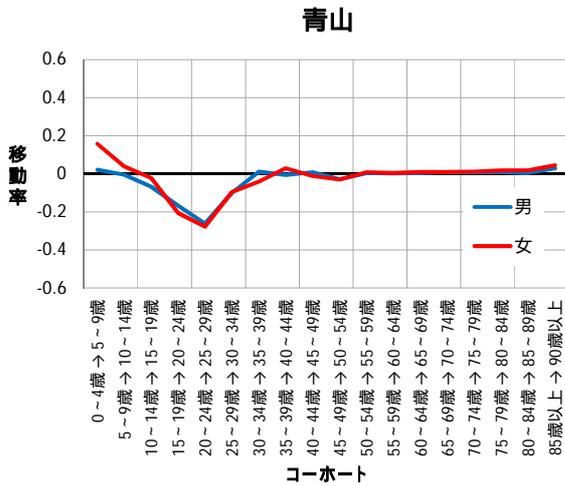
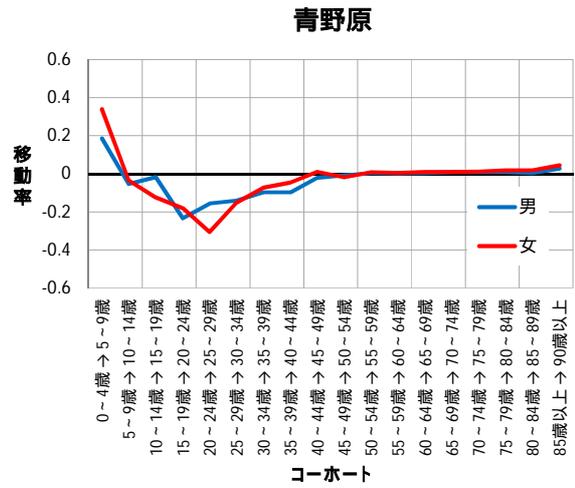
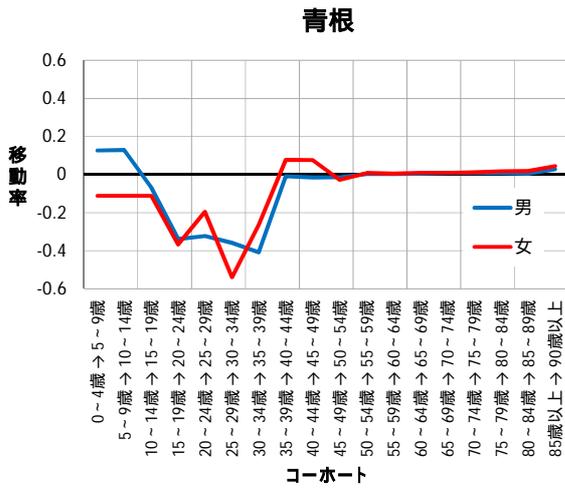
図表 1-14 地域別移動率 - つづき -

| | | 寸沢嵐 | | 千木良 | | 与瀬+与瀬本町 | | 若柳 | |
|--------|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 |
| 0～4歳 | 5～9歳 | 0.183884 | 0.181517 | 0.008629 | -0.069902 | 0.319549 | 0.017544 | 0.224257 | 0.063453 |
| 5～9歳 | 10～14歳 | 0.003664 | -0.028864 | -0.002480 | 0.010678 | 0.047680 | -0.004074 | 0.053704 | 0.013889 |
| 10～14歳 | 15～19歳 | -0.005993 | -0.052591 | -0.068279 | -0.007576 | 0.044532 | 0.050031 | -0.067890 | 0.022623 |
| 15～19歳 | 20～24歳 | -0.086668 | -0.084145 | -0.263923 | -0.222758 | -0.125784 | -0.094014 | -0.128644 | -0.243664 |
| 20～24歳 | 25～29歳 | -0.348371 | -0.417179 | -0.261111 | -0.295263 | -0.350249 | -0.372570 | -0.370931 | -0.336009 |
| 25～29歳 | 30～34歳 | -0.144837 | -0.207104 | -0.145455 | -0.180760 | -0.195049 | -0.117018 | -0.214631 | -0.178063 |
| 30～34歳 | 35～39歳 | -0.054250 | 0.022807 | -0.082890 | 0.082670 | -0.069623 | -0.034998 | -0.000805 | 0.066040 |
| 35～39歳 | 40～44歳 | 0.092885 | -0.000741 | 0.060165 | 0.055915 | -0.053763 | -0.000606 | -0.029540 | 0.125682 |
| 40～44歳 | 45～49歳 | -0.026973 | 0.044970 | -0.035865 | -0.041727 | 0.029877 | -0.041319 | -0.023421 | -0.080713 |
| 45～49歳 | 50～54歳 | 0.034954 | -0.025966 | -0.051034 | -0.029816 | -0.035401 | 0.014945 | 0.065971 | -0.026290 |
| 50～54歳 | 55～59歳 | 0.003180 | 0.008360 | 0.003180 | 0.008360 | 0.003180 | 0.008360 | 0.003180 | 0.008360 |
| 55～59歳 | 60～64歳 | 0.001900 | 0.004830 | 0.001900 | 0.004830 | 0.001900 | 0.004830 | 0.001900 | 0.004830 |
| 60～64歳 | 65～69歳 | 0.004650 | 0.009610 | 0.004650 | 0.009610 | 0.004650 | 0.009610 | 0.004650 | 0.009610 |
| 65～69歳 | 70～74歳 | 0.007720 | 0.009820 | 0.007720 | 0.009820 | 0.007720 | 0.009820 | 0.007720 | 0.009820 |
| 70～74歳 | 75～79歳 | 0.008610 | 0.012000 | 0.008610 | 0.012000 | 0.008610 | 0.012000 | 0.008610 | 0.012000 |
| 75～79歳 | 80～84歳 | 0.007840 | 0.017970 | 0.007840 | 0.017970 | 0.007840 | 0.017970 | 0.007840 | 0.017970 |
| 80～84歳 | 85～89歳 | 0.004710 | 0.019330 | 0.004710 | 0.019330 | 0.004710 | 0.019330 | 0.004710 | 0.019330 |
| 85歳以上 | 90歳以上 | 0.028130 | 0.045090 | 0.028130 | 0.045090 | 0.028130 | 0.045090 | 0.028130 | 0.045090 |

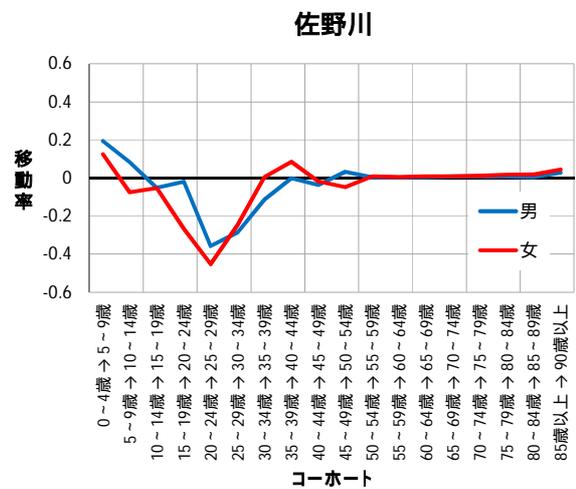
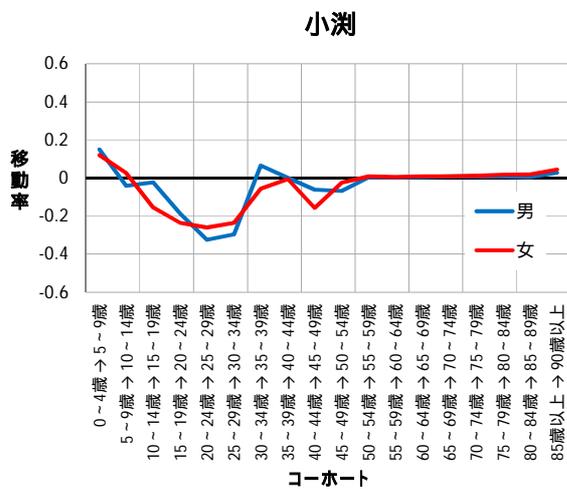
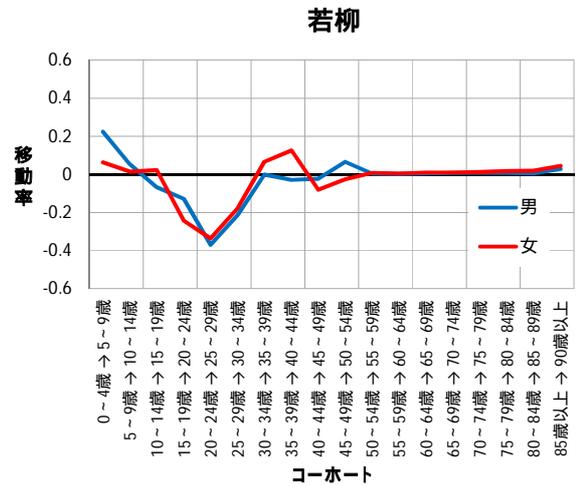
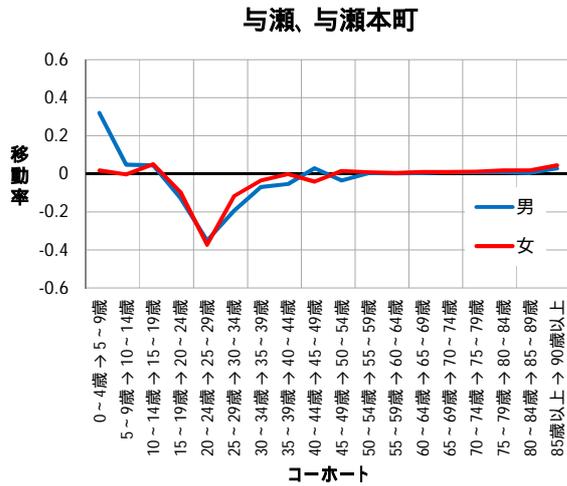
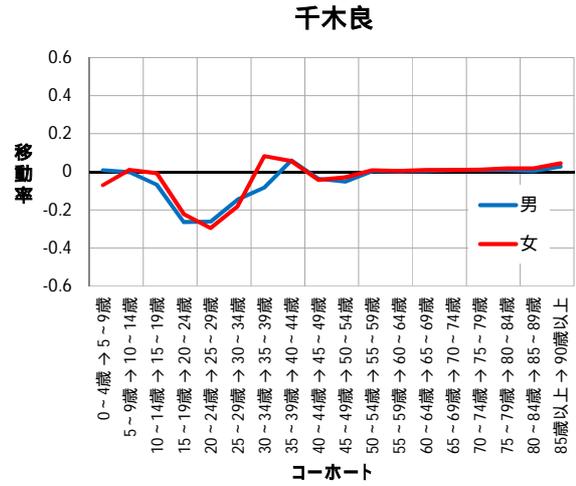
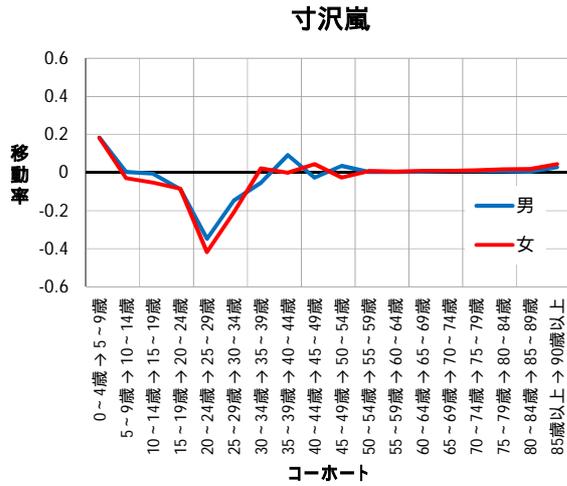
| | | 小淵 | | 佐野川 | | 澤井 | | 名倉 | |
|--------|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 |
| 0～4歳 | 5～9歳 | 0.150000 | 0.121324 | 0.194444 | 0.125000 | 0.238095 | -0.180556 | 0.513158 | 1.318182 |
| 5～9歳 | 10～14歳 | -0.040541 | 0.026316 | 0.083333 | -0.075000 | 0.000000 | -0.029412 | 0.406818 | 0.167582 |
| 10～14歳 | 15～19歳 | -0.021978 | -0.154703 | -0.051316 | -0.053221 | -0.038462 | 0.000000 | 0.197981 | 0.057143 |
| 15～19歳 | 20～24歳 | -0.186659 | -0.236111 | -0.018473 | -0.266667 | -0.365476 | -0.160714 | -0.149206 | -0.214744 |
| 20～24歳 | 25～29歳 | -0.324200 | -0.260153 | -0.357684 | -0.452918 | -0.343990 | -0.384091 | -0.287500 | -0.326389 |
| 25～29歳 | 30～34歳 | -0.296667 | -0.236071 | -0.285714 | -0.246032 | -0.068478 | 0.088235 | -0.383333 | 0.000000 |
| 30～34歳 | 35～39歳 | 0.065387 | -0.056645 | -0.114177 | 0.004545 | -0.003676 | -0.354167 | -0.013889 | 0.424561 |
| 35～39歳 | 40～44歳 | 0.001300 | -0.006250 | -0.001277 | 0.085145 | -0.179167 | 0.101010 | 0.231933 | 0.227083 |
| 40～44歳 | 45～49歳 | -0.061121 | -0.157302 | -0.036099 | -0.017273 | 0.047619 | -0.083333 | 0.077178 | 0.316796 |
| 45～49歳 | 50～54歳 | -0.067570 | -0.024901 | 0.032609 | -0.048387 | 0.058824 | -0.055556 | 0.011628 | 0.026316 |
| 50～54歳 | 55～59歳 | 0.003180 | 0.008360 | 0.003180 | 0.008360 | 0.003180 | 0.008360 | 0.003180 | 0.008360 |
| 55～59歳 | 60～64歳 | 0.001900 | 0.004830 | 0.001900 | 0.004830 | 0.001900 | 0.004830 | 0.001900 | 0.004830 |
| 60～64歳 | 65～69歳 | 0.004650 | 0.009610 | 0.004650 | 0.009610 | 0.004650 | 0.009610 | 0.004650 | 0.009610 |
| 65～69歳 | 70～74歳 | 0.007720 | 0.009820 | 0.007720 | 0.009820 | 0.007720 | 0.009820 | 0.007720 | 0.009820 |
| 70～74歳 | 75～79歳 | 0.008610 | 0.012000 | 0.008610 | 0.012000 | 0.008610 | 0.012000 | 0.008610 | 0.012000 |
| 75～79歳 | 80～84歳 | 0.007840 | 0.017970 | 0.007840 | 0.017970 | 0.007840 | 0.017970 | 0.007840 | 0.017970 |
| 80～84歳 | 85～89歳 | 0.004710 | 0.019330 | 0.004710 | 0.019330 | 0.004710 | 0.019330 | 0.004710 | 0.019330 |
| 85歳以上 | 90歳以上 | 0.028130 | 0.045090 | 0.028130 | 0.045090 | 0.028130 | 0.045090 | 0.028130 | 0.045090 |

| | | 日連 | | 牧野 | | 吉野 | |
|--------|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 |
| 0～4歳 | 5～9歳 | 0.252304 | 0.255719 | 0.222222 | 0.147059 | 0.065217 | -0.083333 |
| 5～9歳 | 10～14歳 | -0.166667 | -0.052323 | -0.074537 | 0.031250 | 0.035714 | -0.067853 |
| 10～14歳 | 15～19歳 | -0.090710 | -0.000947 | -0.059063 | -0.046512 | -0.110606 | -0.163889 |
| 15～19歳 | 20～24歳 | -0.217188 | -0.129762 | -0.233274 | -0.252660 | -0.080075 | -0.217227 |
| 20～24歳 | 25～29歳 | -0.161121 | -0.273860 | -0.248208 | -0.255570 | -0.317335 | -0.464074 |
| 25～29歳 | 30～34歳 | -0.139595 | 0.037879 | -0.130360 | -0.203008 | -0.075758 | -0.031818 |
| 30～34歳 | 35～39歳 | -0.023810 | -0.174941 | -0.009259 | 0.302553 | 0.000000 | -0.164729 |
| 35～39歳 | 40～44歳 | 0.007527 | -0.025246 | 0.040479 | -0.018311 | 0.167279 | 0.212798 |
| 40～44歳 | 45～49歳 | 0.042659 | 0.011101 | -0.048958 | -0.051044 | -0.060389 | -0.092157 |
| 45～49歳 | 50～54歳 | -0.069794 | -0.042769 | -0.093784 | -0.024590 | 0.000000 | -0.025321 |
| 50～54歳 | 55～59歳 | 0.003180 | 0.008360 | 0.003180 | 0.008360 | 0.003180 | 0.008360 |
| 55～59歳 | 60～64歳 | 0.001900 | 0.004830 | 0.001900 | 0.004830 | 0.001900 | 0.004830 |
| 60～64歳 | 65～69歳 | 0.004650 | 0.009610 | 0.004650 | 0.009610 | 0.004650 | 0.009610 |
| 65～69歳 | 70～74歳 | 0.007720 | 0.009820 | 0.007720 | 0.009820 | 0.007720 | 0.009820 |
| 70～74歳 | 75～79歳 | 0.008610 | 0.012000 | 0.008610 | 0.012000 | 0.008610 | 0.012000 |
| 75～79歳 | 80～84歳 | 0.007840 | 0.017970 | 0.007840 | 0.017970 | 0.007840 | 0.017970 |
| 80～84歳 | 85～89歳 | 0.004710 | 0.019330 | 0.004710 | 0.019330 | 0.004710 | 0.019330 |
| 85歳以上 | 90歳以上 | 0.028130 | 0.045090 | 0.028130 | 0.045090 | 0.028130 | 0.045090 |

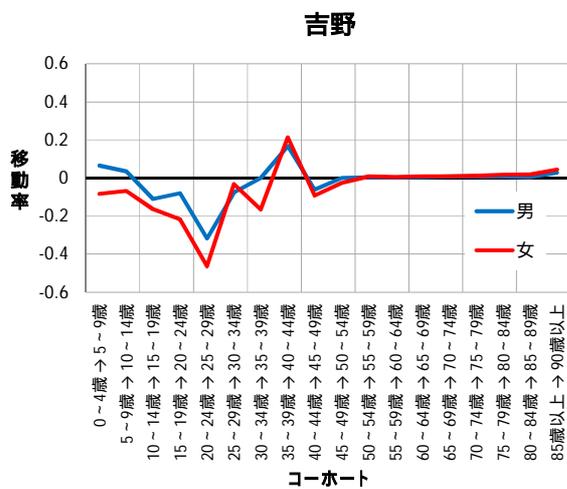
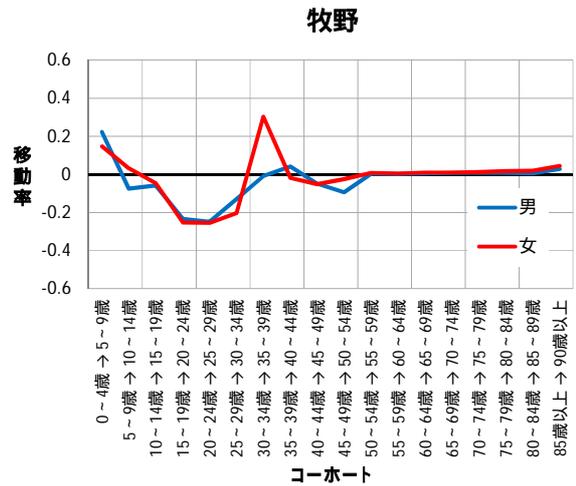
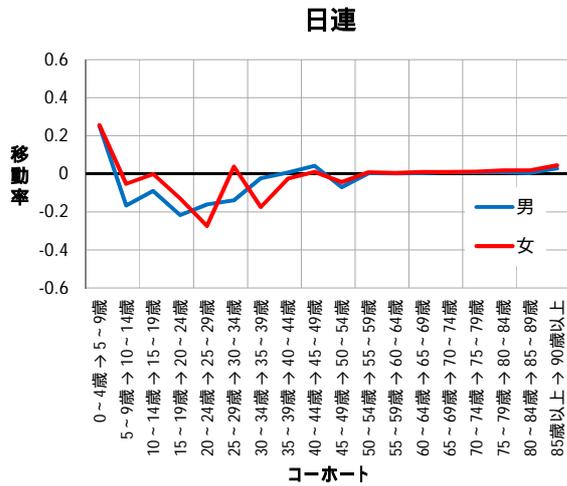
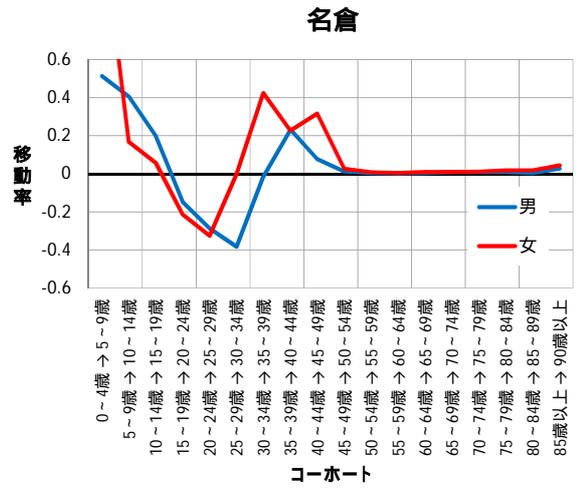
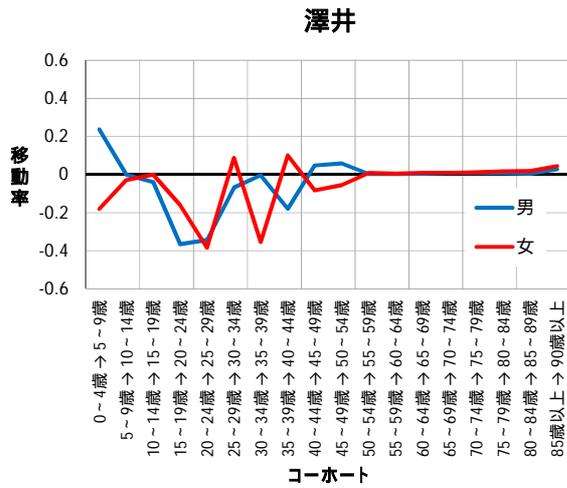
図表 1-15 地域別移動率（グラフ）



図表 1-15 地域別移動率（グラフ） - つづき -



図表 1-15 地域別移動率（グラフ） - つづき -



3 推計結果

(1) 地域別の推計結果

地域別の推計結果は、次の表に示す各ページに詳細を記載した。

人口と高齢化の推移（H25～H55）

「人口と高齢化の推移（H25～H55）」のグラフでは、総人口の推移に加え、0～14歳の年少人口、15～64歳の生産年齢人口、65歳以上の高齢者人口の年齢3区分別の人口の推移を示した。また、これに基づく高齢化率の推移も示した。

高齢者の内訳推移

「高齢者の内訳推移」のグラフでは、高齢者人口を比較的健康で活動力の高い65～74歳、要介護認定率が大幅に上昇する後期高齢者となる75歳～84歳、85歳以上の3区分別の人口の推移を示した。

人口増減の内訳と推移

「人口増減の内訳と推移」のグラフでは、人口増減が出生、死亡、移動のどの要因によって起こっており、それがどのように変化していくのかを示した。

人口ピラミッド

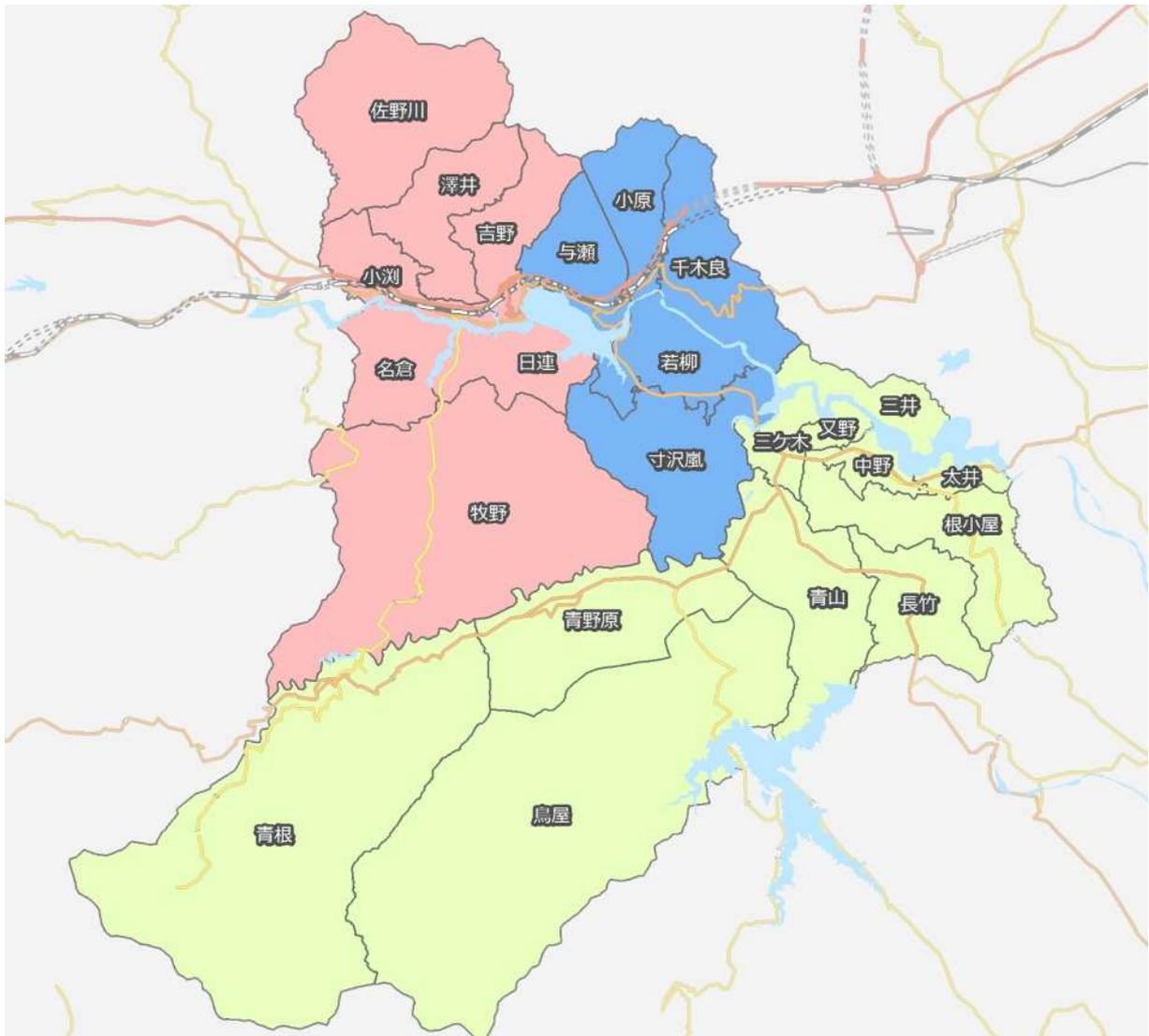
「人口ピラミッド」では、現在の人口構成が30年後にどのように変化するかを示した。

なお、本推計では主に和暦を使用しているが、他資料等との照合に都合が良いように、以下に和暦 - 西暦の一覧を記載する。

和暦 - 西暦一覧

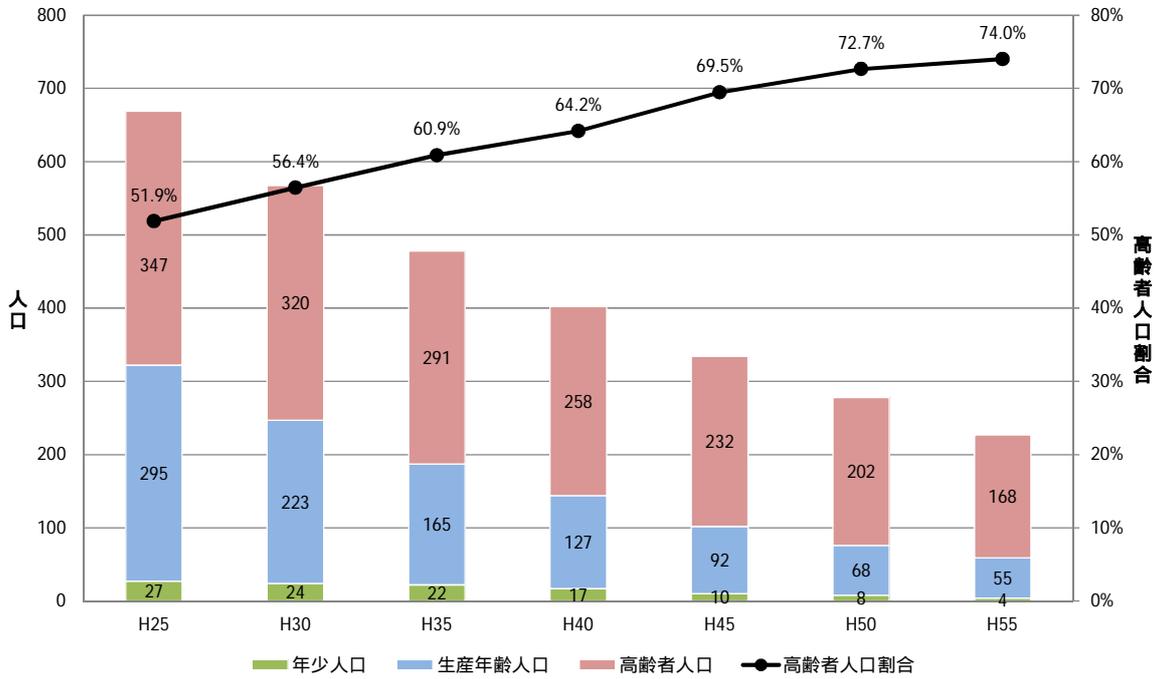
| 和暦 | 西暦 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 昭和36 | 1961 | 昭和56 | 1981 | 平成13 | 2001 | 平成33 | 2021 | 平成53 | 2041 |
| 37 | 1962 | 57 | 1982 | 14 | 2002 | 34 | 2022 | 54 | 2042 |
| 38 | 1963 | 58 | 1983 | 15 | 2003 | 35 | 2023 | 55 | 2043 |
| 39 | 1964 | 59 | 1984 | 16 | 2004 | 36 | 2024 | 56 | 2044 |
| 40 | 1965 | 60 | 1985 | 17 | 2005 | 37 | 2025 | 57 | 2045 |
| 41 | 1966 | 61 | 1986 | 18 | 2006 | 38 | 2026 | 58 | 2046 |
| 42 | 1967 | 62 | 1987 | 19 | 2007 | 39 | 2027 | 59 | 2047 |
| 43 | 1968 | 63 | 1988 | 20 | 2008 | 40 | 2028 | 60 | 2048 |
| 44 | 1969 | 平成元 | 1989 | 21 | 2009 | 41 | 2029 | 61 | 2049 |
| 45 | 1970 | 2 | 1990 | 22 | 2010 | 42 | 2030 | 62 | 2050 |
| 46 | 1971 | 3 | 1991 | 23 | 2011 | 43 | 2031 | 63 | 2051 |
| 47 | 1972 | 4 | 1992 | 24 | 2012 | 44 | 2032 | 64 | 2052 |
| 48 | 1973 | 5 | 1993 | 25 | 2013 | 45 | 2033 | 65 | 2053 |
| 49 | 1974 | 6 | 1994 | 26 | 2014 | 46 | 2034 | 66 | 2054 |
| 50 | 1975 | 7 | 1995 | 27 | 2015 | 47 | 2035 | 67 | 2055 |
| 51 | 1976 | 8 | 1996 | 28 | 2016 | 48 | 2036 | 68 | 2056 |
| 52 | 1977 | 9 | 1997 | 29 | 2017 | 49 | 2037 | 69 | 2057 |
| 53 | 1978 | 10 | 1998 | 30 | 2018 | 50 | 2038 | 70 | 2058 |
| 54 | 1979 | 11 | 1999 | 31 | 2019 | 51 | 2039 | 71 | 2059 |
| 55 | 1980 | 12 | 2000 | 32 | 2020 | 52 | 2040 | 72 | 2060 |

| 津久井地区 | | | 相模湖地区 | | | 藤野地区 | | |
|----------|-----|-----|---------|---------|-----|--------|-----|-----|
| 津久井 - 1 | 青根 | P42 | 相模湖 - 1 | 小原 | P64 | 藤野 - 1 | 小淵 | P74 |
| 津久井 - 2 | 青野原 | P44 | 相模湖 - 2 | 寸沢嵐 | P66 | 藤野 - 2 | 佐野川 | P76 |
| 津久井 - 3 | 青山 | P46 | 相模湖 - 3 | 千木良 | P68 | 藤野 - 3 | 澤井 | P78 |
| 津久井 - 4 | 太井 | P48 | 相模湖 - 4 | 与瀬、与瀬本町 | P70 | 藤野 - 4 | 名倉 | P80 |
| 津久井 - 5 | 鳥屋 | P50 | 相模湖 - 5 | 若柳 | P72 | 藤野 - 5 | 日連 | P82 |
| 津久井 - 6 | 長竹 | P52 | | | | 藤野 - 6 | 牧野 | P84 |
| 津久井 - 7 | 中野 | P54 | | | | 藤野 - 7 | 吉野 | P86 |
| 津久井 - 8 | 根小屋 | P56 | | | | | | |
| 津久井 - 9 | 又野 | P58 | | | | | | |
| 津久井 - 10 | 三井 | P60 | | | | | | |
| 津久井 - 11 | 三ヶ木 | P62 | | | | | | |

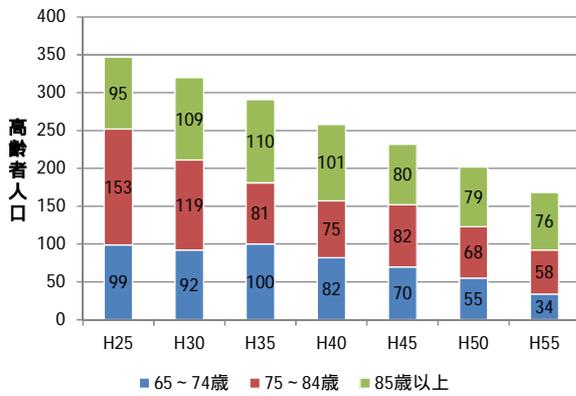


津久井 - 1 青根

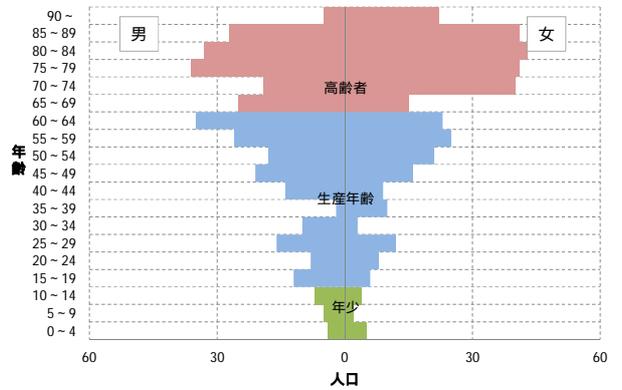
人口と高齢化の推移 (H25 ~ H55)



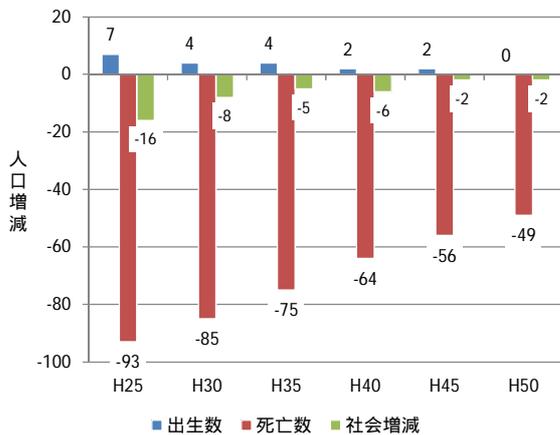
高齢者の内訳推移



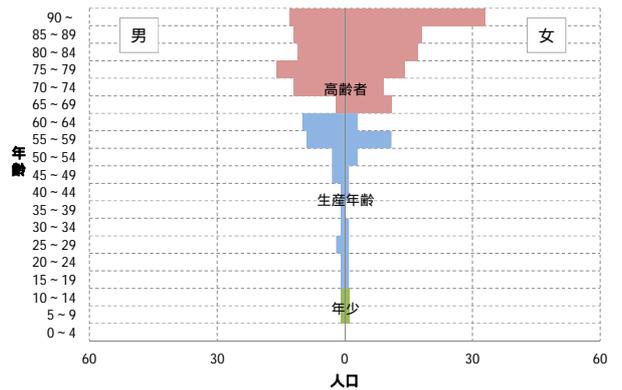
人口ピラミッド (H25)



人口増減の内訳と推移



人口ピラミッド (H55)



推計結果一覧

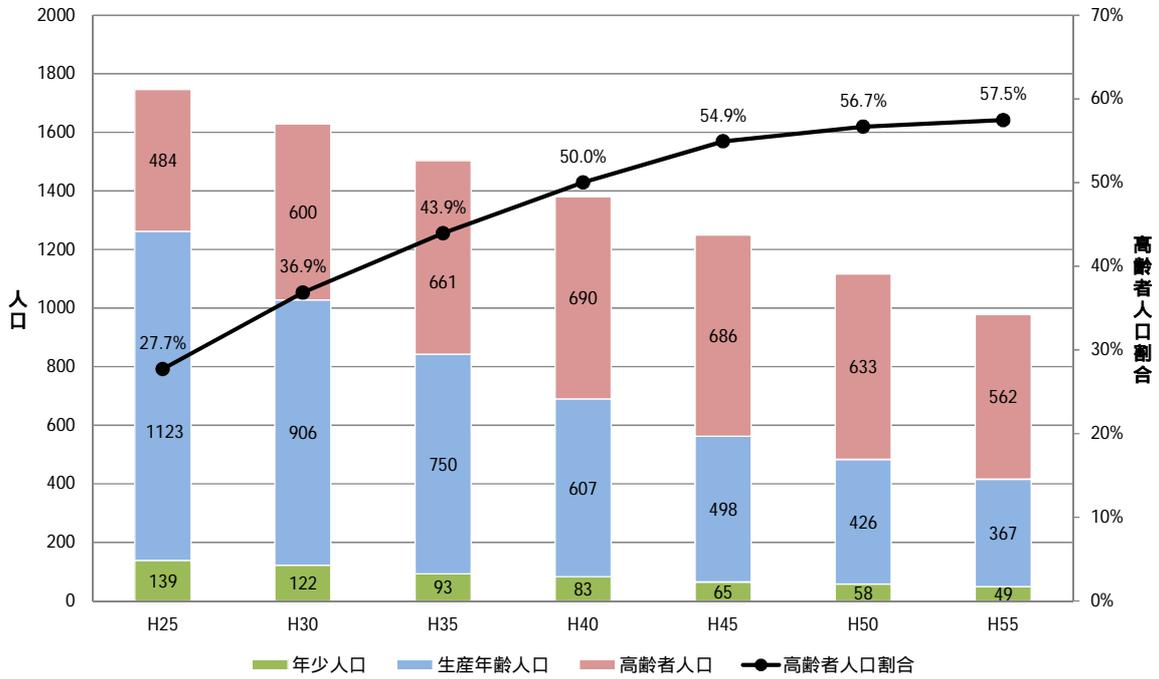
| 年 | | 総人口 | 年少人口 | 生産年齢人口 | 高齢者人口 | 年少人口割合 | 生産年齢人口割合 | 高齢者人口割合 | 出生数 | 死亡数 | 自然増減 | 社会増減 |
|------|------|-----|------|--------|-------|--------|----------|---------|-----|-----|------|------|
| 平成25 | 2013 | 669 | 27 | 295 | 347 | 4.0% | 44.1% | 51.9% | 7 | 93 | -86 | -16 |
| 30 | 2018 | 567 | 24 | 223 | 320 | 4.2% | 39.3% | 56.4% | 4 | 85 | -81 | -8 |
| 35 | 2023 | 478 | 22 | 165 | 291 | 4.6% | 34.5% | 60.9% | 4 | 75 | -71 | -5 |
| 40 | 2028 | 402 | 17 | 127 | 258 | 4.2% | 31.6% | 64.2% | 2 | 64 | -62 | -6 |
| 45 | 2033 | 334 | 10 | 92 | 232 | 3.0% | 27.5% | 69.5% | 2 | 56 | -54 | -2 |
| 50 | 2038 | 278 | 8 | 68 | 202 | 2.9% | 24.5% | 72.7% | 0 | 49 | -49 | -2 |
| 55 | 2043 | 227 | 4 | 55 | 168 | 1.8% | 24.2% | 74.0% | | | | |

推計結果一覧（年齢5歳階級別）

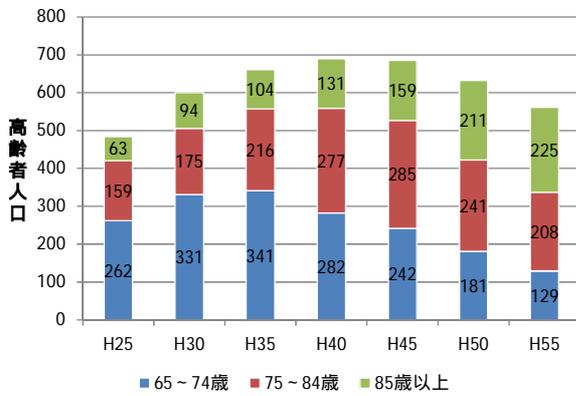
| 年齢 | 平成25年 2013年 | | | 平成30年 2018年 | | | 平成35年 2023年 | | | 平成40年 2028年 | | |
|-------|----------------|-----|-----|----------------|-----|-----|----------------|-----|-----|----------------|-----|-----|
| | 男 | 女 | 全体 |
| 0～4 | 4 | 5 | 9 | 5 | 3 | 8 | 2 | 2 | 4 | 2 | 2 | 4 |
| 5～9 | 5 | 2 | 7 | 5 | 4 | 9 | 6 | 3 | 9 | 2 | 2 | 4 |
| 10～14 | 7 | 4 | 11 | 5 | 2 | 7 | 5 | 4 | 9 | 6 | 3 | 9 |
| 15～19 | 12 | 6 | 18 | 5 | 3 | 8 | 3 | 1 | 4 | 3 | 3 | 6 |
| 20～24 | 8 | 8 | 16 | 8 | 5 | 13 | 3 | 2 | 5 | 2 | 1 | 3 |
| 25～29 | 16 | 12 | 28 | 5 | 4 | 9 | 5 | 2 | 7 | 2 | 1 | 3 |
| 30～34 | 10 | 3 | 13 | 9 | 9 | 18 | 3 | 3 | 6 | 3 | 1 | 4 |
| 35～39 | 2 | 10 | 12 | 10 | 3 | 13 | 9 | 10 | 19 | 3 | 3 | 6 |
| 40～44 | 14 | 9 | 23 | 2 | 11 | 13 | 10 | 3 | 13 | 9 | 11 | 20 |
| 45～49 | 21 | 16 | 37 | 14 | 9 | 23 | 2 | 11 | 13 | 10 | 3 | 13 |
| 50～54 | 18 | 21 | 39 | 21 | 16 | 37 | 14 | 9 | 23 | 2 | 11 | 13 |
| 55～59 | 26 | 25 | 51 | 18 | 21 | 39 | 21 | 16 | 37 | 14 | 9 | 23 |
| 60～64 | 35 | 23 | 58 | 25 | 25 | 50 | 17 | 21 | 38 | 20 | 16 | 36 |
| 65～69 | 25 | 15 | 40 | 33 | 22 | 55 | 24 | 24 | 48 | 16 | 21 | 37 |
| 70～74 | 19 | 40 | 59 | 23 | 14 | 37 | 31 | 21 | 52 | 22 | 23 | 45 |
| 75～79 | 36 | 41 | 77 | 16 | 38 | 54 | 20 | 13 | 33 | 27 | 20 | 47 |
| 80～84 | 33 | 43 | 76 | 28 | 37 | 65 | 13 | 35 | 48 | 16 | 12 | 28 |
| 85～89 | 27 | 41 | 68 | 22 | 37 | 59 | 20 | 31 | 51 | 9 | 30 | 39 |
| 90～ | 5 | 22 | 27 | 13 | 37 | 50 | 15 | 44 | 59 | 16 | 46 | 62 |
| 計 | 323 | 346 | 669 | 267 | 300 | 567 | 223 | 255 | 478 | 184 | 218 | 402 |

| 年齢 | 平成45年 2033年 | | | 平成50年 2038年 | | | 平成55年 2043年 | | |
|-------|----------------|-----|-----|----------------|-----|-----|----------------|-----|-----|
| | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 |
| 0～4 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| 5～9 | 2 | 2 | 4 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 |
| 10～14 | 2 | 2 | 4 | 2 | 2 | 4 | 1 | 1 | 2 |
| 15～19 | 4 | 2 | 6 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 |
| 20～24 | 2 | 2 | 4 | 3 | 2 | 5 | 1 | 1 | 2 |
| 25～29 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 1 | 3 |
| 30～34 | 1 | 1 | 2 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 2 |
| 35～39 | 3 | 1 | 4 | 1 | 1 | 2 | 1 | 0 | 1 |
| 40～44 | 3 | 3 | 6 | 3 | 1 | 4 | 1 | 1 | 2 |
| 45～49 | 9 | 11 | 20 | 3 | 3 | 6 | 3 | 1 | 4 |
| 50～54 | 10 | 3 | 13 | 9 | 11 | 20 | 3 | 3 | 6 |
| 55～59 | 2 | 11 | 13 | 10 | 3 | 13 | 9 | 11 | 20 |
| 60～64 | 14 | 9 | 23 | 2 | 11 | 13 | 10 | 3 | 13 |
| 65～69 | 19 | 16 | 35 | 13 | 9 | 22 | 2 | 11 | 13 |
| 70～74 | 15 | 20 | 35 | 18 | 15 | 33 | 12 | 9 | 21 |
| 75～79 | 20 | 22 | 42 | 13 | 19 | 32 | 16 | 14 | 30 |
| 80～84 | 22 | 18 | 40 | 16 | 20 | 36 | 11 | 17 | 28 |
| 85～89 | 11 | 10 | 21 | 16 | 16 | 32 | 12 | 18 | 30 |
| 90～ | 12 | 47 | 59 | 11 | 36 | 47 | 13 | 33 | 46 |
| 計 | 153 | 181 | 334 | 125 | 153 | 278 | 100 | 127 | 227 |

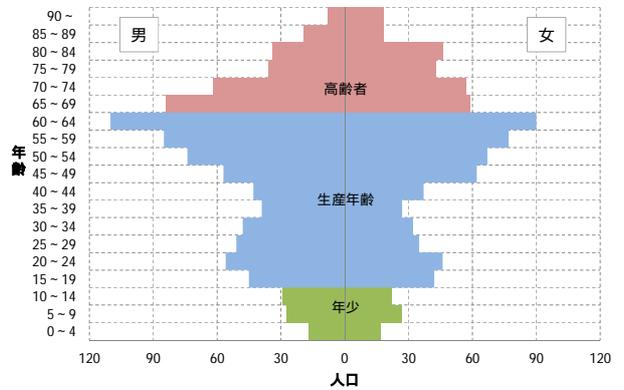
人口と高齢化の推移 (H25 ~ H55)



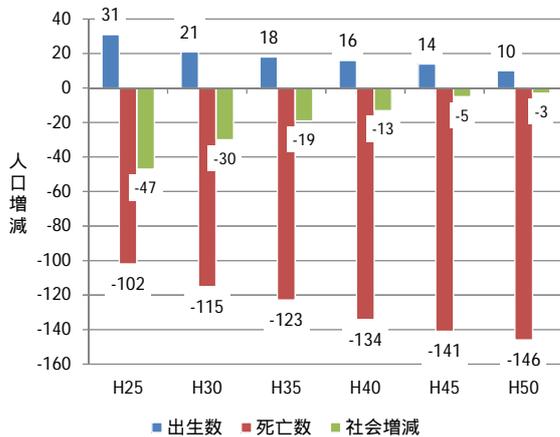
高齢者の内訳推移



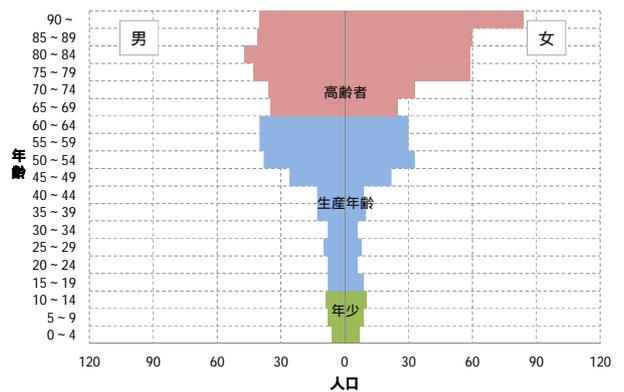
人口ピラミッド (H25)



人口増減の内訳と推移



人口ピラミッド (H55)



推計結果一覧

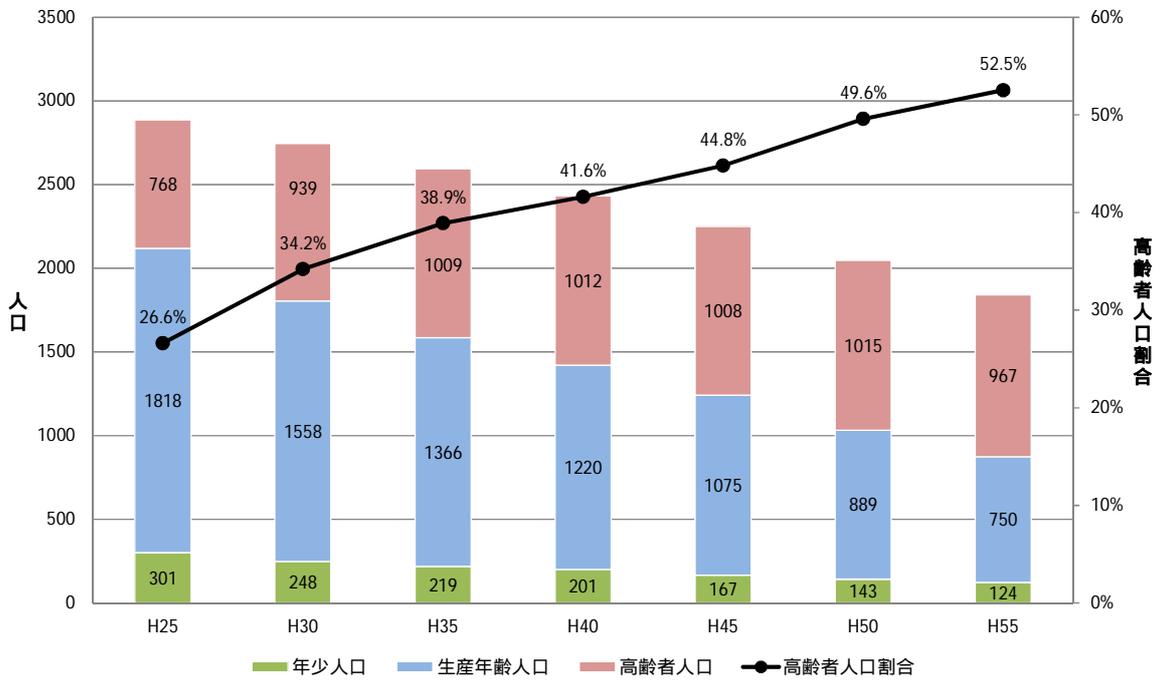
| 年 | 総人口 | 年少人口 | 生産年齢人口 | 高齢者人口 | 年少人口割合 | 生産年齢人口割合 | 高齢者人口割合 | 出生数 | 死亡数 | 自然増減 | 社会増減 | |
|------|------|------|--------|-------|--------|----------|---------|-------|-----|------|------|-----|
| 平成25 | 2013 | 1746 | 139 | 1123 | 484 | 8.0% | 64.3% | 27.7% | 31 | 102 | -71 | -47 |
| 30 | 2018 | 1628 | 122 | 906 | 600 | 7.5% | 55.7% | 36.9% | 21 | 115 | -94 | -30 |
| 35 | 2023 | 1504 | 93 | 750 | 661 | 6.2% | 49.9% | 43.9% | 18 | 123 | -105 | -19 |
| 40 | 2028 | 1380 | 83 | 607 | 690 | 6.0% | 44.0% | 50.0% | 16 | 134 | -118 | -13 |
| 45 | 2033 | 1249 | 65 | 498 | 686 | 5.2% | 39.9% | 54.9% | 14 | 141 | -127 | -5 |
| 50 | 2038 | 1117 | 58 | 426 | 633 | 5.2% | 38.1% | 56.7% | 10 | 146 | -136 | -3 |
| 55 | 2043 | 978 | 49 | 367 | 562 | 5.0% | 37.5% | 57.5% | | | | |

推計結果一覧（年齢5歳階級別）

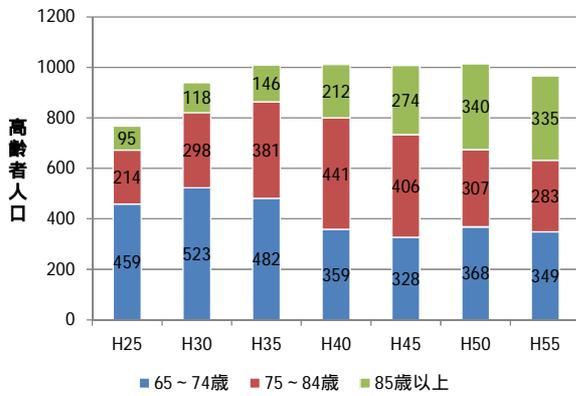
| 年齢 | 平成25年 2013年 | | | 平成30年 2018年 | | | 平成35年 2023年 | | | 平成40年 2028年 | | |
|-------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|
| | 男 | 女 | 全体 |
| 0～4 | 17 | 17 | 34 | 19 | 20 | 39 | 13 | 13 | 26 | 11 | 12 | 23 |
| 5～9 | 27 | 27 | 54 | 16 | 16 | 32 | 18 | 19 | 37 | 12 | 13 | 25 |
| 10～14 | 29 | 22 | 51 | 27 | 24 | 51 | 16 | 14 | 30 | 18 | 17 | 35 |
| 15～19 | 45 | 42 | 87 | 22 | 18 | 40 | 21 | 20 | 41 | 12 | 11 | 23 |
| 20～24 | 56 | 46 | 102 | 38 | 29 | 67 | 19 | 12 | 31 | 18 | 14 | 32 |
| 25～29 | 51 | 35 | 86 | 48 | 39 | 87 | 33 | 25 | 58 | 16 | 10 | 26 |
| 30～34 | 48 | 32 | 80 | 46 | 32 | 78 | 43 | 36 | 79 | 30 | 23 | 53 |
| 35～39 | 39 | 27 | 66 | 43 | 31 | 74 | 42 | 31 | 73 | 39 | 34 | 73 |
| 40～44 | 43 | 37 | 80 | 38 | 27 | 65 | 42 | 31 | 73 | 41 | 31 | 72 |
| 45～49 | 57 | 62 | 119 | 43 | 36 | 79 | 38 | 26 | 64 | 42 | 30 | 72 |
| 50～54 | 74 | 67 | 141 | 56 | 63 | 119 | 42 | 36 | 78 | 38 | 26 | 64 |
| 55～59 | 85 | 77 | 162 | 72 | 66 | 138 | 55 | 62 | 117 | 41 | 36 | 77 |
| 60～64 | 110 | 90 | 200 | 82 | 77 | 159 | 70 | 66 | 136 | 53 | 62 | 115 |
| 65～69 | 84 | 59 | 143 | 106 | 89 | 195 | 79 | 76 | 155 | 68 | 66 | 134 |
| 70～74 | 62 | 57 | 119 | 78 | 58 | 136 | 99 | 87 | 186 | 74 | 74 | 148 |
| 75～79 | 36 | 43 | 79 | 54 | 54 | 108 | 69 | 55 | 124 | 88 | 83 | 171 |
| 80～84 | 34 | 46 | 80 | 28 | 39 | 67 | 43 | 49 | 92 | 55 | 51 | 106 |
| 85～89 | 19 | 18 | 37 | 23 | 39 | 62 | 20 | 33 | 53 | 30 | 43 | 73 |
| 90～ | 8 | 18 | 26 | 11 | 21 | 32 | 15 | 36 | 51 | 16 | 42 | 58 |
| 計 | 924 | 822 | 1746 | 850 | 778 | 1628 | 777 | 727 | 1504 | 702 | 678 | 1380 |

| 年齢 | 平成45年 2033年 | | | 平成50年 2038年 | | | 平成55年 2043年 | | |
|-------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|----------------|-----|-----|
| | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 |
| 0～4 | 9 | 11 | 20 | 8 | 9 | 17 | 6 | 7 | 13 |
| 5～9 | 10 | 12 | 22 | 9 | 11 | 20 | 8 | 9 | 17 |
| 10～14 | 12 | 11 | 23 | 10 | 11 | 21 | 9 | 10 | 19 |
| 15～19 | 14 | 14 | 28 | 9 | 9 | 18 | 8 | 9 | 17 |
| 20～24 | 10 | 8 | 18 | 12 | 10 | 22 | 8 | 6 | 14 |
| 25～29 | 15 | 12 | 27 | 9 | 7 | 16 | 10 | 8 | 18 |
| 30～34 | 14 | 9 | 23 | 14 | 11 | 25 | 8 | 6 | 14 |
| 35～39 | 27 | 22 | 49 | 13 | 9 | 22 | 13 | 10 | 23 |
| 40～44 | 38 | 34 | 72 | 26 | 22 | 48 | 13 | 9 | 22 |
| 45～49 | 41 | 30 | 71 | 38 | 33 | 71 | 26 | 22 | 48 |
| 50～54 | 42 | 30 | 72 | 41 | 30 | 71 | 38 | 33 | 71 |
| 55～59 | 37 | 26 | 63 | 41 | 30 | 71 | 40 | 30 | 70 |
| 60～64 | 40 | 35 | 75 | 36 | 26 | 62 | 40 | 30 | 70 |
| 65～69 | 51 | 62 | 113 | 38 | 34 | 72 | 35 | 25 | 60 |
| 70～74 | 64 | 65 | 129 | 48 | 61 | 109 | 36 | 33 | 69 |
| 75～79 | 67 | 71 | 138 | 57 | 63 | 120 | 43 | 59 | 102 |
| 80～84 | 71 | 76 | 147 | 55 | 66 | 121 | 47 | 59 | 106 |
| 85～89 | 39 | 45 | 84 | 51 | 68 | 119 | 41 | 60 | 101 |
| 90～ | 22 | 53 | 75 | 30 | 62 | 92 | 40 | 84 | 124 |
| 計 | 623 | 626 | 1249 | 545 | 572 | 1117 | 469 | 509 | 978 |

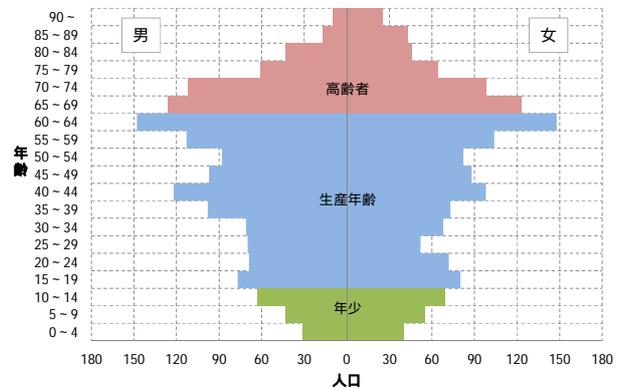
人口と高齢化の推移 (H25 ~ H55)



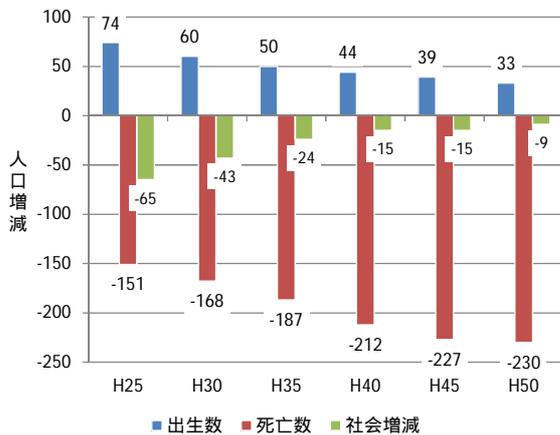
高齢者の内訳推移



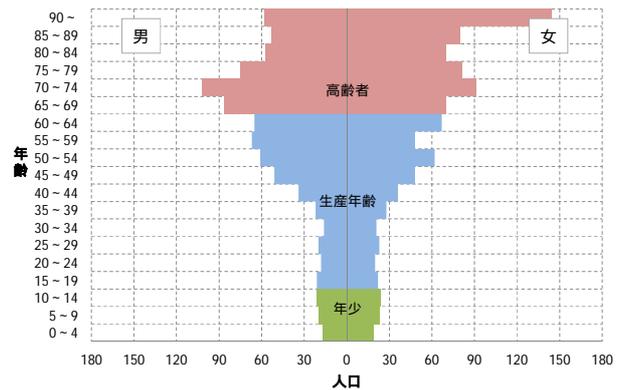
人口ピラミッド (H25)



人口増減の内訳と推移



人口ピラミッド (H55)



推計結果一覧

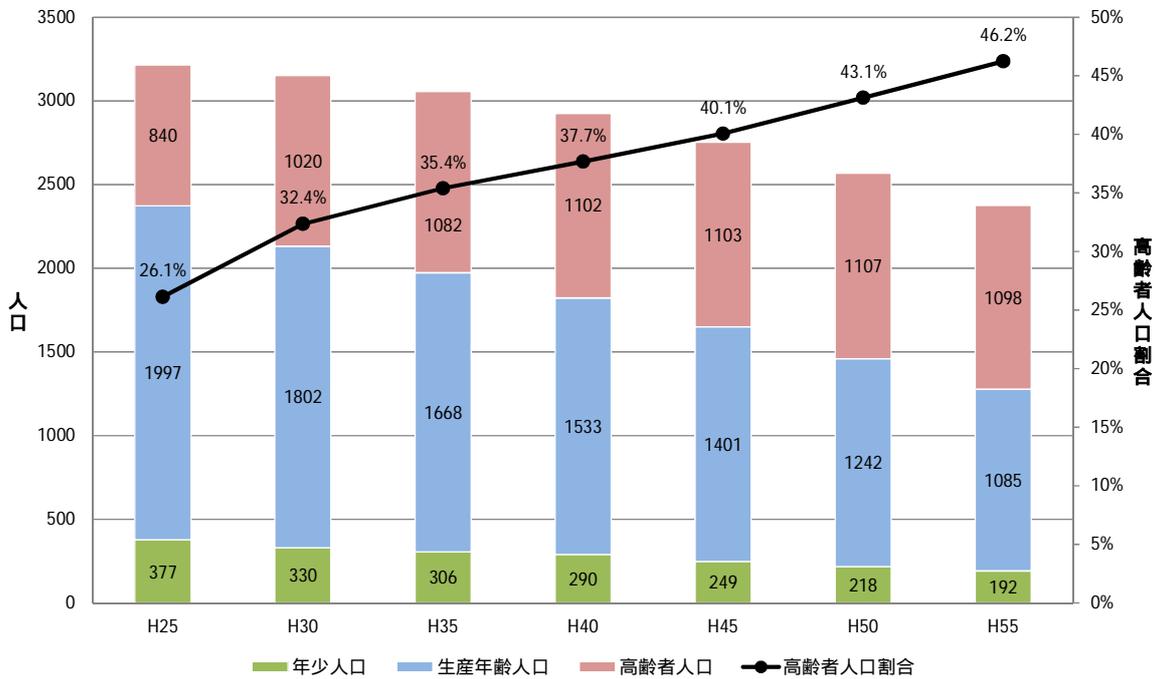
| 年 | | 総人口 | 年少人口 | 生産年齢人口 | 高齢者人口 | 年少人口割合 | 生産年齢人口割合 | 高齢者人口割合 | 出生数 | 死亡数 | 自然増減 | 社会増減 |
|------|------|------|------|--------|-------|--------|----------|---------|-----|-----|------|------|
| 平成25 | 2013 | 2887 | 301 | 1818 | 768 | 10.4% | 63.0% | 26.6% | 74 | 151 | -77 | -65 |
| 30 | 2018 | 2745 | 248 | 1558 | 939 | 9.0% | 56.8% | 34.2% | 60 | 168 | -108 | -43 |
| 35 | 2023 | 2594 | 219 | 1366 | 1009 | 8.4% | 52.7% | 38.9% | 50 | 187 | -137 | -24 |
| 40 | 2028 | 2433 | 201 | 1220 | 1012 | 8.3% | 50.1% | 41.6% | 44 | 212 | -168 | -15 |
| 45 | 2033 | 2250 | 167 | 1075 | 1008 | 7.4% | 47.8% | 44.8% | 39 | 227 | -188 | -15 |
| 50 | 2038 | 2047 | 143 | 889 | 1015 | 7.0% | 43.4% | 49.6% | 33 | 230 | -197 | -9 |
| 55 | 2043 | 1841 | 124 | 750 | 967 | 6.7% | 40.7% | 52.5% | | | | |

推計結果一覧（年齢5歳階級別）

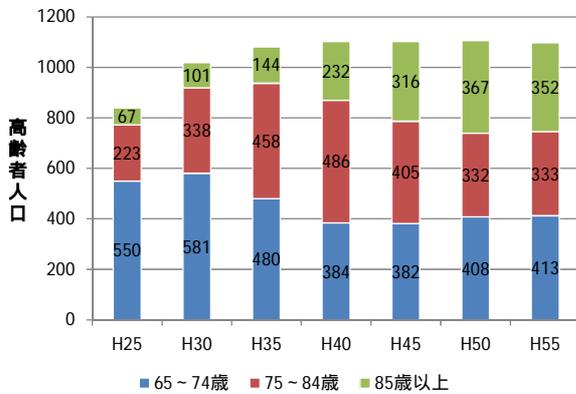
| 年齢 | 平成25年 2013年 | | | 平成30年 2018年 | | | 平成35年 2023年 | | | 平成40年 2028年 | | |
|-------|----------------|------|------|----------------|------|------|----------------|------|------|----------------|------|------|
| | 男 | 女 | 全体 |
| 0～4 | 31 | 40 | 71 | 39 | 42 | 81 | 32 | 34 | 66 | 27 | 28 | 55 |
| 5～9 | 43 | 55 | 98 | 31 | 42 | 73 | 39 | 44 | 83 | 32 | 35 | 67 |
| 10～14 | 63 | 69 | 132 | 40 | 54 | 94 | 29 | 41 | 70 | 36 | 43 | 79 |
| 15～19 | 77 | 80 | 157 | 52 | 55 | 107 | 33 | 43 | 76 | 24 | 33 | 57 |
| 20～24 | 69 | 72 | 141 | 57 | 58 | 115 | 38 | 40 | 78 | 24 | 31 | 55 |
| 25～29 | 70 | 52 | 122 | 62 | 65 | 127 | 51 | 52 | 103 | 34 | 36 | 70 |
| 30～34 | 71 | 68 | 139 | 71 | 50 | 121 | 63 | 62 | 125 | 52 | 50 | 102 |
| 35～39 | 98 | 73 | 171 | 71 | 70 | 141 | 71 | 51 | 122 | 63 | 64 | 127 |
| 40～44 | 122 | 98 | 220 | 98 | 72 | 170 | 72 | 69 | 141 | 72 | 50 | 122 |
| 45～49 | 97 | 88 | 185 | 118 | 95 | 213 | 94 | 70 | 164 | 69 | 67 | 136 |
| 50～54 | 88 | 82 | 170 | 96 | 88 | 184 | 117 | 95 | 212 | 93 | 71 | 164 |
| 55～59 | 113 | 104 | 217 | 86 | 81 | 167 | 94 | 87 | 181 | 115 | 94 | 209 |
| 60～64 | 148 | 148 | 296 | 110 | 103 | 213 | 83 | 81 | 164 | 91 | 87 | 178 |
| 65～69 | 126 | 123 | 249 | 142 | 145 | 287 | 106 | 102 | 208 | 80 | 80 | 160 |
| 70～74 | 112 | 98 | 210 | 117 | 119 | 236 | 132 | 142 | 274 | 99 | 100 | 199 |
| 75～79 | 61 | 64 | 125 | 98 | 94 | 192 | 103 | 114 | 217 | 117 | 136 | 253 |
| 80～84 | 43 | 46 | 89 | 48 | 58 | 106 | 78 | 86 | 164 | 83 | 105 | 188 |
| 85～89 | 17 | 43 | 60 | 29 | 39 | 68 | 33 | 50 | 83 | 54 | 75 | 129 |
| 90～ | 10 | 25 | 35 | 11 | 39 | 50 | 17 | 46 | 63 | 24 | 59 | 83 |
| 計 | 1459 | 1428 | 2887 | 1376 | 1369 | 2745 | 1285 | 1309 | 2594 | 1189 | 1244 | 2433 |

| 年齢 | 平成45年 2033年 | | | 平成50年 2038年 | | | 平成55年 2043年 | | |
|-------|----------------|------|------|----------------|------|------|----------------|-----|------|
| | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 |
| 0～4 | 23 | 24 | 47 | 20 | 22 | 42 | 17 | 19 | 36 |
| 5～9 | 27 | 29 | 56 | 23 | 25 | 48 | 20 | 23 | 43 |
| 10～14 | 30 | 34 | 64 | 25 | 28 | 53 | 21 | 24 | 45 |
| 15～19 | 30 | 34 | 64 | 25 | 27 | 52 | 21 | 22 | 43 |
| 20～24 | 18 | 24 | 42 | 22 | 25 | 47 | 18 | 20 | 38 |
| 25～29 | 22 | 28 | 50 | 16 | 22 | 38 | 20 | 23 | 43 |
| 30～34 | 34 | 35 | 69 | 22 | 27 | 49 | 16 | 21 | 37 |
| 35～39 | 52 | 51 | 103 | 34 | 36 | 70 | 22 | 28 | 50 |
| 40～44 | 64 | 63 | 127 | 52 | 50 | 102 | 34 | 36 | 70 |
| 45～49 | 69 | 48 | 117 | 62 | 61 | 123 | 51 | 48 | 99 |
| 50～54 | 68 | 68 | 136 | 68 | 48 | 116 | 61 | 62 | 123 |
| 55～59 | 91 | 70 | 161 | 67 | 67 | 134 | 67 | 48 | 115 |
| 60～64 | 112 | 94 | 206 | 88 | 70 | 158 | 65 | 67 | 132 |
| 65～69 | 88 | 86 | 174 | 108 | 93 | 201 | 86 | 70 | 156 |
| 70～74 | 76 | 78 | 154 | 83 | 84 | 167 | 102 | 91 | 193 |
| 75～79 | 89 | 97 | 186 | 69 | 75 | 144 | 75 | 81 | 156 |
| 80～84 | 95 | 125 | 220 | 73 | 90 | 163 | 57 | 70 | 127 |
| 85～89 | 60 | 93 | 153 | 69 | 112 | 181 | 53 | 80 | 133 |
| 90～ | 37 | 84 | 121 | 47 | 112 | 159 | 58 | 144 | 202 |
| 計 | 1085 | 1165 | 2250 | 973 | 1074 | 2047 | 864 | 977 | 1841 |

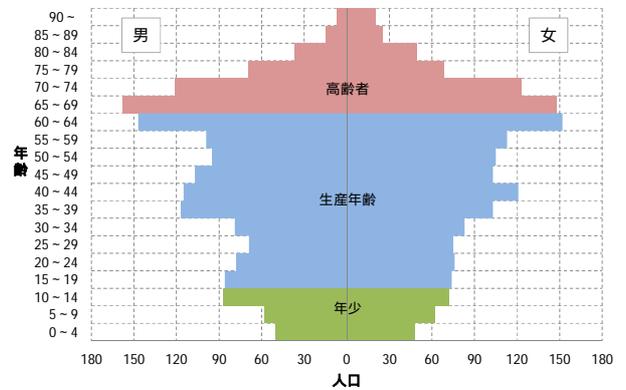
人口と高齢化の推移 (H25 ~ H55)



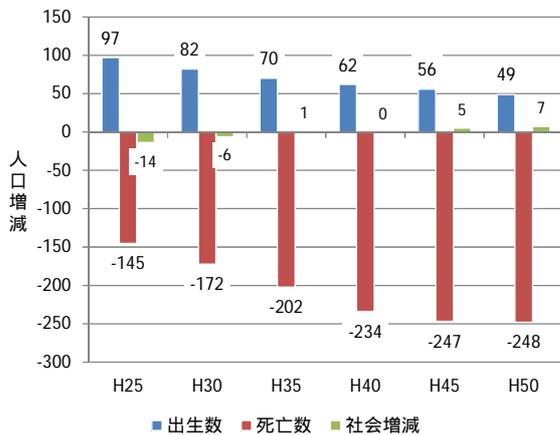
高齢者の内訳推移



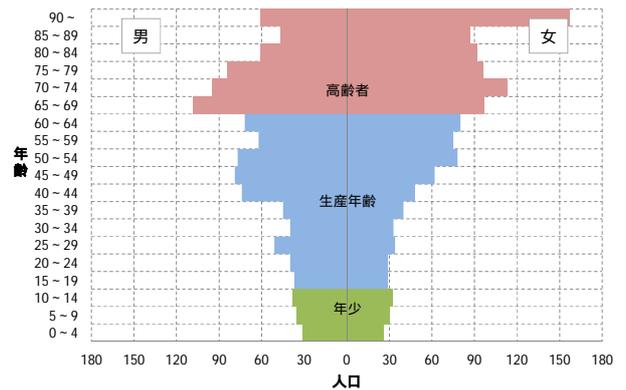
人口ピラミッド (H25)



人口増減の内訳と推移



人口ピラミッド (H55)



推計結果一覧

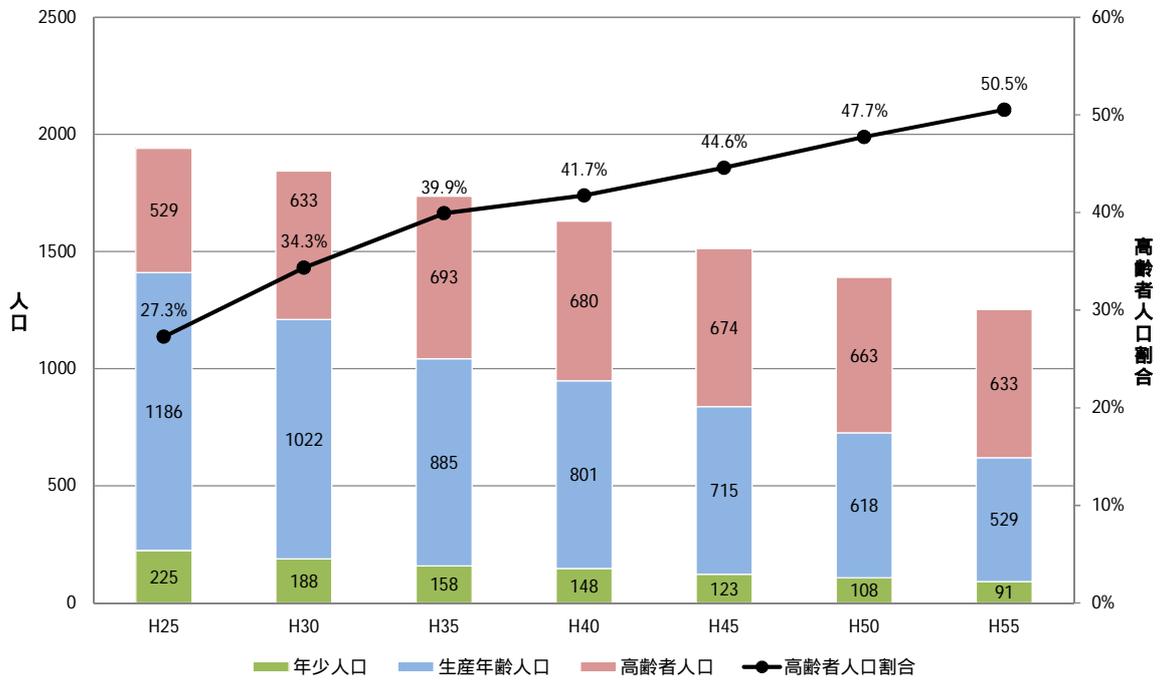
| 年 | 総人口 | 年少人口 | 生産年齢人口 | 高齢者人口 | 年少人口割合 | 生産年齢人口割合 | 高齢者人口割合 | 出生数 | 死亡数 | 自然増減 | 社会増減 | |
|------|------|------|--------|-------|--------|----------|---------|-------|-----|------|------|-----|
| 平成25 | 2013 | 3214 | 377 | 1997 | 840 | 11.7% | 62.1% | 26.1% | 97 | 145 | -48 | -14 |
| 30 | 2018 | 3152 | 330 | 1802 | 1020 | 10.5% | 57.2% | 32.4% | 82 | 172 | -90 | -6 |
| 35 | 2023 | 3056 | 306 | 1668 | 1082 | 10.0% | 54.6% | 35.4% | 70 | 202 | -132 | 1 |
| 40 | 2028 | 2925 | 290 | 1533 | 1102 | 9.9% | 52.4% | 37.7% | 62 | 234 | -172 | 0 |
| 45 | 2033 | 2753 | 249 | 1401 | 1103 | 9.0% | 50.9% | 40.1% | 56 | 247 | -191 | 5 |
| 50 | 2038 | 2567 | 218 | 1242 | 1107 | 8.5% | 48.4% | 43.1% | 49 | 248 | -199 | 7 |
| 55 | 2043 | 2375 | 192 | 1085 | 1098 | 8.1% | 45.7% | 46.2% | | | | |

推計結果一覧（年齢5歳階級別）

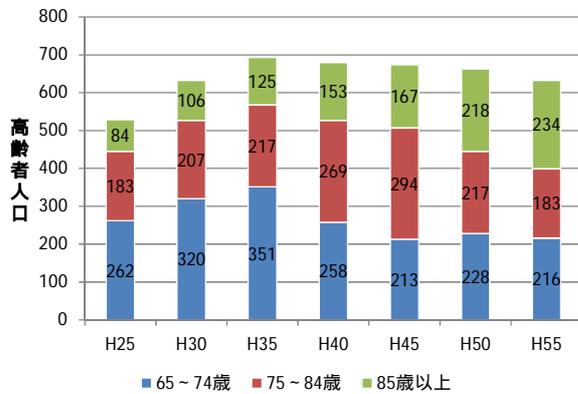
| 年齢 | 平成25年 2013年 | | | 平成30年 2018年 | | | 平成35年 2023年 | | | 平成40年 2028年 | | |
|-------|----------------|------|------|----------------|------|------|----------------|------|------|----------------|------|------|
| | 男 | 女 | 全体 |
| 0～4 | 50 | 48 | 98 | 62 | 51 | 113 | 52 | 43 | 95 | 45 | 37 | 82 |
| 5～9 | 58 | 62 | 120 | 49 | 50 | 99 | 61 | 53 | 114 | 51 | 45 | 96 |
| 10～14 | 87 | 72 | 159 | 57 | 61 | 118 | 48 | 49 | 97 | 60 | 52 | 112 |
| 15～19 | 86 | 74 | 160 | 75 | 56 | 131 | 49 | 47 | 96 | 41 | 38 | 79 |
| 20～24 | 78 | 76 | 154 | 80 | 62 | 142 | 70 | 47 | 117 | 46 | 39 | 85 |
| 25～29 | 69 | 75 | 144 | 84 | 77 | 161 | 86 | 63 | 149 | 75 | 47 | 122 |
| 30～34 | 79 | 83 | 162 | 67 | 77 | 144 | 81 | 79 | 160 | 83 | 64 | 147 |
| 35～39 | 117 | 103 | 220 | 76 | 84 | 160 | 65 | 78 | 143 | 78 | 80 | 158 |
| 40～44 | 115 | 121 | 236 | 122 | 100 | 222 | 80 | 82 | 162 | 68 | 76 | 144 |
| 45～49 | 107 | 103 | 210 | 109 | 118 | 227 | 116 | 99 | 215 | 76 | 81 | 157 |
| 50～54 | 95 | 105 | 200 | 106 | 103 | 209 | 108 | 118 | 226 | 115 | 99 | 214 |
| 55～59 | 99 | 113 | 212 | 93 | 105 | 198 | 104 | 102 | 206 | 106 | 118 | 224 |
| 60～64 | 147 | 152 | 299 | 96 | 112 | 208 | 90 | 104 | 194 | 101 | 102 | 203 |
| 65～69 | 158 | 148 | 306 | 141 | 149 | 290 | 93 | 110 | 203 | 87 | 103 | 190 |
| 70～74 | 121 | 123 | 244 | 147 | 144 | 291 | 131 | 146 | 277 | 87 | 107 | 194 |
| 75～79 | 69 | 68 | 137 | 106 | 117 | 223 | 130 | 137 | 267 | 117 | 140 | 257 |
| 80～84 | 37 | 49 | 86 | 54 | 61 | 115 | 84 | 107 | 191 | 104 | 125 | 229 |
| 85～89 | 15 | 25 | 40 | 25 | 41 | 66 | 37 | 52 | 89 | 59 | 93 | 152 |
| 90～ | 7 | 20 | 27 | 9 | 26 | 35 | 15 | 40 | 55 | 24 | 56 | 80 |
| 計 | 1594 | 1620 | 3214 | 1558 | 1594 | 3152 | 1500 | 1556 | 3056 | 1423 | 1502 | 2925 |

| 年齢 | 平成45年 2033年 | | | 平成50年 2038年 | | | 平成55年 2043年 | | |
|-------|----------------|------|------|----------------|------|------|----------------|------|------|
| | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 |
| 0～4 | 40 | 32 | 72 | 36 | 29 | 65 | 31 | 26 | 57 |
| 5～9 | 44 | 39 | 83 | 39 | 33 | 72 | 35 | 30 | 65 |
| 10～14 | 50 | 44 | 94 | 43 | 38 | 81 | 38 | 32 | 70 |
| 15～19 | 52 | 40 | 92 | 43 | 34 | 77 | 37 | 29 | 66 |
| 20～24 | 38 | 32 | 70 | 48 | 34 | 82 | 40 | 29 | 69 |
| 25～29 | 49 | 39 | 88 | 41 | 32 | 73 | 51 | 34 | 85 |
| 30～34 | 72 | 48 | 120 | 47 | 40 | 87 | 40 | 33 | 73 |
| 35～39 | 80 | 65 | 145 | 70 | 49 | 119 | 45 | 40 | 85 |
| 40～44 | 82 | 78 | 160 | 84 | 63 | 147 | 74 | 48 | 122 |
| 45～49 | 64 | 75 | 139 | 78 | 77 | 155 | 79 | 62 | 141 |
| 50～54 | 75 | 81 | 156 | 63 | 76 | 139 | 77 | 78 | 155 |
| 55～59 | 113 | 98 | 211 | 74 | 80 | 154 | 62 | 75 | 137 |
| 60～64 | 103 | 117 | 220 | 111 | 98 | 209 | 72 | 80 | 152 |
| 65～69 | 98 | 101 | 199 | 100 | 116 | 216 | 108 | 97 | 205 |
| 70～74 | 82 | 101 | 183 | 93 | 99 | 192 | 95 | 113 | 208 |
| 75～79 | 78 | 103 | 181 | 74 | 98 | 172 | 84 | 96 | 180 |
| 80～84 | 95 | 129 | 224 | 64 | 96 | 160 | 61 | 92 | 153 |
| 85～89 | 74 | 110 | 184 | 69 | 115 | 184 | 47 | 87 | 134 |
| 90～ | 39 | 93 | 132 | 54 | 129 | 183 | 61 | 157 | 218 |
| 計 | 1328 | 1425 | 2753 | 1231 | 1336 | 2567 | 1137 | 1238 | 2375 |

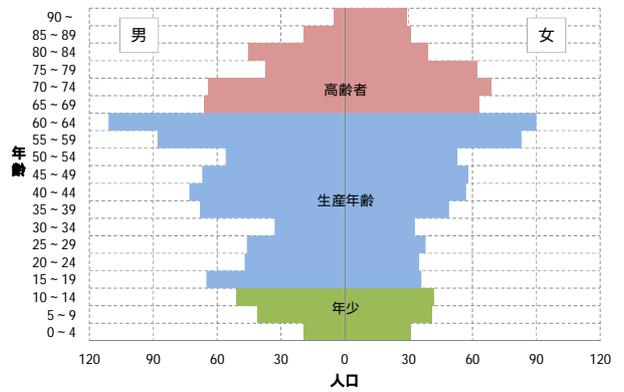
人口と高齢化の推移 (H25 ~ H55)



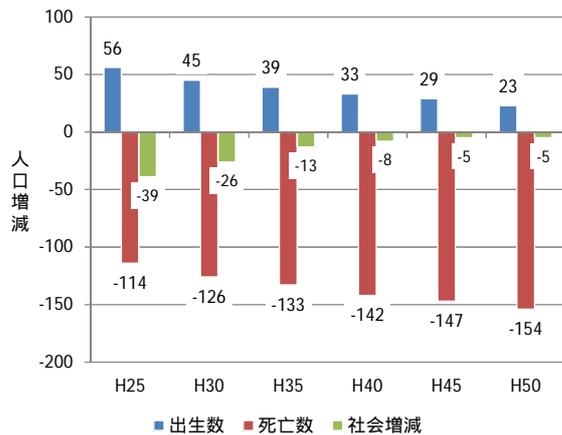
高齢者の内訳推移



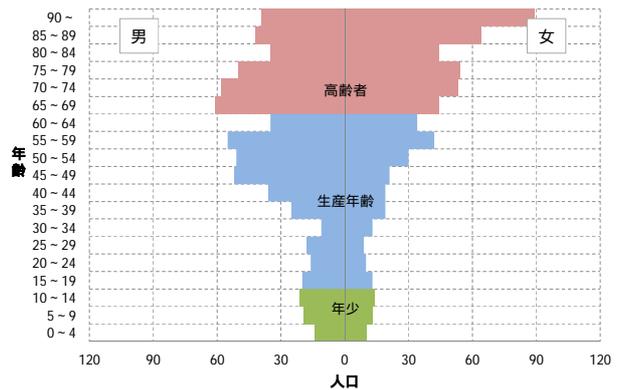
人口ピラミッド (H25)



人口増減の内訳と推移



人口ピラミッド (H55)



推計結果一覧

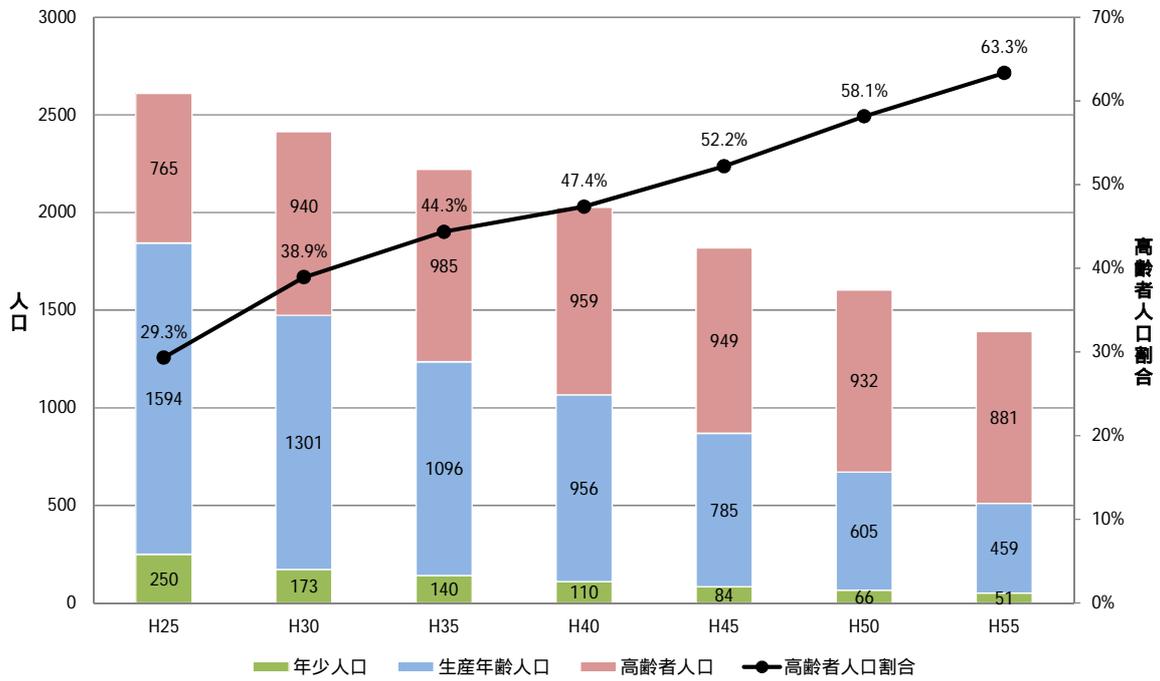
| 年 | | 総人口 | 年少人口 | 生産年齢人口 | 高齢者人口 | 年少人口割合 | 生産年齢人口割合 | 高齢者人口割合 | 出生数 | 死亡数 | 自然増減 | 社会増減 |
|------|------|------|------|--------|-------|--------|----------|---------|-----|-----|------|------|
| 平成25 | 2013 | 1940 | 225 | 1186 | 529 | 11.6% | 61.1% | 27.3% | 56 | 114 | -58 | -39 |
| 30 | 2018 | 1843 | 188 | 1022 | 633 | 10.2% | 55.5% | 34.3% | 45 | 126 | -81 | -26 |
| 35 | 2023 | 1736 | 158 | 885 | 693 | 9.1% | 51.0% | 39.9% | 39 | 133 | -94 | -13 |
| 40 | 2028 | 1629 | 148 | 801 | 680 | 9.1% | 49.2% | 41.7% | 33 | 142 | -109 | -8 |
| 45 | 2033 | 1512 | 123 | 715 | 674 | 8.1% | 47.3% | 44.6% | 29 | 147 | -118 | -5 |
| 50 | 2038 | 1389 | 108 | 618 | 663 | 7.8% | 44.5% | 47.7% | 23 | 154 | -131 | -5 |
| 55 | 2043 | 1253 | 91 | 529 | 633 | 7.3% | 42.2% | 50.5% | | | | |

推計結果一覧（年齢5歳階級別）

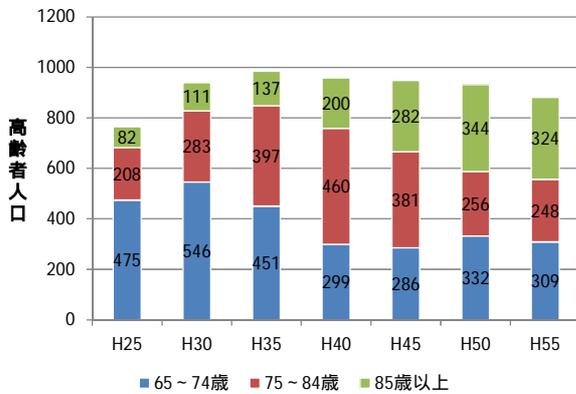
| 年齢 | 平成25年 2013年 | | | 平成30年 2018年 | | | 平成35年 2023年 | | | 平成40年 2028年 | | |
|-------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|
| | 男 | 女 | 全体 |
| 0～4 | 19 | 31 | 50 | 34 | 24 | 58 | 27 | 20 | 47 | 24 | 17 | 41 |
| 5～9 | 41 | 41 | 82 | 21 | 31 | 52 | 37 | 24 | 61 | 29 | 20 | 49 |
| 10～14 | 51 | 42 | 93 | 38 | 40 | 78 | 20 | 30 | 50 | 35 | 23 | 58 |
| 15～19 | 65 | 36 | 101 | 42 | 31 | 73 | 31 | 29 | 60 | 16 | 22 | 38 |
| 20～24 | 47 | 35 | 82 | 48 | 25 | 73 | 31 | 21 | 52 | 23 | 20 | 43 |
| 25～29 | 46 | 38 | 84 | 41 | 27 | 68 | 41 | 19 | 60 | 27 | 16 | 43 |
| 30～34 | 33 | 33 | 66 | 51 | 41 | 92 | 45 | 29 | 74 | 45 | 20 | 65 |
| 35～39 | 68 | 49 | 117 | 37 | 36 | 73 | 57 | 45 | 102 | 51 | 32 | 83 |
| 40～44 | 73 | 57 | 130 | 72 | 48 | 120 | 39 | 35 | 74 | 60 | 44 | 104 |
| 45～49 | 67 | 58 | 125 | 69 | 55 | 124 | 68 | 46 | 114 | 37 | 34 | 71 |
| 50～54 | 56 | 53 | 109 | 66 | 58 | 124 | 68 | 55 | 123 | 67 | 46 | 113 |
| 55～59 | 88 | 83 | 171 | 55 | 52 | 107 | 65 | 57 | 122 | 67 | 54 | 121 |
| 60～64 | 111 | 90 | 201 | 85 | 83 | 168 | 53 | 51 | 104 | 63 | 57 | 120 |
| 65～69 | 66 | 63 | 129 | 107 | 89 | 196 | 82 | 82 | 164 | 51 | 50 | 101 |
| 70～74 | 64 | 69 | 133 | 62 | 62 | 124 | 100 | 87 | 187 | 77 | 80 | 157 |
| 75～79 | 37 | 62 | 99 | 56 | 66 | 122 | 54 | 59 | 113 | 89 | 83 | 172 |
| 80～84 | 45 | 39 | 84 | 29 | 56 | 85 | 44 | 60 | 104 | 43 | 54 | 97 |
| 85～89 | 19 | 31 | 50 | 30 | 32 | 62 | 20 | 48 | 68 | 31 | 52 | 83 |
| 90～ | 5 | 29 | 34 | 10 | 34 | 44 | 17 | 40 | 57 | 17 | 53 | 70 |
| 計 | 1001 | 939 | 1940 | 953 | 890 | 1843 | 899 | 837 | 1736 | 852 | 777 | 1629 |

| 年齢 | 平成45年 2033年 | | | 平成50年 2038年 | | | 平成55年 2043年 | | |
|-------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|
| | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 |
| 0～4 | 20 | 14 | 34 | 18 | 13 | 31 | 14 | 10 | 24 |
| 5～9 | 26 | 17 | 43 | 22 | 14 | 36 | 19 | 13 | 32 |
| 10～14 | 27 | 19 | 46 | 24 | 17 | 41 | 21 | 14 | 35 |
| 15～19 | 29 | 17 | 46 | 22 | 14 | 36 | 20 | 13 | 33 |
| 20～24 | 12 | 15 | 27 | 21 | 12 | 33 | 16 | 10 | 26 |
| 25～29 | 20 | 16 | 36 | 10 | 12 | 22 | 18 | 9 | 27 |
| 30～34 | 30 | 17 | 47 | 22 | 17 | 39 | 11 | 13 | 24 |
| 35～39 | 51 | 22 | 73 | 34 | 19 | 53 | 25 | 19 | 44 |
| 40～44 | 54 | 31 | 85 | 54 | 22 | 76 | 36 | 19 | 55 |
| 45～49 | 57 | 42 | 99 | 52 | 30 | 82 | 52 | 21 | 73 |
| 50～54 | 37 | 34 | 71 | 56 | 42 | 98 | 51 | 30 | 81 |
| 55～59 | 66 | 46 | 112 | 36 | 34 | 70 | 55 | 42 | 97 |
| 60～64 | 65 | 54 | 119 | 64 | 45 | 109 | 35 | 34 | 69 |
| 65～69 | 60 | 57 | 117 | 62 | 54 | 116 | 61 | 44 | 105 |
| 70～74 | 47 | 49 | 96 | 56 | 56 | 112 | 58 | 53 | 111 |
| 75～79 | 69 | 77 | 146 | 42 | 47 | 89 | 50 | 54 | 104 |
| 80～84 | 72 | 76 | 148 | 57 | 71 | 128 | 35 | 44 | 79 |
| 85～89 | 31 | 48 | 79 | 52 | 68 | 120 | 42 | 64 | 106 |
| 90～ | 23 | 65 | 88 | 27 | 71 | 98 | 39 | 89 | 128 |
| 計 | 796 | 716 | 1512 | 731 | 658 | 1389 | 658 | 595 | 1253 |

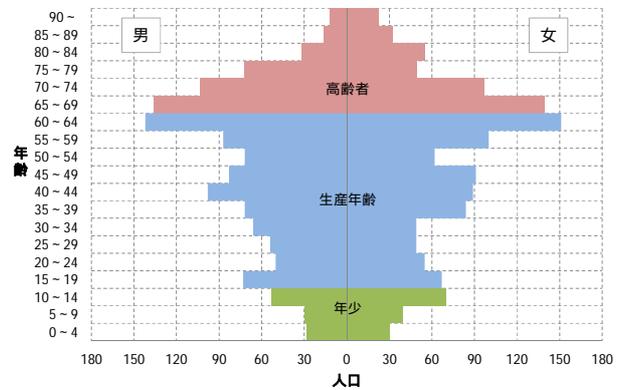
人口と高齢化の推移 (H25 ~ H55)



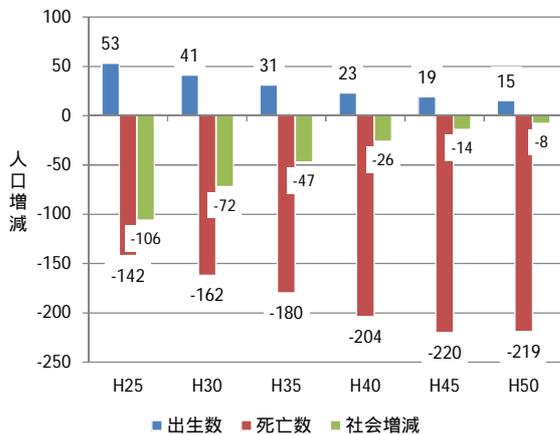
高齢者の内訳推移



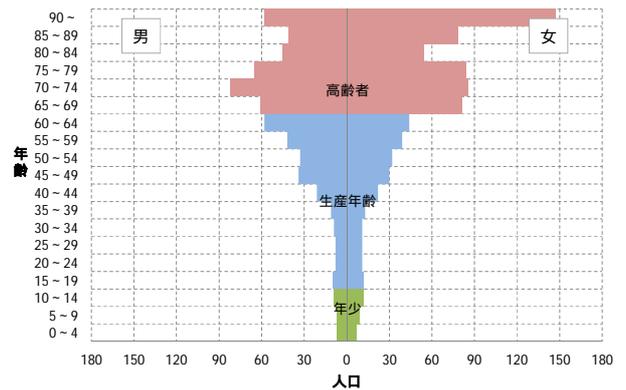
人口ピラミッド (H25)



人口増減の内訳と推移



人口ピラミッド (H55)



推計結果一覧

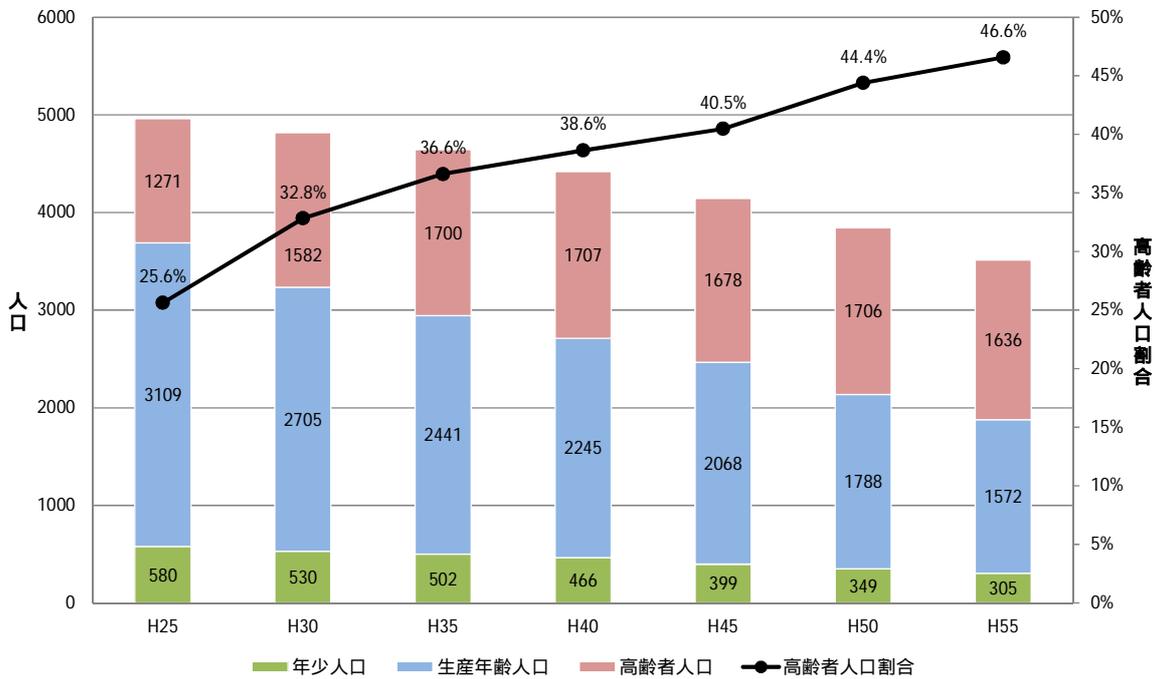
| 年 | | 総人口 | 年少人口 | 生産年齢人口 | 高齢者人口 | 年少人口割合 | 生産年齢人口割合 | 高齢者人口割合 | 出生数 | 死亡数 | 自然増減 | 社会増減 |
|------|------|------|------|--------|-------|--------|----------|---------|-----|-----|------|------|
| 平成25 | 2013 | 2609 | 250 | 1594 | 765 | 9.6% | 61.1% | 29.3% | 53 | 142 | -89 | -106 |
| 30 | 2018 | 2414 | 173 | 1301 | 940 | 7.2% | 53.9% | 38.9% | 41 | 162 | -121 | -72 |
| 35 | 2023 | 2221 | 140 | 1096 | 985 | 6.3% | 49.3% | 44.3% | 31 | 180 | -149 | -47 |
| 40 | 2028 | 2025 | 110 | 956 | 959 | 5.4% | 47.2% | 47.4% | 23 | 204 | -181 | -26 |
| 45 | 2033 | 1818 | 84 | 785 | 949 | 4.6% | 43.2% | 52.2% | 19 | 220 | -201 | -14 |
| 50 | 2038 | 1603 | 66 | 605 | 932 | 4.1% | 37.7% | 58.1% | 15 | 219 | -204 | -8 |
| 55 | 2043 | 1391 | 51 | 459 | 881 | 3.7% | 33.0% | 63.3% | | | | |

推計結果一覧（年齢5歳階級別）

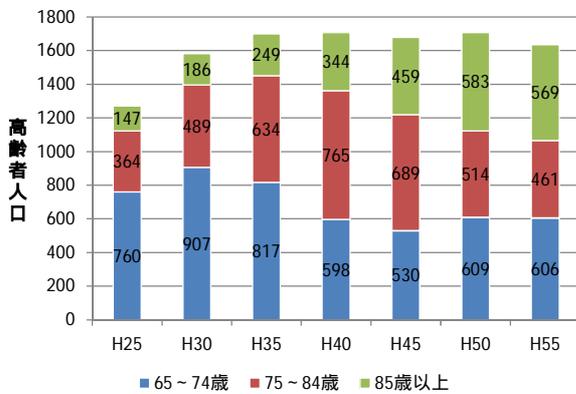
| 年齢 | 平成25年 2013年 | | | 平成30年 2018年 | | | 平成35年 2023年 | | | 平成40年 2028年 | | |
|-------|----------------|------|------|----------------|------|------|----------------|------|------|----------------|------|------|
| | 男 | 女 | 全体 |
| 0～4 | 28 | 30 | 58 | 22 | 26 | 48 | 17 | 20 | 37 | 13 | 15 | 28 |
| 5～9 | 30 | 39 | 69 | 25 | 32 | 57 | 20 | 27 | 47 | 15 | 21 | 36 |
| 10～14 | 53 | 70 | 123 | 29 | 39 | 68 | 24 | 32 | 56 | 19 | 27 | 46 |
| 15～19 | 73 | 67 | 140 | 42 | 51 | 93 | 23 | 29 | 52 | 19 | 24 | 43 |
| 20～24 | 50 | 55 | 105 | 51 | 51 | 102 | 29 | 39 | 68 | 16 | 22 | 38 |
| 25～29 | 54 | 49 | 103 | 41 | 40 | 81 | 42 | 37 | 79 | 24 | 28 | 52 |
| 30～34 | 66 | 49 | 115 | 46 | 43 | 89 | 35 | 35 | 70 | 36 | 32 | 68 |
| 35～39 | 72 | 84 | 156 | 65 | 46 | 111 | 45 | 40 | 85 | 34 | 33 | 67 |
| 40～44 | 98 | 89 | 187 | 70 | 83 | 153 | 63 | 45 | 108 | 44 | 39 | 83 |
| 45～49 | 83 | 91 | 174 | 96 | 89 | 185 | 68 | 83 | 151 | 62 | 45 | 107 |
| 50～54 | 72 | 62 | 134 | 82 | 91 | 173 | 95 | 89 | 184 | 67 | 83 | 150 |
| 55～59 | 87 | 100 | 187 | 70 | 61 | 131 | 80 | 90 | 170 | 93 | 88 | 181 |
| 60～64 | 142 | 151 | 293 | 84 | 99 | 183 | 68 | 61 | 129 | 77 | 90 | 167 |
| 65～69 | 136 | 139 | 275 | 136 | 148 | 284 | 81 | 98 | 179 | 66 | 61 | 127 |
| 70～74 | 103 | 97 | 200 | 126 | 136 | 262 | 127 | 145 | 272 | 76 | 96 | 172 |
| 75～79 | 72 | 49 | 121 | 90 | 93 | 183 | 111 | 130 | 241 | 113 | 139 | 252 |
| 80～84 | 32 | 55 | 87 | 56 | 44 | 100 | 71 | 85 | 156 | 89 | 119 | 208 |
| 85～89 | 16 | 32 | 48 | 22 | 46 | 68 | 38 | 38 | 76 | 50 | 74 | 124 |
| 90～ | 12 | 22 | 34 | 12 | 31 | 43 | 15 | 46 | 61 | 25 | 51 | 76 |
| 計 | 1279 | 1330 | 2609 | 1165 | 1249 | 2414 | 1052 | 1169 | 2221 | 938 | 1087 | 2025 |

| 年齢 | 平成45年 2033年 | | | 平成50年 2038年 | | | 平成55年 2043年 | | |
|-------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|
| | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 |
| 0～4 | 10 | 11 | 21 | 8 | 9 | 17 | 7 | 7 | 14 |
| 5～9 | 12 | 16 | 28 | 9 | 12 | 21 | 7 | 9 | 16 |
| 10～14 | 14 | 21 | 35 | 12 | 16 | 28 | 9 | 12 | 21 |
| 15～19 | 15 | 20 | 35 | 11 | 15 | 26 | 10 | 12 | 22 |
| 20～24 | 13 | 18 | 31 | 10 | 15 | 25 | 8 | 11 | 19 |
| 25～29 | 13 | 16 | 29 | 11 | 13 | 24 | 8 | 11 | 19 |
| 30～34 | 21 | 24 | 45 | 11 | 14 | 25 | 9 | 11 | 20 |
| 35～39 | 35 | 30 | 65 | 21 | 22 | 43 | 11 | 13 | 24 |
| 40～44 | 33 | 32 | 65 | 34 | 30 | 64 | 21 | 22 | 43 |
| 45～49 | 44 | 39 | 83 | 33 | 32 | 65 | 34 | 30 | 64 |
| 50～54 | 61 | 45 | 106 | 43 | 39 | 82 | 33 | 32 | 65 |
| 55～59 | 66 | 82 | 148 | 60 | 45 | 105 | 42 | 39 | 81 |
| 60～64 | 90 | 88 | 178 | 64 | 82 | 146 | 58 | 44 | 102 |
| 65～69 | 75 | 89 | 164 | 87 | 87 | 174 | 61 | 81 | 142 |
| 70～74 | 62 | 60 | 122 | 71 | 87 | 158 | 82 | 85 | 167 |
| 75～79 | 68 | 93 | 161 | 55 | 58 | 113 | 65 | 84 | 149 |
| 80～84 | 92 | 128 | 220 | 56 | 87 | 143 | 45 | 54 | 99 |
| 85～89 | 64 | 105 | 169 | 67 | 114 | 181 | 41 | 78 | 119 |
| 90～ | 36 | 77 | 113 | 48 | 115 | 163 | 58 | 147 | 205 |
| 計 | 824 | 994 | 1818 | 711 | 892 | 1603 | 609 | 782 | 1391 |

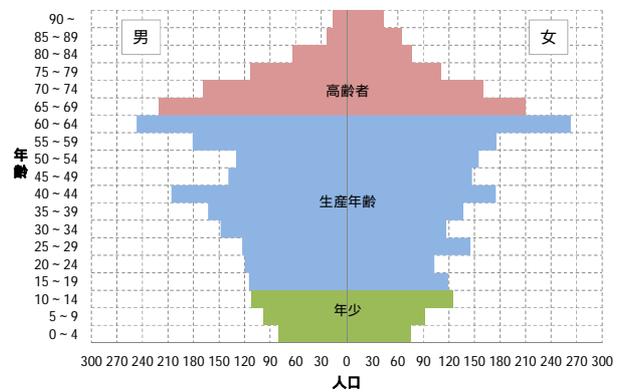
人口と高齢化の推移 (H25 ~ H55)



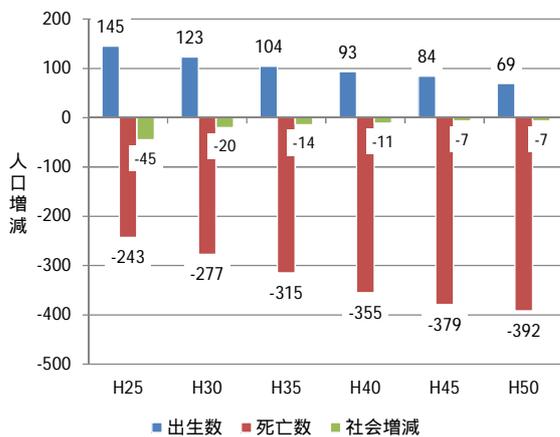
高齢者の内訳推移



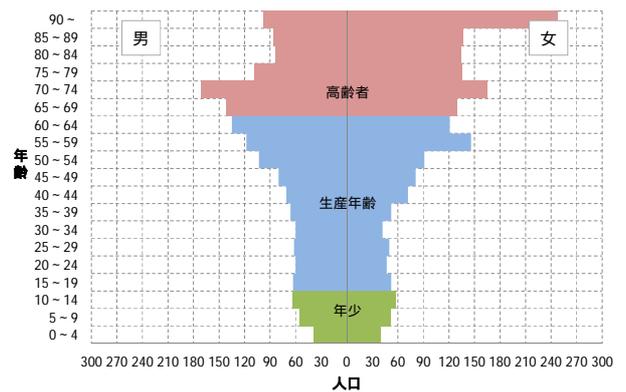
人口ピラミッド (H25)



人口増減の内訳と推移



人口ピラミッド (H55)



推計結果一覧

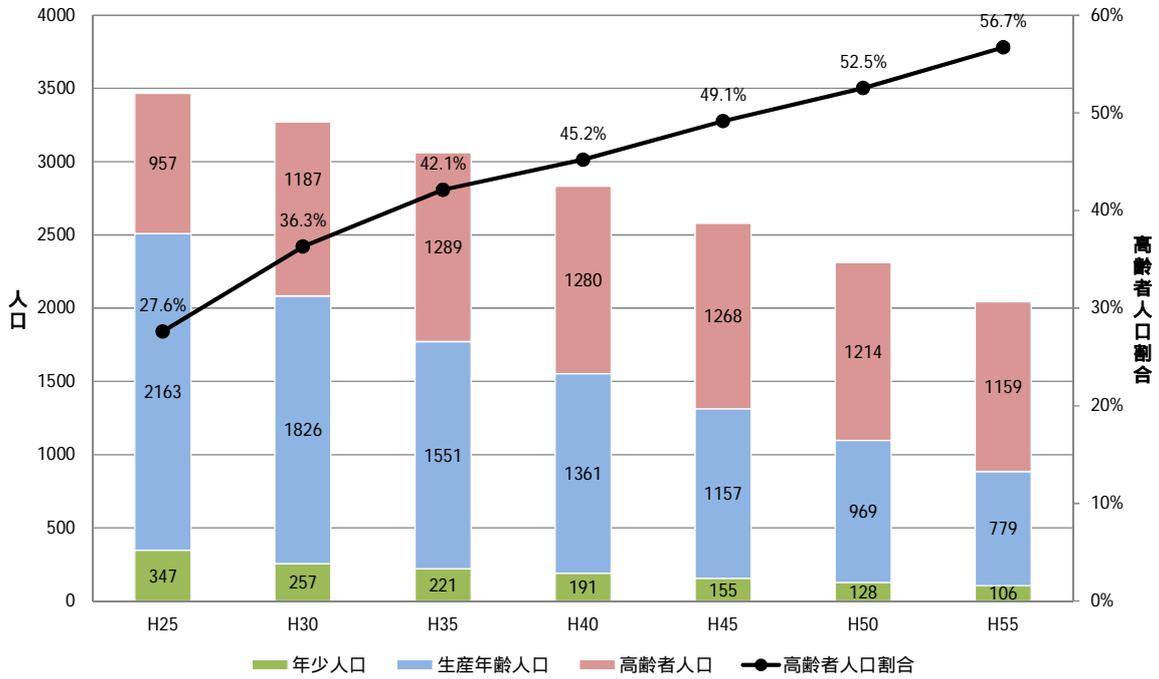
| 年 | | 総人口 | 年少人口 | 生産年齢人口 | 高齢者人口 | 年少人口割合 | 生産年齢人口割合 | 高齢者人口割合 | 出生数 | 死亡数 | 自然増減 | 社会増減 |
|------|------|------|------|--------|-------|--------|----------|---------|-----|-----|------|------|
| 平成25 | 2013 | 4960 | 580 | 3109 | 1271 | 11.7% | 62.7% | 25.6% | 145 | 243 | -98 | -45 |
| 30 | 2018 | 4817 | 530 | 2705 | 1582 | 11.0% | 56.2% | 32.8% | 123 | 277 | -154 | -20 |
| 35 | 2023 | 4643 | 502 | 2441 | 1700 | 10.8% | 52.6% | 36.6% | 104 | 315 | -211 | -14 |
| 40 | 2028 | 4418 | 466 | 2245 | 1707 | 10.5% | 50.8% | 38.6% | 93 | 355 | -262 | -11 |
| 45 | 2033 | 4145 | 399 | 2068 | 1678 | 9.6% | 49.9% | 40.5% | 84 | 379 | -295 | -7 |
| 50 | 2038 | 3843 | 349 | 1788 | 1706 | 9.1% | 46.5% | 44.4% | 69 | 392 | -323 | -7 |
| 55 | 2043 | 3513 | 305 | 1572 | 1636 | 8.7% | 44.7% | 46.6% | | | | |

推計結果一覧（年齢5歳階級別）

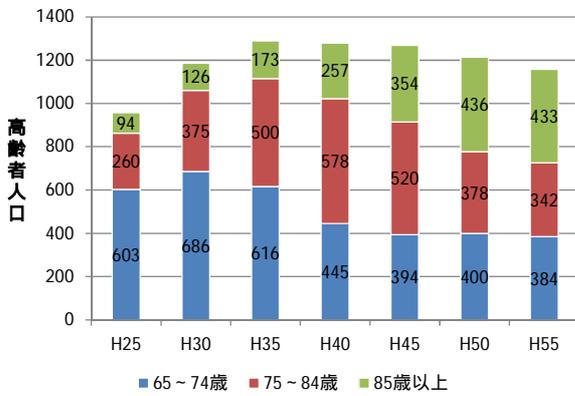
| 年齢 | 平成25年 2013年 | | | 平成30年 2018年 | | | 平成35年 2023年 | | | 平成40年 2028年 | | |
|-------|----------------|------|------|----------------|------|------|----------------|------|------|----------------|------|------|
| | 男 | 女 | 全体 |
| 0～4 | 80 | 75 | 155 | 83 | 84 | 167 | 71 | 71 | 142 | 60 | 60 | 120 |
| 5～9 | 97 | 91 | 188 | 92 | 80 | 172 | 95 | 90 | 185 | 82 | 76 | 158 |
| 10～14 | 112 | 125 | 237 | 99 | 92 | 191 | 94 | 81 | 175 | 97 | 91 | 188 |
| 15～19 | 115 | 119 | 234 | 101 | 102 | 203 | 90 | 75 | 165 | 85 | 66 | 151 |
| 20～24 | 120 | 103 | 223 | 92 | 91 | 183 | 80 | 78 | 158 | 72 | 57 | 129 |
| 25～29 | 123 | 145 | 268 | 106 | 91 | 197 | 81 | 80 | 161 | 71 | 69 | 140 |
| 30～34 | 148 | 117 | 265 | 124 | 139 | 263 | 107 | 87 | 194 | 81 | 77 | 158 |
| 35～39 | 163 | 137 | 300 | 152 | 127 | 279 | 128 | 151 | 279 | 111 | 94 | 205 |
| 40～44 | 206 | 175 | 381 | 158 | 136 | 294 | 147 | 126 | 273 | 124 | 150 | 274 |
| 45～49 | 139 | 147 | 286 | 200 | 170 | 370 | 154 | 132 | 286 | 143 | 122 | 265 |
| 50～54 | 130 | 155 | 285 | 137 | 147 | 284 | 198 | 170 | 368 | 152 | 132 | 284 |
| 55～59 | 181 | 176 | 357 | 127 | 154 | 281 | 134 | 146 | 280 | 194 | 169 | 363 |
| 60～64 | 247 | 263 | 510 | 176 | 175 | 351 | 124 | 153 | 277 | 131 | 145 | 276 |
| 65～69 | 221 | 210 | 431 | 237 | 260 | 497 | 169 | 173 | 342 | 120 | 151 | 271 |
| 70～74 | 169 | 160 | 329 | 206 | 204 | 410 | 221 | 254 | 475 | 158 | 169 | 327 |
| 75～79 | 113 | 111 | 224 | 148 | 153 | 301 | 181 | 195 | 376 | 197 | 243 | 440 |
| 80～84 | 63 | 77 | 140 | 88 | 100 | 188 | 118 | 140 | 258 | 146 | 179 | 325 |
| 85～89 | 24 | 64 | 88 | 42 | 65 | 107 | 61 | 86 | 147 | 83 | 122 | 205 |
| 90～ | 16 | 43 | 59 | 17 | 62 | 79 | 27 | 75 | 102 | 41 | 98 | 139 |
| 計 | 2467 | 2493 | 4960 | 2385 | 2432 | 4817 | 2280 | 2363 | 4643 | 2148 | 2270 | 4418 |

| 年齢 | 平成45年 2033年 | | | 平成50年 2038年 | | | 平成55年 2043年 | | |
|-------|----------------|------|------|----------------|------|------|----------------|------|------|
| | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 |
| 0～4 | 54 | 53 | 107 | 48 | 48 | 96 | 39 | 40 | 79 |
| 5～9 | 69 | 64 | 133 | 62 | 57 | 119 | 55 | 51 | 106 |
| 10～14 | 83 | 76 | 159 | 70 | 64 | 134 | 63 | 57 | 120 |
| 15～19 | 88 | 74 | 162 | 75 | 62 | 137 | 63 | 52 | 115 |
| 20～24 | 68 | 50 | 118 | 70 | 57 | 127 | 60 | 47 | 107 |
| 25～29 | 64 | 50 | 114 | 60 | 44 | 104 | 62 | 50 | 112 |
| 30～34 | 71 | 66 | 137 | 64 | 48 | 112 | 60 | 42 | 102 |
| 35～39 | 84 | 84 | 168 | 73 | 72 | 145 | 66 | 52 | 118 |
| 40～44 | 107 | 93 | 200 | 82 | 83 | 165 | 71 | 72 | 143 |
| 45～49 | 121 | 146 | 267 | 104 | 91 | 195 | 80 | 81 | 161 |
| 50～54 | 141 | 122 | 263 | 120 | 146 | 266 | 103 | 91 | 194 |
| 55～59 | 149 | 132 | 281 | 138 | 122 | 260 | 118 | 146 | 264 |
| 60～64 | 189 | 169 | 358 | 146 | 131 | 277 | 135 | 121 | 256 |
| 65～69 | 126 | 143 | 269 | 182 | 168 | 350 | 141 | 129 | 270 |
| 70～74 | 113 | 148 | 261 | 119 | 140 | 259 | 171 | 165 | 336 |
| 75～79 | 141 | 163 | 304 | 102 | 143 | 245 | 108 | 135 | 243 |
| 80～84 | 161 | 224 | 385 | 117 | 152 | 269 | 84 | 134 | 218 |
| 85～89 | 105 | 158 | 263 | 117 | 200 | 317 | 86 | 137 | 223 |
| 90～ | 59 | 137 | 196 | 80 | 186 | 266 | 98 | 248 | 346 |
| 計 | 1993 | 2152 | 4145 | 1829 | 2014 | 3843 | 1663 | 1850 | 3513 |

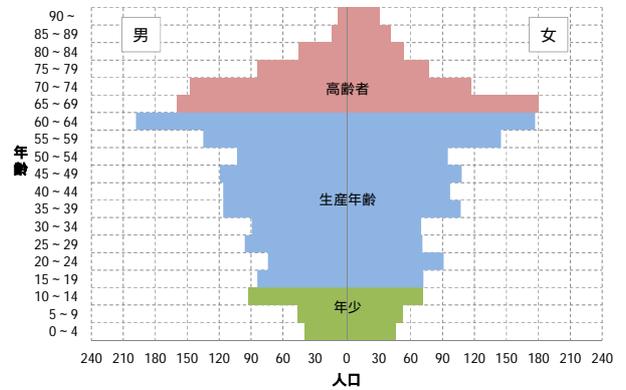
人口と高齢化の推移 (H25 ~ H55)



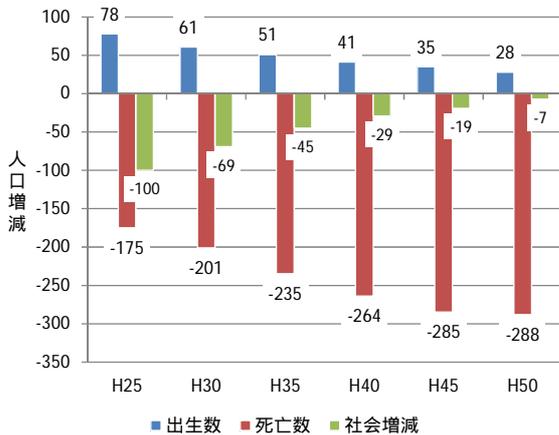
高齢者の内訳推移



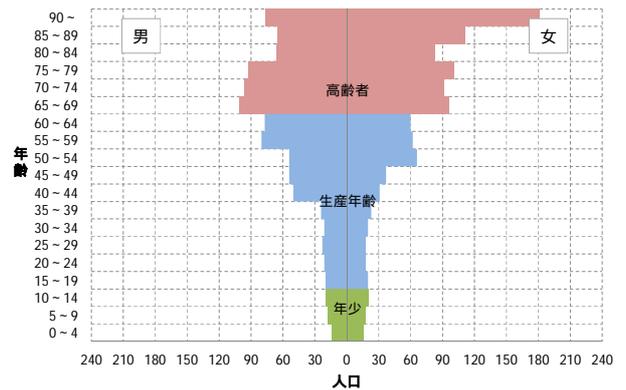
人口ピラミッド (H25)



人口増減の内訳と推移



人口ピラミッド (H55)



推計結果一覧

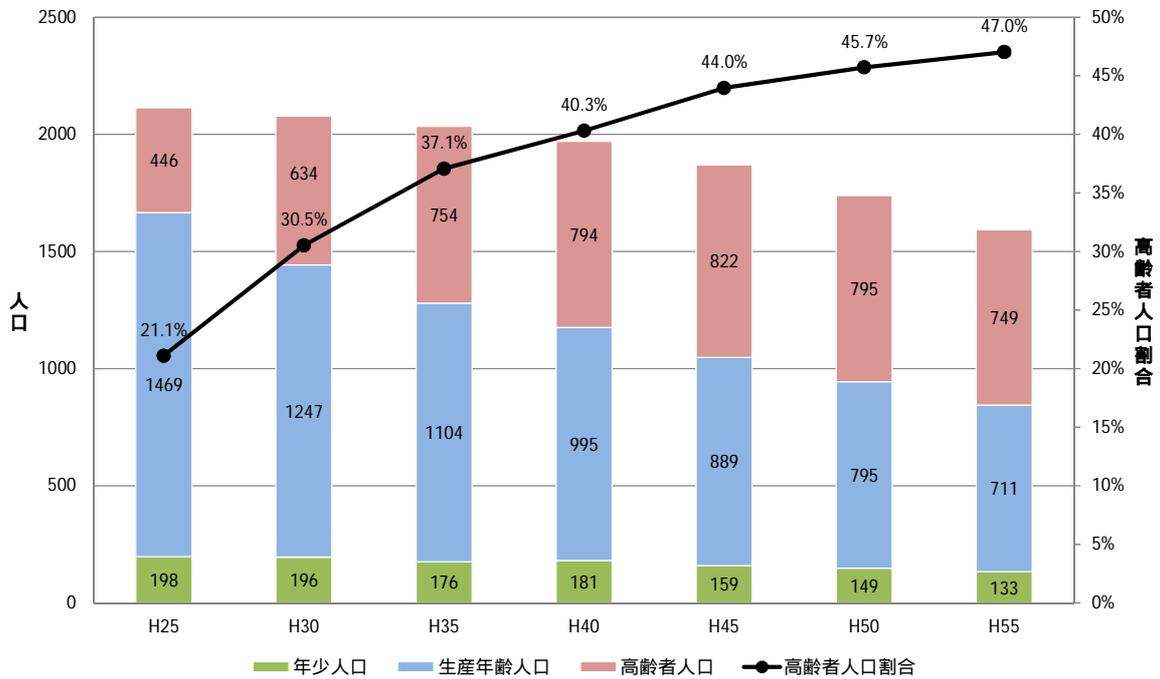
| 年 | | 総人口 | 年少人口 | 生産年齢人口 | 高齢者人口 | 年少人口割合 | 生産年齢人口割合 | 高齢者人口割合 | 出生数 | 死亡数 | 自然増減 | 社会増減 |
|------|------|------|------|--------|-------|--------|----------|---------|-----|-----|------|------|
| 平成25 | 2013 | 3467 | 347 | 2163 | 957 | 10.0% | 62.4% | 27.6% | 78 | 175 | -97 | -100 |
| 30 | 2018 | 3270 | 257 | 1826 | 1187 | 7.9% | 55.8% | 36.3% | 61 | 201 | -140 | -69 |
| 35 | 2023 | 3061 | 221 | 1551 | 1289 | 7.2% | 50.7% | 42.1% | 51 | 235 | -184 | -45 |
| 40 | 2028 | 2832 | 191 | 1361 | 1280 | 6.7% | 48.1% | 45.2% | 41 | 264 | -223 | -29 |
| 45 | 2033 | 2580 | 155 | 1157 | 1268 | 6.0% | 44.8% | 49.1% | 35 | 285 | -250 | -19 |
| 50 | 2038 | 2311 | 128 | 969 | 1214 | 5.5% | 41.9% | 52.5% | 28 | 288 | -260 | -7 |
| 55 | 2043 | 2044 | 106 | 779 | 1159 | 5.2% | 38.1% | 56.7% | | | | |

推計結果一覧（年齢5歳階級別）

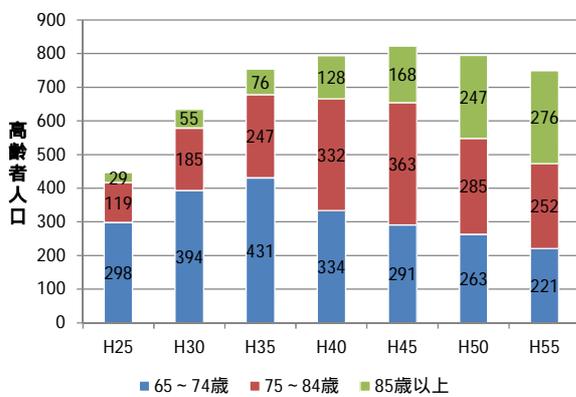
| 年齢 | 平成25年 2013年 | | | 平成30年 2018年 | | | 平成35年 2023年 | | | 平成40年 2028年 | | |
|-------|----------------|------|------|----------------|------|------|----------------|------|------|----------------|------|------|
| | 男 | 女 | 全体 |
| 0～4 | 40 | 46 | 86 | 41 | 42 | 83 | 32 | 33 | 65 | 27 | 28 | 55 |
| 5～9 | 46 | 52 | 98 | 39 | 43 | 82 | 40 | 39 | 79 | 31 | 31 | 62 |
| 10～14 | 92 | 71 | 163 | 44 | 48 | 92 | 37 | 40 | 77 | 38 | 36 | 74 |
| 15～19 | 84 | 72 | 156 | 75 | 58 | 133 | 36 | 39 | 75 | 30 | 33 | 63 |
| 20～24 | 74 | 91 | 165 | 72 | 53 | 125 | 65 | 43 | 108 | 31 | 29 | 60 |
| 25～29 | 96 | 71 | 167 | 64 | 75 | 139 | 62 | 43 | 105 | 56 | 35 | 91 |
| 30～34 | 89 | 70 | 159 | 90 | 72 | 162 | 60 | 76 | 136 | 58 | 43 | 101 |
| 35～39 | 116 | 107 | 223 | 85 | 66 | 151 | 86 | 68 | 154 | 57 | 72 | 129 |
| 40～44 | 116 | 97 | 213 | 116 | 100 | 216 | 85 | 61 | 146 | 86 | 63 | 149 |
| 45～49 | 119 | 108 | 227 | 110 | 95 | 205 | 110 | 98 | 208 | 81 | 60 | 141 |
| 50～54 | 103 | 95 | 198 | 117 | 108 | 225 | 109 | 95 | 204 | 109 | 98 | 207 |
| 55～59 | 135 | 145 | 280 | 101 | 94 | 195 | 115 | 108 | 223 | 107 | 94 | 201 |
| 60～64 | 198 | 177 | 375 | 131 | 144 | 275 | 98 | 94 | 192 | 112 | 107 | 219 |
| 65～69 | 159 | 180 | 339 | 189 | 175 | 364 | 126 | 142 | 268 | 95 | 93 | 188 |
| 70～74 | 147 | 117 | 264 | 147 | 175 | 322 | 177 | 171 | 348 | 118 | 139 | 257 |
| 75～79 | 84 | 77 | 161 | 129 | 111 | 240 | 130 | 167 | 297 | 157 | 164 | 321 |
| 80～84 | 45 | 54 | 99 | 66 | 69 | 135 | 102 | 101 | 203 | 104 | 153 | 257 |
| 85～89 | 14 | 41 | 55 | 30 | 45 | 75 | 45 | 60 | 105 | 72 | 88 | 160 |
| 90～ | 8 | 31 | 39 | 9 | 42 | 51 | 17 | 51 | 68 | 29 | 68 | 97 |
| 計 | 1765 | 1702 | 3467 | 1655 | 1615 | 3270 | 1532 | 1529 | 3061 | 1398 | 1434 | 2832 |

| 年齢 | 平成45年 2033年 | | | 平成50年 2038年 | | | 平成55年 2043年 | | |
|-------|----------------|------|------|----------------|------|------|----------------|------|------|
| | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 |
| 0～4 | 22 | 22 | 44 | 18 | 19 | 37 | 14 | 16 | 30 |
| 5～9 | 26 | 26 | 52 | 21 | 21 | 42 | 18 | 18 | 36 |
| 10～14 | 30 | 29 | 59 | 25 | 24 | 49 | 20 | 20 | 40 |
| 15～19 | 31 | 30 | 61 | 24 | 24 | 48 | 20 | 20 | 40 |
| 20～24 | 26 | 24 | 50 | 27 | 22 | 49 | 21 | 18 | 39 |
| 25～29 | 27 | 24 | 51 | 22 | 20 | 42 | 23 | 18 | 41 |
| 30～34 | 52 | 35 | 87 | 25 | 24 | 49 | 21 | 20 | 41 |
| 35～39 | 56 | 41 | 97 | 50 | 33 | 83 | 24 | 23 | 47 |
| 40～44 | 57 | 67 | 124 | 56 | 38 | 94 | 50 | 31 | 81 |
| 45～49 | 82 | 62 | 144 | 55 | 65 | 120 | 54 | 37 | 91 |
| 50～54 | 80 | 61 | 141 | 81 | 63 | 144 | 54 | 66 | 120 |
| 55～59 | 107 | 97 | 204 | 79 | 60 | 139 | 80 | 62 | 142 |
| 60～64 | 104 | 94 | 198 | 104 | 97 | 201 | 77 | 60 | 137 |
| 65～69 | 108 | 106 | 214 | 101 | 93 | 194 | 101 | 96 | 197 |
| 70～74 | 89 | 91 | 180 | 102 | 104 | 206 | 96 | 91 | 187 |
| 75～79 | 106 | 133 | 239 | 80 | 88 | 168 | 92 | 101 | 193 |
| 80～84 | 129 | 152 | 281 | 87 | 123 | 210 | 66 | 83 | 149 |
| 85～89 | 74 | 135 | 209 | 94 | 136 | 230 | 65 | 111 | 176 |
| 90～ | 48 | 97 | 145 | 60 | 146 | 206 | 76 | 181 | 257 |
| 計 | 1254 | 1326 | 2580 | 1111 | 1200 | 2311 | 972 | 1072 | 2044 |

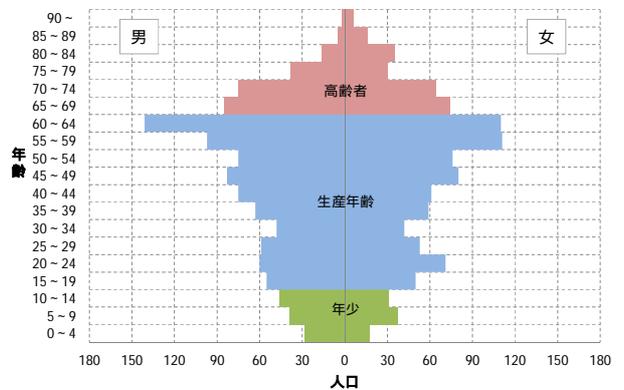
人口と高齢化の推移 (H25 ~ H55)



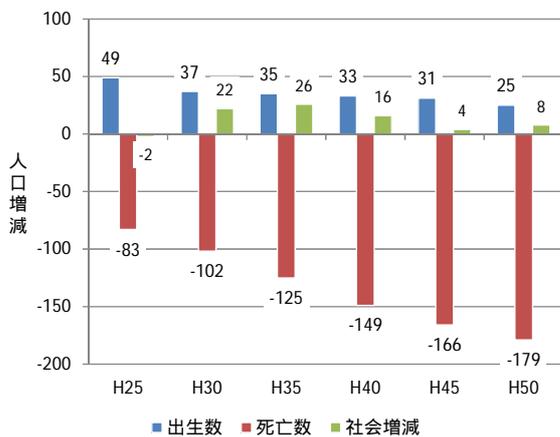
高齢者の内訳推移



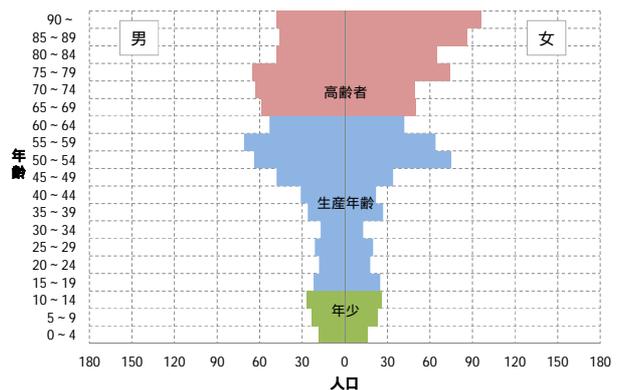
人口ピラミッド (H25)



人口増減の内訳と推移



人口ピラミッド (H55)



推計結果一覧

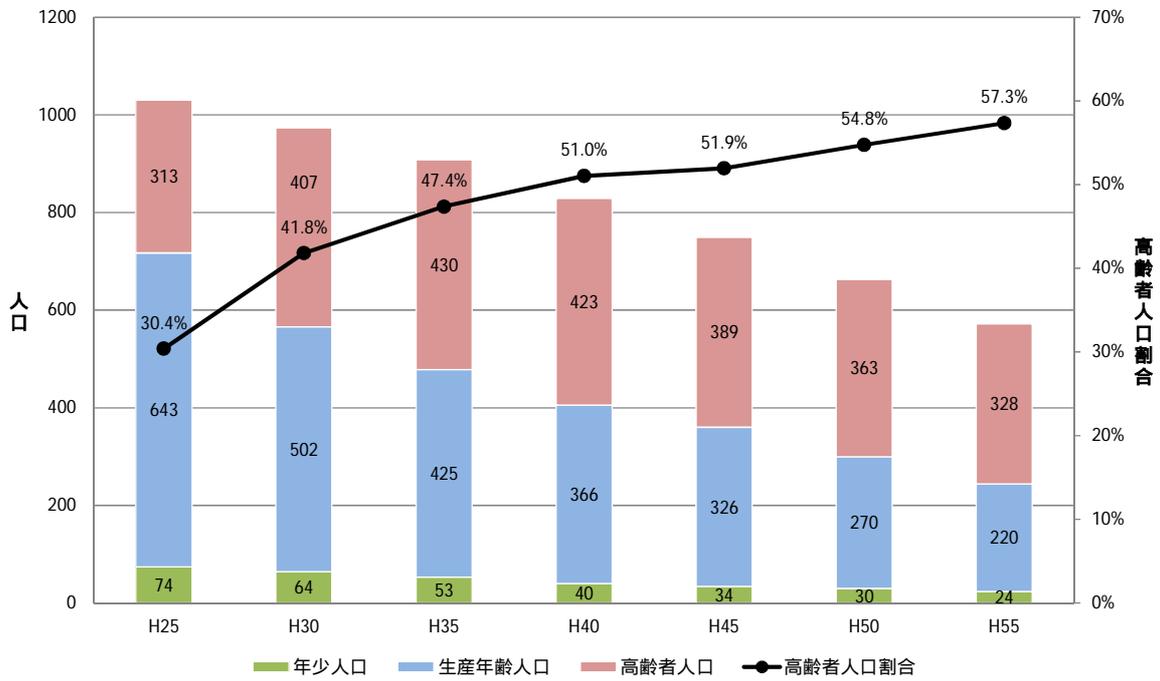
| 年 | | 総人口 | 年少人口 | 生産年齢人口 | 高齢者人口 | 年少人口割合 | 生産年齢人口割合 | 高齢者人口割合 | 出生数 | 死亡数 | 自然増減 | 社会増減 |
|------|------|------|------|--------|-------|--------|----------|---------|-----|-----|------|------|
| 平成25 | 2013 | 2113 | 198 | 1469 | 446 | 9.4% | 69.5% | 21.1% | 49 | 83 | -34 | -2 |
| 30 | 2018 | 2077 | 196 | 1247 | 634 | 9.4% | 60.0% | 30.5% | 37 | 102 | -65 | 22 |
| 35 | 2023 | 2034 | 176 | 1104 | 754 | 8.7% | 54.3% | 37.1% | 35 | 125 | -90 | 26 |
| 40 | 2028 | 1970 | 181 | 995 | 794 | 9.2% | 50.5% | 40.3% | 33 | 149 | -116 | 16 |
| 45 | 2033 | 1870 | 159 | 889 | 822 | 8.5% | 47.5% | 44.0% | 31 | 166 | -135 | 4 |
| 50 | 2038 | 1739 | 149 | 795 | 795 | 8.6% | 45.7% | 45.7% | 25 | 179 | -154 | 8 |
| 55 | 2043 | 1593 | 133 | 711 | 749 | 8.3% | 44.6% | 47.0% | | | | |

推計結果一覧（年齢5歳階級別）

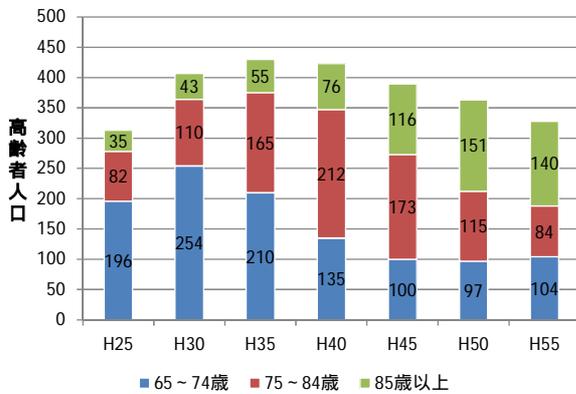
| 年齢 | 平成25年 2013年 | | | 平成30年 2018年 | | | 平成35年 2023年 | | | 平成40年 2028年 | | |
|-------|----------------|------|------|----------------|------|------|----------------|------|------|----------------|-----|------|
| | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 |
| 0～4 | 28 | 17 | 45 | 35 | 32 | 67 | 26 | 24 | 50 | 25 | 23 | 48 |
| 5～9 | 39 | 37 | 76 | 30 | 20 | 50 | 37 | 37 | 74 | 28 | 28 | 56 |
| 10～14 | 46 | 31 | 77 | 40 | 39 | 79 | 31 | 21 | 52 | 38 | 39 | 77 |
| 15～19 | 55 | 50 | 105 | 36 | 28 | 64 | 32 | 35 | 67 | 24 | 19 | 43 |
| 20～24 | 60 | 71 | 131 | 44 | 33 | 77 | 29 | 19 | 48 | 26 | 23 | 49 |
| 25～29 | 59 | 53 | 112 | 52 | 62 | 114 | 38 | 29 | 67 | 25 | 16 | 41 |
| 30～34 | 48 | 42 | 90 | 62 | 61 | 123 | 55 | 71 | 126 | 40 | 33 | 73 |
| 35～39 | 63 | 59 | 122 | 54 | 49 | 103 | 70 | 72 | 142 | 62 | 84 | 146 |
| 40～44 | 75 | 61 | 136 | 68 | 60 | 128 | 59 | 50 | 109 | 76 | 74 | 150 |
| 45～49 | 83 | 80 | 163 | 72 | 52 | 124 | 65 | 52 | 117 | 57 | 43 | 100 |
| 50～54 | 75 | 76 | 151 | 82 | 80 | 162 | 71 | 52 | 123 | 64 | 52 | 116 |
| 55～59 | 97 | 111 | 208 | 73 | 75 | 148 | 80 | 79 | 159 | 70 | 51 | 121 |
| 60～64 | 141 | 110 | 251 | 94 | 110 | 204 | 71 | 75 | 146 | 77 | 79 | 156 |
| 65～69 | 85 | 74 | 159 | 135 | 108 | 243 | 91 | 109 | 200 | 69 | 74 | 143 |
| 70～74 | 75 | 64 | 139 | 79 | 72 | 151 | 126 | 105 | 231 | 85 | 106 | 191 |
| 75～79 | 38 | 30 | 68 | 66 | 61 | 127 | 70 | 69 | 139 | 112 | 101 | 213 |
| 80～84 | 16 | 35 | 51 | 30 | 28 | 58 | 52 | 56 | 108 | 56 | 63 | 119 |
| 85～89 | 5 | 16 | 21 | 10 | 29 | 39 | 21 | 24 | 45 | 37 | 49 | 86 |
| 90～ | 2 | 6 | 8 | 3 | 13 | 16 | 6 | 25 | 31 | 12 | 30 | 42 |
| 計 | 1090 | 1023 | 2113 | 1065 | 1012 | 2077 | 1030 | 1004 | 2034 | 983 | 987 | 1970 |

| 年齢 | 平成45年 2033年 | | | 平成50年 2038年 | | | 平成55年 2043年 | | |
|-------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|
| | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 |
| 0～4 | 24 | 22 | 46 | 22 | 20 | 42 | 18 | 16 | 34 |
| 5～9 | 27 | 27 | 54 | 26 | 25 | 51 | 23 | 23 | 46 |
| 10～14 | 29 | 30 | 59 | 28 | 28 | 56 | 27 | 26 | 53 |
| 15～19 | 30 | 35 | 65 | 23 | 27 | 50 | 22 | 25 | 47 |
| 20～24 | 19 | 13 | 32 | 24 | 23 | 47 | 18 | 18 | 36 |
| 25～29 | 22 | 20 | 42 | 16 | 11 | 27 | 21 | 20 | 41 |
| 30～34 | 26 | 18 | 44 | 23 | 23 | 46 | 17 | 13 | 30 |
| 35～39 | 45 | 39 | 84 | 29 | 21 | 50 | 26 | 27 | 53 |
| 40～44 | 67 | 86 | 153 | 49 | 40 | 89 | 31 | 22 | 53 |
| 45～49 | 73 | 64 | 137 | 65 | 74 | 139 | 48 | 34 | 82 |
| 50～54 | 56 | 43 | 99 | 72 | 65 | 137 | 64 | 75 | 139 |
| 55～59 | 63 | 52 | 115 | 55 | 43 | 98 | 71 | 64 | 135 |
| 60～64 | 68 | 50 | 118 | 61 | 51 | 112 | 53 | 42 | 95 |
| 65～69 | 75 | 78 | 153 | 66 | 49 | 115 | 59 | 50 | 109 |
| 70～74 | 65 | 73 | 138 | 71 | 77 | 148 | 63 | 49 | 112 |
| 75～79 | 76 | 102 | 178 | 58 | 70 | 128 | 65 | 74 | 139 |
| 80～84 | 91 | 94 | 185 | 62 | 95 | 157 | 48 | 65 | 113 |
| 85～89 | 40 | 55 | 95 | 66 | 84 | 150 | 46 | 86 | 132 |
| 90～ | 24 | 49 | 73 | 31 | 66 | 97 | 48 | 96 | 144 |
| 計 | 920 | 950 | 1870 | 847 | 892 | 1739 | 768 | 825 | 1593 |

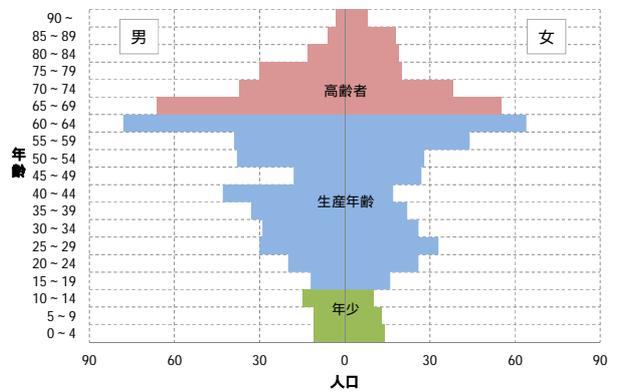
人口と高齢化の推移 (H25 ~ H55)



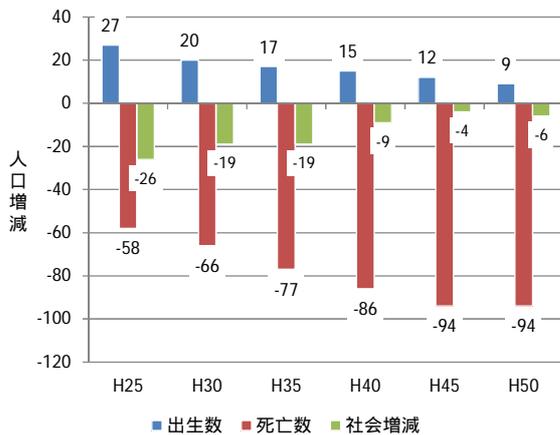
高齢者の内訳推移



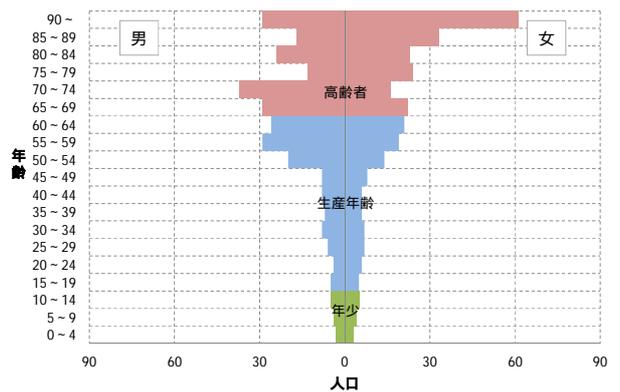
人口ピラミッド (H25)



人口増減の内訳と推移



人口ピラミッド (H55)



推計結果一覧

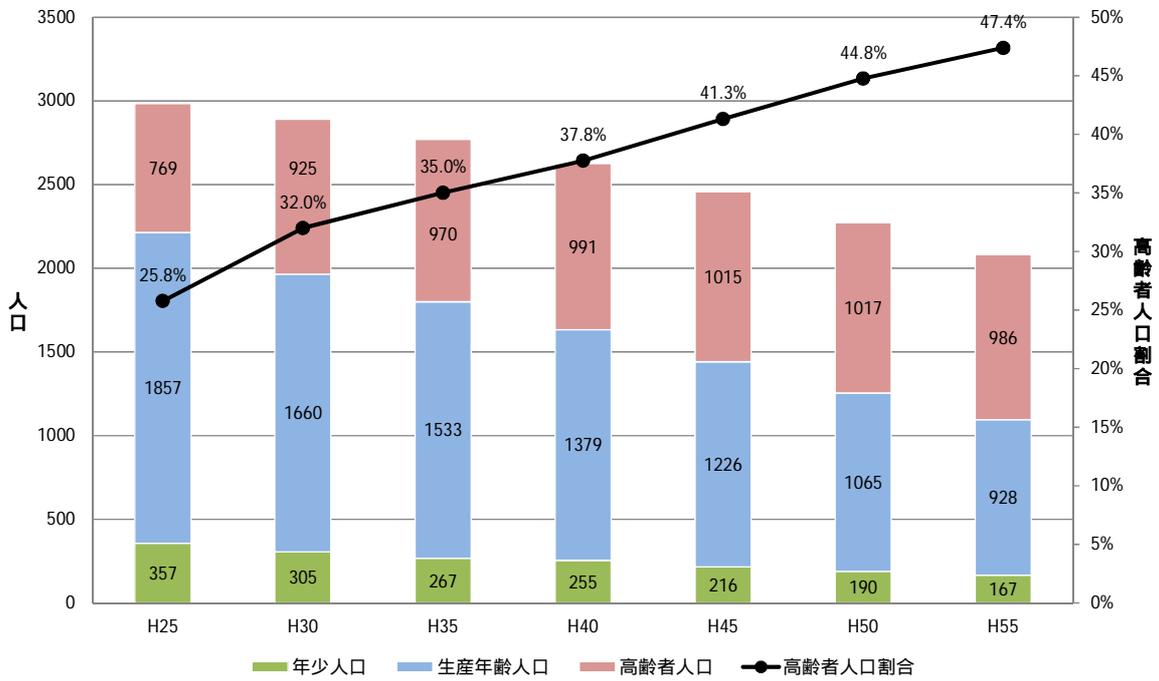
| 年 | | 総人口 | 年少人口 | 生産年齢人口 | 高齢者人口 | 年少人口割合 | 生産年齢人口割合 | 高齢者人口割合 | 出生数 | 死亡数 | 自然増減 | 社会増減 |
|------|------|------|------|--------|-------|--------|----------|---------|-----|-----|------|------|
| 平成25 | 2013 | 1030 | 74 | 643 | 313 | 7.2% | 62.4% | 30.4% | 27 | 58 | -31 | -26 |
| 30 | 2018 | 973 | 64 | 502 | 407 | 6.6% | 51.6% | 41.8% | 20 | 66 | -46 | -19 |
| 35 | 2023 | 908 | 53 | 425 | 430 | 5.8% | 46.8% | 47.4% | 17 | 77 | -60 | -19 |
| 40 | 2028 | 829 | 40 | 366 | 423 | 4.8% | 44.1% | 51.0% | 15 | 86 | -71 | -9 |
| 45 | 2033 | 749 | 34 | 326 | 389 | 4.5% | 43.5% | 51.9% | 12 | 94 | -82 | -4 |
| 50 | 2038 | 663 | 30 | 270 | 363 | 4.5% | 40.7% | 54.8% | 9 | 94 | -85 | -6 |
| 55 | 2043 | 572 | 24 | 220 | 328 | 4.2% | 38.5% | 57.3% | | | | |

推計結果一覧（年齢5歳階級別）

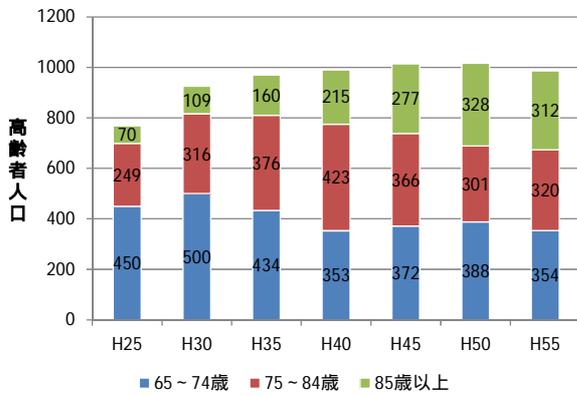
| 年齢 | 平成25年 2013年 | | | 平成30年 2018年 | | | 平成35年 2023年 | | | 平成40年 2028年 | | |
|-------|----------------|-----|------|----------------|-----|-----|----------------|-----|-----|----------------|-----|-----|
| | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 |
| 0～4 | 11 | 14 | 25 | 9 | 10 | 19 | 6 | 8 | 14 | 6 | 6 | 12 |
| 5～9 | 11 | 13 | 24 | 12 | 11 | 23 | 10 | 8 | 18 | 6 | 6 | 12 |
| 10～14 | 15 | 10 | 25 | 10 | 12 | 22 | 11 | 10 | 21 | 9 | 7 | 16 |
| 15～19 | 12 | 16 | 28 | 13 | 10 | 23 | 9 | 13 | 22 | 10 | 10 | 20 |
| 20～24 | 20 | 26 | 46 | 9 | 15 | 24 | 10 | 9 | 19 | 7 | 12 | 19 |
| 25～29 | 30 | 33 | 63 | 19 | 25 | 44 | 9 | 14 | 23 | 9 | 9 | 18 |
| 30～34 | 29 | 26 | 55 | 31 | 25 | 56 | 20 | 19 | 39 | 9 | 10 | 19 |
| 35～39 | 33 | 22 | 55 | 29 | 21 | 50 | 31 | 20 | 51 | 20 | 15 | 35 |
| 40～44 | 43 | 17 | 60 | 31 | 21 | 52 | 27 | 20 | 47 | 29 | 19 | 48 |
| 45～49 | 18 | 27 | 45 | 45 | 17 | 62 | 32 | 22 | 54 | 28 | 21 | 49 |
| 50～54 | 38 | 28 | 66 | 18 | 27 | 45 | 44 | 17 | 61 | 32 | 22 | 54 |
| 55～59 | 39 | 44 | 83 | 37 | 28 | 65 | 18 | 27 | 45 | 43 | 17 | 60 |
| 60～64 | 78 | 64 | 142 | 38 | 43 | 81 | 36 | 28 | 64 | 17 | 27 | 44 |
| 65～69 | 66 | 55 | 121 | 75 | 63 | 138 | 36 | 42 | 78 | 34 | 27 | 61 |
| 70～74 | 37 | 38 | 75 | 62 | 54 | 116 | 70 | 62 | 132 | 33 | 41 | 74 |
| 75～79 | 30 | 20 | 50 | 32 | 37 | 69 | 54 | 52 | 106 | 62 | 59 | 121 |
| 80～84 | 13 | 19 | 32 | 23 | 18 | 41 | 25 | 34 | 59 | 43 | 48 | 91 |
| 85～89 | 6 | 18 | 24 | 8 | 16 | 24 | 15 | 16 | 31 | 17 | 29 | 46 |
| 90～ | 3 | 8 | 11 | 4 | 15 | 19 | 5 | 19 | 24 | 9 | 21 | 30 |
| 計 | 532 | 498 | 1030 | 505 | 468 | 973 | 468 | 440 | 908 | 423 | 406 | 829 |

| 年齢 | 平成45年 2033年 | | | 平成50年 2038年 | | | 平成55年 2043年 | | |
|-------|----------------|-----|-----|----------------|-----|-----|----------------|-----|-----|
| | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 |
| 0～4 | 5 | 6 | 11 | 4 | 5 | 9 | 3 | 3 | 6 |
| 5～9 | 6 | 5 | 11 | 5 | 5 | 10 | 4 | 4 | 8 |
| 10～14 | 6 | 6 | 12 | 6 | 5 | 11 | 5 | 5 | 10 |
| 15～19 | 8 | 7 | 15 | 5 | 6 | 11 | 5 | 5 | 10 |
| 20～24 | 8 | 9 | 17 | 6 | 7 | 13 | 4 | 6 | 10 |
| 25～29 | 7 | 11 | 18 | 8 | 9 | 17 | 6 | 7 | 13 |
| 30～34 | 9 | 7 | 16 | 7 | 8 | 15 | 8 | 7 | 15 |
| 35～39 | 9 | 8 | 17 | 9 | 6 | 15 | 7 | 6 | 13 |
| 40～44 | 19 | 14 | 33 | 8 | 8 | 16 | 8 | 6 | 14 |
| 45～49 | 30 | 19 | 49 | 20 | 14 | 34 | 8 | 8 | 16 |
| 50～54 | 28 | 21 | 49 | 30 | 19 | 49 | 20 | 14 | 34 |
| 55～59 | 31 | 22 | 53 | 27 | 21 | 48 | 29 | 19 | 48 |
| 60～64 | 42 | 17 | 59 | 30 | 22 | 52 | 26 | 21 | 47 |
| 65～69 | 16 | 26 | 42 | 40 | 17 | 57 | 29 | 22 | 51 |
| 70～74 | 32 | 26 | 58 | 15 | 25 | 40 | 37 | 16 | 53 |
| 75～79 | 29 | 40 | 69 | 29 | 25 | 54 | 13 | 24 | 37 |
| 80～84 | 50 | 54 | 104 | 24 | 37 | 61 | 24 | 23 | 47 |
| 85～89 | 31 | 42 | 73 | 36 | 48 | 84 | 17 | 33 | 50 |
| 90～ | 12 | 31 | 43 | 21 | 46 | 67 | 29 | 61 | 90 |
| 計 | 378 | 371 | 749 | 330 | 333 | 663 | 282 | 290 | 572 |

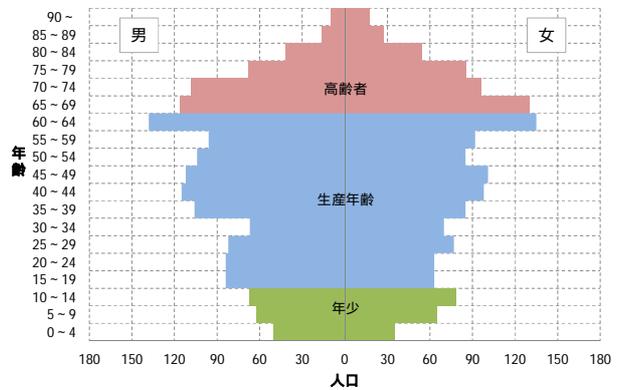
人口と高齢化の推移 (H25 ~ H55)



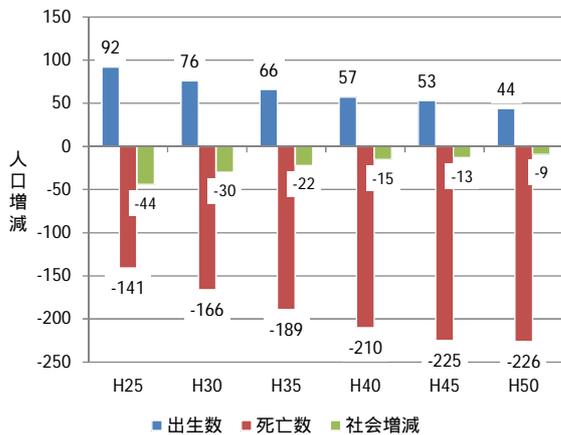
高齢者の内訳推移



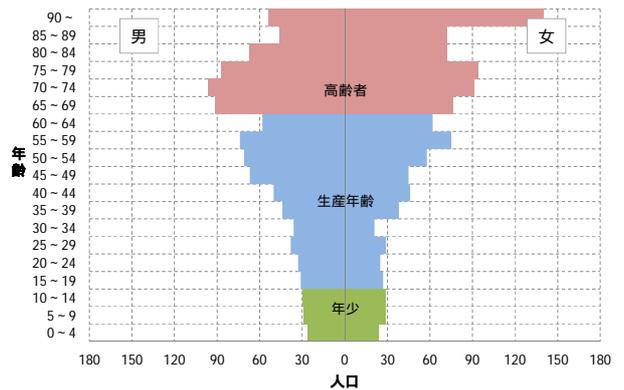
人口ピラミッド (H25)



人口増減の内訳と推移



人口ピラミッド (H55)



推計結果一覧

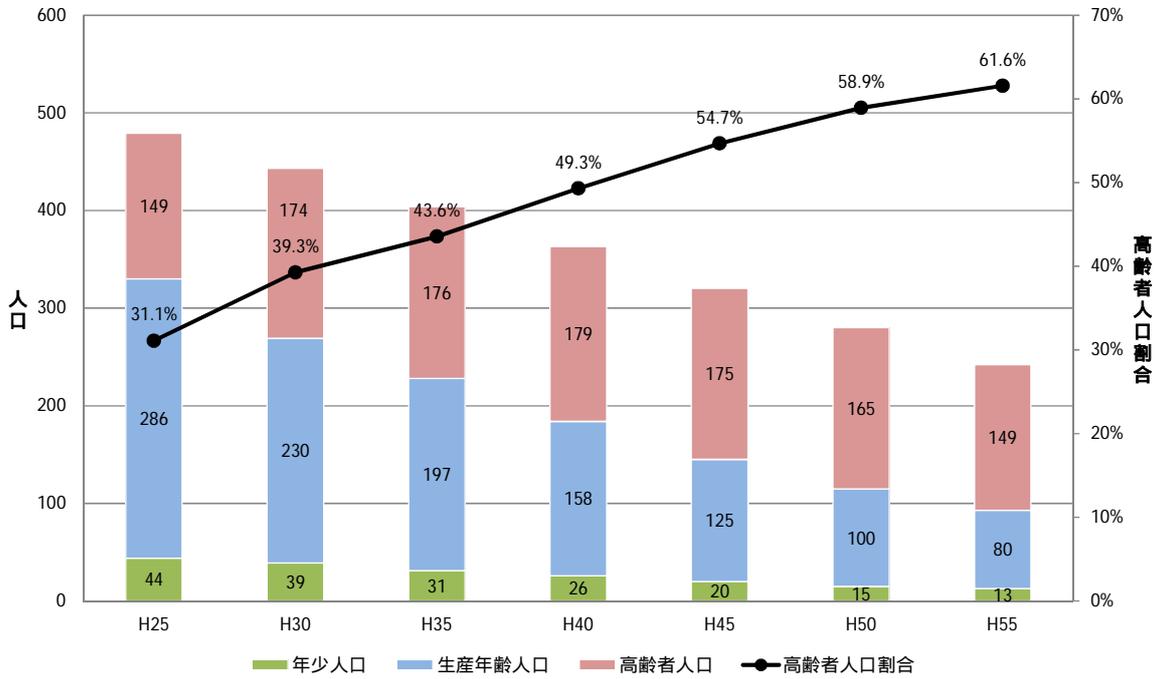
| 年 | 総人口 | 年少人口 | 生産年齢人口 | 高齢者人口 | 年少人口割合 | 生産年齢人口割合 | 高齢者人口割合 | 出生数 | 死亡数 | 自然増減 | 社会増減 | |
|------|------|------|--------|-------|--------|----------|---------|-------|-----|------|------|-----|
| 平成25 | 2013 | 2983 | 357 | 1857 | 769 | 12.0% | 62.3% | 25.8% | 92 | 141 | -49 | -44 |
| 30 | 2018 | 2890 | 305 | 1660 | 925 | 10.6% | 57.4% | 32.0% | 76 | 166 | -90 | -30 |
| 35 | 2023 | 2770 | 267 | 1533 | 970 | 9.6% | 55.3% | 35.0% | 66 | 189 | -123 | -22 |
| 40 | 2028 | 2625 | 255 | 1379 | 991 | 9.7% | 52.5% | 37.8% | 57 | 210 | -153 | -15 |
| 45 | 2033 | 2457 | 216 | 1226 | 1015 | 8.8% | 49.9% | 41.3% | 53 | 225 | -172 | -13 |
| 50 | 2038 | 2272 | 190 | 1065 | 1017 | 8.4% | 46.9% | 44.8% | 44 | 226 | -182 | -9 |
| 55 | 2043 | 2081 | 167 | 928 | 986 | 8.0% | 44.6% | 47.4% | | | | |

推計結果一覧（年齢5歳階級別）

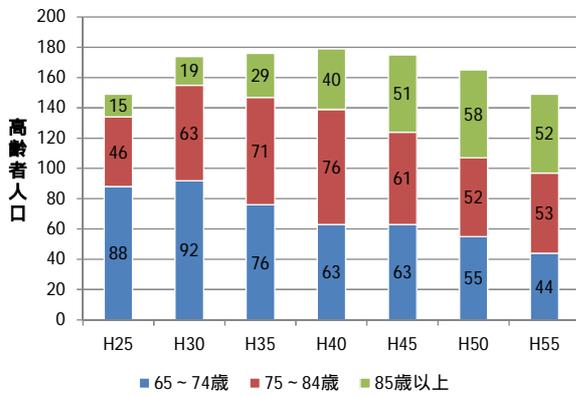
| 年齢 | 平成25年 2013年 | | | 平成30年 2018年 | | | 平成35年 2023年 | | | 平成40年 2028年 | | |
|-------|----------------|------|------|----------------|------|------|----------------|------|------|----------------|------|------|
| | 男 | 女 | 全体 |
| 0～4 | 50 | 35 | 85 | 52 | 51 | 103 | 43 | 42 | 85 | 38 | 36 | 74 |
| 5～9 | 62 | 65 | 127 | 49 | 35 | 84 | 51 | 52 | 103 | 42 | 43 | 85 |
| 10～14 | 67 | 78 | 145 | 59 | 59 | 118 | 47 | 32 | 79 | 49 | 47 | 96 |
| 15～19 | 84 | 63 | 147 | 60 | 63 | 123 | 53 | 48 | 101 | 42 | 26 | 68 |
| 20～24 | 84 | 63 | 147 | 77 | 49 | 126 | 55 | 49 | 104 | 49 | 37 | 86 |
| 25～29 | 82 | 77 | 159 | 78 | 60 | 138 | 71 | 47 | 118 | 51 | 47 | 98 |
| 30～34 | 67 | 70 | 137 | 83 | 84 | 167 | 79 | 66 | 145 | 72 | 51 | 123 |
| 35～39 | 106 | 85 | 191 | 65 | 69 | 134 | 80 | 83 | 163 | 76 | 65 | 141 |
| 40～44 | 115 | 98 | 213 | 104 | 79 | 183 | 64 | 64 | 128 | 79 | 77 | 156 |
| 45～49 | 112 | 101 | 213 | 111 | 95 | 206 | 100 | 77 | 177 | 62 | 62 | 124 |
| 50～54 | 104 | 85 | 189 | 111 | 101 | 212 | 110 | 95 | 205 | 99 | 77 | 176 |
| 55～59 | 96 | 92 | 188 | 102 | 84 | 186 | 109 | 100 | 209 | 108 | 94 | 202 |
| 60～64 | 138 | 135 | 273 | 93 | 92 | 185 | 99 | 84 | 183 | 105 | 100 | 205 |
| 65～69 | 116 | 130 | 246 | 132 | 133 | 265 | 90 | 91 | 181 | 96 | 83 | 179 |
| 70～74 | 108 | 96 | 204 | 108 | 127 | 235 | 123 | 130 | 253 | 85 | 89 | 174 |
| 75～79 | 68 | 85 | 153 | 95 | 92 | 187 | 96 | 121 | 217 | 110 | 125 | 235 |
| 80～84 | 42 | 54 | 96 | 53 | 76 | 129 | 75 | 84 | 159 | 77 | 111 | 188 |
| 85～89 | 16 | 27 | 43 | 28 | 45 | 73 | 36 | 65 | 101 | 52 | 73 | 125 |
| 90～ | 10 | 17 | 27 | 11 | 25 | 36 | 17 | 42 | 59 | 25 | 65 | 90 |
| 計 | 1527 | 1456 | 2983 | 1471 | 1419 | 2890 | 1398 | 1372 | 2770 | 1317 | 1308 | 2625 |

| 年齢 | 平成45年 2033年 | | | 平成50年 2038年 | | | 平成55年 2043年 | | |
|-------|----------------|------|------|----------------|------|------|----------------|------|------|
| | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 |
| 0～4 | 32 | 32 | 64 | 30 | 29 | 59 | 26 | 24 | 50 |
| 5～9 | 37 | 36 | 73 | 31 | 32 | 63 | 29 | 29 | 58 |
| 10～14 | 40 | 39 | 79 | 35 | 33 | 68 | 30 | 29 | 59 |
| 15～19 | 44 | 38 | 82 | 36 | 32 | 68 | 31 | 27 | 58 |
| 20～24 | 39 | 20 | 59 | 41 | 30 | 71 | 33 | 25 | 58 |
| 25～29 | 45 | 35 | 80 | 36 | 19 | 55 | 38 | 29 | 67 |
| 30～34 | 52 | 51 | 103 | 45 | 38 | 83 | 36 | 21 | 57 |
| 35～39 | 70 | 50 | 120 | 50 | 50 | 100 | 44 | 38 | 82 |
| 40～44 | 75 | 60 | 135 | 69 | 46 | 115 | 50 | 46 | 96 |
| 45～49 | 76 | 75 | 151 | 72 | 58 | 130 | 67 | 45 | 112 |
| 50～54 | 61 | 63 | 124 | 75 | 76 | 151 | 71 | 58 | 129 |
| 55～59 | 97 | 76 | 173 | 60 | 62 | 122 | 74 | 75 | 149 |
| 60～64 | 105 | 94 | 199 | 94 | 76 | 170 | 58 | 62 | 120 |
| 65～69 | 102 | 99 | 201 | 102 | 93 | 195 | 91 | 76 | 167 |
| 70～74 | 90 | 81 | 171 | 96 | 97 | 193 | 96 | 91 | 187 |
| 75～79 | 76 | 86 | 162 | 81 | 78 | 159 | 87 | 94 | 181 |
| 80～84 | 89 | 115 | 204 | 62 | 80 | 142 | 67 | 72 | 139 |
| 85～89 | 56 | 98 | 154 | 65 | 102 | 167 | 46 | 72 | 118 |
| 90～ | 37 | 86 | 123 | 45 | 116 | 161 | 54 | 140 | 194 |
| 計 | 1223 | 1234 | 2457 | 1125 | 1147 | 2272 | 1028 | 1053 | 2081 |

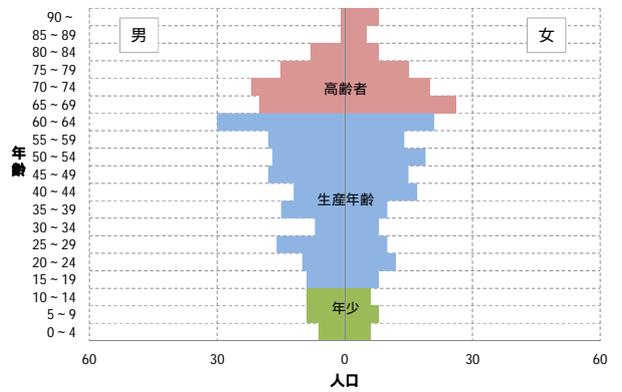
人口と高齢化の推移 (H25 ~ H55)



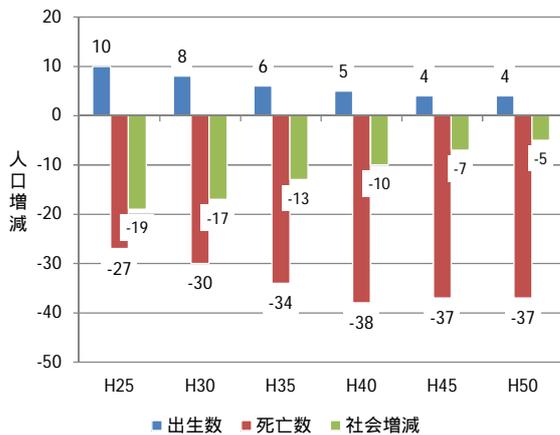
高齢者の内訳推移



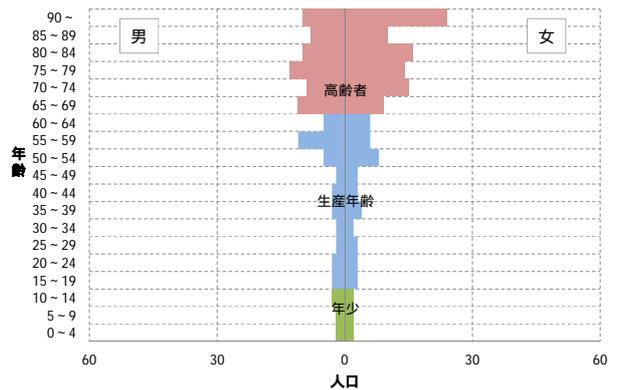
人口ピラミッド (H25)



人口増減の内訳と推移



人口ピラミッド (H55)



推計結果一覧

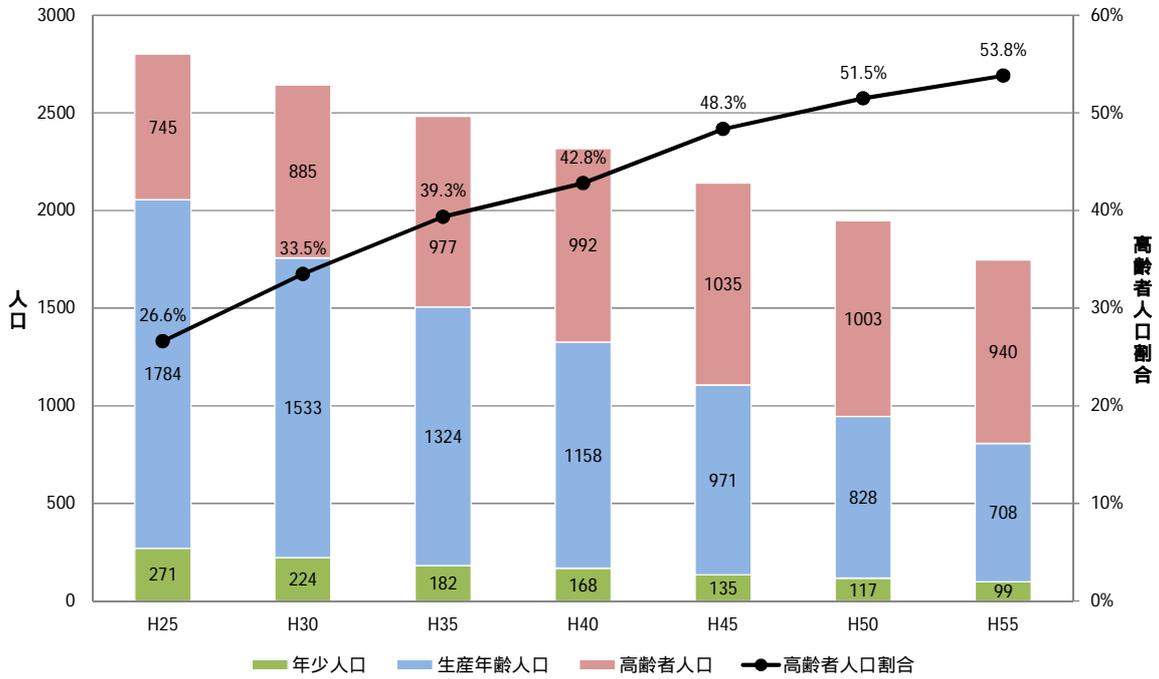
| 年 | 総人口 | 年少人口 | 生産年齢人口 | 高齢者人口 | 年少人口割合 | 生産年齢人口割合 | 高齢者人口割合 | 出生数 | 死亡数 | 自然増減 | 社会増減 | |
|------|------|------|--------|-------|--------|----------|---------|-------|-----|------|------|-----|
| 平成25 | 2013 | 479 | 44 | 286 | 149 | 9.2% | 59.7% | 31.1% | 10 | 27 | -17 | -19 |
| 30 | 2018 | 443 | 39 | 230 | 174 | 8.8% | 51.9% | 39.3% | 8 | 30 | -22 | -17 |
| 35 | 2023 | 404 | 31 | 197 | 176 | 7.7% | 48.8% | 43.6% | 6 | 34 | -28 | -13 |
| 40 | 2028 | 363 | 26 | 158 | 179 | 7.2% | 43.5% | 49.3% | 5 | 38 | -33 | -10 |
| 45 | 2033 | 320 | 20 | 125 | 175 | 6.3% | 39.1% | 54.7% | 4 | 37 | -33 | -7 |
| 50 | 2038 | 280 | 15 | 100 | 165 | 5.4% | 35.7% | 58.9% | 4 | 37 | -33 | -5 |
| 55 | 2043 | 242 | 13 | 80 | 149 | 5.4% | 33.1% | 61.6% | | | | |

推計結果一覧（年齢5歳階級別）

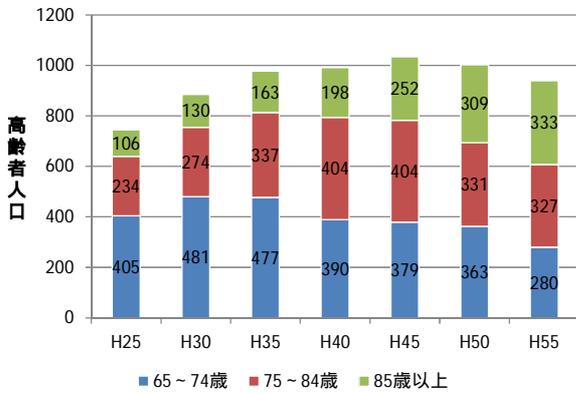
| 年齢 | 平成25年 2013年 | | | 平成30年 2018年 | | | 平成35年 2023年 | | | 平成40年 2028年 | | |
|-------|----------------|-----|-----|----------------|-----|-----|----------------|-----|-----|----------------|-----|-----|
| | 男 | 女 | 全体 |
| 0～4 | 6 | 6 | 12 | 5 | 6 | 11 | 4 | 5 | 9 | 3 | 4 | 7 |
| 5～9 | 9 | 8 | 17 | 6 | 6 | 12 | 5 | 6 | 11 | 4 | 5 | 9 |
| 10～14 | 9 | 6 | 15 | 9 | 7 | 16 | 6 | 5 | 11 | 5 | 5 | 10 |
| 15～19 | 9 | 8 | 17 | 8 | 6 | 14 | 8 | 7 | 15 | 5 | 5 | 10 |
| 20～24 | 10 | 12 | 22 | 6 | 5 | 11 | 5 | 4 | 9 | 5 | 5 | 10 |
| 25～29 | 16 | 10 | 26 | 7 | 12 | 19 | 4 | 5 | 9 | 3 | 4 | 7 |
| 30～34 | 7 | 8 | 15 | 16 | 8 | 24 | 7 | 10 | 17 | 4 | 4 | 8 |
| 35～39 | 15 | 10 | 25 | 6 | 7 | 13 | 14 | 7 | 21 | 6 | 9 | 15 |
| 40～44 | 12 | 17 | 29 | 14 | 10 | 24 | 6 | 7 | 13 | 13 | 7 | 20 |
| 45～49 | 18 | 15 | 33 | 10 | 15 | 25 | 11 | 9 | 20 | 5 | 6 | 11 |
| 50～54 | 17 | 19 | 36 | 18 | 15 | 33 | 10 | 15 | 25 | 11 | 9 | 20 |
| 55～59 | 18 | 14 | 32 | 17 | 19 | 36 | 18 | 15 | 33 | 10 | 15 | 25 |
| 60～64 | 30 | 21 | 51 | 17 | 14 | 31 | 16 | 19 | 35 | 17 | 15 | 32 |
| 65～69 | 20 | 26 | 46 | 29 | 20 | 49 | 16 | 14 | 30 | 15 | 19 | 34 |
| 70～74 | 22 | 20 | 42 | 18 | 25 | 43 | 27 | 19 | 46 | 15 | 14 | 29 |
| 75～79 | 15 | 15 | 30 | 19 | 19 | 38 | 16 | 23 | 39 | 24 | 18 | 42 |
| 80～84 | 8 | 8 | 16 | 12 | 13 | 25 | 15 | 17 | 32 | 13 | 21 | 34 |
| 85～89 | 1 | 5 | 6 | 5 | 6 | 11 | 8 | 11 | 19 | 10 | 15 | 25 |
| 90～ | 1 | 8 | 9 | 1 | 7 | 8 | 3 | 7 | 10 | 5 | 10 | 15 |
| 計 | 243 | 236 | 479 | 223 | 220 | 443 | 199 | 205 | 404 | 173 | 190 | 363 |

| 年齢 | 平成45年 2033年 | | | 平成50年 2038年 | | | 平成55年 2043年 | | |
|-------|----------------|-----|-----|----------------|-----|-----|----------------|-----|-----|
| | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 |
| 0～4 | 3 | 2 | 5 | 2 | 2 | 4 | 2 | 2 | 4 |
| 5～9 | 3 | 4 | 7 | 3 | 2 | 5 | 2 | 2 | 4 |
| 10～14 | 4 | 4 | 8 | 3 | 3 | 6 | 3 | 2 | 5 |
| 15～19 | 5 | 5 | 10 | 4 | 4 | 8 | 3 | 3 | 6 |
| 20～24 | 3 | 3 | 6 | 3 | 3 | 6 | 3 | 3 | 6 |
| 25～29 | 3 | 5 | 8 | 2 | 3 | 5 | 2 | 3 | 5 |
| 30～34 | 3 | 3 | 6 | 3 | 4 | 7 | 2 | 2 | 4 |
| 35～39 | 3 | 4 | 7 | 3 | 3 | 6 | 3 | 4 | 7 |
| 40～44 | 6 | 9 | 15 | 3 | 4 | 7 | 3 | 3 | 6 |
| 45～49 | 11 | 6 | 17 | 5 | 8 | 13 | 2 | 3 | 5 |
| 50～54 | 5 | 6 | 11 | 11 | 6 | 17 | 5 | 8 | 13 |
| 55～59 | 11 | 9 | 20 | 5 | 6 | 11 | 11 | 6 | 17 |
| 60～64 | 10 | 15 | 25 | 11 | 9 | 20 | 5 | 6 | 11 |
| 65～69 | 16 | 15 | 31 | 10 | 15 | 25 | 11 | 9 | 20 |
| 70～74 | 14 | 18 | 32 | 15 | 15 | 30 | 9 | 15 | 24 |
| 75～79 | 13 | 13 | 26 | 12 | 17 | 29 | 13 | 14 | 27 |
| 80～84 | 19 | 16 | 35 | 11 | 12 | 23 | 10 | 16 | 26 |
| 85～89 | 9 | 19 | 28 | 13 | 15 | 28 | 8 | 10 | 18 |
| 90～ | 7 | 16 | 23 | 8 | 22 | 30 | 10 | 24 | 34 |
| 計 | 148 | 172 | 320 | 127 | 153 | 280 | 107 | 135 | 242 |

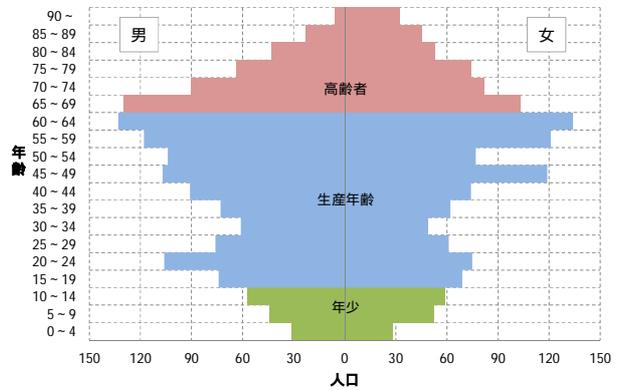
人口と高齢化の推移 (H25 ~ H55)



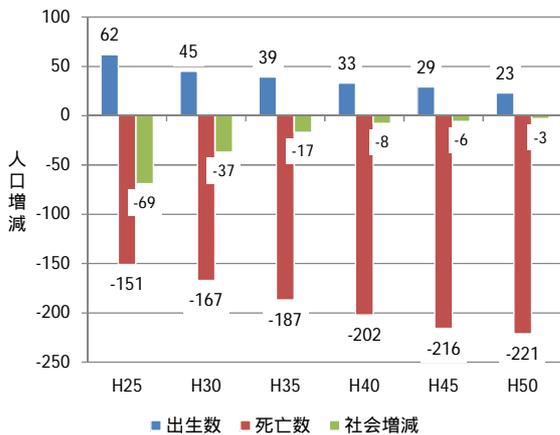
高齢者の内訳推移



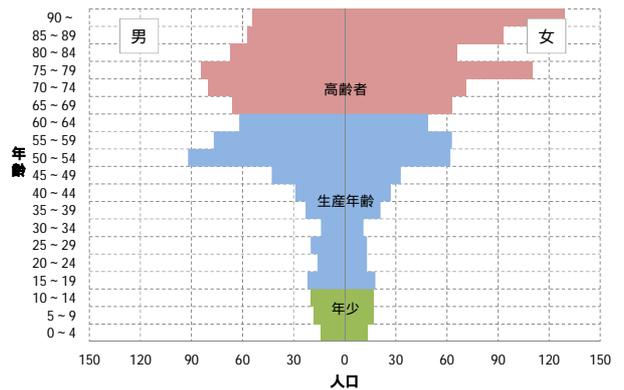
人口ピラミッド (H25)



人口増減の内訳と推移



人口ピラミッド (H55)



推計結果一覧

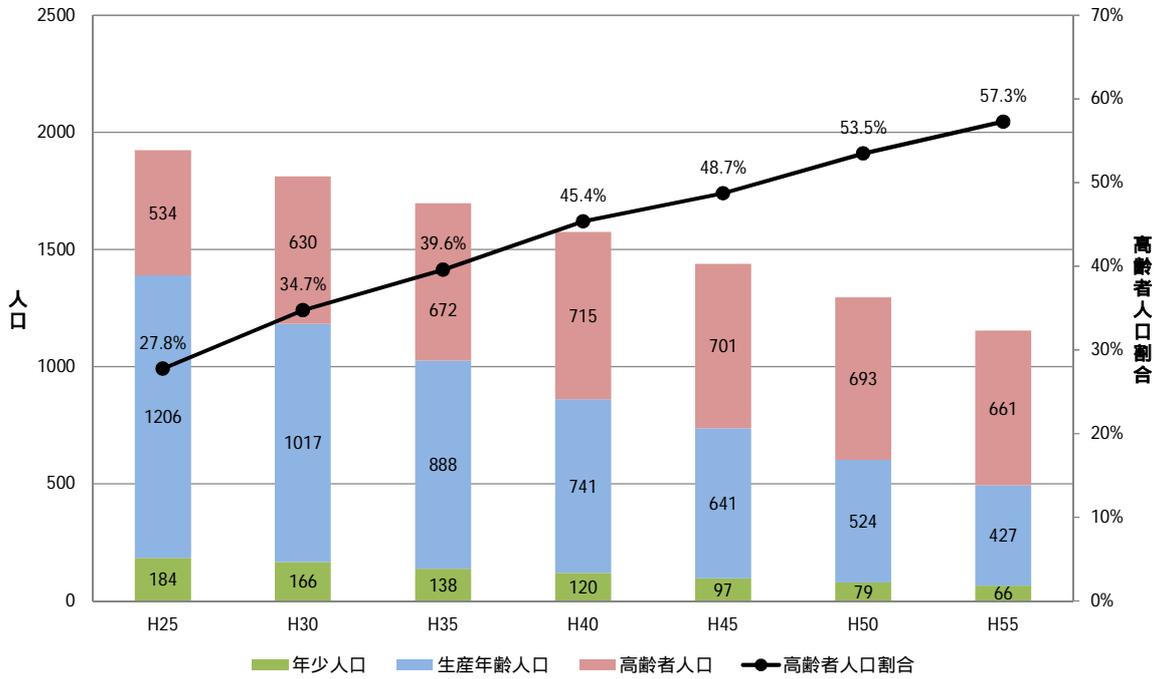
| 年 | | 総人口 | 年少人口 | 生産年齢人口 | 高齢者人口 | 年少人口割合 | 生産年齢人口割合 | 高齢者人口割合 | 出生数 | 死亡数 | 自然増減 | 社会増減 |
|------|------|------|------|--------|-------|--------|----------|---------|-----|-----|------|------|
| 平成25 | 2013 | 2800 | 271 | 1784 | 745 | 9.7% | 63.7% | 26.6% | 62 | 151 | -89 | -69 |
| 30 | 2018 | 2642 | 224 | 1533 | 885 | 8.5% | 58.0% | 33.5% | 45 | 167 | -122 | -37 |
| 35 | 2023 | 2483 | 182 | 1324 | 977 | 7.3% | 53.3% | 39.3% | 39 | 187 | -148 | -17 |
| 40 | 2028 | 2318 | 168 | 1158 | 992 | 7.2% | 50.0% | 42.8% | 33 | 202 | -169 | -8 |
| 45 | 2033 | 2141 | 135 | 971 | 1035 | 6.3% | 45.4% | 48.3% | 29 | 216 | -187 | -6 |
| 50 | 2038 | 1948 | 117 | 828 | 1003 | 6.0% | 42.5% | 51.5% | 23 | 221 | -198 | -3 |
| 55 | 2043 | 1747 | 99 | 708 | 940 | 5.7% | 40.5% | 53.8% | | | | |

推計結果一覧（年齢5歳階級別）

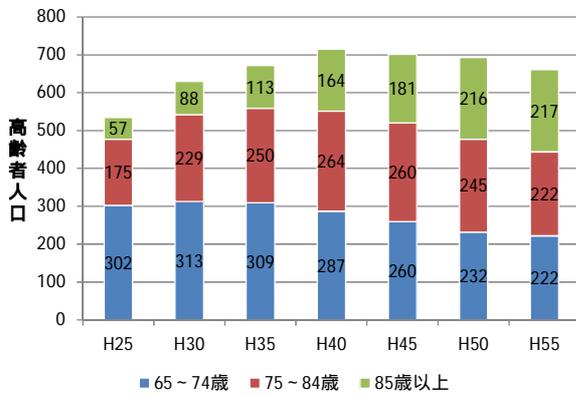
| 年齢 | 平成25年 2013年 | | | 平成30年 2018年 | | | 平成35年 2023年 | | | 平成40年 2028年 | | |
|-------|----------------|------|------|----------------|------|------|----------------|------|------|----------------|------|------|
| | 男 | 女 | 全体 |
| 0～4 | 31 | 28 | 59 | 38 | 35 | 73 | 27 | 26 | 53 | 24 | 22 | 46 |
| 5～9 | 44 | 52 | 96 | 31 | 27 | 58 | 38 | 34 | 72 | 27 | 25 | 52 |
| 10～14 | 57 | 59 | 116 | 44 | 49 | 93 | 31 | 26 | 57 | 38 | 32 | 70 |
| 15～19 | 74 | 69 | 143 | 52 | 54 | 106 | 40 | 45 | 85 | 28 | 24 | 52 |
| 20～24 | 106 | 75 | 181 | 48 | 40 | 88 | 34 | 31 | 65 | 26 | 26 | 52 |
| 25～29 | 76 | 61 | 137 | 91 | 59 | 150 | 41 | 32 | 73 | 29 | 25 | 54 |
| 30～34 | 61 | 49 | 110 | 72 | 62 | 134 | 86 | 60 | 146 | 39 | 33 | 72 |
| 35～39 | 73 | 62 | 135 | 67 | 49 | 116 | 79 | 62 | 141 | 94 | 60 | 154 |
| 40～44 | 91 | 74 | 165 | 71 | 65 | 136 | 65 | 51 | 116 | 77 | 65 | 142 |
| 45～49 | 107 | 119 | 226 | 93 | 72 | 165 | 72 | 63 | 135 | 66 | 50 | 116 |
| 50～54 | 104 | 77 | 181 | 106 | 119 | 225 | 92 | 73 | 165 | 71 | 64 | 135 |
| 55～59 | 118 | 121 | 239 | 102 | 76 | 178 | 104 | 119 | 223 | 90 | 72 | 162 |
| 60～64 | 133 | 134 | 267 | 115 | 120 | 235 | 99 | 76 | 175 | 101 | 118 | 219 |
| 65～69 | 130 | 103 | 233 | 128 | 132 | 260 | 111 | 118 | 229 | 96 | 75 | 171 |
| 70～74 | 90 | 82 | 172 | 121 | 100 | 221 | 119 | 129 | 248 | 104 | 115 | 219 |
| 75～79 | 64 | 74 | 138 | 79 | 78 | 157 | 107 | 96 | 203 | 106 | 124 | 230 |
| 80～84 | 43 | 53 | 96 | 50 | 67 | 117 | 63 | 71 | 134 | 86 | 88 | 174 |
| 85～89 | 23 | 45 | 68 | 29 | 45 | 74 | 34 | 57 | 91 | 44 | 62 | 106 |
| 90～ | 6 | 32 | 38 | 12 | 44 | 56 | 19 | 53 | 72 | 25 | 67 | 92 |
| 計 | 1431 | 1369 | 2800 | 1349 | 1293 | 2642 | 1261 | 1222 | 2483 | 1171 | 1147 | 2318 |

| 年齢 | 平成45年 2033年 | | | 平成50年 2038年 | | | 平成55年 2043年 | | |
|-------|----------------|------|------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|
| | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 |
| 0～4 | 20 | 19 | 39 | 18 | 17 | 35 | 14 | 13 | 27 |
| 5～9 | 24 | 21 | 45 | 20 | 18 | 38 | 18 | 17 | 35 |
| 10～14 | 27 | 24 | 51 | 24 | 20 | 44 | 20 | 17 | 37 |
| 15～19 | 35 | 29 | 64 | 25 | 22 | 47 | 22 | 18 | 40 |
| 20～24 | 18 | 14 | 32 | 23 | 17 | 40 | 16 | 13 | 29 |
| 25～29 | 22 | 21 | 43 | 15 | 11 | 26 | 20 | 13 | 33 |
| 30～34 | 27 | 26 | 53 | 21 | 21 | 42 | 14 | 11 | 25 |
| 35～39 | 43 | 33 | 76 | 30 | 26 | 56 | 23 | 21 | 44 |
| 40～44 | 91 | 63 | 154 | 42 | 34 | 76 | 29 | 27 | 56 |
| 45～49 | 79 | 63 | 142 | 93 | 61 | 154 | 43 | 33 | 76 |
| 50～54 | 65 | 50 | 115 | 78 | 64 | 142 | 92 | 62 | 154 |
| 55～59 | 70 | 63 | 133 | 64 | 50 | 114 | 77 | 63 | 140 |
| 60～64 | 87 | 72 | 159 | 68 | 63 | 131 | 62 | 49 | 111 |
| 65～69 | 98 | 117 | 215 | 84 | 72 | 156 | 66 | 63 | 129 |
| 70～74 | 90 | 74 | 164 | 93 | 114 | 207 | 80 | 71 | 151 |
| 75～79 | 93 | 111 | 204 | 81 | 71 | 152 | 84 | 110 | 194 |
| 80～84 | 86 | 114 | 200 | 76 | 103 | 179 | 67 | 66 | 133 |
| 85～89 | 62 | 77 | 139 | 63 | 101 | 164 | 57 | 93 | 150 |
| 90～ | 33 | 80 | 113 | 46 | 99 | 145 | 54 | 129 | 183 |
| 計 | 1070 | 1071 | 2141 | 964 | 984 | 1948 | 858 | 889 | 1747 |

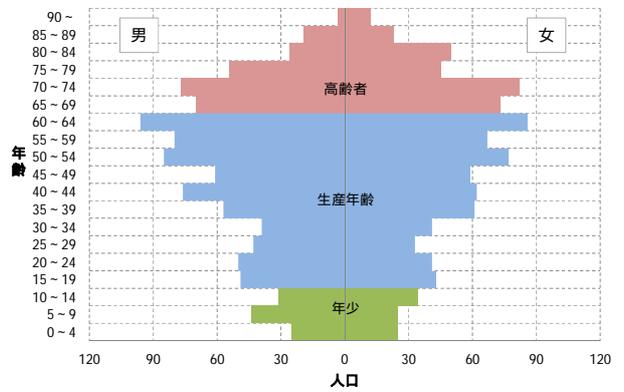
人口と高齢化の推移 (H25 ~ H55)



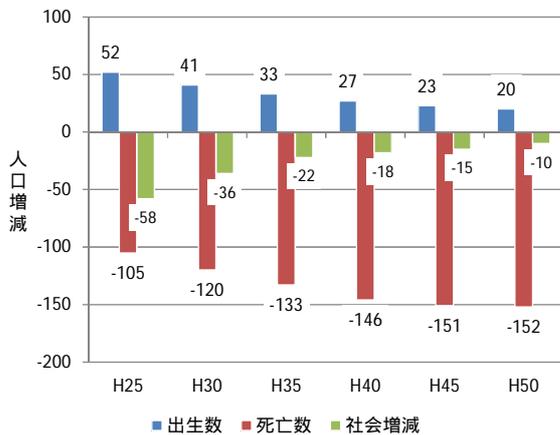
高齢者の内訳推移



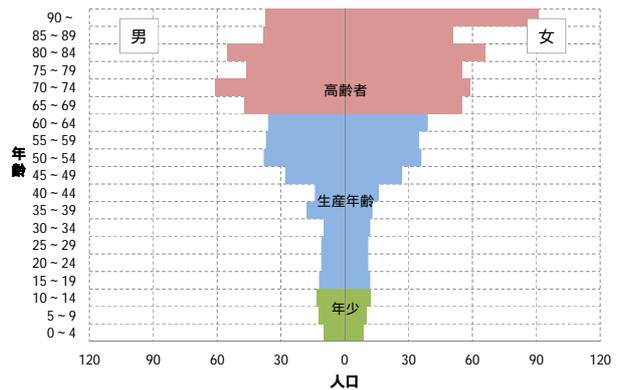
人口ピラミッド (H25)



人口増減の内訳と推移



人口ピラミッド (H55)



推計結果一覧

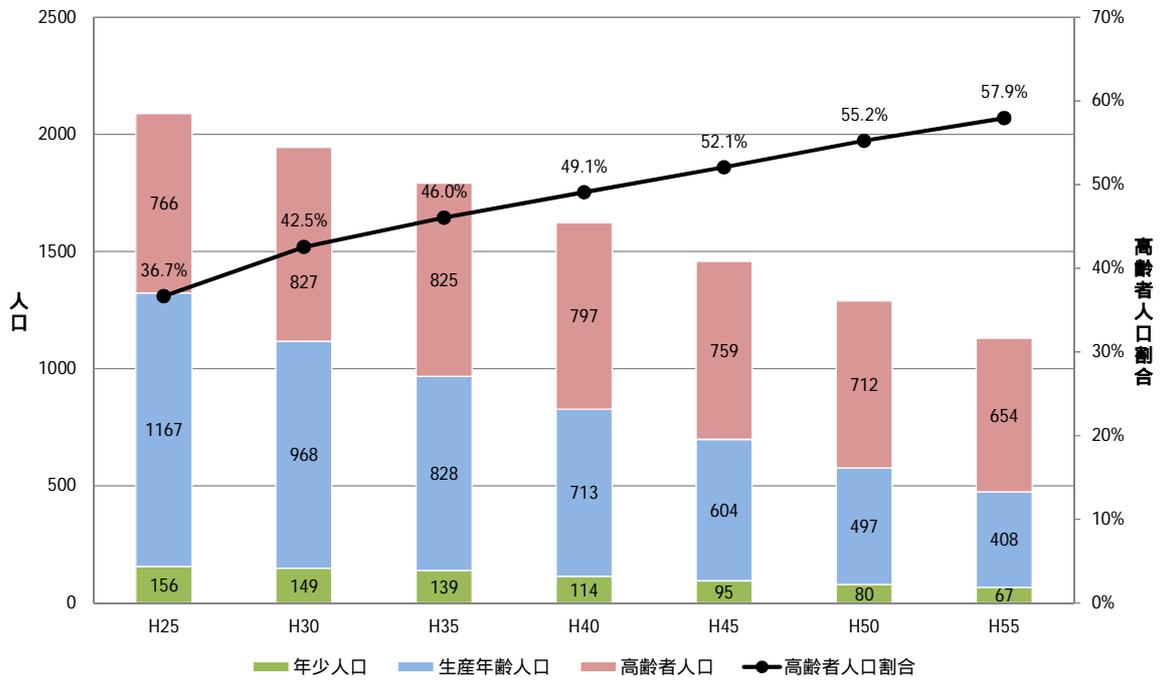
| 年 | 総人口 | 年少人口 | 生産年齢人口 | 高齢者人口 | 年少人口割合 | 生産年齢人口割合 | 高齢者人口割合 | 出生数 | 死亡数 | 自然増減 | 社会増減 | |
|------|------|------|--------|-------|--------|----------|---------|-------|-----|------|------|-----|
| 平成25 | 2013 | 1924 | 184 | 1206 | 534 | 9.6% | 62.7% | 27.8% | 52 | 105 | -53 | -58 |
| 30 | 2018 | 1813 | 166 | 1017 | 630 | 9.2% | 56.1% | 34.7% | 41 | 120 | -79 | -36 |
| 35 | 2023 | 1698 | 138 | 888 | 672 | 8.1% | 52.3% | 39.6% | 33 | 133 | -100 | -22 |
| 40 | 2028 | 1576 | 120 | 741 | 715 | 7.6% | 47.0% | 45.4% | 27 | 146 | -119 | -18 |
| 45 | 2033 | 1439 | 97 | 641 | 701 | 6.7% | 44.5% | 48.7% | 23 | 151 | -128 | -15 |
| 50 | 2038 | 1296 | 79 | 524 | 693 | 6.1% | 40.4% | 53.5% | 20 | 152 | -132 | -10 |
| 55 | 2043 | 1154 | 66 | 427 | 661 | 5.7% | 37.0% | 57.3% | | | | |

推計結果一覧（年齢5歳階級別）

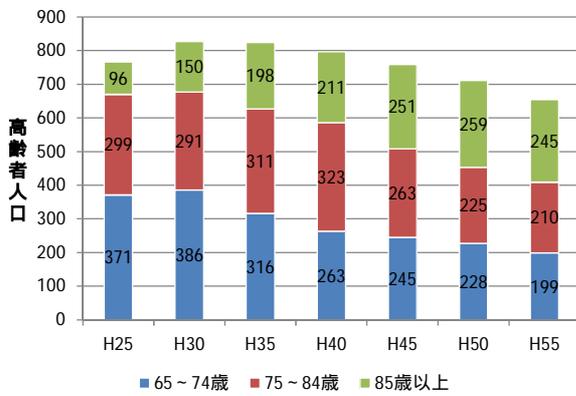
| 年齢 | 平成25年 2013年 | | | 平成30年 2018年 | | | 平成35年 2023年 | | | 平成40年 2028年 | | |
|-------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|
| | 男 | 女 | 全体 |
| 0～4 | 25 | 25 | 50 | 27 | 23 | 50 | 21 | 19 | 40 | 17 | 15 | 32 |
| 5～9 | 44 | 25 | 69 | 25 | 25 | 50 | 27 | 23 | 50 | 21 | 19 | 40 |
| 10～14 | 31 | 34 | 65 | 41 | 25 | 66 | 23 | 25 | 48 | 25 | 23 | 48 |
| 15～19 | 49 | 43 | 92 | 23 | 26 | 49 | 30 | 19 | 49 | 17 | 19 | 36 |
| 20～24 | 50 | 41 | 91 | 36 | 30 | 66 | 17 | 18 | 35 | 22 | 13 | 35 |
| 25～29 | 43 | 33 | 76 | 43 | 34 | 77 | 31 | 25 | 56 | 15 | 15 | 30 |
| 30～34 | 39 | 41 | 80 | 39 | 36 | 75 | 39 | 37 | 76 | 28 | 27 | 55 |
| 35～39 | 57 | 61 | 118 | 41 | 43 | 84 | 41 | 38 | 79 | 41 | 39 | 80 |
| 40～44 | 76 | 62 | 138 | 55 | 58 | 113 | 40 | 41 | 81 | 40 | 36 | 76 |
| 45～49 | 61 | 59 | 120 | 71 | 60 | 131 | 52 | 56 | 108 | 38 | 40 | 78 |
| 50～54 | 85 | 77 | 162 | 60 | 59 | 119 | 70 | 61 | 131 | 51 | 56 | 107 |
| 55～59 | 80 | 67 | 147 | 83 | 76 | 159 | 59 | 58 | 117 | 69 | 60 | 129 |
| 60～64 | 96 | 86 | 182 | 77 | 67 | 144 | 80 | 76 | 156 | 57 | 58 | 115 |
| 65～69 | 70 | 73 | 143 | 92 | 85 | 177 | 74 | 66 | 140 | 77 | 75 | 152 |
| 70～74 | 77 | 82 | 159 | 65 | 71 | 136 | 86 | 83 | 169 | 70 | 65 | 135 |
| 75～79 | 54 | 45 | 99 | 68 | 78 | 146 | 57 | 68 | 125 | 77 | 79 | 156 |
| 80～84 | 26 | 50 | 76 | 42 | 41 | 83 | 54 | 71 | 125 | 46 | 62 | 108 |
| 85～89 | 19 | 23 | 42 | 17 | 42 | 59 | 29 | 36 | 65 | 38 | 62 | 100 |
| 90～ | 3 | 12 | 15 | 9 | 20 | 29 | 11 | 37 | 48 | 19 | 45 | 64 |
| 計 | 985 | 939 | 1924 | 914 | 899 | 1813 | 841 | 857 | 1698 | 768 | 808 | 1576 |

| 年齢 | 平成45年 2033年 | | | 平成50年 2038年 | | | 平成55年 2043年 | | |
|-------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|
| | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 |
| 0～4 | 14 | 12 | 26 | 12 | 10 | 22 | 10 | 9 | 19 |
| 5～9 | 17 | 15 | 32 | 14 | 12 | 26 | 12 | 10 | 22 |
| 10～14 | 20 | 19 | 39 | 16 | 15 | 31 | 13 | 12 | 25 |
| 15～19 | 18 | 18 | 36 | 15 | 15 | 30 | 12 | 12 | 24 |
| 20～24 | 13 | 13 | 26 | 13 | 13 | 26 | 11 | 11 | 22 |
| 25～29 | 19 | 11 | 30 | 11 | 11 | 22 | 11 | 11 | 22 |
| 30～34 | 14 | 16 | 30 | 17 | 12 | 29 | 10 | 12 | 22 |
| 35～39 | 30 | 29 | 59 | 15 | 17 | 32 | 18 | 13 | 31 |
| 40～44 | 40 | 37 | 77 | 29 | 28 | 57 | 14 | 16 | 30 |
| 45～49 | 38 | 35 | 73 | 38 | 36 | 74 | 28 | 27 | 55 |
| 50～54 | 38 | 40 | 78 | 38 | 35 | 73 | 38 | 36 | 74 |
| 55～59 | 50 | 55 | 105 | 37 | 40 | 77 | 37 | 35 | 72 |
| 60～64 | 67 | 60 | 127 | 49 | 55 | 104 | 36 | 39 | 75 |
| 65～69 | 55 | 58 | 113 | 64 | 60 | 124 | 47 | 55 | 102 |
| 70～74 | 73 | 74 | 147 | 51 | 57 | 108 | 61 | 59 | 120 |
| 75～79 | 62 | 62 | 124 | 66 | 71 | 137 | 46 | 55 | 101 |
| 80～84 | 63 | 73 | 136 | 51 | 57 | 108 | 55 | 66 | 121 |
| 85～89 | 33 | 54 | 87 | 46 | 65 | 111 | 38 | 51 | 89 |
| 90～ | 27 | 67 | 94 | 29 | 76 | 105 | 37 | 91 | 128 |
| 計 | 691 | 748 | 1439 | 611 | 685 | 1296 | 534 | 620 | 1154 |

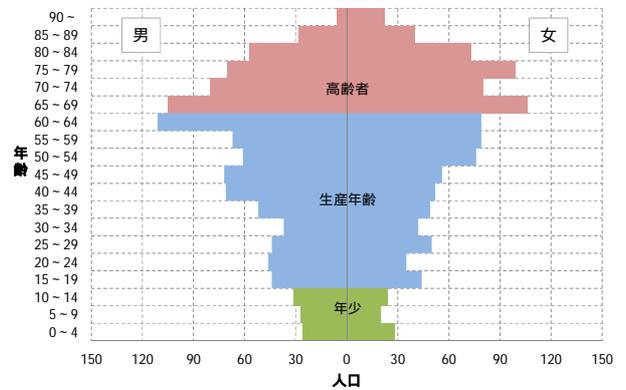
人口と高齢化の推移 (H25 ~ H55)



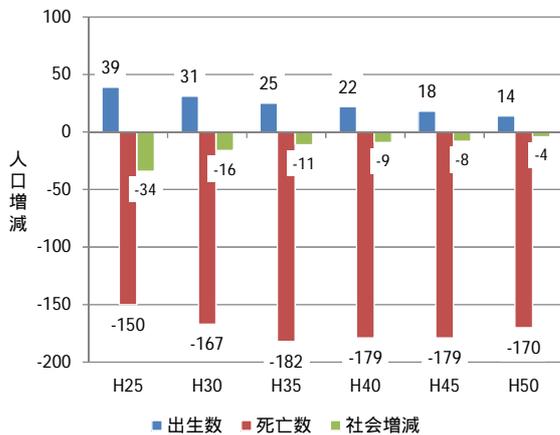
高齢者の内訳推移



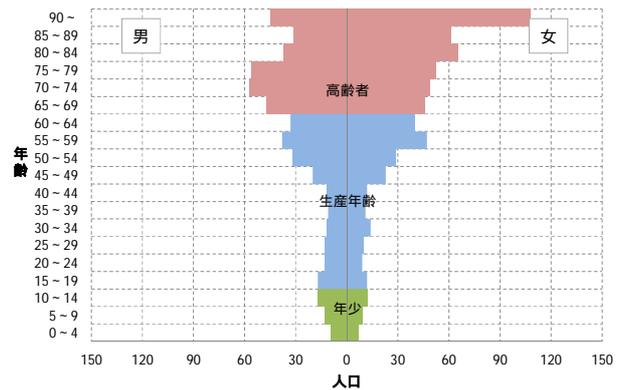
人口ピラミッド (H25)



人口増減の内訳と推移



人口ピラミッド (H55)



推計結果一覧

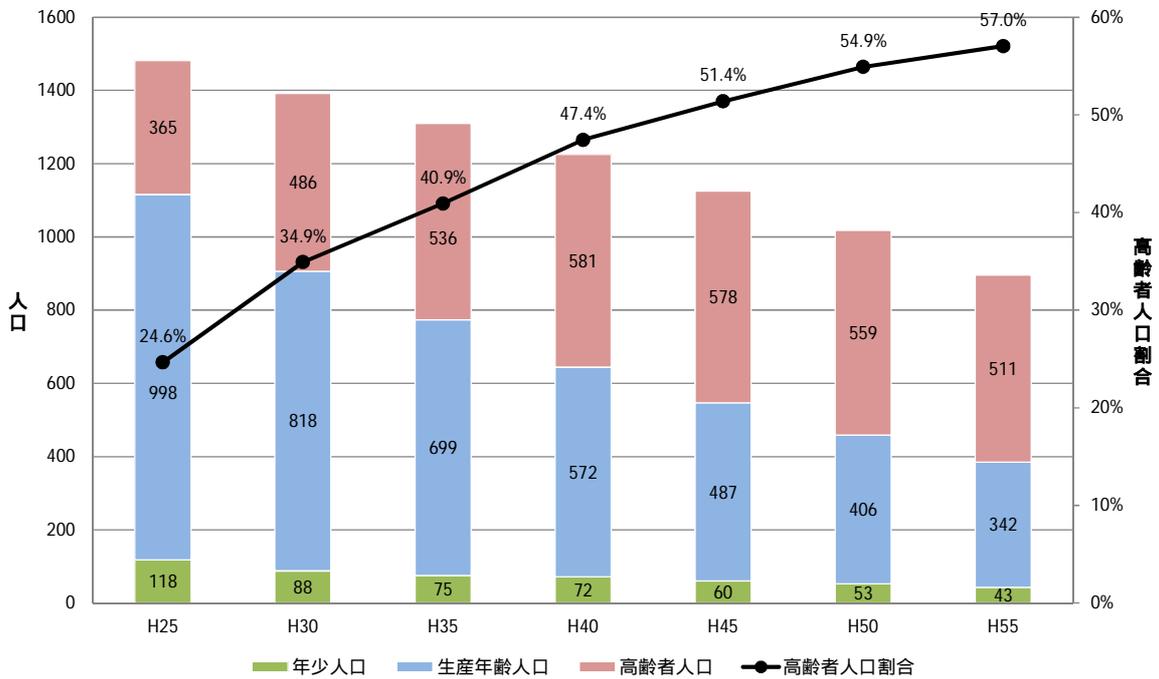
| 年 | | 総人口 | 年少人口 | 生産年齢人口 | 高齢者人口 | 年少人口割合 | 生産年齢人口割合 | 高齢者人口割合 | 出生数 | 死亡数 | 自然増減 | 社会増減 |
|------|------|------|------|--------|-------|--------|----------|---------|-----|-----|------|------|
| 平成25 | 2013 | 2089 | 156 | 1167 | 766 | 7.5% | 55.9% | 36.7% | 39 | 150 | -111 | -34 |
| 30 | 2018 | 1944 | 149 | 968 | 827 | 7.7% | 49.8% | 42.5% | 31 | 167 | -136 | -16 |
| 35 | 2023 | 1792 | 139 | 828 | 825 | 7.8% | 46.2% | 46.0% | 25 | 182 | -157 | -11 |
| 40 | 2028 | 1624 | 114 | 713 | 797 | 7.0% | 43.9% | 49.1% | 22 | 179 | -157 | -9 |
| 45 | 2033 | 1458 | 95 | 604 | 759 | 6.5% | 41.4% | 52.1% | 18 | 179 | -161 | -8 |
| 50 | 2038 | 1289 | 80 | 497 | 712 | 6.2% | 38.6% | 55.2% | 14 | 170 | -156 | -4 |
| 55 | 2043 | 1129 | 67 | 408 | 654 | 5.9% | 36.1% | 57.9% | | | | |

推計結果一覧（年齢5歳階級別）

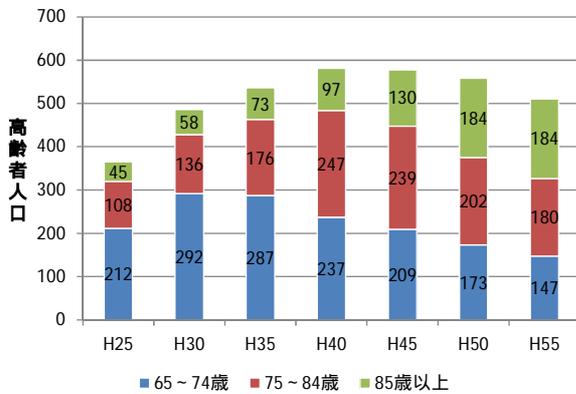
| 年齢 | 平成25年 2013年 | | | 平成30年 2018年 | | | 平成35年 2023年 | | | 平成40年 2028年 | | |
|-------|----------------|------|------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|
| | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 |
| 0～4 | 26 | 28 | 54 | 26 | 19 | 45 | 21 | 15 | 36 | 17 | 12 | 29 |
| 5～9 | 27 | 20 | 47 | 27 | 28 | 55 | 27 | 19 | 46 | 22 | 15 | 37 |
| 10～14 | 31 | 24 | 55 | 28 | 21 | 49 | 28 | 29 | 57 | 28 | 20 | 48 |
| 15～19 | 44 | 44 | 88 | 27 | 22 | 49 | 24 | 19 | 43 | 24 | 26 | 50 |
| 20～24 | 46 | 35 | 81 | 29 | 28 | 57 | 18 | 14 | 32 | 16 | 12 | 28 |
| 25～29 | 44 | 50 | 94 | 37 | 31 | 68 | 23 | 25 | 48 | 14 | 12 | 26 |
| 30～34 | 37 | 42 | 79 | 41 | 48 | 89 | 34 | 30 | 64 | 21 | 24 | 45 |
| 35～39 | 52 | 49 | 101 | 35 | 42 | 77 | 39 | 48 | 87 | 32 | 30 | 62 |
| 40～44 | 71 | 52 | 123 | 54 | 47 | 101 | 36 | 40 | 76 | 40 | 46 | 86 |
| 45～49 | 72 | 56 | 128 | 68 | 53 | 121 | 52 | 48 | 100 | 35 | 41 | 76 |
| 50～54 | 61 | 76 | 137 | 71 | 56 | 127 | 67 | 53 | 120 | 51 | 48 | 99 |
| 55～59 | 67 | 79 | 146 | 60 | 75 | 135 | 70 | 55 | 125 | 66 | 52 | 118 |
| 60～64 | 111 | 79 | 190 | 65 | 79 | 144 | 58 | 75 | 133 | 68 | 55 | 123 |
| 65～69 | 105 | 106 | 211 | 107 | 78 | 185 | 62 | 78 | 140 | 55 | 74 | 129 |
| 70～74 | 80 | 80 | 160 | 98 | 103 | 201 | 100 | 76 | 176 | 58 | 76 | 134 |
| 75～79 | 70 | 99 | 169 | 70 | 76 | 146 | 87 | 99 | 186 | 89 | 73 | 162 |
| 80～84 | 57 | 73 | 130 | 55 | 90 | 145 | 56 | 69 | 125 | 70 | 91 | 161 |
| 85～89 | 28 | 40 | 68 | 38 | 62 | 100 | 38 | 77 | 115 | 39 | 60 | 99 |
| 90～ | 6 | 22 | 28 | 14 | 36 | 50 | 24 | 59 | 83 | 29 | 83 | 112 |
| 計 | 1035 | 1054 | 2089 | 950 | 994 | 1944 | 864 | 928 | 1792 | 774 | 850 | 1624 |

| 年齢 | 平成45年 2033年 | | | 平成50年 2038年 | | | 平成55年 2043年 | | |
|-------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|
| | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 |
| 0～4 | 15 | 11 | 26 | 12 | 9 | 21 | 9 | 7 | 16 |
| 5～9 | 18 | 12 | 30 | 16 | 11 | 27 | 13 | 9 | 22 |
| 10～14 | 23 | 16 | 39 | 19 | 13 | 32 | 17 | 12 | 29 |
| 15～19 | 24 | 18 | 42 | 20 | 14 | 34 | 17 | 12 | 29 |
| 20～24 | 16 | 16 | 32 | 16 | 11 | 27 | 13 | 9 | 22 |
| 25～29 | 13 | 11 | 24 | 13 | 14 | 27 | 13 | 10 | 23 |
| 30～34 | 13 | 12 | 25 | 12 | 11 | 23 | 12 | 14 | 26 |
| 35～39 | 20 | 24 | 44 | 12 | 12 | 24 | 11 | 11 | 22 |
| 40～44 | 33 | 29 | 62 | 21 | 23 | 44 | 12 | 12 | 24 |
| 45～49 | 39 | 47 | 86 | 32 | 29 | 61 | 20 | 23 | 43 |
| 50～54 | 35 | 41 | 76 | 39 | 47 | 86 | 32 | 29 | 61 |
| 55～59 | 50 | 48 | 98 | 34 | 41 | 75 | 38 | 47 | 85 |
| 60～64 | 64 | 51 | 115 | 49 | 47 | 96 | 33 | 40 | 73 |
| 65～69 | 66 | 55 | 121 | 61 | 50 | 111 | 47 | 46 | 93 |
| 70～74 | 51 | 73 | 124 | 63 | 54 | 117 | 57 | 49 | 106 |
| 75～79 | 51 | 73 | 124 | 45 | 70 | 115 | 56 | 52 | 108 |
| 80～84 | 72 | 67 | 139 | 42 | 68 | 110 | 37 | 65 | 102 |
| 85～89 | 50 | 80 | 130 | 52 | 60 | 112 | 31 | 61 | 92 |
| 90～ | 32 | 89 | 121 | 40 | 107 | 147 | 45 | 108 | 153 |
| 計 | 685 | 773 | 1458 | 598 | 691 | 1289 | 513 | 616 | 1129 |

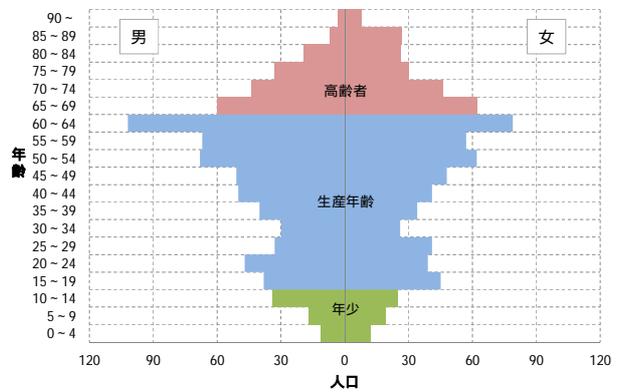
人口と高齢化の推移 (H25 ~ H55)



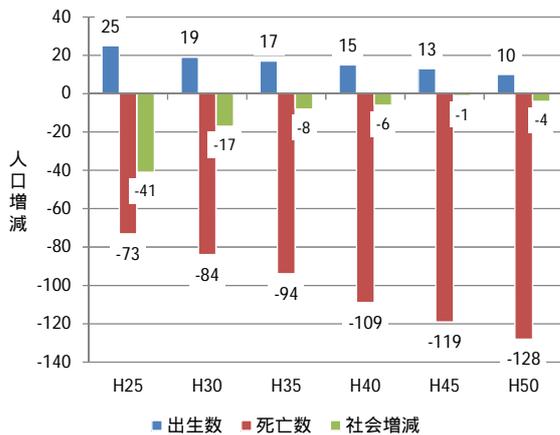
高齢者の内訳推移



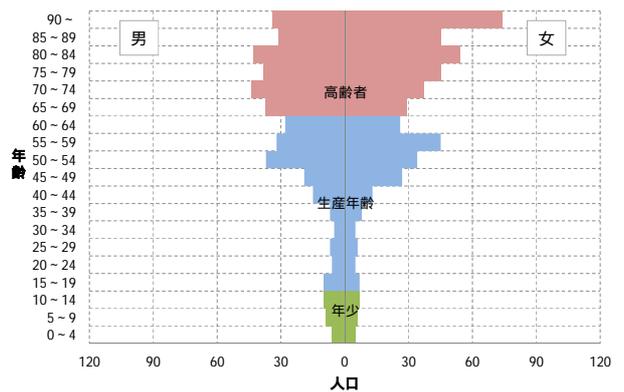
人口ピラミッド (H25)



人口増減の内訳と推移



人口ピラミッド (H55)



推計結果一覧

| 年 | | 総人口 | 年少人口 | 生産年齢人口 | 高齢者人口 | 年少人口割合 | 生産年齢人口割合 | 高齢者人口割合 | 出生数 | 死亡数 | 自然増減 | 社会増減 |
|------|------|------|------|--------|-------|--------|----------|---------|-----|-----|------|------|
| 平成25 | 2013 | 1481 | 118 | 998 | 365 | 8.0% | 67.4% | 24.6% | 25 | 73 | -48 | -41 |
| 30 | 2018 | 1392 | 88 | 818 | 486 | 6.3% | 58.8% | 34.9% | 19 | 84 | -65 | -17 |
| 35 | 2023 | 1310 | 75 | 699 | 536 | 5.7% | 53.4% | 40.9% | 17 | 94 | -77 | -8 |
| 40 | 2028 | 1225 | 72 | 572 | 581 | 5.9% | 46.7% | 47.4% | 15 | 109 | -94 | -6 |
| 45 | 2033 | 1125 | 60 | 487 | 578 | 5.3% | 43.3% | 51.4% | 13 | 119 | -106 | -1 |
| 50 | 2038 | 1018 | 53 | 406 | 559 | 5.2% | 39.9% | 54.9% | 10 | 128 | -118 | -4 |
| 55 | 2043 | 896 | 43 | 342 | 511 | 4.8% | 38.2% | 57.0% | | | | |

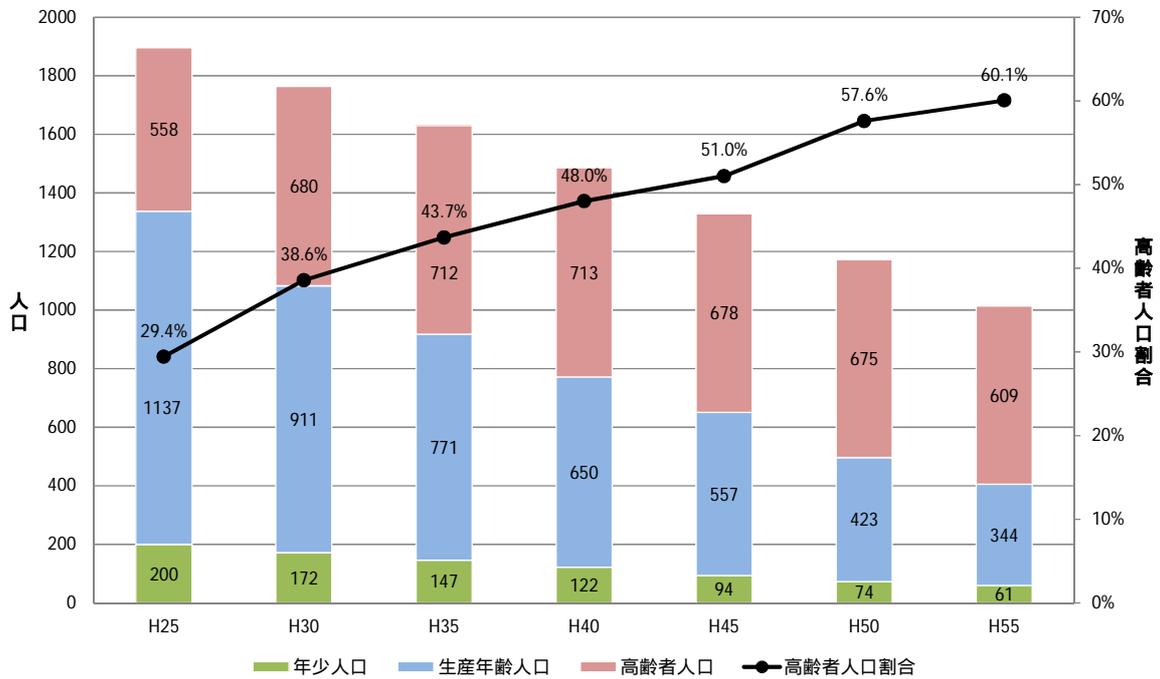
推計結果一覧（年齢5歳階級別）

| 年齢 | 平成25年 2013年 | | | 平成30年 2018年 | | | 平成35年 2023年 | | | 平成40年 2028年 | | |
|-------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|
| | 男 | 女 | 全体 |
| 0～4 | 11 | 12 | 23 | 16 | 13 | 29 | 12 | 10 | 22 | 11 | 9 | 20 |
| 5～9 | 17 | 19 | 36 | 12 | 12 | 24 | 17 | 13 | 30 | 13 | 10 | 23 |
| 10～14 | 34 | 25 | 59 | 16 | 19 | 35 | 11 | 12 | 23 | 16 | 13 | 29 |
| 15～19 | 38 | 45 | 83 | 30 | 19 | 49 | 14 | 14 | 28 | 10 | 9 | 19 |
| 20～24 | 47 | 39 | 86 | 24 | 30 | 54 | 19 | 13 | 32 | 9 | 9 | 18 |
| 25～29 | 33 | 41 | 74 | 37 | 32 | 69 | 19 | 25 | 44 | 15 | 11 | 26 |
| 30～34 | 30 | 26 | 56 | 33 | 44 | 77 | 37 | 34 | 71 | 19 | 27 | 46 |
| 35～39 | 40 | 34 | 74 | 29 | 29 | 58 | 32 | 50 | 82 | 36 | 38 | 74 |
| 40～44 | 50 | 41 | 91 | 39 | 31 | 70 | 28 | 27 | 55 | 31 | 46 | 77 |
| 45～49 | 51 | 48 | 99 | 53 | 40 | 93 | 42 | 30 | 72 | 30 | 26 | 56 |
| 50～54 | 68 | 62 | 130 | 50 | 48 | 98 | 52 | 40 | 92 | 41 | 30 | 71 |
| 55～59 | 67 | 57 | 124 | 67 | 61 | 128 | 49 | 48 | 97 | 51 | 40 | 91 |
| 60～64 | 102 | 79 | 181 | 65 | 57 | 122 | 65 | 61 | 126 | 47 | 47 | 94 |
| 65～69 | 60 | 62 | 122 | 98 | 78 | 176 | 62 | 57 | 119 | 62 | 61 | 123 |
| 70～74 | 44 | 46 | 90 | 55 | 61 | 116 | 92 | 76 | 168 | 58 | 56 | 114 |
| 75～79 | 33 | 30 | 63 | 38 | 44 | 82 | 48 | 58 | 106 | 82 | 73 | 155 |
| 80～84 | 19 | 26 | 45 | 26 | 28 | 54 | 30 | 40 | 70 | 39 | 53 | 92 |
| 85～89 | 7 | 27 | 34 | 12 | 22 | 34 | 17 | 24 | 41 | 22 | 34 | 56 |
| 90～ | 3 | 8 | 11 | 4 | 20 | 24 | 7 | 25 | 32 | 11 | 30 | 41 |
| 計 | 754 | 727 | 1481 | 704 | 688 | 1392 | 653 | 657 | 1310 | 603 | 622 | 1225 |

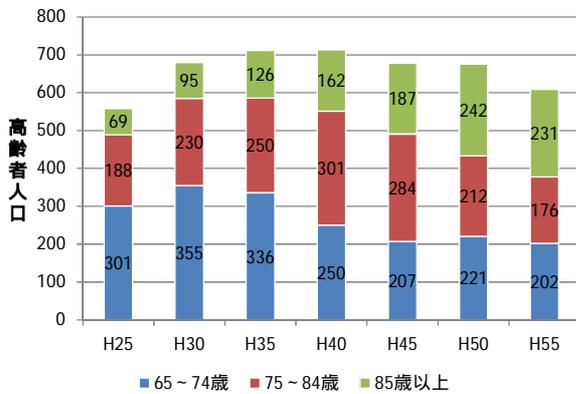
| 年齢 | 平成45年 2033年 | | | 平成50年 2038年 | | | 平成55年 2043年 | | |
|-------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|----------------|-----|-----|
| | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 |
| 0～4 | 10 | 7 | 17 | 9 | 6 | 15 | 6 | 5 | 11 |
| 5～9 | 12 | 9 | 21 | 11 | 7 | 18 | 9 | 6 | 15 |
| 10～14 | 12 | 10 | 22 | 11 | 9 | 20 | 10 | 7 | 17 |
| 15～19 | 14 | 10 | 24 | 10 | 8 | 18 | 10 | 7 | 17 |
| 20～24 | 6 | 6 | 12 | 9 | 7 | 16 | 6 | 5 | 11 |
| 25～29 | 7 | 7 | 14 | 5 | 5 | 10 | 7 | 6 | 13 |
| 30～34 | 15 | 12 | 27 | 7 | 7 | 14 | 5 | 5 | 10 |
| 35～39 | 18 | 30 | 48 | 15 | 14 | 29 | 7 | 8 | 15 |
| 40～44 | 35 | 35 | 70 | 18 | 28 | 46 | 15 | 13 | 28 |
| 45～49 | 33 | 45 | 78 | 37 | 34 | 71 | 19 | 27 | 46 |
| 50～54 | 30 | 26 | 56 | 33 | 45 | 78 | 37 | 34 | 71 |
| 55～59 | 40 | 30 | 70 | 29 | 26 | 55 | 32 | 45 | 77 |
| 60～64 | 49 | 39 | 88 | 39 | 30 | 69 | 28 | 26 | 54 |
| 65～69 | 45 | 46 | 91 | 47 | 38 | 85 | 37 | 29 | 66 |
| 70～74 | 58 | 60 | 118 | 42 | 46 | 88 | 44 | 37 | 81 |
| 75～79 | 51 | 54 | 105 | 52 | 58 | 110 | 38 | 45 | 83 |
| 80～84 | 67 | 67 | 134 | 42 | 50 | 92 | 43 | 54 | 97 |
| 85～89 | 28 | 47 | 75 | 48 | 60 | 108 | 31 | 45 | 76 |
| 90～ | 15 | 40 | 55 | 21 | 55 | 76 | 34 | 74 | 108 |
| 計 | 545 | 580 | 1125 | 485 | 533 | 1018 | 418 | 478 | 896 |

藤野 - 1 小淵

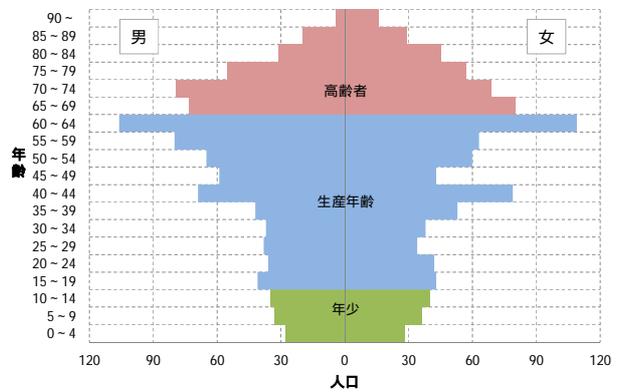
人口と高齢化の推移 (H25 ~ H55)



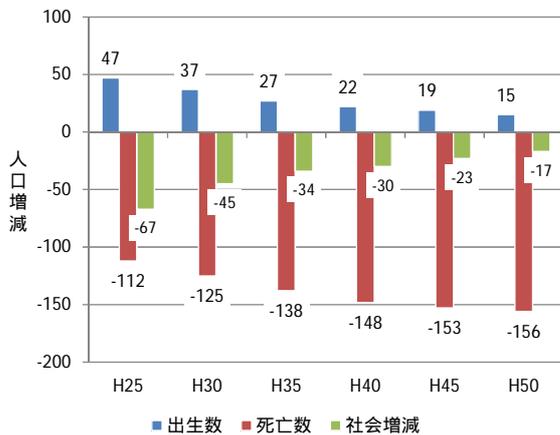
高齢者の内訳推移



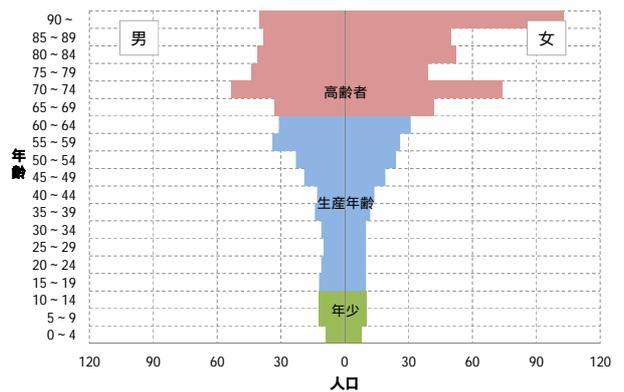
人口ピラミッド (H25)



人口増減の内訳と推移



人口ピラミッド (H55)



推計結果一覧

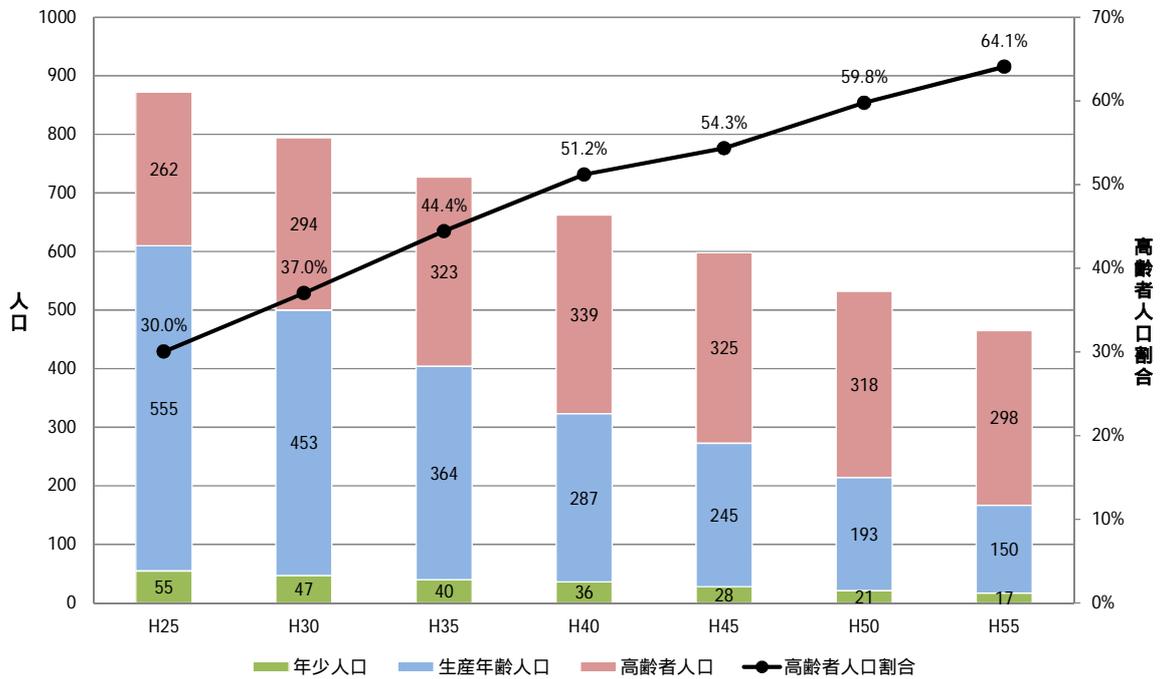
| 年 | | 総人口 | 年少人口 | 生産年齢人口 | 高齢者人口 | 年少人口割合 | 生産年齢人口割合 | 高齢者人口割合 | 出生数 | 死亡数 | 自然増減 | 社会増減 |
|------|------|------|------|--------|-------|--------|----------|---------|-----|-----|------|------|
| 平成25 | 2013 | 1895 | 200 | 1137 | 558 | 10.6% | 60.0% | 29.4% | 47 | 112 | -65 | -67 |
| 30 | 2018 | 1763 | 172 | 911 | 680 | 9.8% | 51.7% | 38.6% | 37 | 125 | -88 | -45 |
| 35 | 2023 | 1630 | 147 | 771 | 712 | 9.0% | 47.3% | 43.7% | 27 | 138 | -111 | -34 |
| 40 | 2028 | 1485 | 122 | 650 | 713 | 8.2% | 43.8% | 48.0% | 22 | 148 | -126 | -30 |
| 45 | 2033 | 1329 | 94 | 557 | 678 | 7.1% | 41.9% | 51.0% | 19 | 153 | -134 | -23 |
| 50 | 2038 | 1172 | 74 | 423 | 675 | 6.3% | 36.1% | 57.6% | 15 | 156 | -141 | -17 |
| 55 | 2043 | 1014 | 61 | 344 | 609 | 6.0% | 33.9% | 60.1% | | | | |

推計結果一覧（年齢5歳階級別）

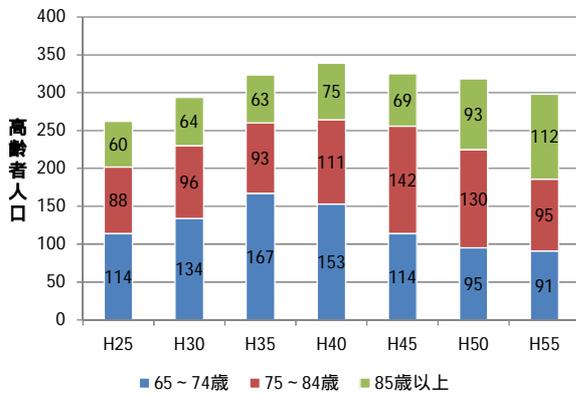
| 年齢 | 平成25年 2013年 | | | 平成30年 2018年 | | | 平成35年 2023年 | | | 平成40年 2028年 | | |
|-------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|
| | 男 | 女 | 全体 |
| 0～4 | 28 | 28 | 56 | 28 | 26 | 54 | 22 | 20 | 42 | 16 | 15 | 31 |
| 5～9 | 33 | 36 | 69 | 27 | 29 | 56 | 27 | 27 | 54 | 21 | 21 | 42 |
| 10～14 | 35 | 40 | 75 | 32 | 30 | 62 | 26 | 25 | 51 | 26 | 23 | 49 |
| 15～19 | 41 | 43 | 84 | 28 | 31 | 59 | 26 | 23 | 49 | 21 | 19 | 40 |
| 20～24 | 36 | 42 | 78 | 28 | 32 | 60 | 19 | 23 | 42 | 18 | 17 | 35 |
| 25～29 | 38 | 34 | 72 | 25 | 32 | 57 | 20 | 24 | 44 | 13 | 18 | 31 |
| 30～34 | 37 | 38 | 75 | 40 | 32 | 72 | 27 | 30 | 57 | 21 | 23 | 44 |
| 35～39 | 42 | 53 | 95 | 37 | 38 | 75 | 40 | 32 | 72 | 27 | 30 | 57 |
| 40～44 | 69 | 79 | 148 | 39 | 45 | 84 | 35 | 32 | 67 | 38 | 27 | 65 |
| 45～49 | 59 | 43 | 102 | 63 | 77 | 140 | 36 | 44 | 80 | 33 | 31 | 64 |
| 50～54 | 65 | 60 | 125 | 58 | 43 | 101 | 62 | 77 | 139 | 36 | 44 | 80 |
| 55～59 | 80 | 63 | 143 | 64 | 59 | 123 | 57 | 43 | 100 | 61 | 76 | 137 |
| 60～64 | 106 | 109 | 215 | 77 | 63 | 140 | 62 | 59 | 121 | 55 | 42 | 97 |
| 65～69 | 73 | 80 | 153 | 102 | 107 | 209 | 74 | 63 | 137 | 59 | 59 | 118 |
| 70～74 | 79 | 69 | 148 | 68 | 78 | 146 | 95 | 104 | 199 | 70 | 62 | 132 |
| 75～79 | 55 | 57 | 112 | 70 | 66 | 136 | 60 | 74 | 134 | 85 | 100 | 185 |
| 80～84 | 31 | 45 | 76 | 43 | 51 | 94 | 56 | 60 | 116 | 48 | 68 | 116 |
| 85～89 | 20 | 29 | 49 | 21 | 38 | 59 | 30 | 44 | 74 | 39 | 52 | 91 |
| 90～ | 4 | 16 | 20 | 10 | 26 | 36 | 14 | 38 | 52 | 21 | 50 | 71 |
| 計 | 931 | 964 | 1895 | 860 | 903 | 1763 | 788 | 842 | 1630 | 708 | 777 | 1485 |

| 年齢 | 平成45年 2033年 | | | 平成50年 2038年 | | | 平成55年 2043年 | | |
|-------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|
| | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 |
| 0～4 | 13 | 12 | 25 | 12 | 10 | 22 | 9 | 8 | 17 |
| 5～9 | 15 | 15 | 30 | 12 | 12 | 24 | 12 | 10 | 22 |
| 10～14 | 21 | 18 | 39 | 15 | 13 | 28 | 12 | 10 | 22 |
| 15～19 | 21 | 18 | 39 | 17 | 14 | 31 | 12 | 10 | 22 |
| 20～24 | 14 | 14 | 28 | 14 | 13 | 27 | 11 | 10 | 21 |
| 25～29 | 13 | 13 | 26 | 10 | 11 | 21 | 10 | 10 | 20 |
| 30～34 | 14 | 17 | 31 | 14 | 12 | 26 | 11 | 10 | 21 |
| 35～39 | 21 | 23 | 44 | 14 | 17 | 31 | 14 | 12 | 26 |
| 40～44 | 25 | 25 | 50 | 20 | 19 | 39 | 13 | 14 | 27 |
| 45～49 | 35 | 26 | 61 | 23 | 24 | 47 | 19 | 19 | 38 |
| 50～54 | 33 | 31 | 64 | 35 | 26 | 61 | 23 | 24 | 47 |
| 55～59 | 35 | 44 | 79 | 32 | 31 | 63 | 34 | 26 | 60 |
| 60～64 | 59 | 76 | 135 | 34 | 43 | 77 | 31 | 31 | 62 |
| 65～69 | 53 | 41 | 94 | 57 | 75 | 132 | 33 | 42 | 75 |
| 70～74 | 55 | 58 | 113 | 49 | 40 | 89 | 53 | 74 | 127 |
| 75～79 | 62 | 60 | 122 | 49 | 56 | 105 | 44 | 39 | 83 |
| 80～84 | 69 | 93 | 162 | 51 | 56 | 107 | 41 | 52 | 93 |
| 85～89 | 34 | 60 | 94 | 50 | 83 | 133 | 38 | 50 | 88 |
| 90～ | 29 | 64 | 93 | 31 | 78 | 109 | 40 | 103 | 143 |
| 計 | 621 | 708 | 1329 | 539 | 633 | 1172 | 460 | 554 | 1014 |

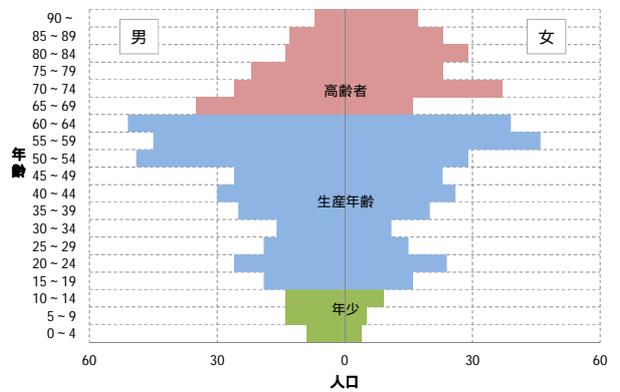
人口と高齢化の推移 (H25 ~ H55)



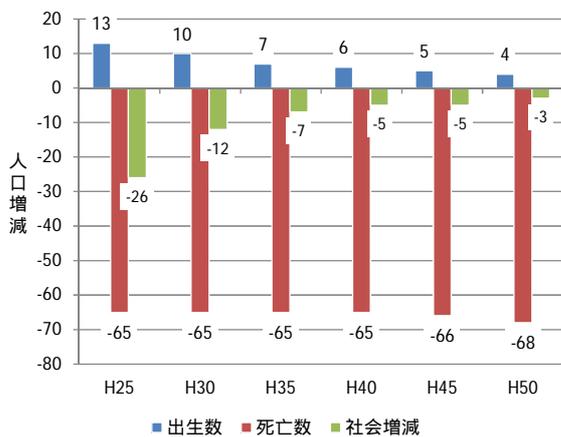
高齢者の内訳推移



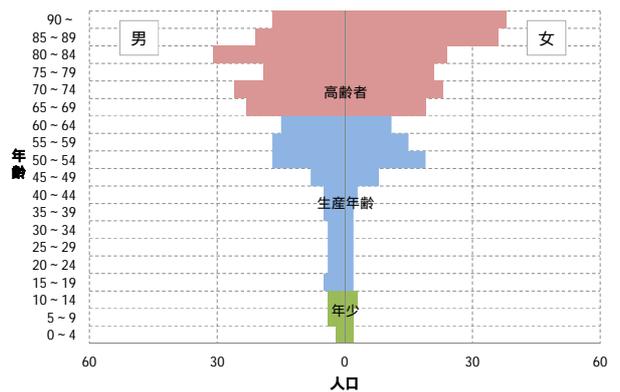
人口ピラミッド (H25)



人口増減の内訳と推移



人口ピラミッド (H55)



推計結果一覧

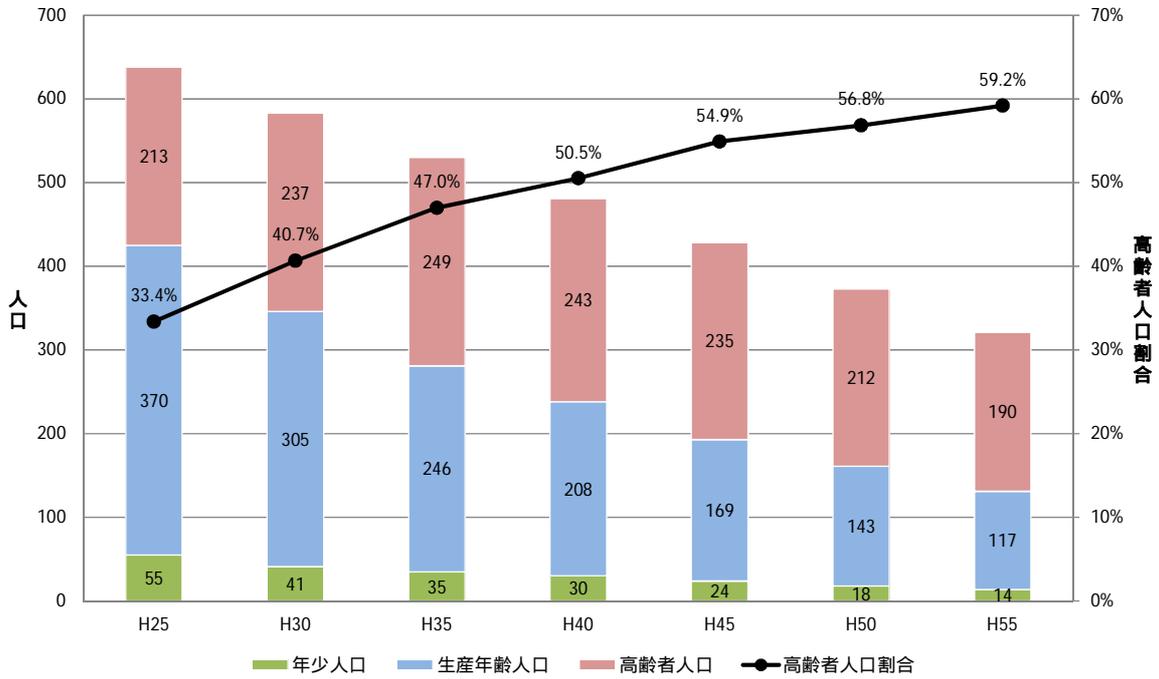
| 年 | | 総人口 | 年少人口 | 生産年齢人口 | 高齢者人口 | 年少人口割合 | 生産年齢人口割合 | 高齢者人口割合 | 出生数 | 死亡数 | 自然増減 | 社会増減 |
|------|------|-----|------|--------|-------|--------|----------|---------|-----|-----|------|------|
| 平成25 | 2013 | 872 | 55 | 555 | 262 | 6.3% | 63.6% | 30.0% | 13 | 65 | -52 | -26 |
| 30 | 2018 | 794 | 47 | 453 | 294 | 5.9% | 57.1% | 37.0% | 10 | 65 | -55 | -12 |
| 35 | 2023 | 727 | 40 | 364 | 323 | 5.5% | 50.1% | 44.4% | 7 | 65 | -58 | -7 |
| 40 | 2028 | 662 | 36 | 287 | 339 | 5.4% | 43.4% | 51.2% | 6 | 65 | -59 | -5 |
| 45 | 2033 | 598 | 28 | 245 | 325 | 4.7% | 41.0% | 54.3% | 5 | 66 | -61 | -5 |
| 50 | 2038 | 532 | 21 | 193 | 318 | 3.9% | 36.3% | 59.8% | 4 | 68 | -64 | -3 |
| 55 | 2043 | 465 | 17 | 150 | 298 | 3.7% | 32.3% | 64.1% | | | | |

推計結果一覧（年齢5歳階級別）

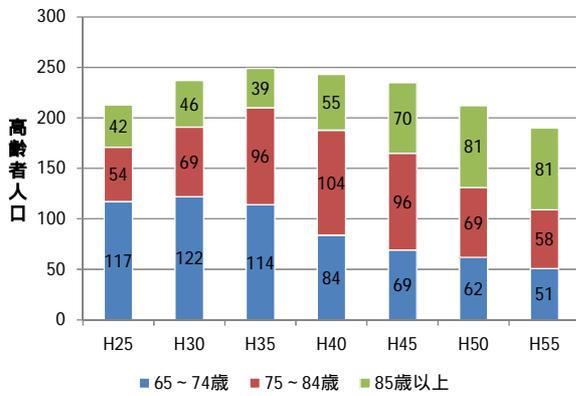
| 年齢 | 平成25年 2013年 | | | 平成30年 2018年 | | | 平成35年 2023年 | | | 平成40年 2028年 | | |
|-------|----------------|-----|-----|----------------|-----|-----|----------------|-----|-----|----------------|-----|-----|
| | 男 | 女 | 全体 |
| 0～4 | 9 | 4 | 13 | 8 | 7 | 15 | 6 | 6 | 12 | 5 | 3 | 8 |
| 5～9 | 14 | 5 | 19 | 10 | 4 | 14 | 9 | 6 | 15 | 7 | 6 | 13 |
| 10～14 | 14 | 9 | 23 | 13 | 5 | 18 | 9 | 4 | 13 | 9 | 6 | 15 |
| 15～19 | 19 | 16 | 35 | 14 | 7 | 21 | 13 | 4 | 17 | 9 | 3 | 12 |
| 20～24 | 26 | 24 | 50 | 12 | 9 | 21 | 9 | 4 | 13 | 8 | 2 | 10 |
| 25～29 | 19 | 15 | 34 | 19 | 18 | 37 | 9 | 7 | 16 | 6 | 3 | 9 |
| 30～34 | 16 | 11 | 27 | 17 | 15 | 32 | 17 | 18 | 35 | 8 | 7 | 15 |
| 35～39 | 25 | 20 | 45 | 16 | 12 | 28 | 17 | 16 | 33 | 17 | 20 | 37 |
| 40～44 | 30 | 26 | 56 | 24 | 20 | 44 | 15 | 12 | 27 | 16 | 16 | 32 |
| 45～49 | 26 | 23 | 49 | 31 | 25 | 56 | 25 | 19 | 44 | 15 | 11 | 26 |
| 50～54 | 49 | 29 | 78 | 26 | 23 | 49 | 31 | 25 | 56 | 25 | 19 | 44 |
| 55～59 | 45 | 46 | 91 | 48 | 29 | 77 | 25 | 23 | 48 | 30 | 25 | 55 |
| 60～64 | 51 | 39 | 90 | 43 | 45 | 88 | 46 | 29 | 75 | 24 | 23 | 47 |
| 65～69 | 35 | 16 | 51 | 49 | 38 | 87 | 41 | 44 | 85 | 44 | 28 | 72 |
| 70～74 | 26 | 37 | 63 | 32 | 15 | 47 | 45 | 37 | 82 | 38 | 43 | 81 |
| 75～79 | 22 | 23 | 45 | 23 | 36 | 59 | 28 | 14 | 42 | 40 | 36 | 76 |
| 80～84 | 14 | 29 | 43 | 17 | 20 | 37 | 18 | 33 | 51 | 22 | 13 | 35 |
| 85～89 | 13 | 23 | 36 | 9 | 24 | 33 | 11 | 17 | 28 | 12 | 28 | 40 |
| 90～ | 7 | 17 | 24 | 8 | 23 | 31 | 7 | 28 | 35 | 8 | 27 | 35 |
| 計 | 460 | 412 | 872 | 419 | 375 | 794 | 381 | 346 | 727 | 343 | 319 | 662 |

| 年齢 | 平成45年 2033年 | | | 平成50年 2038年 | | | 平成55年 2043年 | | |
|-------|----------------|-----|-----|----------------|-----|-----|----------------|-----|-----|
| | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 |
| 0～4 | 4 | 3 | 7 | 4 | 2 | 6 | 2 | 2 | 4 |
| 5～9 | 5 | 3 | 8 | 4 | 3 | 7 | 4 | 2 | 6 |
| 10～14 | 7 | 6 | 13 | 5 | 3 | 8 | 4 | 3 | 7 |
| 15～19 | 9 | 4 | 13 | 7 | 4 | 11 | 5 | 2 | 7 |
| 20～24 | 6 | 2 | 8 | 6 | 2 | 8 | 4 | 2 | 6 |
| 25～29 | 6 | 2 | 8 | 4 | 2 | 6 | 4 | 2 | 6 |
| 30～34 | 5 | 3 | 8 | 5 | 2 | 7 | 4 | 2 | 6 |
| 35～39 | 8 | 8 | 16 | 5 | 3 | 8 | 5 | 2 | 7 |
| 40～44 | 16 | 20 | 36 | 8 | 8 | 16 | 5 | 3 | 8 |
| 45～49 | 17 | 15 | 32 | 17 | 19 | 36 | 8 | 8 | 16 |
| 50～54 | 15 | 11 | 26 | 17 | 15 | 32 | 17 | 19 | 36 |
| 55～59 | 25 | 19 | 44 | 15 | 11 | 26 | 17 | 15 | 32 |
| 60～64 | 29 | 25 | 54 | 24 | 19 | 43 | 15 | 11 | 26 |
| 65～69 | 23 | 23 | 46 | 28 | 24 | 52 | 23 | 19 | 42 |
| 70～74 | 41 | 27 | 68 | 21 | 22 | 43 | 26 | 23 | 49 |
| 75～79 | 34 | 42 | 76 | 37 | 26 | 63 | 19 | 21 | 40 |
| 80～84 | 32 | 34 | 66 | 28 | 39 | 67 | 31 | 24 | 55 |
| 85～89 | 15 | 11 | 26 | 24 | 30 | 54 | 21 | 36 | 57 |
| 90～ | 9 | 34 | 43 | 11 | 28 | 39 | 17 | 38 | 55 |
| 計 | 306 | 292 | 598 | 270 | 262 | 532 | 231 | 234 | 465 |

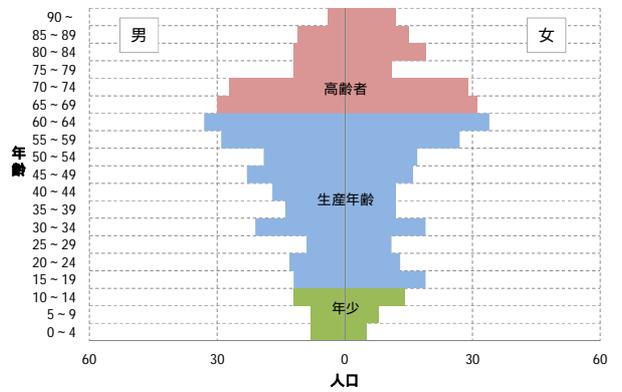
人口と高齢化の推移 (H25 ~ H55)



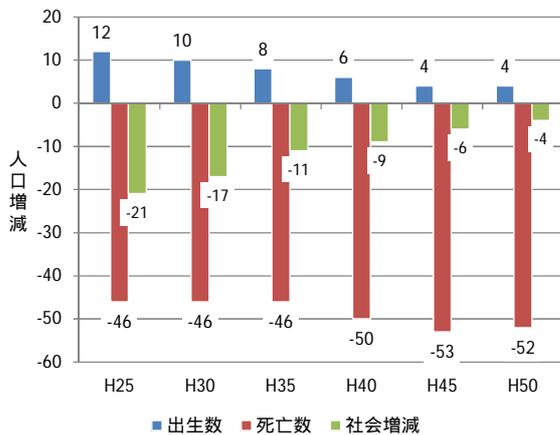
高齢者の内訳推移



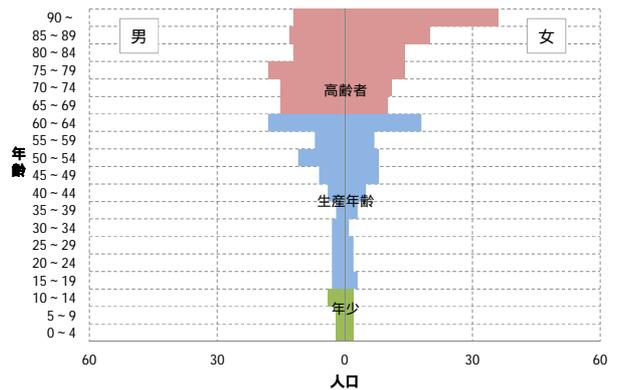
人口ピラミッド (H25)



人口増減の内訳と推移



人口ピラミッド (H55)



推計結果一覧

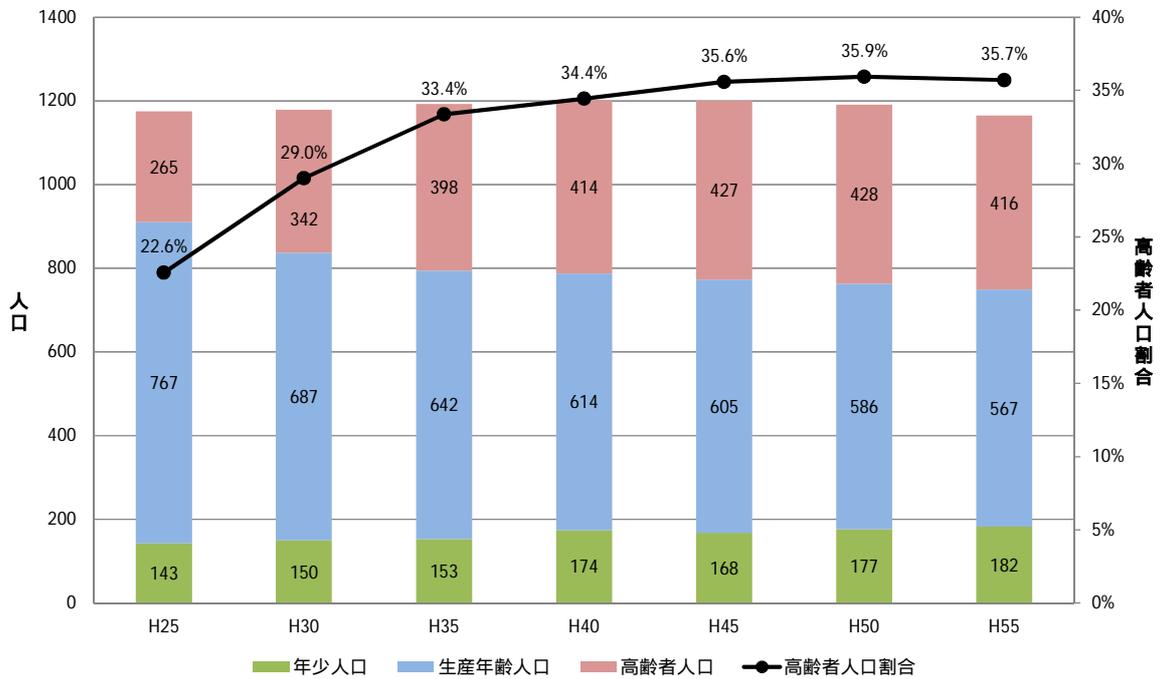
| 年 | 総人口 | 年少人口 | 生産年齢人口 | 高齢者人口 | 年少人口割合 | 生産年齢人口割合 | 高齢者人口割合 | 出生数 | 死亡数 | 自然増減 | 社会増減 | |
|------|------|------|--------|-------|--------|----------|---------|-------|-----|------|------|-----|
| 平成25 | 2013 | 638 | 55 | 370 | 213 | 8.6% | 58.0% | 33.4% | 12 | 46 | -34 | -21 |
| 30 | 2018 | 583 | 41 | 305 | 237 | 7.0% | 52.3% | 40.7% | 10 | 46 | -36 | -17 |
| 35 | 2023 | 530 | 35 | 246 | 249 | 6.6% | 46.4% | 47.0% | 8 | 46 | -38 | -11 |
| 40 | 2028 | 481 | 30 | 208 | 243 | 6.2% | 43.2% | 50.5% | 6 | 50 | -44 | -9 |
| 45 | 2033 | 428 | 24 | 169 | 235 | 5.6% | 39.5% | 54.9% | 4 | 53 | -49 | -6 |
| 50 | 2038 | 373 | 18 | 143 | 212 | 4.8% | 38.3% | 56.8% | 4 | 52 | -48 | -4 |
| 55 | 2043 | 321 | 14 | 117 | 190 | 4.4% | 36.4% | 59.2% | | | | |

推計結果一覧（年齢5歳階級別）

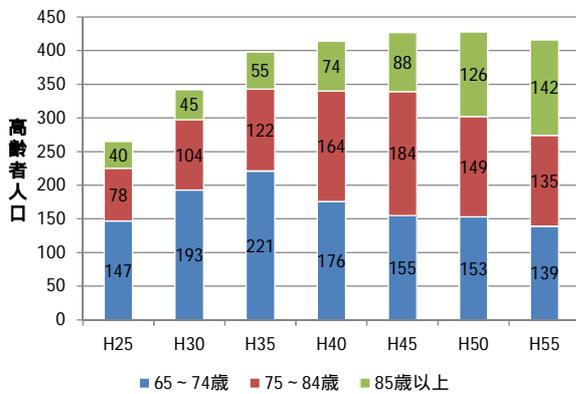
| 年齢 | 平成25年 2013年 | | | 平成30年 2018年 | | | 平成35年 2023年 | | | 平成40年 2028年 | | |
|-------|----------------|-----|-----|----------------|-----|-----|----------------|-----|-----|----------------|-----|-----|
| | 男 | 女 | 全体 |
| 0～4 | 8 | 5 | 13 | 7 | 5 | 12 | 6 | 4 | 10 | 5 | 3 | 8 |
| 5～9 | 8 | 8 | 16 | 8 | 5 | 13 | 7 | 5 | 12 | 6 | 4 | 10 |
| 10～14 | 12 | 14 | 26 | 8 | 8 | 16 | 8 | 5 | 13 | 7 | 5 | 12 |
| 15～19 | 12 | 19 | 31 | 8 | 12 | 20 | 5 | 7 | 12 | 5 | 4 | 9 |
| 20～24 | 13 | 13 | 26 | 8 | 12 | 20 | 5 | 7 | 12 | 3 | 4 | 7 |
| 25～29 | 9 | 11 | 20 | 12 | 14 | 26 | 7 | 13 | 20 | 5 | 8 | 13 |
| 30～34 | 21 | 19 | 40 | 9 | 7 | 16 | 12 | 9 | 21 | 7 | 8 | 15 |
| 35～39 | 14 | 12 | 26 | 17 | 21 | 38 | 7 | 8 | 15 | 10 | 10 | 20 |
| 40～44 | 17 | 12 | 29 | 15 | 11 | 26 | 18 | 19 | 37 | 7 | 7 | 14 |
| 45～49 | 23 | 16 | 39 | 18 | 11 | 29 | 16 | 10 | 26 | 19 | 18 | 37 |
| 50～54 | 19 | 17 | 36 | 23 | 16 | 39 | 18 | 11 | 29 | 16 | 10 | 26 |
| 55～59 | 29 | 27 | 56 | 19 | 17 | 36 | 23 | 16 | 39 | 18 | 11 | 29 |
| 60～64 | 33 | 34 | 67 | 28 | 27 | 55 | 18 | 17 | 35 | 22 | 16 | 38 |
| 65～69 | 30 | 31 | 61 | 31 | 33 | 64 | 27 | 26 | 53 | 17 | 17 | 34 |
| 70～74 | 27 | 29 | 56 | 28 | 30 | 58 | 29 | 32 | 61 | 25 | 25 | 50 |
| 75～79 | 12 | 11 | 23 | 23 | 27 | 50 | 25 | 29 | 54 | 26 | 31 | 57 |
| 80～84 | 12 | 19 | 31 | 9 | 10 | 19 | 18 | 24 | 42 | 20 | 27 | 47 |
| 85～89 | 11 | 15 | 26 | 8 | 16 | 24 | 6 | 8 | 14 | 12 | 21 | 33 |
| 90～ | 4 | 12 | 16 | 6 | 16 | 22 | 6 | 19 | 25 | 5 | 17 | 22 |
| 計 | 314 | 324 | 638 | 285 | 298 | 583 | 261 | 269 | 530 | 235 | 246 | 481 |

| 年齢 | 平成45年 2033年 | | | 平成50年 2038年 | | | 平成55年 2043年 | | |
|-------|----------------|-----|-----|----------------|-----|-----|----------------|-----|-----|
| | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 |
| 0～4 | 4 | 2 | 6 | 2 | 2 | 4 | 2 | 2 | 4 |
| 5～9 | 5 | 3 | 8 | 4 | 2 | 6 | 2 | 2 | 4 |
| 10～14 | 6 | 4 | 10 | 5 | 3 | 8 | 4 | 2 | 6 |
| 15～19 | 4 | 4 | 8 | 4 | 3 | 7 | 3 | 3 | 6 |
| 20～24 | 3 | 2 | 5 | 3 | 2 | 5 | 3 | 2 | 5 |
| 25～29 | 3 | 4 | 7 | 3 | 2 | 5 | 3 | 2 | 5 |
| 30～34 | 5 | 5 | 10 | 3 | 3 | 6 | 3 | 1 | 4 |
| 35～39 | 6 | 9 | 15 | 4 | 6 | 10 | 2 | 3 | 5 |
| 40～44 | 10 | 9 | 19 | 6 | 8 | 14 | 4 | 5 | 9 |
| 45～49 | 7 | 7 | 14 | 11 | 8 | 19 | 6 | 8 | 14 |
| 50～54 | 19 | 18 | 37 | 7 | 7 | 14 | 11 | 8 | 19 |
| 55～59 | 16 | 10 | 26 | 19 | 18 | 37 | 7 | 7 | 14 |
| 60～64 | 17 | 11 | 28 | 16 | 10 | 26 | 18 | 18 | 36 |
| 65～69 | 21 | 16 | 37 | 16 | 11 | 27 | 15 | 10 | 25 |
| 70～74 | 16 | 16 | 32 | 20 | 15 | 35 | 15 | 11 | 26 |
| 75～79 | 22 | 24 | 46 | 14 | 15 | 29 | 18 | 14 | 32 |
| 80～84 | 21 | 29 | 50 | 18 | 22 | 40 | 12 | 14 | 26 |
| 85～89 | 14 | 24 | 38 | 15 | 26 | 41 | 13 | 20 | 33 |
| 90～ | 8 | 24 | 32 | 10 | 30 | 40 | 12 | 36 | 48 |
| 計 | 207 | 221 | 428 | 180 | 193 | 373 | 153 | 168 | 321 |

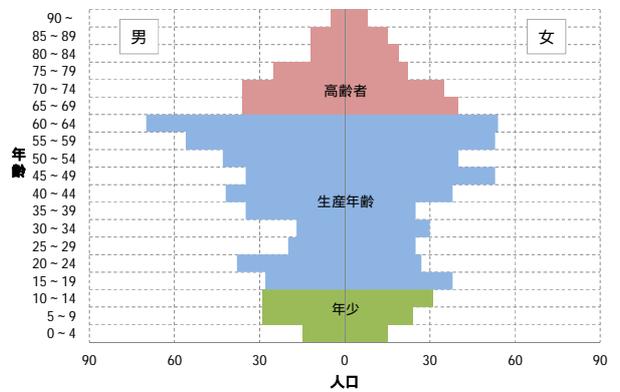
人口と高齢化の推移 (H25 ~ H55)



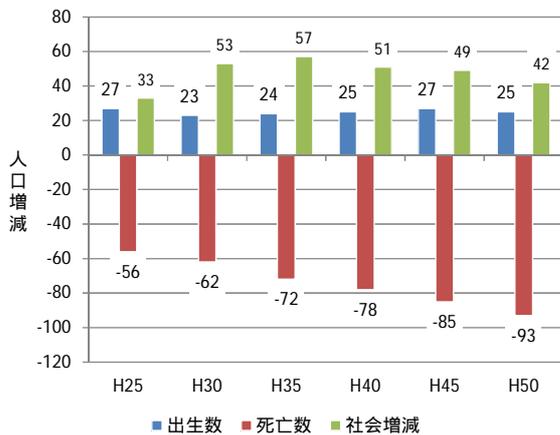
高齢者の内訳推移



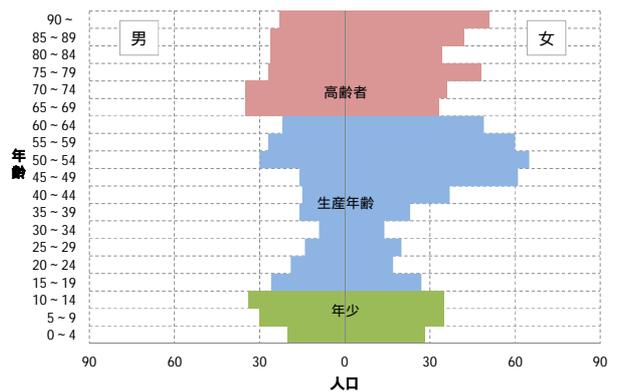
人口ピラミッド (H25)



人口増減の内訳と推移



人口ピラミッド (H55)



推計結果一覧

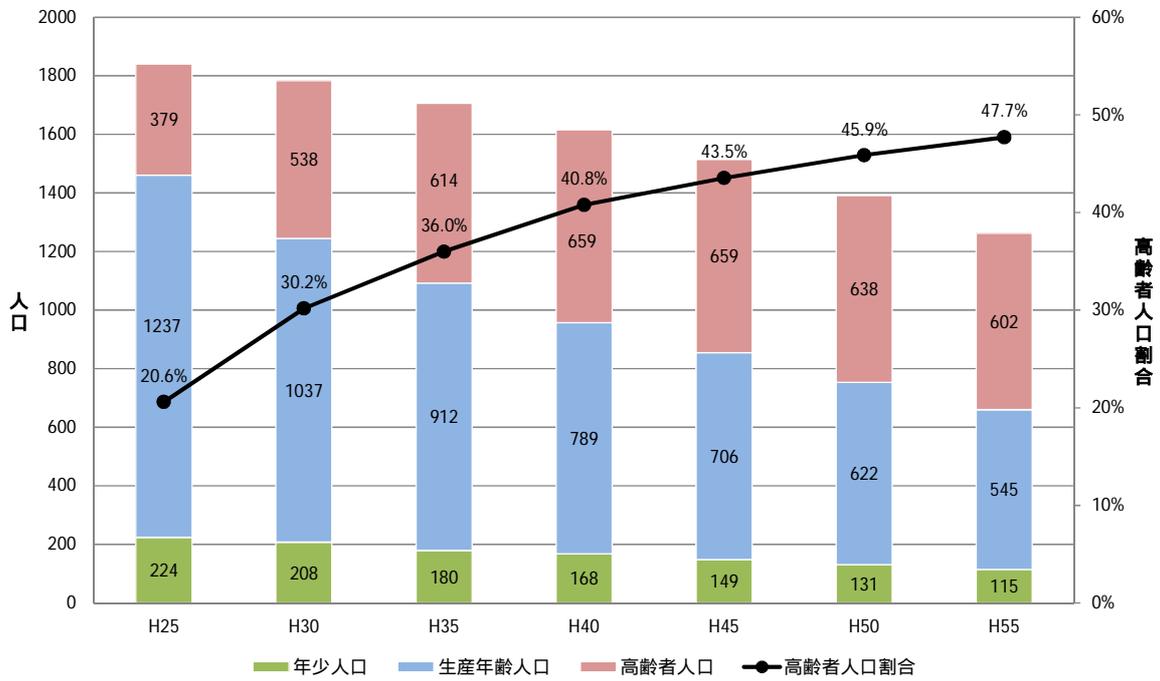
| 年 | | 総人口 | 年少人口 | 生産年齢人口 | 高齢者人口 | 年少人口割合 | 生産年齢人口割合 | 高齢者人口割合 | 出生数 | 死亡数 | 自然増減 | 社会増減 |
|------|------|------|------|--------|-------|--------|----------|---------|-----|-----|------|------|
| 平成25 | 2013 | 1175 | 143 | 767 | 265 | 12.2% | 65.3% | 22.6% | 27 | 56 | -29 | 33 |
| 30 | 2018 | 1179 | 150 | 687 | 342 | 12.7% | 58.3% | 29.0% | 23 | 62 | -39 | 53 |
| 35 | 2023 | 1193 | 153 | 642 | 398 | 12.8% | 53.8% | 33.4% | 24 | 72 | -48 | 57 |
| 40 | 2028 | 1202 | 174 | 614 | 414 | 14.5% | 51.1% | 34.4% | 25 | 78 | -53 | 51 |
| 45 | 2033 | 1200 | 168 | 605 | 427 | 14.0% | 50.4% | 35.6% | 27 | 85 | -58 | 49 |
| 50 | 2038 | 1191 | 177 | 586 | 428 | 14.9% | 49.2% | 35.9% | 25 | 93 | -68 | 42 |
| 55 | 2043 | 1165 | 182 | 567 | 416 | 15.6% | 48.7% | 35.7% | | | | |

推計結果一覧（年齢5歳階級別）

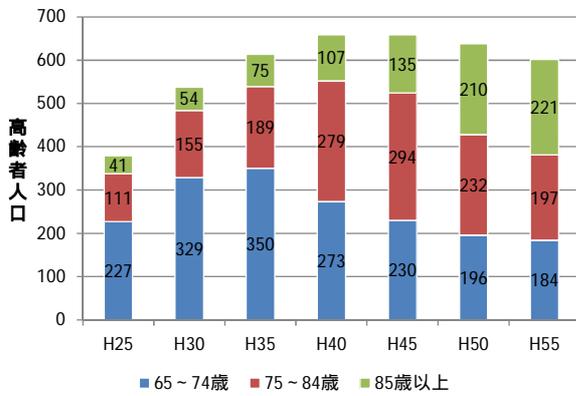
| 年齢 | 平成25年 2013年 | | | 平成30年 2018年 | | | 平成35年 2023年 | | | 平成40年 2028年 | | |
|-------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|
| | 男 | 女 | 全体 |
| 0～4 | 15 | 15 | 30 | 21 | 30 | 51 | 18 | 26 | 44 | 18 | 28 | 46 |
| 5～9 | 29 | 24 | 53 | 21 | 18 | 39 | 30 | 35 | 65 | 25 | 30 | 55 |
| 10～14 | 29 | 31 | 60 | 35 | 25 | 60 | 25 | 19 | 44 | 36 | 37 | 73 |
| 15～19 | 28 | 38 | 66 | 25 | 24 | 49 | 30 | 20 | 50 | 21 | 15 | 36 |
| 20～24 | 38 | 27 | 65 | 20 | 26 | 46 | 18 | 16 | 34 | 21 | 13 | 34 |
| 25～29 | 20 | 25 | 45 | 23 | 27 | 50 | 12 | 26 | 38 | 11 | 16 | 27 |
| 30～34 | 17 | 30 | 47 | 20 | 36 | 56 | 23 | 38 | 61 | 12 | 37 | 49 |
| 35～39 | 35 | 25 | 60 | 21 | 37 | 58 | 25 | 44 | 69 | 28 | 47 | 75 |
| 40～44 | 42 | 38 | 80 | 38 | 33 | 71 | 23 | 49 | 72 | 27 | 58 | 85 |
| 45～49 | 35 | 53 | 88 | 42 | 39 | 81 | 38 | 34 | 72 | 23 | 50 | 73 |
| 50～54 | 43 | 40 | 83 | 35 | 53 | 88 | 41 | 39 | 80 | 38 | 34 | 72 |
| 55～59 | 56 | 53 | 109 | 42 | 40 | 82 | 34 | 52 | 86 | 40 | 39 | 79 |
| 60～64 | 70 | 54 | 124 | 54 | 52 | 106 | 41 | 39 | 80 | 33 | 51 | 84 |
| 65～69 | 36 | 40 | 76 | 68 | 54 | 122 | 52 | 52 | 104 | 39 | 38 | 77 |
| 70～74 | 36 | 35 | 71 | 33 | 38 | 71 | 64 | 53 | 117 | 48 | 51 | 99 |
| 75～79 | 25 | 22 | 47 | 31 | 34 | 65 | 29 | 37 | 66 | 56 | 51 | 107 |
| 80～84 | 12 | 19 | 31 | 20 | 19 | 39 | 25 | 31 | 56 | 23 | 34 | 57 |
| 85～89 | 12 | 15 | 27 | 8 | 16 | 24 | 13 | 17 | 30 | 17 | 27 | 44 |
| 90～ | 5 | 8 | 13 | 7 | 14 | 21 | 7 | 18 | 25 | 9 | 21 | 30 |
| 計 | 583 | 592 | 1175 | 564 | 615 | 1179 | 548 | 645 | 1193 | 525 | 677 | 1202 |

| 年齢 | 平成45年 2033年 | | | 平成50年 2038年 | | | 平成55年 2043年 | | |
|-------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|
| | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 |
| 0～4 | 20 | 28 | 48 | 21 | 30 | 51 | 20 | 28 | 48 |
| 5～9 | 25 | 33 | 58 | 28 | 33 | 61 | 30 | 35 | 65 |
| 10～14 | 30 | 32 | 62 | 30 | 35 | 65 | 34 | 35 | 69 |
| 15～19 | 31 | 29 | 60 | 26 | 25 | 51 | 26 | 27 | 53 |
| 20～24 | 15 | 10 | 25 | 22 | 20 | 42 | 19 | 17 | 36 |
| 25～29 | 13 | 13 | 26 | 9 | 10 | 19 | 14 | 20 | 34 |
| 30～34 | 11 | 23 | 34 | 13 | 19 | 32 | 9 | 14 | 23 |
| 35～39 | 15 | 45 | 60 | 14 | 28 | 42 | 16 | 23 | 39 |
| 40～44 | 30 | 62 | 92 | 16 | 59 | 75 | 15 | 37 | 52 |
| 45～49 | 27 | 60 | 87 | 30 | 64 | 94 | 16 | 61 | 77 |
| 50～54 | 23 | 50 | 73 | 27 | 61 | 88 | 30 | 65 | 95 |
| 55～59 | 37 | 34 | 71 | 23 | 50 | 73 | 27 | 60 | 87 |
| 60～64 | 39 | 38 | 77 | 36 | 34 | 70 | 22 | 49 | 71 |
| 65～69 | 32 | 50 | 82 | 37 | 37 | 74 | 35 | 33 | 68 |
| 70～74 | 36 | 37 | 73 | 30 | 49 | 79 | 35 | 36 | 71 |
| 75～79 | 43 | 49 | 92 | 32 | 36 | 68 | 27 | 48 | 75 |
| 80～84 | 45 | 47 | 92 | 35 | 46 | 81 | 26 | 34 | 60 |
| 85～89 | 16 | 30 | 46 | 33 | 42 | 75 | 26 | 42 | 68 |
| 90～ | 12 | 30 | 42 | 13 | 38 | 51 | 23 | 51 | 74 |
| 計 | 500 | 700 | 1200 | 475 | 716 | 1191 | 450 | 715 | 1165 |

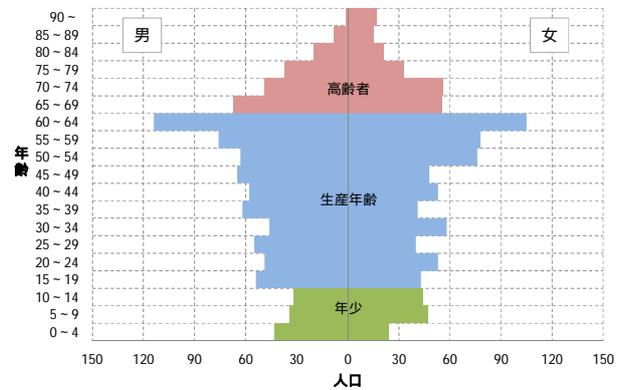
人口と高齢化の推移 (H25 ~ H55)



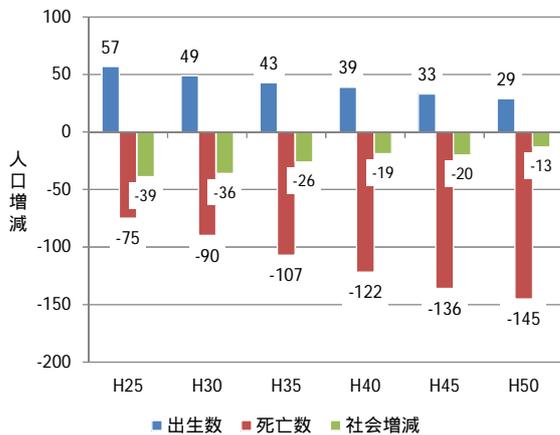
高齢者の内訳推移



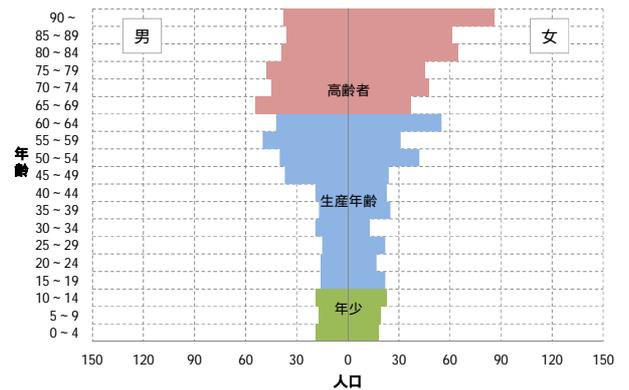
人口ピラミッド(H25)



人口増減の内訳と推移



人口ピラミッド(H55)



推計結果一覧

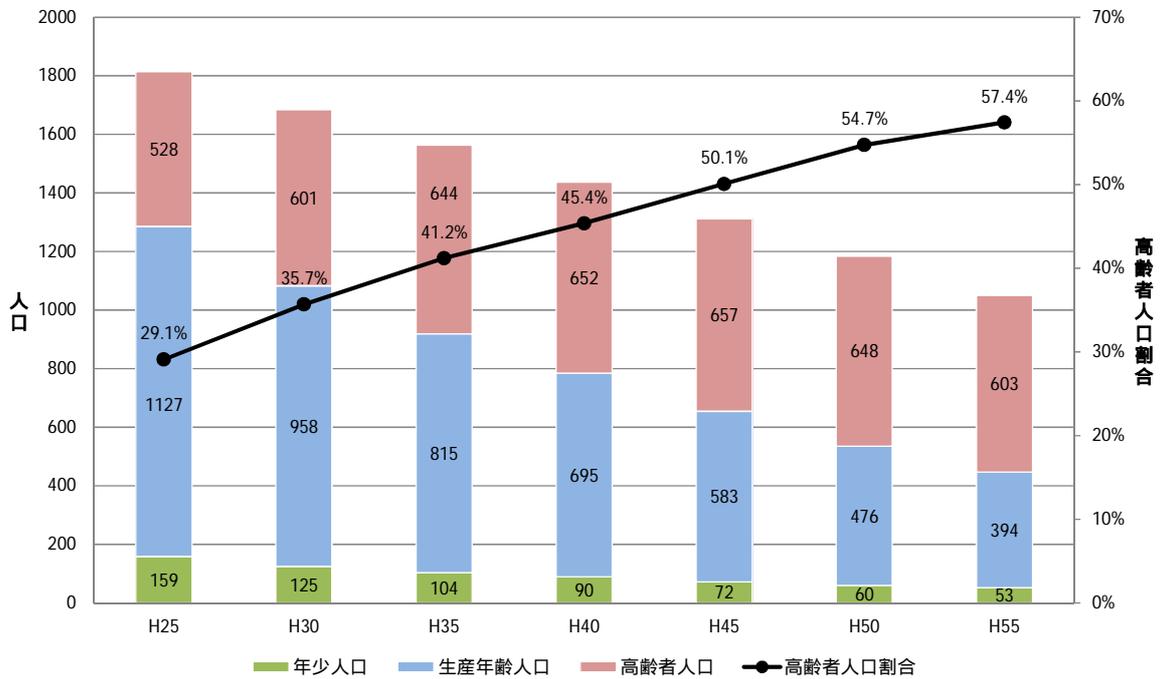
| 年 | | 総人口 | 年少人口 | 生産年齢人口 | 高齢者人口 | 年少人口割合 | 生産年齢人口割合 | 高齢者人口割合 | 出生数 | 死亡数 | 自然増減 | 社会増減 |
|------|------|------|------|--------|-------|--------|----------|---------|-----|-----|------|------|
| 平成25 | 2013 | 1840 | 224 | 1237 | 379 | 12.2% | 67.2% | 20.6% | 57 | 75 | -18 | -39 |
| 30 | 2018 | 1783 | 208 | 1037 | 538 | 11.7% | 58.2% | 30.2% | 49 | 90 | -41 | -36 |
| 35 | 2023 | 1706 | 180 | 912 | 614 | 10.6% | 53.5% | 36.0% | 43 | 107 | -64 | -26 |
| 40 | 2028 | 1616 | 168 | 789 | 659 | 10.4% | 48.8% | 40.8% | 39 | 122 | -83 | -19 |
| 45 | 2033 | 1514 | 149 | 706 | 659 | 9.8% | 46.6% | 43.5% | 33 | 136 | -103 | -20 |
| 50 | 2038 | 1391 | 131 | 622 | 638 | 9.4% | 44.7% | 45.9% | 29 | 145 | -116 | -13 |
| 55 | 2043 | 1262 | 115 | 545 | 602 | 9.1% | 43.2% | 47.7% | | | | |

推計結果一覧（年齢5歳階級別）

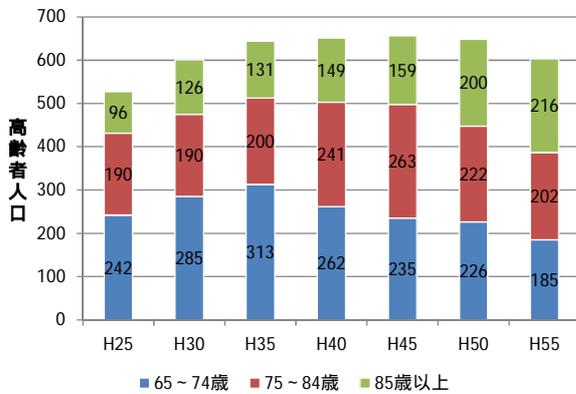
| 年齢 | 平成25年 2013年 | | | 平成30年 2018年 | | | 平成35年 2023年 | | | 平成40年 2028年 | | |
|-------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|
| | 男 | 女 | 全体 |
| 0～4 | 43 | 24 | 67 | 36 | 35 | 71 | 31 | 30 | 61 | 28 | 26 | 54 |
| 5～9 | 34 | 47 | 81 | 36 | 23 | 59 | 30 | 33 | 63 | 26 | 28 | 54 |
| 10～14 | 32 | 44 | 76 | 31 | 47 | 78 | 33 | 23 | 56 | 27 | 33 | 60 |
| 15～19 | 54 | 43 | 97 | 25 | 38 | 63 | 24 | 41 | 65 | 26 | 20 | 46 |
| 20～24 | 49 | 53 | 102 | 45 | 31 | 76 | 21 | 28 | 49 | 20 | 30 | 50 |
| 25～29 | 55 | 40 | 95 | 42 | 55 | 97 | 39 | 32 | 71 | 18 | 29 | 47 |
| 30～34 | 46 | 58 | 104 | 54 | 33 | 87 | 41 | 45 | 86 | 38 | 26 | 64 |
| 35～39 | 62 | 41 | 103 | 46 | 57 | 103 | 54 | 32 | 86 | 41 | 44 | 85 |
| 40～44 | 58 | 53 | 111 | 65 | 41 | 106 | 48 | 58 | 106 | 56 | 32 | 88 |
| 45～49 | 65 | 48 | 113 | 54 | 51 | 105 | 60 | 39 | 99 | 45 | 56 | 101 |
| 50～54 | 63 | 76 | 139 | 64 | 48 | 112 | 53 | 51 | 104 | 59 | 39 | 98 |
| 55～59 | 76 | 78 | 154 | 62 | 75 | 137 | 63 | 48 | 111 | 52 | 50 | 102 |
| 60～64 | 114 | 105 | 219 | 73 | 78 | 151 | 60 | 75 | 135 | 61 | 47 | 108 |
| 65～69 | 67 | 55 | 122 | 109 | 103 | 212 | 71 | 77 | 148 | 57 | 74 | 131 |
| 70～74 | 49 | 56 | 105 | 63 | 54 | 117 | 102 | 100 | 202 | 67 | 75 | 142 |
| 75～79 | 37 | 33 | 70 | 43 | 53 | 96 | 55 | 52 | 107 | 91 | 96 | 187 |
| 80～84 | 20 | 21 | 41 | 29 | 30 | 59 | 34 | 48 | 82 | 44 | 48 | 92 |
| 85～89 | 8 | 15 | 23 | 13 | 18 | 31 | 20 | 26 | 46 | 24 | 42 | 66 |
| 90～ | 1 | 17 | 18 | 4 | 19 | 23 | 7 | 22 | 29 | 12 | 29 | 41 |
| 計 | 933 | 907 | 1840 | 894 | 889 | 1783 | 846 | 860 | 1706 | 792 | 824 | 1616 |

| 年齢 | 平成45年 2033年 | | | 平成50年 2038年 | | | 平成55年 2043年 | | |
|-------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|
| | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 |
| 0～4 | 25 | 24 | 49 | 21 | 20 | 41 | 19 | 18 | 37 |
| 5～9 | 23 | 25 | 48 | 21 | 23 | 44 | 17 | 19 | 36 |
| 10～14 | 24 | 28 | 52 | 21 | 25 | 46 | 19 | 23 | 42 |
| 15～19 | 21 | 29 | 50 | 19 | 24 | 43 | 16 | 22 | 38 |
| 20～24 | 22 | 15 | 37 | 18 | 21 | 39 | 16 | 17 | 33 |
| 25～29 | 17 | 31 | 48 | 19 | 16 | 35 | 15 | 22 | 37 |
| 30～34 | 18 | 24 | 42 | 17 | 26 | 43 | 19 | 13 | 32 |
| 35～39 | 38 | 25 | 63 | 18 | 23 | 41 | 17 | 25 | 42 |
| 40～44 | 43 | 44 | 87 | 40 | 25 | 65 | 19 | 23 | 42 |
| 45～49 | 52 | 31 | 83 | 40 | 42 | 82 | 37 | 24 | 61 |
| 50～54 | 44 | 56 | 100 | 51 | 31 | 82 | 40 | 42 | 82 |
| 55～59 | 58 | 39 | 97 | 43 | 55 | 98 | 50 | 31 | 81 |
| 60～64 | 50 | 49 | 99 | 56 | 38 | 94 | 42 | 55 | 97 |
| 65～69 | 58 | 46 | 104 | 48 | 48 | 96 | 54 | 37 | 91 |
| 70～74 | 53 | 73 | 126 | 54 | 46 | 100 | 45 | 48 | 93 |
| 75～79 | 59 | 72 | 131 | 47 | 70 | 117 | 48 | 45 | 93 |
| 80～84 | 74 | 89 | 163 | 48 | 67 | 115 | 39 | 65 | 104 |
| 85～89 | 32 | 42 | 74 | 53 | 79 | 132 | 36 | 61 | 97 |
| 90～ | 17 | 44 | 61 | 24 | 54 | 78 | 38 | 86 | 124 |
| 計 | 728 | 786 | 1514 | 658 | 733 | 1391 | 586 | 676 | 1262 |

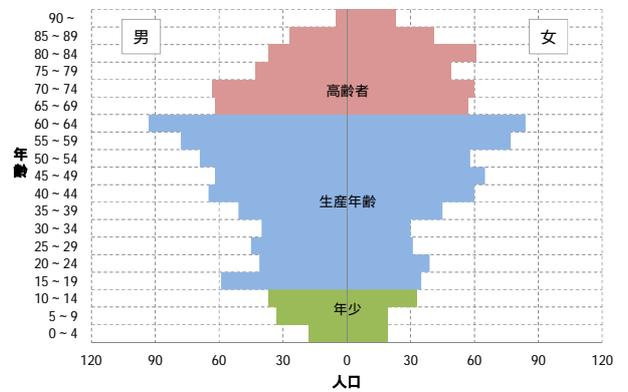
人口と高齢化の推移 (H25 ~ H55)



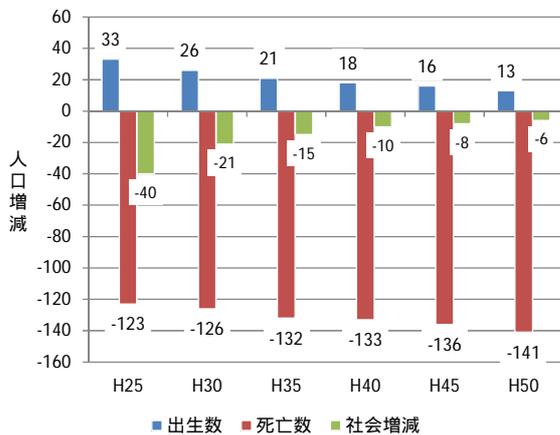
高齢者の内訳推移



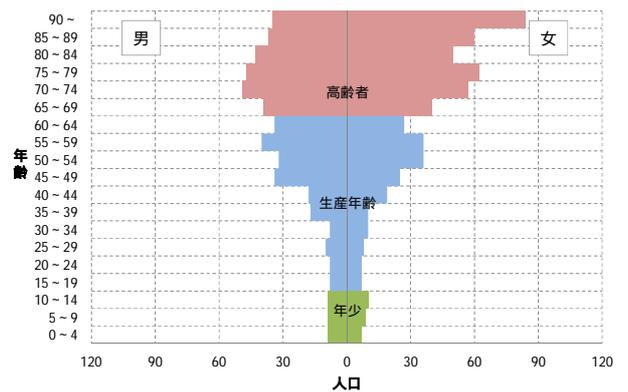
人口ピラミッド(H25)



人口増減の内訳と推移



人口ピラミッド(H55)



推計結果一覧

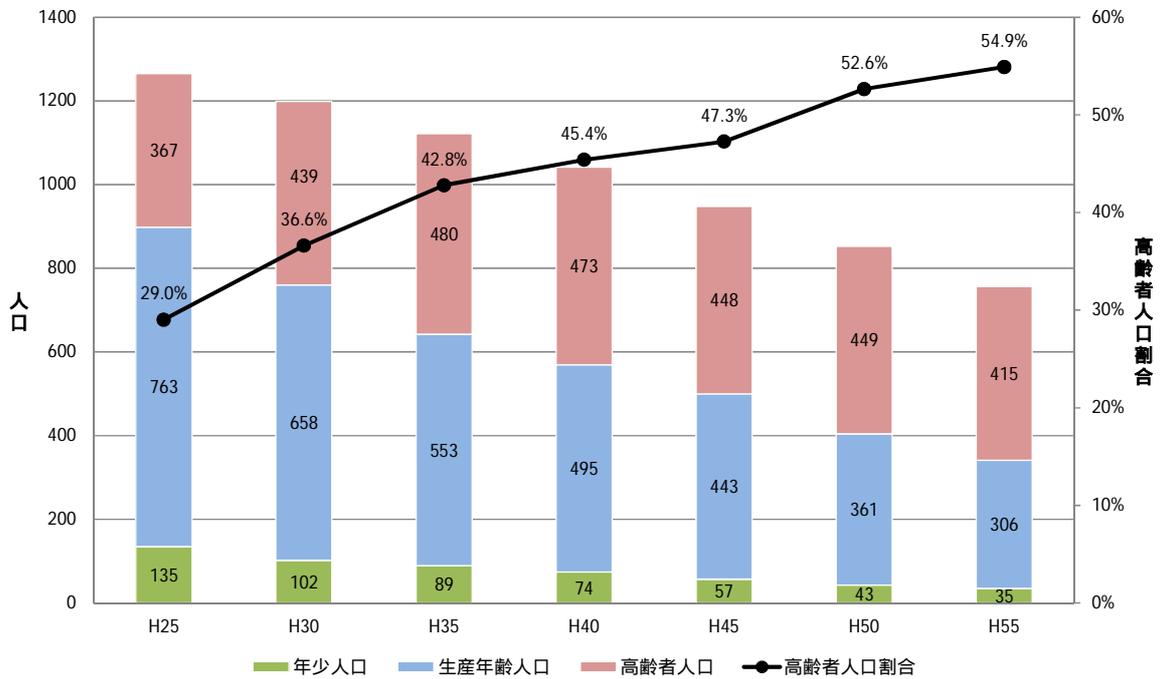
| 年 | | 総人口 | 年少人口 | 生産年齢人口 | 高齢者人口 | 年少人口割合 | 生産年齢人口割合 | 高齢者人口割合 | 出生数 | 死亡数 | 自然増減 | 社会増減 |
|------|------|------|------|--------|-------|--------|----------|---------|-----|-----|------|------|
| 平成25 | 2013 | 1814 | 159 | 1127 | 528 | 8.8% | 62.1% | 29.1% | 33 | 123 | -90 | -40 |
| 30 | 2018 | 1684 | 125 | 958 | 601 | 7.4% | 56.9% | 35.7% | 26 | 126 | -100 | -21 |
| 35 | 2023 | 1563 | 104 | 815 | 644 | 6.7% | 52.1% | 41.2% | 21 | 132 | -111 | -15 |
| 40 | 2028 | 1437 | 90 | 695 | 652 | 6.3% | 48.4% | 45.4% | 18 | 133 | -115 | -10 |
| 45 | 2033 | 1312 | 72 | 583 | 657 | 5.5% | 44.4% | 50.1% | 16 | 136 | -120 | -8 |
| 50 | 2038 | 1184 | 60 | 476 | 648 | 5.1% | 40.2% | 54.7% | 13 | 141 | -128 | -6 |
| 55 | 2043 | 1050 | 53 | 394 | 603 | 5.0% | 37.5% | 57.4% | | | | |

推計結果一覧（年齢5歳階級別）

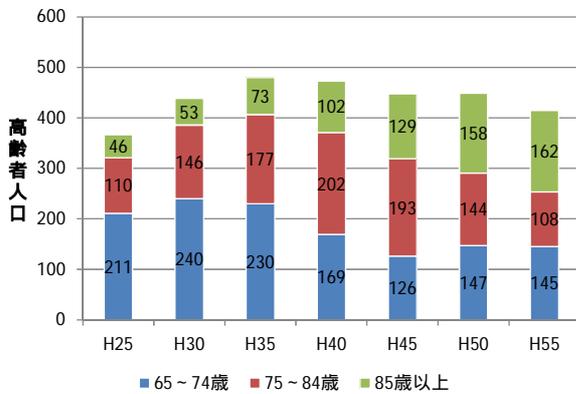
| 年齢 | 平成25年 2013年 | | | 平成30年 2018年 | | | 平成35年 2023年 | | | 平成40年 2028年 | | |
|-------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|
| | 男 | 女 | 全体 |
| 0～4 | 18 | 19 | 37 | 21 | 18 | 39 | 16 | 15 | 31 | 13 | 11 | 24 |
| 5～9 | 33 | 19 | 52 | 17 | 20 | 37 | 19 | 19 | 38 | 15 | 15 | 30 |
| 10～14 | 37 | 33 | 70 | 31 | 18 | 49 | 16 | 19 | 35 | 18 | 18 | 36 |
| 15～19 | 59 | 35 | 94 | 28 | 25 | 53 | 24 | 13 | 37 | 12 | 14 | 26 |
| 20～24 | 41 | 39 | 80 | 44 | 26 | 70 | 21 | 19 | 40 | 18 | 10 | 28 |
| 25～29 | 45 | 31 | 76 | 36 | 31 | 67 | 38 | 21 | 59 | 18 | 15 | 33 |
| 30～34 | 40 | 30 | 70 | 45 | 40 | 85 | 36 | 40 | 76 | 38 | 27 | 65 |
| 35～39 | 51 | 45 | 96 | 42 | 29 | 71 | 47 | 39 | 86 | 37 | 39 | 76 |
| 40～44 | 65 | 60 | 125 | 49 | 43 | 92 | 40 | 28 | 68 | 45 | 37 | 82 |
| 45～49 | 62 | 65 | 127 | 58 | 59 | 117 | 44 | 42 | 86 | 36 | 27 | 63 |
| 50～54 | 69 | 58 | 127 | 61 | 66 | 127 | 57 | 59 | 116 | 43 | 42 | 85 |
| 55～59 | 78 | 77 | 155 | 67 | 57 | 124 | 60 | 65 | 125 | 56 | 58 | 114 |
| 60～64 | 93 | 84 | 177 | 75 | 77 | 152 | 65 | 57 | 122 | 58 | 65 | 123 |
| 65～69 | 62 | 57 | 119 | 89 | 83 | 172 | 73 | 76 | 149 | 62 | 57 | 119 |
| 70～74 | 63 | 60 | 123 | 57 | 56 | 113 | 83 | 81 | 164 | 69 | 74 | 143 |
| 75～79 | 43 | 49 | 92 | 55 | 57 | 112 | 50 | 54 | 104 | 74 | 77 | 151 |
| 80～84 | 37 | 61 | 98 | 34 | 44 | 78 | 44 | 52 | 96 | 40 | 50 | 90 |
| 85～89 | 27 | 41 | 68 | 25 | 51 | 76 | 24 | 38 | 62 | 31 | 45 | 76 |
| 90～ | 5 | 23 | 28 | 13 | 37 | 50 | 17 | 52 | 69 | 19 | 54 | 73 |
| 計 | 928 | 886 | 1814 | 847 | 837 | 1684 | 774 | 789 | 1563 | 702 | 735 | 1437 |

| 年齢 | 平成45年 2033年 | | | 平成50年 2038年 | | | 平成55年 2043年 | | |
|-------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|
| | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 |
| 0～4 | 11 | 10 | 21 | 10 | 9 | 19 | 9 | 7 | 16 |
| 5～9 | 12 | 11 | 23 | 10 | 10 | 20 | 9 | 9 | 18 |
| 10～14 | 14 | 14 | 28 | 11 | 10 | 21 | 9 | 10 | 19 |
| 15～19 | 14 | 13 | 27 | 11 | 10 | 21 | 8 | 7 | 15 |
| 20～24 | 9 | 10 | 19 | 11 | 10 | 21 | 8 | 7 | 15 |
| 25～29 | 16 | 8 | 24 | 8 | 8 | 16 | 10 | 8 | 18 |
| 30～34 | 18 | 20 | 38 | 16 | 10 | 26 | 8 | 10 | 18 |
| 35～39 | 40 | 27 | 67 | 19 | 20 | 39 | 17 | 10 | 27 |
| 40～44 | 35 | 37 | 72 | 38 | 26 | 64 | 18 | 19 | 37 |
| 45～49 | 41 | 36 | 77 | 32 | 36 | 68 | 34 | 25 | 59 |
| 50～54 | 36 | 27 | 63 | 41 | 36 | 77 | 32 | 36 | 68 |
| 55～59 | 42 | 42 | 84 | 35 | 27 | 62 | 40 | 36 | 76 |
| 60～64 | 54 | 58 | 112 | 41 | 41 | 82 | 34 | 27 | 61 |
| 65～69 | 56 | 65 | 121 | 52 | 58 | 110 | 39 | 40 | 79 |
| 70～74 | 58 | 56 | 114 | 52 | 64 | 116 | 49 | 57 | 106 |
| 75～79 | 61 | 71 | 132 | 52 | 54 | 106 | 47 | 62 | 109 |
| 80～84 | 60 | 71 | 131 | 50 | 66 | 116 | 43 | 50 | 93 |
| 85～89 | 29 | 44 | 73 | 44 | 63 | 107 | 37 | 60 | 97 |
| 90～ | 24 | 62 | 86 | 26 | 67 | 93 | 35 | 84 | 119 |
| 計 | 630 | 682 | 1312 | 559 | 625 | 1184 | 486 | 564 | 1050 |

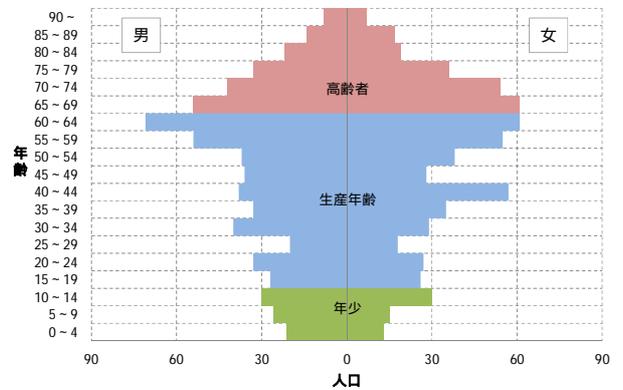
人口と高齢化の推移 (H25 ~ H55)



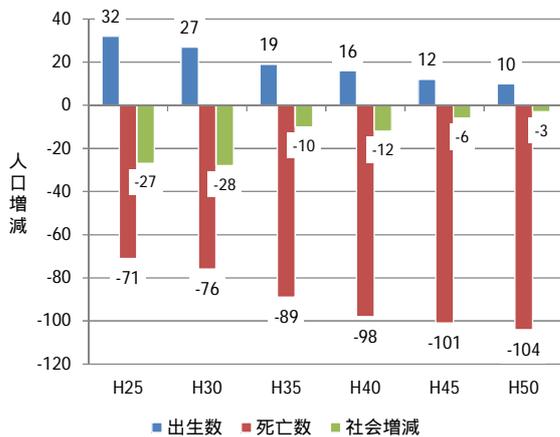
高齢者の内訳推移



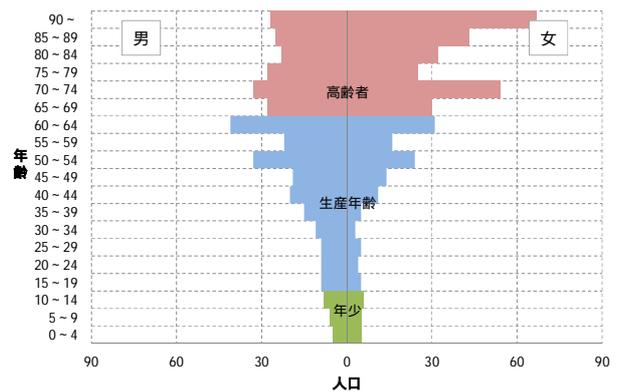
人口ピラミッド(H25)



人口増減の内訳と推移



人口ピラミッド(H55)



推計結果一覧

| 年 | | 総人口 | 年少人口 | 生産年齢人口 | 高齢者人口 | 年少人口割合 | 生産年齢人口割合 | 高齢者人口割合 | 出生数 | 死亡数 | 自然増減 | 社会増減 |
|------|------|------|------|--------|-------|--------|----------|---------|-----|-----|------|------|
| 平成25 | 2013 | 1265 | 135 | 763 | 367 | 10.7% | 60.3% | 29.0% | 32 | 71 | -39 | -27 |
| 30 | 2018 | 1199 | 102 | 658 | 439 | 8.5% | 54.9% | 36.6% | 27 | 76 | -49 | -28 |
| 35 | 2023 | 1122 | 89 | 553 | 480 | 7.9% | 49.3% | 42.8% | 19 | 89 | -70 | -10 |
| 40 | 2028 | 1042 | 74 | 495 | 473 | 7.1% | 47.5% | 45.4% | 16 | 98 | -82 | -12 |
| 45 | 2033 | 948 | 57 | 443 | 448 | 6.0% | 46.7% | 47.3% | 12 | 101 | -89 | -6 |
| 50 | 2038 | 853 | 43 | 361 | 449 | 5.0% | 42.3% | 52.6% | 10 | 104 | -94 | -3 |
| 55 | 2043 | 756 | 35 | 306 | 415 | 4.6% | 40.5% | 54.9% | | | | |

推計結果一覧（年齢5歳階級別）

| 年齢 | 平成25年 2013年 | | | 平成30年 2018年 | | | 平成35年 2023年 | | | 平成40年 2028年 | | |
|-------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|----------------|-----|------|
| | 男 | 女 | 全体 |
| 0～4 | 21 | 13 | 34 | 17 | 15 | 32 | 15 | 12 | 27 | 11 | 8 | 19 |
| 5～9 | 26 | 15 | 41 | 22 | 12 | 34 | 18 | 14 | 32 | 16 | 11 | 27 |
| 10～14 | 30 | 30 | 60 | 23 | 13 | 36 | 20 | 10 | 30 | 16 | 12 | 28 |
| 15～19 | 27 | 26 | 53 | 28 | 23 | 51 | 21 | 10 | 31 | 18 | 8 | 26 |
| 20～24 | 33 | 27 | 60 | 18 | 14 | 32 | 19 | 12 | 31 | 14 | 5 | 19 |
| 25～29 | 20 | 18 | 38 | 30 | 26 | 56 | 17 | 14 | 31 | 18 | 12 | 30 |
| 30～34 | 40 | 29 | 69 | 20 | 15 | 35 | 30 | 22 | 52 | 17 | 12 | 29 |
| 35～39 | 33 | 35 | 68 | 47 | 35 | 82 | 23 | 18 | 41 | 35 | 27 | 62 |
| 40～44 | 38 | 57 | 95 | 31 | 32 | 63 | 44 | 32 | 76 | 22 | 16 | 38 |
| 45～49 | 36 | 28 | 64 | 38 | 56 | 94 | 31 | 31 | 62 | 44 | 31 | 75 |
| 50～54 | 37 | 38 | 75 | 36 | 28 | 64 | 38 | 56 | 94 | 31 | 31 | 62 |
| 55～59 | 54 | 55 | 109 | 36 | 38 | 74 | 35 | 28 | 63 | 37 | 55 | 92 |
| 60～64 | 71 | 61 | 132 | 52 | 55 | 107 | 35 | 37 | 72 | 34 | 28 | 62 |
| 65～69 | 54 | 61 | 115 | 69 | 61 | 130 | 50 | 55 | 105 | 33 | 36 | 69 |
| 70～74 | 42 | 54 | 96 | 50 | 60 | 110 | 65 | 60 | 125 | 46 | 54 | 100 |
| 75～79 | 33 | 36 | 69 | 36 | 51 | 87 | 44 | 57 | 101 | 57 | 58 | 115 |
| 80～84 | 22 | 19 | 41 | 26 | 33 | 59 | 29 | 47 | 76 | 35 | 52 | 87 |
| 85～89 | 14 | 17 | 31 | 14 | 16 | 30 | 17 | 28 | 45 | 21 | 41 | 62 |
| 90～ | 8 | 7 | 15 | 9 | 14 | 23 | 10 | 18 | 28 | 12 | 28 | 40 |
| 計 | 639 | 626 | 1265 | 602 | 597 | 1199 | 561 | 561 | 1122 | 517 | 525 | 1042 |

| 年齢 | 平成45年 2033年 | | | 平成50年 2038年 | | | 平成55年 2043年 | | |
|-------|----------------|-----|-----|----------------|-----|-----|----------------|-----|-----|
| | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 |
| 0～4 | 9 | 7 | 16 | 6 | 5 | 11 | 5 | 5 | 10 |
| 5～9 | 11 | 7 | 18 | 9 | 7 | 16 | 6 | 5 | 11 |
| 10～14 | 14 | 9 | 23 | 10 | 6 | 16 | 8 | 6 | 14 |
| 15～19 | 15 | 9 | 24 | 13 | 7 | 20 | 9 | 5 | 14 |
| 20～24 | 12 | 4 | 16 | 10 | 5 | 15 | 9 | 4 | 13 |
| 25～29 | 13 | 5 | 18 | 11 | 4 | 15 | 9 | 5 | 14 |
| 30～34 | 18 | 10 | 28 | 13 | 4 | 17 | 11 | 3 | 14 |
| 35～39 | 20 | 15 | 35 | 21 | 12 | 33 | 15 | 5 | 20 |
| 40～44 | 33 | 25 | 58 | 19 | 14 | 33 | 20 | 11 | 31 |
| 45～49 | 22 | 16 | 38 | 33 | 24 | 57 | 19 | 14 | 33 |
| 50～54 | 43 | 31 | 74 | 22 | 16 | 38 | 33 | 24 | 57 |
| 55～59 | 30 | 31 | 61 | 42 | 31 | 73 | 22 | 16 | 38 |
| 60～64 | 36 | 55 | 91 | 29 | 31 | 60 | 41 | 31 | 72 |
| 65～69 | 33 | 27 | 60 | 35 | 55 | 90 | 28 | 30 | 58 |
| 70～74 | 31 | 35 | 66 | 31 | 26 | 57 | 33 | 54 | 87 |
| 75～79 | 41 | 52 | 93 | 28 | 34 | 62 | 28 | 25 | 53 |
| 80～84 | 46 | 54 | 100 | 34 | 48 | 82 | 23 | 32 | 55 |
| 85～89 | 25 | 46 | 71 | 34 | 48 | 82 | 25 | 43 | 68 |
| 90～ | 15 | 43 | 58 | 20 | 56 | 76 | 27 | 67 | 94 |
| 計 | 467 | 481 | 948 | 420 | 433 | 853 | 371 | 385 | 756 |

(2)人口減少の様子

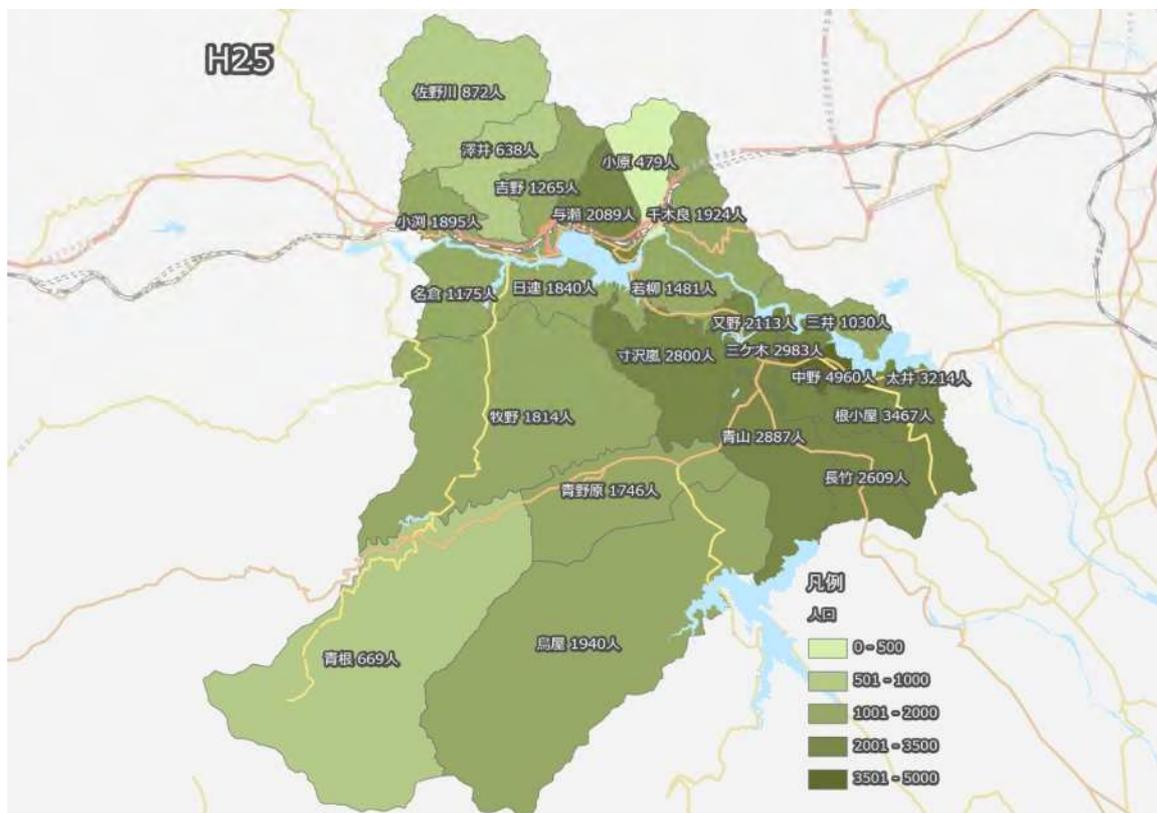
人口減少の様子を地域間で比較するため、平成25年と平成55年の人口総数を地図に表した。

相模原市の中山間地域の人口分布をみると、津久井地区中野地域とその周辺地域に最大の集積がある。その他に、相模湖駅、藤野駅の周辺にも一定の集積がある。平成25年と平成55年を比較しても、この傾向に変わりはない。

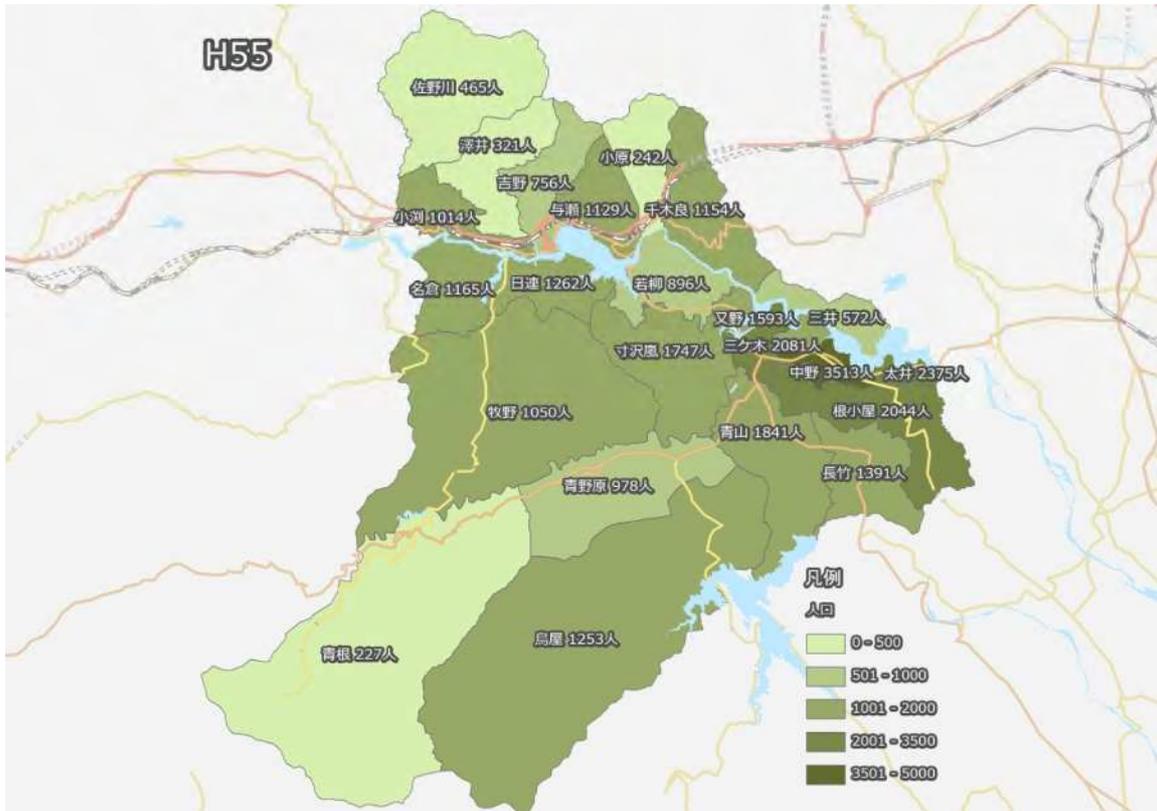
平成25年から平成55年までの30年間にどの程度人口が減少するのか、H55人口/平成25年人口=人口維持率として算出したところ、中野、太井、又野地域といった現在人口の集積している地域で維持率が高く、交通利便性の低くなる山間地ほど更に人口減少が進むという結果となった。多くの地域で人口は半減に近い状況となる。青根地域では現在の1/3程度まで減少する。

一方、名倉地域では現在とほぼ変わらない人口規模を維持するという結果となった。これは近年のシュタイナー学園誘致によって子育て世代が転入していることが人口増加に大きく寄与しているためであり、日連や吉野地域にも効果が波及しているように見える。ただし、シュタイナー学園はこれから卒業生が出る時期となるため、卒業後の定着率次第では推計結果が大きく変わる可能性がある。

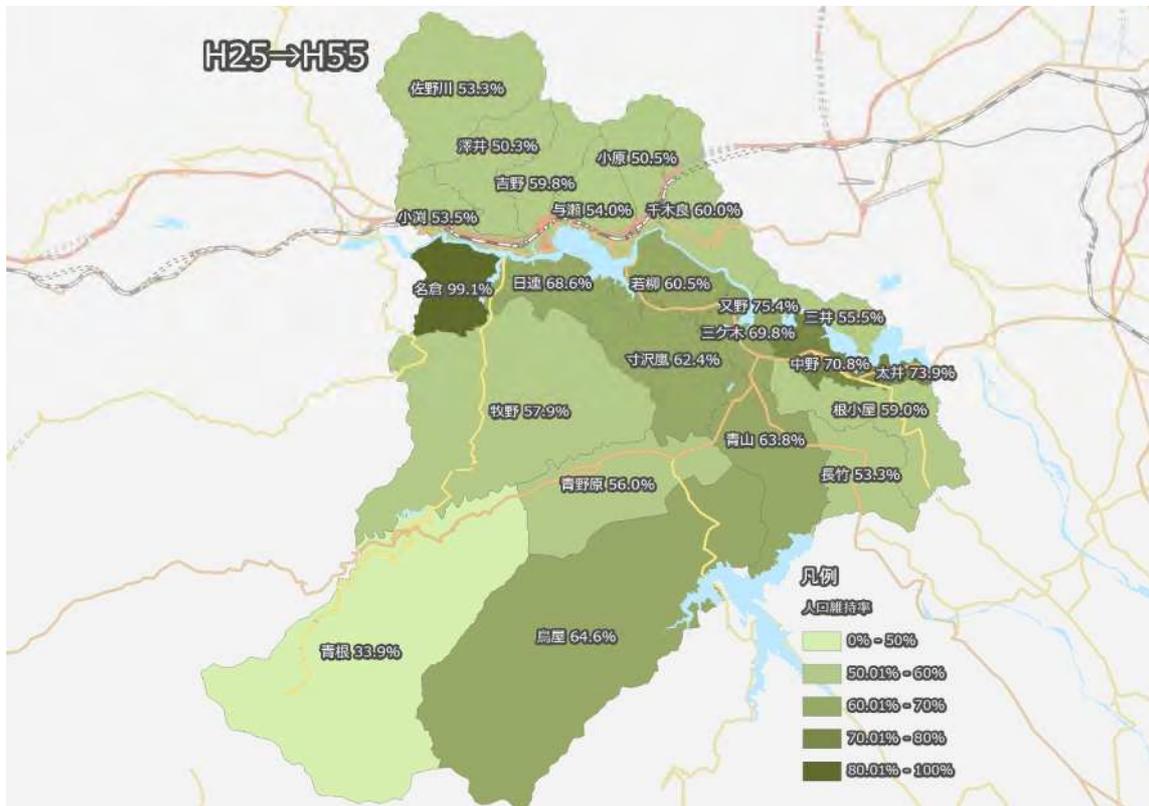
図表 1-16 地域別将来人口推計結果（平成25年）



図表 1-17 地域別将来人口推計結果（平成 55 年）



図表 1-18 地域別人口維持率（平成 25 年 → 平成 55 年）

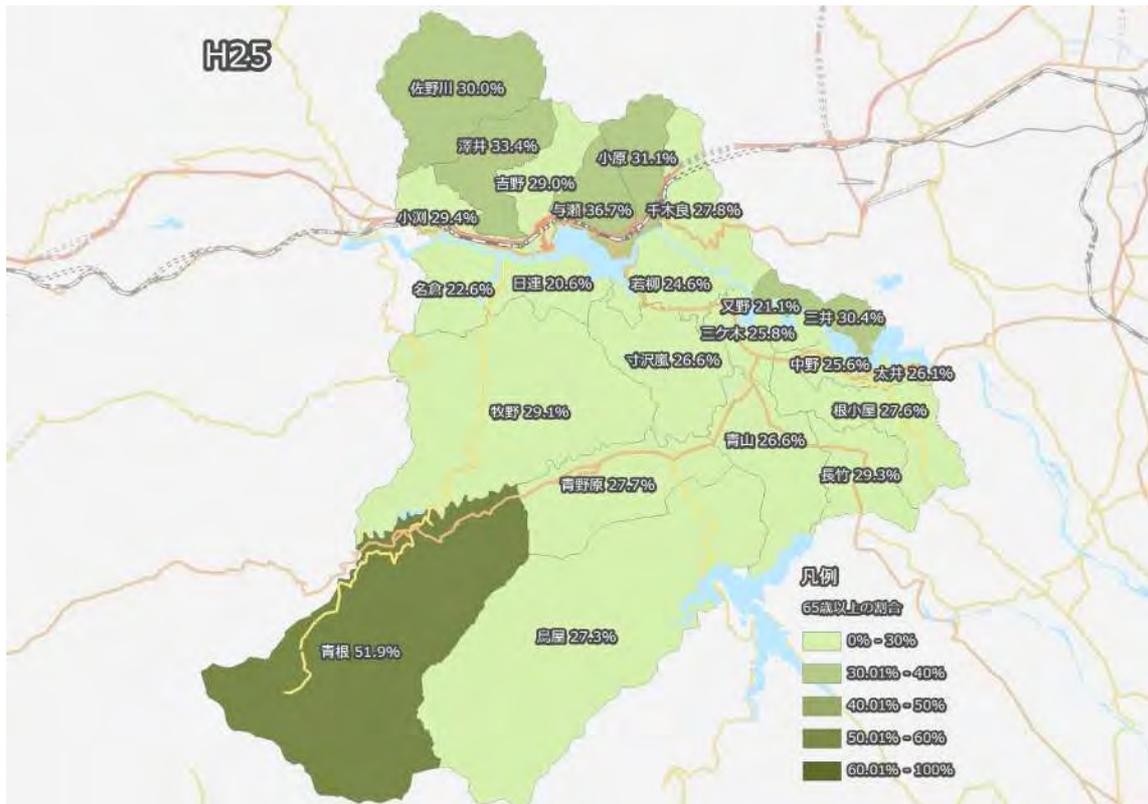


(3) 高齢化の様子

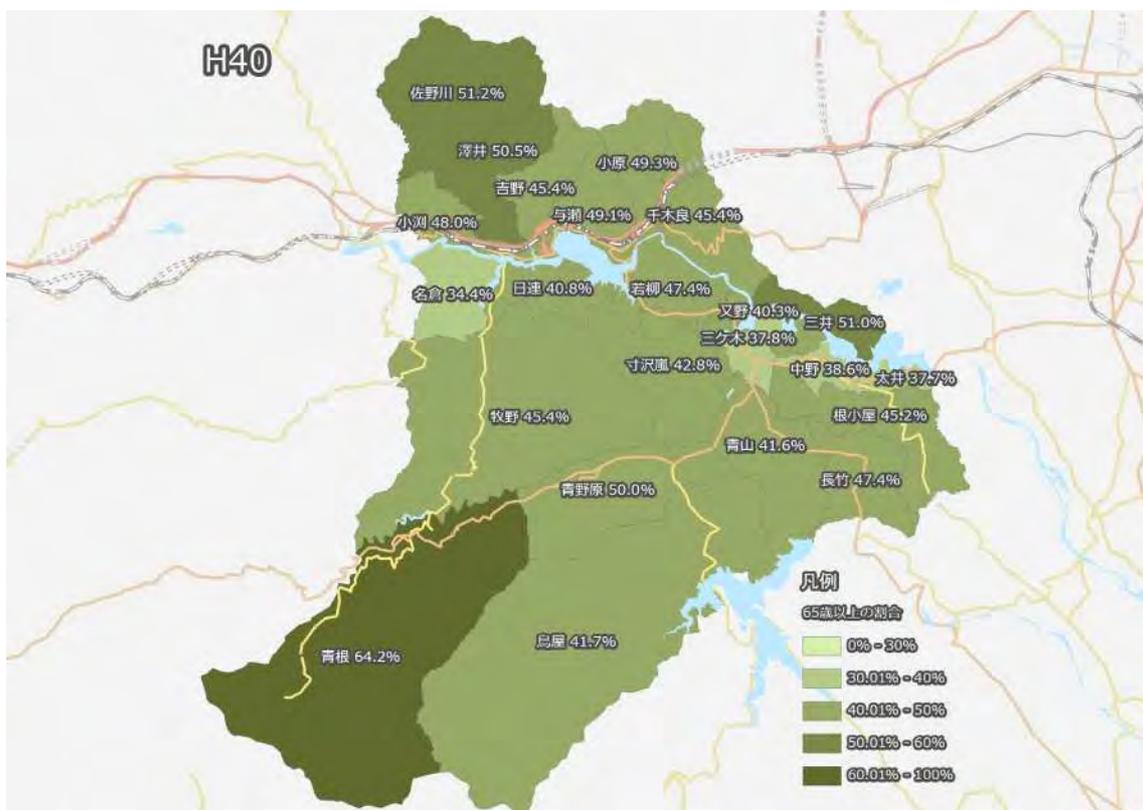
65歳以上の人口

平成 25 年時点における高齢化率をみると、青根地域が 50% 超と特に高いほか、三井、小原、与瀬、澤井、佐野川地域などが 30% 超となっている。これが平成 40 年には 30% を下回る地域はなくなり、平成 55 年にはほとんどの地域で 50% 超となる。

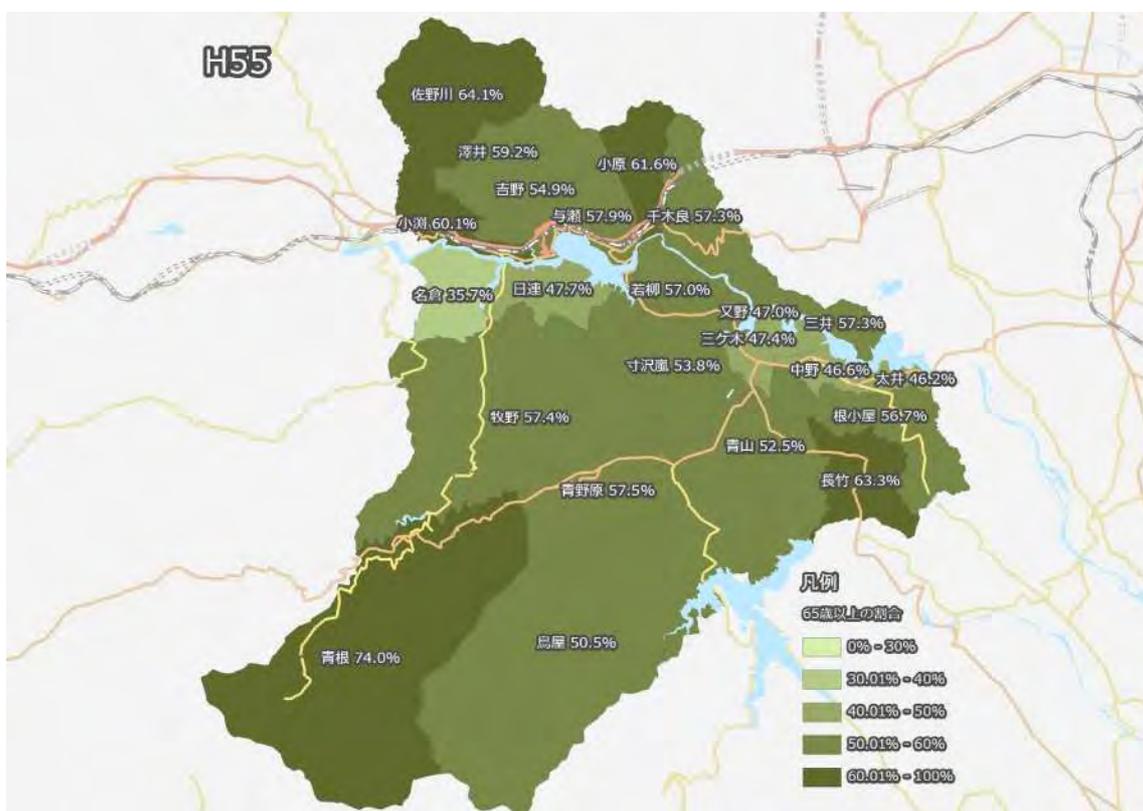
図表 1-19 地域別高齢化率（平成 25 年）



図表 1-20 地域別高齢化率（平成 40 年）



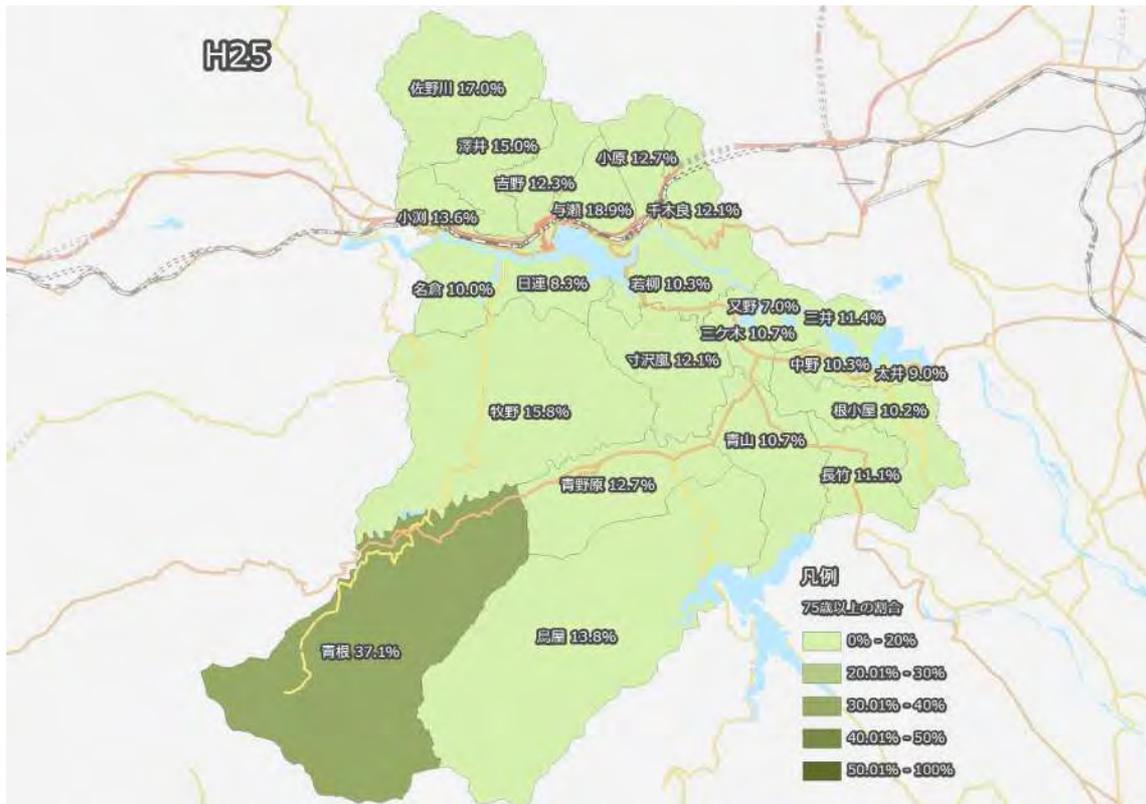
図表 1-21 地域別高齢化率（平成 55 年）



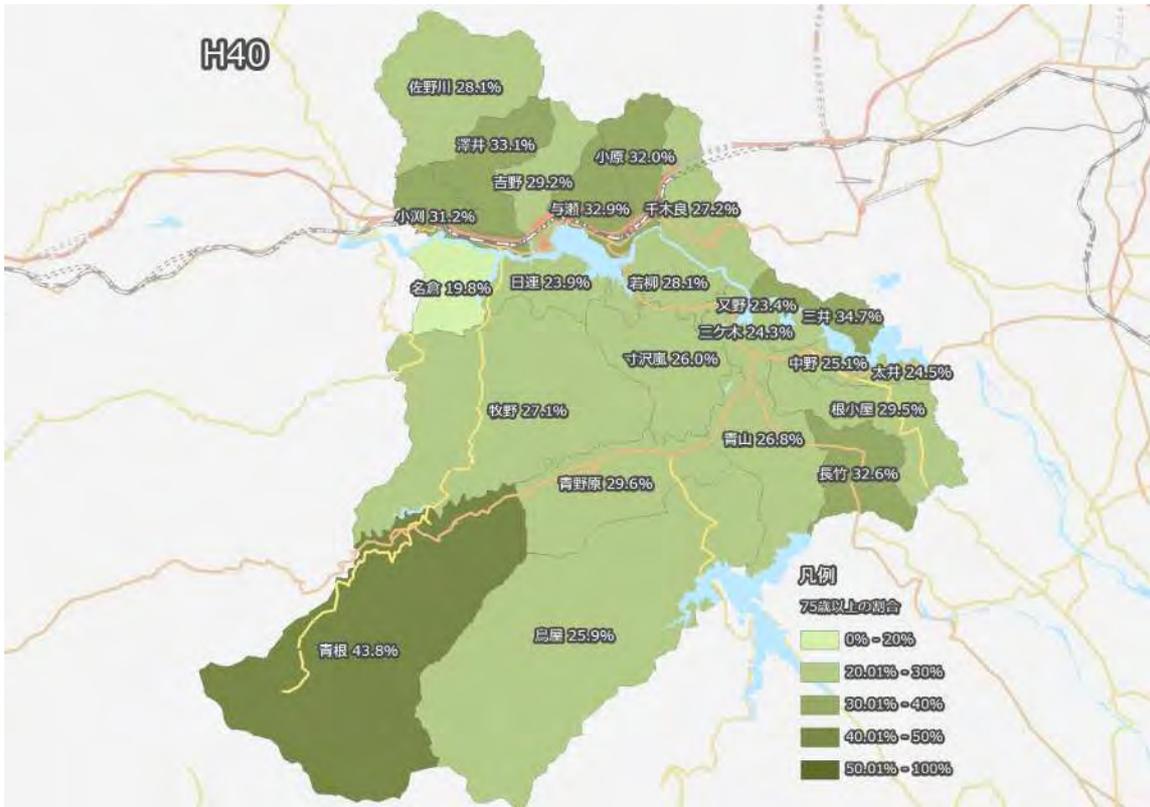
75歳以上の人口

平成 25 年時点における後期高齢者の割合をみると、青根地域が 37%と特に高いものの、他では 10%前後の地域が多く、青根地域を除く全ての地域が 20%未満となっている。しかし、平成 40 年には名倉地域を除く全ての地域が 20%超となり、平成 55 年にはほとんどの地域が 30%～40%超となるなど、急速に「超」高齢化が進む。

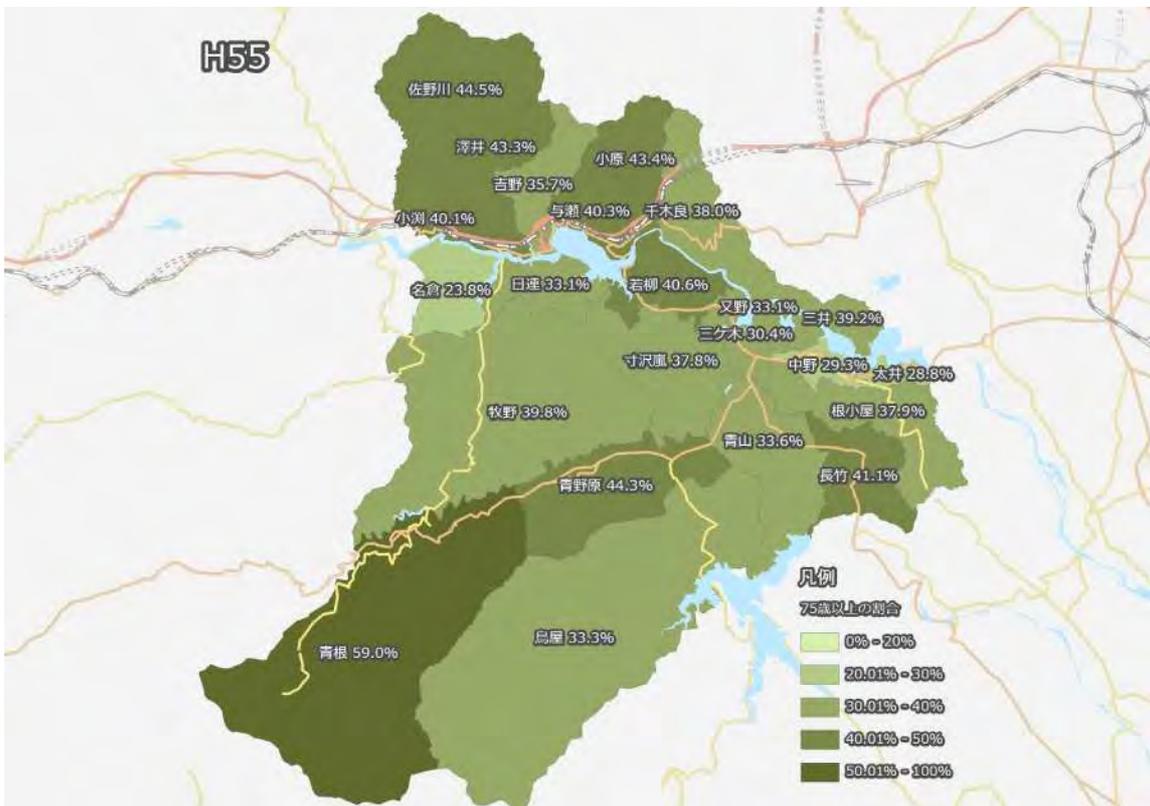
図表 1-22 地域別 75 歳以上の高齢者割合（平成 25 年）



図表 1-23 地域別 75 歳以上の高齢者割合（平成 40 年）



図表 1-24 地域別 75 歳以上の高齢者割合（平成 55 年）

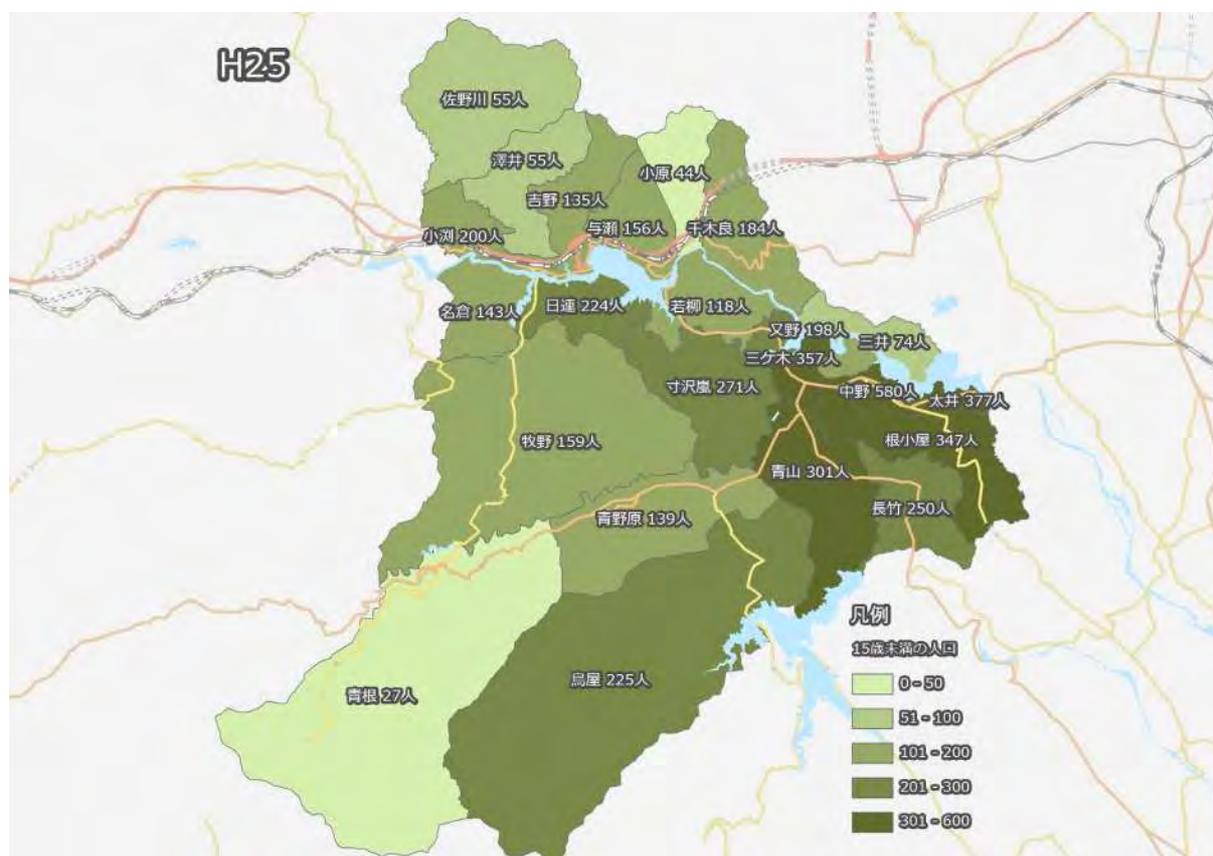


(4)少子化の様子

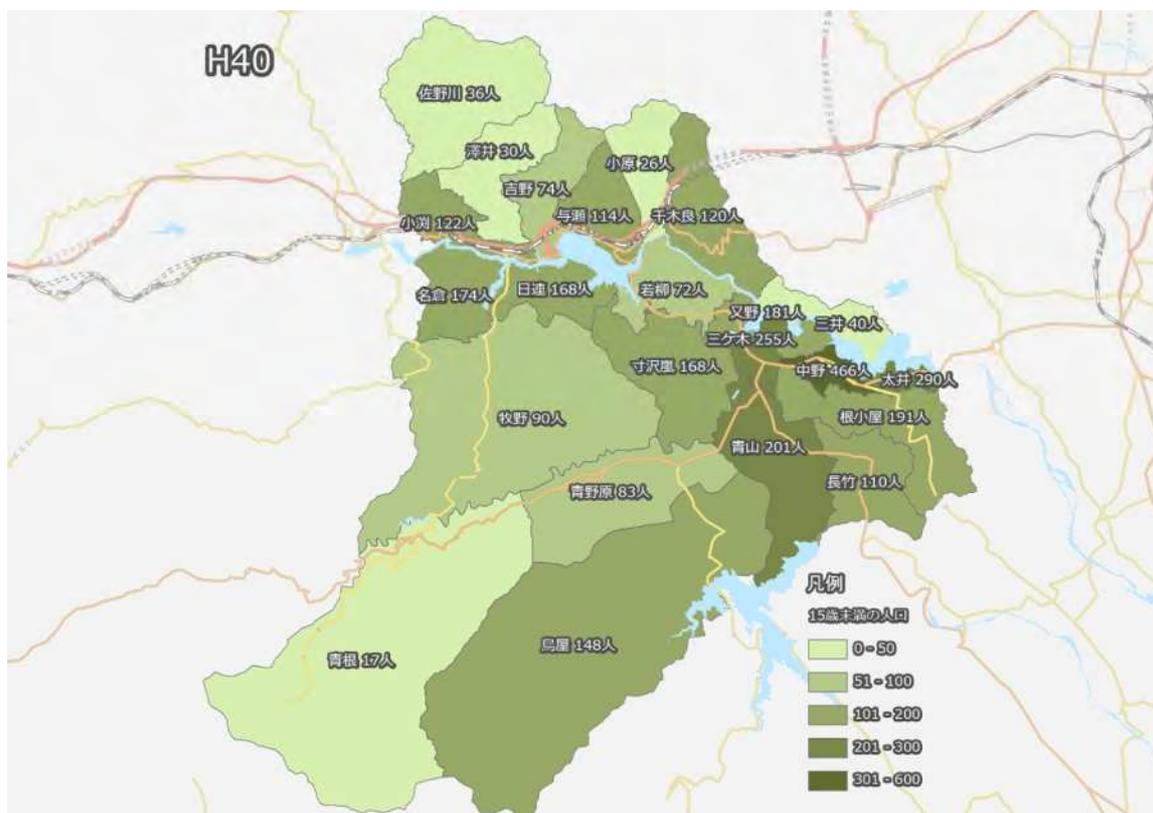
高齢化とともに、少子化も急速に進む。平成 25 年時点で 0～14 歳の年少人口が 100 人を下回る地域が 5 地域あり、これが平成 40 年には 9 地域に、平成 55 年には 15 地域となる。減少率は平成 25 年から平成 40 年にかけて 40%前後減少する地域が多く、平成 55 年に至っては 70%前後減少する地域が多くなる。

現在においても、青根小学校では全校児童数が 9 人となっているほか、1 学年が 10 人程度という小学校も少なくない。少子化が進めば学級編成などが困難となり、あちこちで学校の統廃合の議論をしなければならない時期が遠からず来る可能性がある。

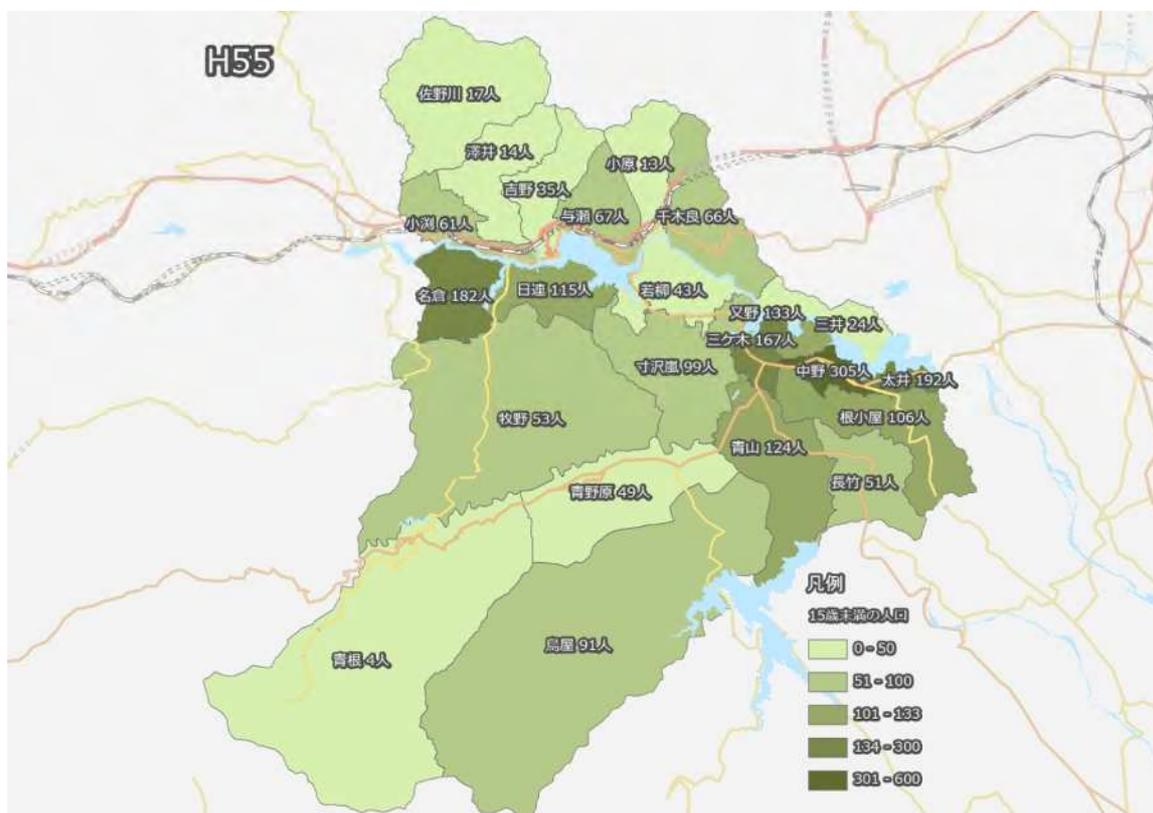
図表 1-25 地域別年少人口（平成 25 年）



図表 1-26 地域別年少人口（平成 40 年）



図表 1-27 地域別年少人口（平成 55 年）



第2章

データでみる中山間地域の実態と将来予測

第2章 データでみる中山間地域の実態と将来予測

1 地域の実態把握調査と将来予測の概要

(1)目的

地域の人口減少及び少子高齢化が進展すると、以下のような問題が地域に発生すると一般的に言われている。これらの問題が地域でいつ頃発生するかは今後の地域政策を考えていく上で重要な視点となり、そのためには、まず、地域の現状をきちんと把握することが必要である。

図表 2-1 人口減少及び少子高齢化の進展により地域で発生するとされる問題

商店や公共交通機関等のサービスが低下
公共施設（学校や公民館等）の統廃合
担い手不足によるお祭り等の伝統的文化等の衰退
支援を必要とする高齢者や障害者等への支援機能の低下
空き家、休耕地等の増加による不法投棄の増加や治安・景観悪化
担い手不足による消防団、防犯パトロール等の防犯活動の衰退

本調査は、最新の統計データ及び青野原地域、千木良地域、名倉地域を対象として実施した市民アンケート調査結果を中心に、日常生活の行動範囲や生活する上での困りごと、家族・地域とのつながり、住民が考える地域の将来像等、中山間地域に居住する住民の実態を明らかにするとともに、人口減少・少子高齢化に起因する地域の問題がいつ頃発生するかを予測することを目的に実施した。

(2)調査内容

調査1：中山間地域現況調査（統計調査）

人口や世帯、高齢化率の推移、就業・就学先及びその交通手段、日常的な買物先等、平成22年国勢調査結果や本市が様々な計画を策定するにあたり実施した基礎調査結果等の最新統計データを用い、本市の中山間地域で暮らす住民の特徴を明らかにすることを目的に実施。

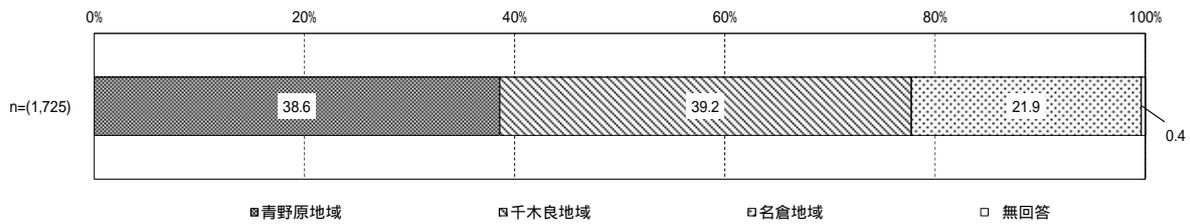
調査2：中山間地域における日常実態調査（アンケート調査）

既存の統計データからは見えない日常生活の実態や住民の地域活動意向、望む将来像等を把握するとともに、地域の将来を予測する基礎資料とすることを目的に実施。

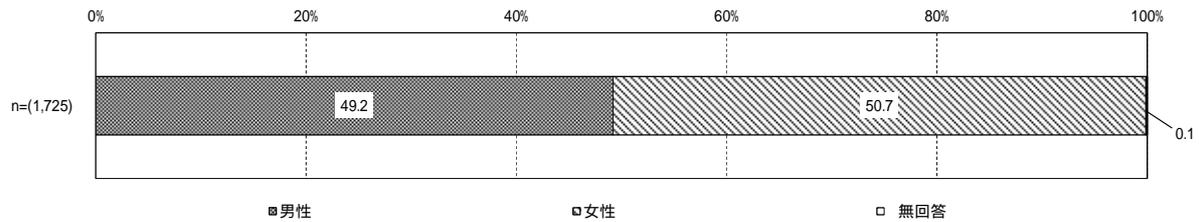
図表 2-2 中山間地域における日常実態調査（アンケート調査）概要

| | |
|----------|--|
| 調査対象 | 平成 25 年 9 月 1 日現在、津久井地区青野原地域、相模湖地区千木良地域、藤野地区名倉地域に居住する 20 歳以上の方 |
| 調査項目 | <ul style="list-style-type: none"> ・本人の状況について（回答者属性） 年齢、性別、居住地域、世帯構成、運転免許の有無等 ・家族の状況について（世帯主のみ回答） 世帯全体の収入、子の人数及び現況、住居形態、住居の継承・相続の見込み等 ・日常生活の状況について 日常的に買物をする場所・頻度及び主な交通手段、現在の健康状態及び介護に関する意向、地域活動の経験及び参加意向、予想される地域問題が日常生活に及ぼす影響等 ・地域の将来について 将来の居住意向、望む地域の将来像等 |
| 実施時期 | 平成 25 年 9 月実施、郵送配布（一部戸別配布） 郵送回収 |
| 配布数及び回収数 | 配布数 4,073 票 回収数 1,771 票（43.5%）、うち有効票 1,725 票（42.4%）（無効票 46 票） |

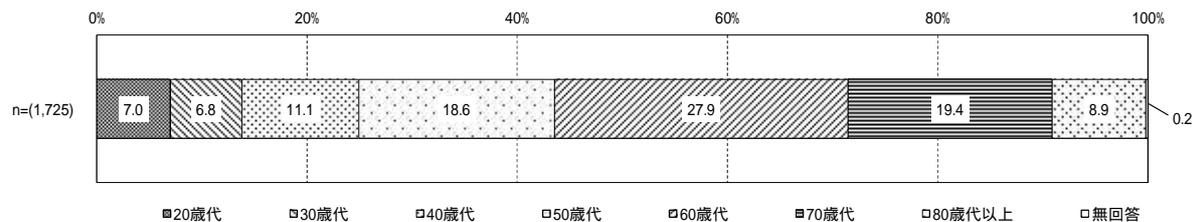
図表 2-3 地域別回収数



図表 2-4 性別回収数



図表 2-5 年代別回収数



2 調査結果

(1) 中山間地域における移動の実態

市街地地区と比べ、公共交通の利便性が低いアンケート対象地域において、日常的な移動及びその移動手段を把握するため、まず、通勤・通学の状況についてみていくこととする。

平成 22 年国勢調査によると、本市の就労・就学者数は 370,879 人で市全体の約半数の人が日々通勤・通学で移動している。アンケート対象地域においても概ね同じ傾向であり、人口の半分が通勤・通学している。

図表 2-6 本市の就労・就学者数

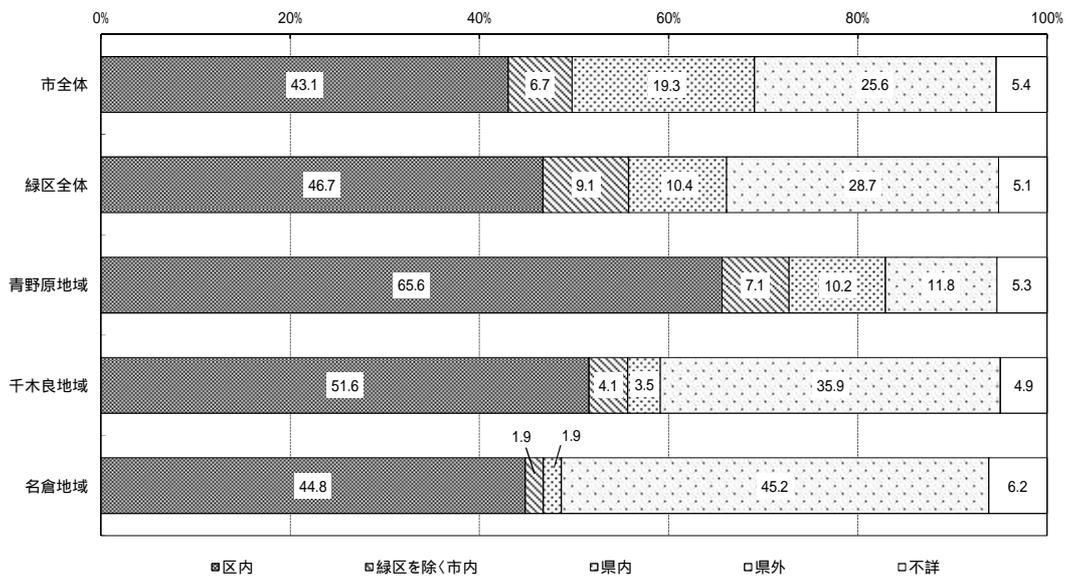
| | 人 口 | | | |
|-----------|-------------------|------------------|------------------|---------------|
| | 就 労 ・ 就 学 者 | 未 就 労 ・ 未 就 学 者 | 不 詳 | |
| 市 全 体 | 717,544 100.0% | 370,879 51.7% | 343,401 47.9% | 3,264 0.4% |
| 緑 区 全 体 | 176,192 100.0% | 92,900 52.7% | 82,626 46.9% | 666 0.4% |
| 青 野 原 地 域 | 1,760 100.0% | 1,001 56.9% | 755 42.9% | 4 0.2% |
| 千 木 良 地 域 | 2,006 100.0% | 1,035 51.6% | 967 48.2% | 4 0.2% |
| 名 倉 地 域 | 1,142 100.0% | 631 55.3% | 508 44.5% | 3 0.2% |

出典：平成 22 年国勢調査結果をもとに本市作成

アンケート対象地域の通勤・通学先

アンケート対象地域の通勤・通学先及びその移動手段についてみると、青野原地域の約 7 割の人は、市内(区内及び緑区を除く市内と回答した人の合計)へ通勤・通学している。通勤・通学先が市内ということもあり、その移動手段の約 8 割は自家用車またはバイクで、鉄道・電車を利用する人は他の地域と比べ、極端に少ない。旧相模原市域に比較的近い地理条件ということもあり、青野原地域の生活圏は旧相模原市域が中心で、旧相模原市域のベッドタウン的な位置づけとなっていることが推察される。

図表 2-7 居住地域別通勤・通学先の所在地

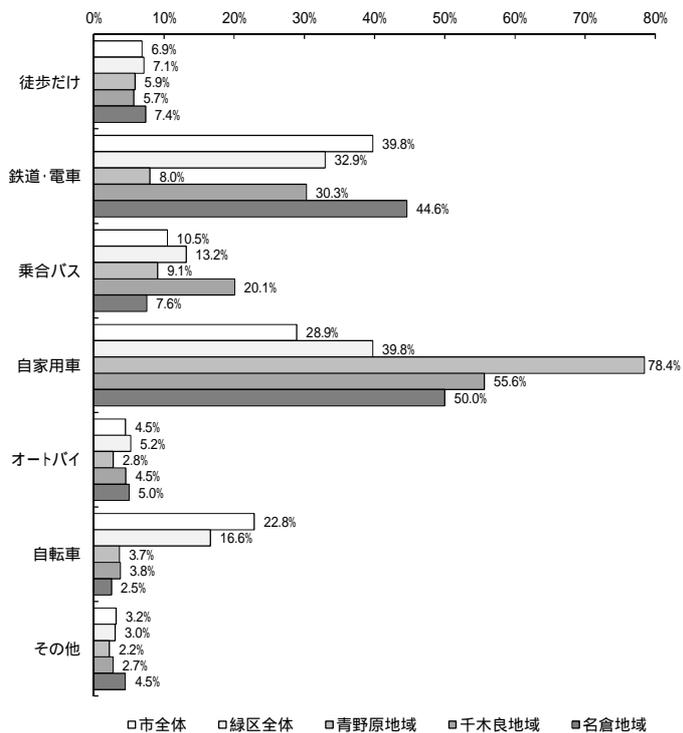


出典：平成 22 年国勢調査結果をもとに本市作成

一方、千木良地域、名倉地域では半数近くの人が市外、県外へと通勤・通学しており、その移動手段は鉄道・電車を利用する人が多いのが特徴である。また、青野原地域同様、自家用車またはバイクも利用している人も多い。

両地域ともJR中央本線の駅が比較的近くに立地していることもあり、駅まで自家用車等を利用し、都心や隣接する山梨県へ向かう、或いは自家用車で直接通勤先まで移動する、という生活スタイルが推察される。

図表 2-8 居住地域別通勤・通学先への移動手段

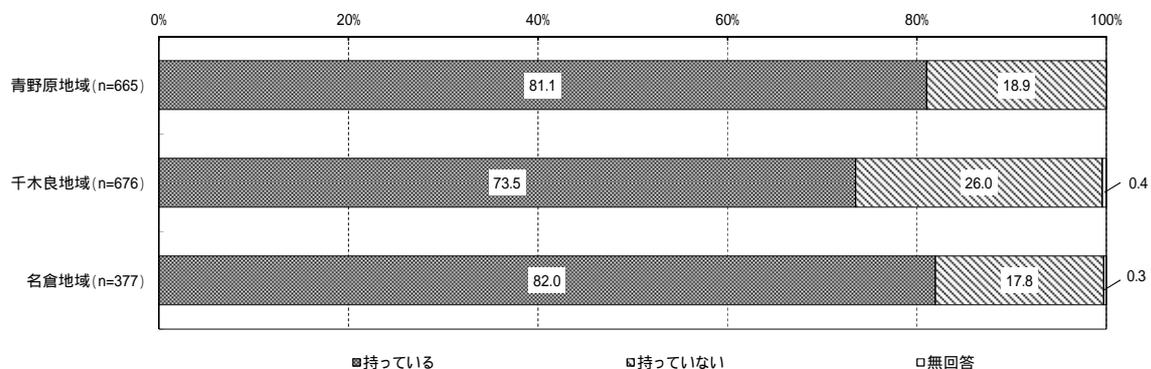


出典：平成 22 年国勢調査結果をもとに本市作成

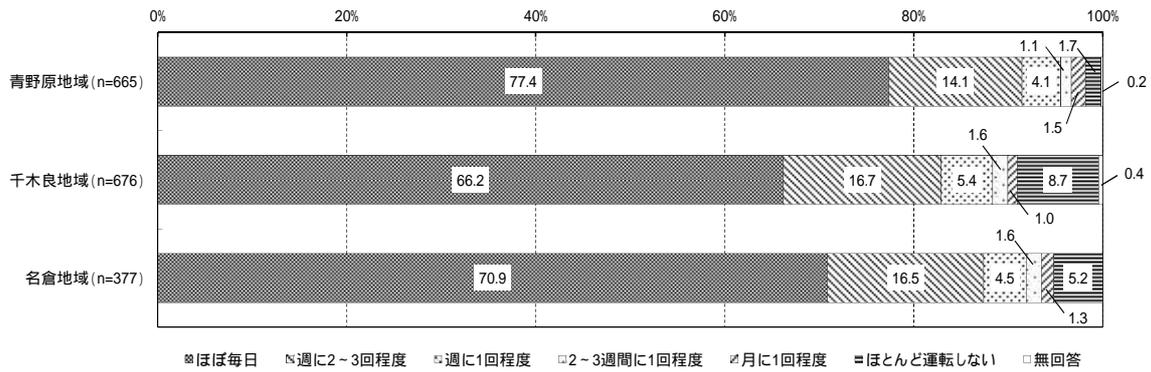
アンケート対象地域の自家用車等の使用状況

そのような状況を踏まえ、アンケート調査において運転免許の所持状況と運転頻度を尋ねてみると、千木良地域は運転免許の所持率が若干低いものの、各地域とも概ね 8 割の人が自動車またはバイクの運転免許を所持し、うち、約 9 割の人が週 1 回以上運転していると結果となった。

図表 2-9 自動車やバイクの運転免許所持率(地域別)



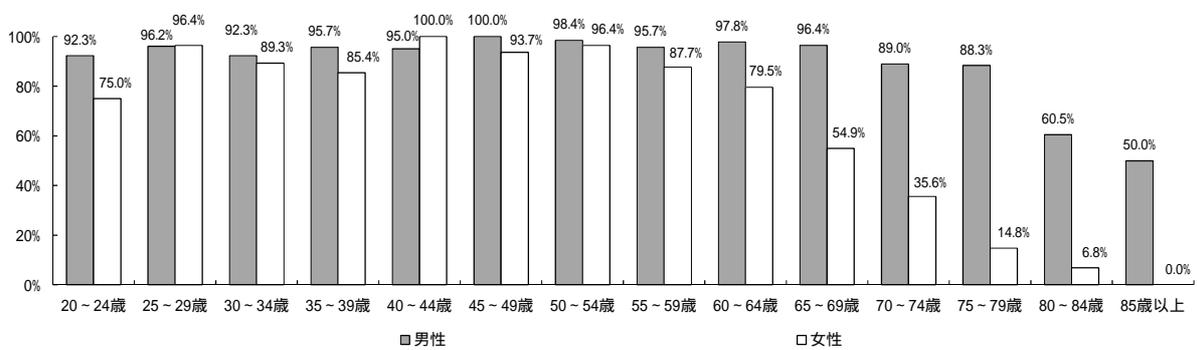
図表 2-10 自動車やバイクの運転頻度(地域別)



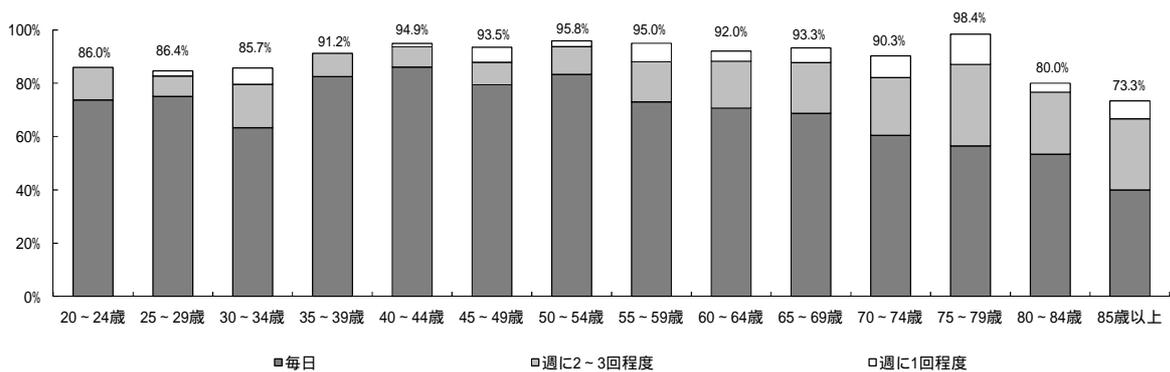
この運転免許の所持率を性・年齢別にみても、64歳以下では男女ともに高い所持率であるが、65歳以上になると、特に女性の所持率が低い結果となった。

また、運転頻度を年齢別にみても、年齢が高くなるにつれ、毎日運転する頻度は低くなるものの、85歳以上でも約7割の人が週1回以上運転しており、公共交通の利便性が低いアンケート対象地域では、日常生活を営む上で自家用車またはバイクが欠かせないものとなっていることがうかがえる。

図表 2-11 自動車やバイクの運転免許所持率(性・年齢別)



図表 2-12 自動車やバイクの運転頻度(年齢別)



移動に関する予測される将来

アンケート調査の自由意見において、公共交通機関の増便や自家用車等を運転出来なくなった後の生活を危惧する意見は多数見受けられ、中山間地域における生活において移動の容易さはとても重要であり、また、移動の不便さが地域の人口減少の大きな要因と考えられていることがうかがえる。しかし、大規模な開発等により、地域構造によほど大きな変化がない限りは公共交通の利便性が劇的に改善される見込みは薄い現状を考慮すると、自家用車等を利用した生活スタイルは変わらないことが予想される。

図表 2-13 移動に関するアンケート自由意見（抜粋）

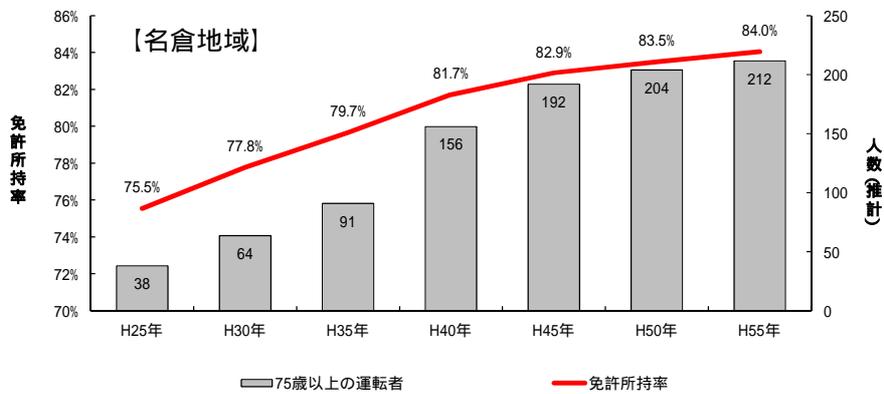
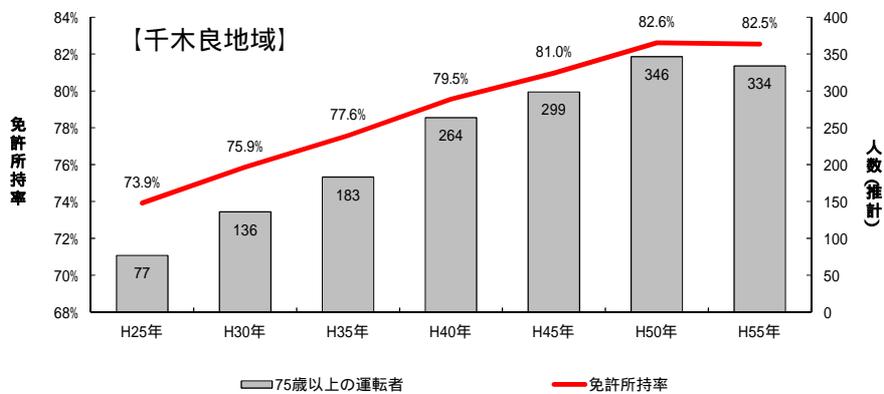
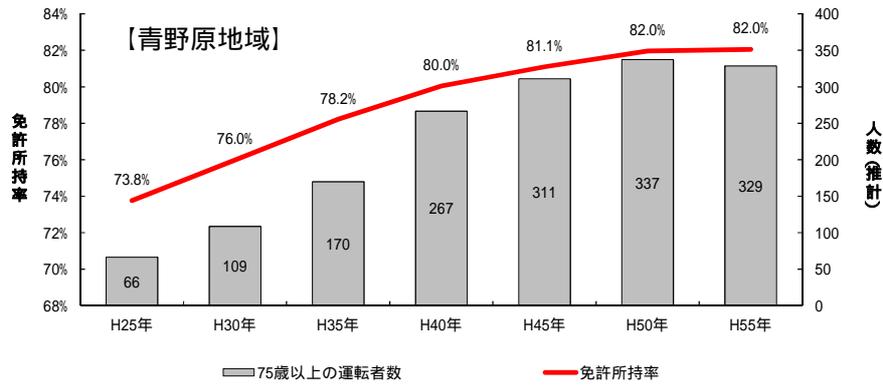
- ・交通の便が悪い、車が運転出来なくなったら餓死覚悟。お金があればすぐにでも他へ移転したい。(60歳代男性)
- ・バスが少なく、車の運転ができない人やお年寄りには住みにくい。(20歳代女性)
- ・バスの本数が少なく、終バスの時刻が早いので、通学や通勤に使えず困っています。車で送迎が出来ない場合、三ヶ木まで歩かなければならない。(40歳代女性)
- ・年齢を重ねるとともに自分で車を運転しなければならないことが大きな問題となってくると思われる。だからと言って車で移動しなければ生活できない地域です。小さなバスなど公的な交通手段を是非とも望む。(50歳代女性)
- ・公共交通（バス、電車）をしやすいくしなければ、この地域は確実に衰退する。(40歳代男性)

上記を踏まえ、各地域の75歳以上の運転免許所持率と高齢運転者数を予測すると、次のような結果となった。

10年～20年後に75歳以上となる現在64歳以下の世代の約9割は免許を所持しているため、運転免許所持者は現状の7割程度から8割を超えると予測され、自動車またはバイクでの移動可能者は現状よりも増えることが考えられる。しかし、それは高齢運転者の増加を意味しており、交通安全対策の強化が大きな課題となることが予想される。

一方、運転免許を所持していない人は65歳以上の女性に多く、10年～20年後には75歳～85歳となり、ますます、移動に関する不便さが際立つ可能性がある。これから10年～20年が免許を持たない高齢者の移動・買物支援をどのように行っていくかが中山間地域での生活を支える上で最も早急に対策を講じなければいけない問題となる可能性が高い。

図表 2-14 75 歳以上の高齢運転者数と運転免許所持率(推計)



移動に関する予測される将来

運転可能者は増加するため、自家用車またはバイクにより移動手段は確保される。しかし、高齢運転者が増加するため、交通安全対策の強化が課題となってくる。これからの10年~20年の間は運転できない人の移動支援が最も早急な課題となる可能性が高い。

(2) 中山間地域における買物の実態

日常生活に自家用車等の利用が必要不可欠であり、今後、自家用車等による移動可能者が増加する可能性が高い状況を踏まえ、次に日常生活には欠かせない食料品や日用品等の買物の実態についてみていくこととする。

本研究所と商業観光課が平成 24 年度に共同実施した買物不便地域実態調査によると、アンケート対象地域内に生鮮食品等が購入できる店舗は千木良地域にはスーパーマーケットが立地しているものの、青野原、名倉地域には立地しておらず、個人商店やコンビニエンスストアが主な買物先となる。

アンケート対象地域の日常的な買物先

店舗の立地状況を踏まえ、商業観光課が市内商業の現状と動向を把握し、商業振興施策の基礎資料とするため、毎年実施している商業実態調査によると、城山・津久井地区に居住する人の食料品・日用品の購入地域は、「居住地区」が 68.7%と最も多く、以下、「橋本駅周辺」16.2%、「市外」5.0%とつづく。

一方、相模湖・藤野地区に居住する人の購入地域は城山・津久井地区同様、「居住地区」での購入が 44.2%と最も高いが、「市外」で購入する人も 37.3%おり、他市町村と隣接する市内他地区と比べても、市外で購入する割合が高いという特徴がある。

今回、アンケート調査において食料品や日用品を最もよく購入する場所を尋ねたが、概ね同様の結果が得られた。

図表 2-15 居住地域別食料品・日用品等の主な購入先

| | 調査数 | 橋本駅周辺 | 相模原駅周辺 | 相模大野駅周辺 | 淵野辺地区 | 上溝地区 | 小田急相模原地区 | 東林間地区 | 古淵地区 | 若松地区 | 相武台地区 | 南橋本地区 | 相原・二本松地区 | 城山・津久井地区 | 相模湖・藤野地区 | 中央区その他の地域 | 南区その他の地域 | 緑区その他の地域 | 市外 | 無回答 |
|----------|-------|-------|--------|---------|-------|------|----------|-------|------|------|-------|-------|----------|----------|----------|-----------|----------|----------|------|------|
| 全体 | 1,407 | 16.6 | 5.7 | 11.4 | 5.0 | 4.1 | 4.3 | 2.1 | 10.4 | 1.2 | 1.9 | 1.1 | 1.3 | 5.7 | 1.4 | 9.5 | 4.3 | 2.3 | 10.3 | 1.3 |
| 本庁地区 | 280 | 16.8 | 23.2 | 3.2 | 8.2 | 3.6 | 0.4 | | 5.7 | | | 3.9 | | 1.1 | | 29.6 | | | 3.7 | 0.7 |
| 橋本地区 | 136 | 74.3 | 0.7 | | | | | | | | | | 9.6 | 1.5 | | | | 8.1 | 4.3 | |
| 大野北地区 | 96 | 4.2 | 2.1 | 1.0 | 45.8 | | | | 21.9 | | | | | | | 5.2 | | | 17.7 | 2.1 |
| 大野中地区 | 134 | 0.7 | | 11.9 | | | | | 59.0 | 11.2 | | | | | | | 9.0 | | 7.5 | 0.7 |
| 大野南地区 | 146 | | 0.7 | 63.0 | | | 1.4 | 2.1 | 5.5 | 0.7 | | | | | | 0.7 | 4.1 | | 19.2 | 2.7 |
| 大沢地区 | 60 | 51.7 | 3.3 | | | | | | | | | 1.7 | | 3.3 | | 6.7 | | 26.7 | 3.3 | 3.3 |
| 田名地区 | 50 | 20.0 | 6.0 | 2.0 | | 16.0 | | | 2.0 | | | | | | | 50.0 | 2.0 | | 2.0 | |
| 上溝地区 | 66 | 19.7 | 4.5 | | | 50.0 | | | 3.0 | | | | 1.5 | 1.5 | | 12.1 | 3.0 | 1.5 | 3.0 | |
| 麻溝地区 | 37 | 13.5 | 2.7 | | 2.7 | 8.1 | 2.7 | | 2.7 | | | 2.7 | | | | 2.7 | 59.5 | | 2.7 | |
| 新磯地区 | 27 | | | | | 11.1 | | | 11.1 | | 7.4 | | | | | | 40.7 | | 29.6 | |
| 相模台地区 | 79 | | | 20.3 | 1.3 | | 46.8 | | 13.9 | 1.3 | 1.3 | | | | | | 6.3 | | 7.6 | 1.3 |
| 相武台地区 | 47 | 2.1 | | 4.3 | | | 14.9 | 2.1 | 4.3 | | 51.1 | | | | | | | | 17.0 | 4.3 |
| 東林地区 | 86 | 1.2 | | 22.1 | | | 15.1 | 30.2 | 1.2 | | | | | | | | 1.2 | | 26.7 | 2.3 |
| 城山・津久井地区 | 99 | 16.2 | | | | | | | | | | 2.0 | 4.0 | 68.7 | | | | | 2.0 | 5.0 |
| 相模湖・藤野地区 | 43 | 4.7 | | | | | | | | | | | | 9.3 | 44.2 | | | | 4.7 | 37.3 |

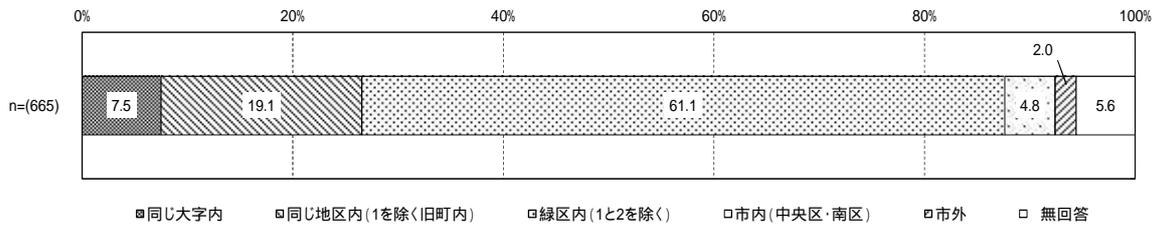
出典：平成 24 年度相模原市商業実態調査報告書～買物行動調査～

-1 青野原地域の買物の実態

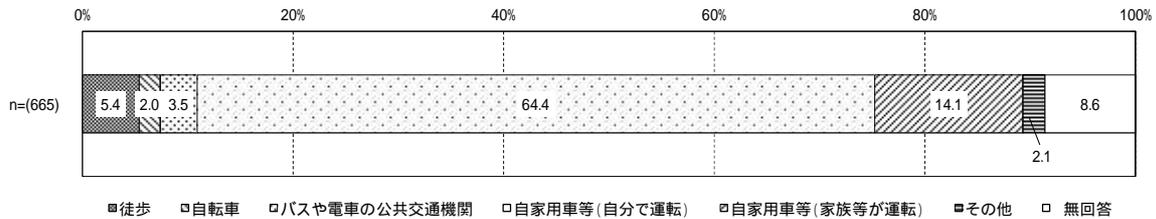
青野原地域の住民が主に買物に出かける場所は、「緑区内」が61.1%と最も高く、以下、「同じ地区内(旧町内)」19.1%、「同じ大字内」7.5%とつづく。また、購入先までの主な交通手段については、8割近くの人が自家用車を利用している結果となった。

購入頻度については、「週に2~3回程度」が38.6%と最も高く、「ほぼ毎日」と回答した人と合わせると、週に複数回買物に出かけている人の割合は半数を超える。

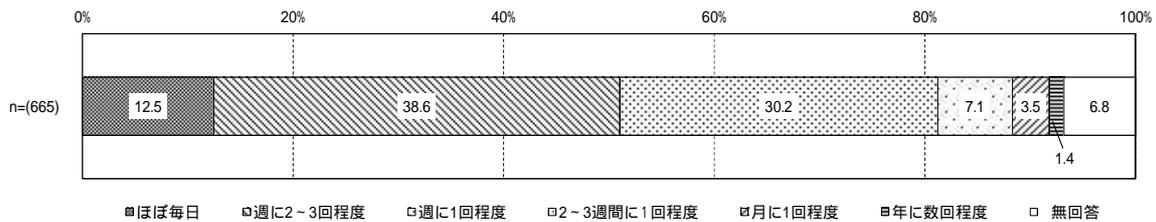
図表 2-16 青野原地域の人が食料品や日用品を最も購入する地域



図表 2-17 青野原地域の人が買物に出かける際の主な交通手段



図表 2-18 青野原地域の人が買物に出かける頻度



具体的な購入先(アンケート調査において、差し支えない範囲で店舗名を回答)をみると、同じ地区内に立地する「マルエツ三ヶ木店」、「ダイエー三ヶ木店」、「フレサ津久井店」、旧相模湖町の「フレサ相模湖店」の4店舗を中心に、城山、橋本周辺の大型商業施設やホームセンターを利用するという回答が多くみられた。また、同じ大字内に立地するコンビニエンスストアを利用するという回答も一定数存在する。

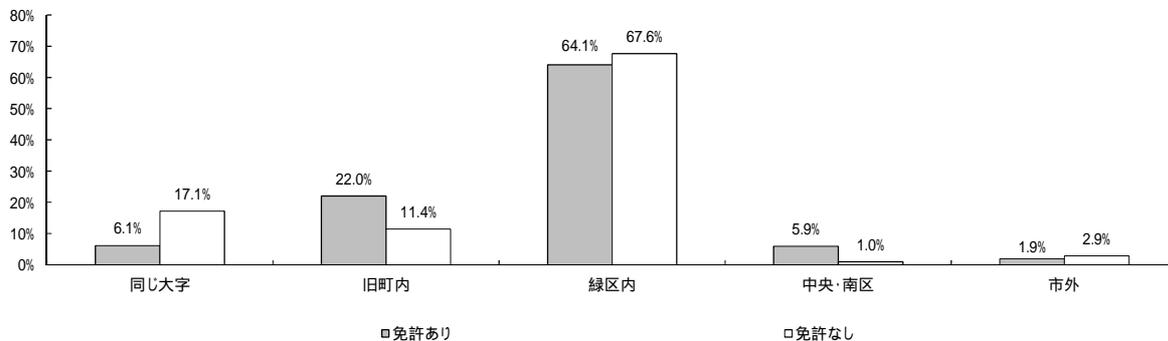
図表 2-19 具体的な購入先と回答のあった店舗（青野原地域）



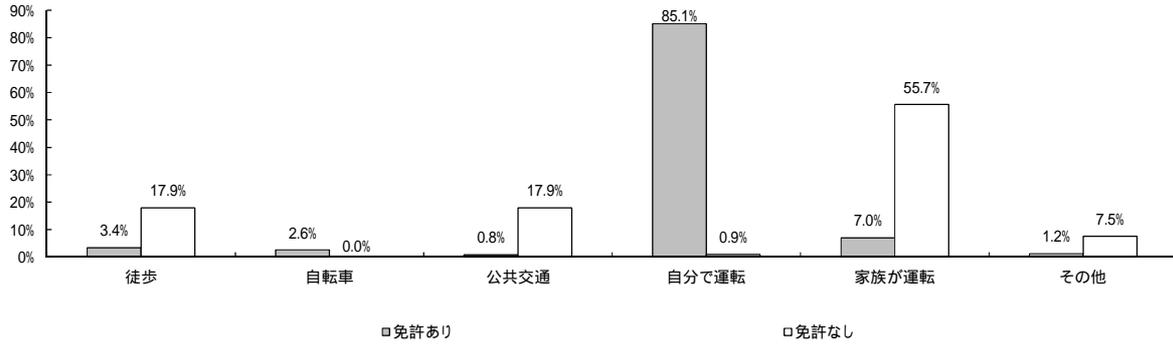
この結果を運転免許の所持別にみると、免許を持っている人の9割強の人が自分または家族の運転で買物に出かけており、徒歩、自転車、公共交通機関の利用はほとんどない。

一方、運転免許を持っていない人は、徒歩や公共交通機関を利用する人が一定数存在するものの、半数以上の人々が家族の運転で買物に出かけており、自家用車への依存度は高いことがうかがえる。

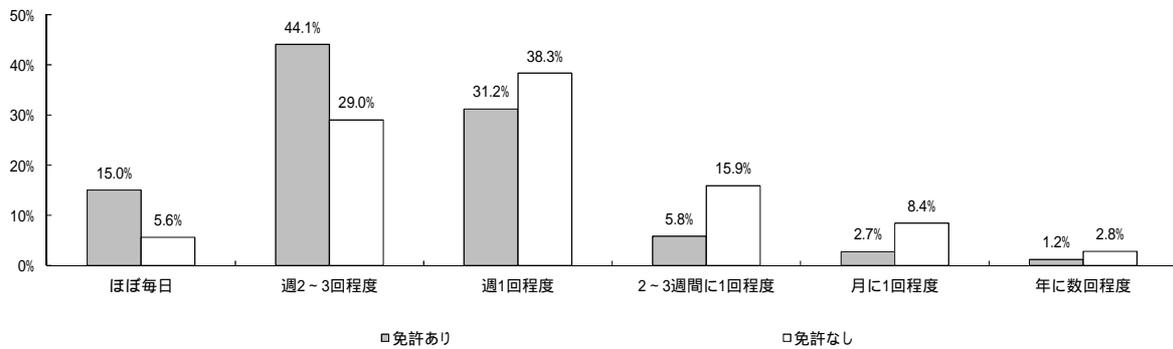
図表 2-20 青野原地域の人が食料品や日用品を最も購入する地域（免許の所持別）



図表 2-21 青野原地域の人が買物に出かける際の主な交通手段（免許の所持別）



図表 2-22 青野原地域の人が買物に出かける頻度（免許の所持別）

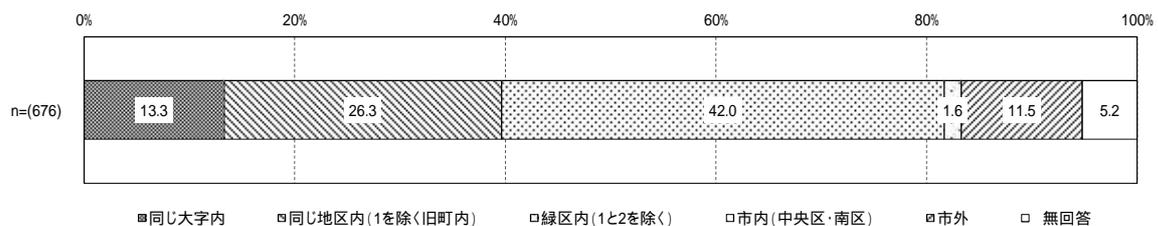


-2 千木良地域の買物の実態

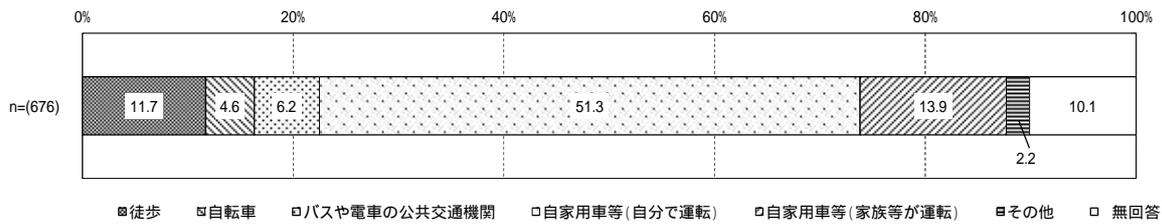
地域内に小型のスーパーマーケットが立地する千木良地域の住民が主に買物に出かける場所は、青野原地域同様、「緑区内」及び「同じ地区内（旧町内）」と回答する割合が高いが、「同じ大字内」13.3%、及び「市外」での購入も11.5%と高いのが特徴である。

また、購入先までの主な交通手段についてみると、青野原地域同様、6割台半ばの人が自家用車を利用しているが、他の地域よりも徒歩（11.7%）や自転車（4.6%）を利用する人の割合が高い結果となった。

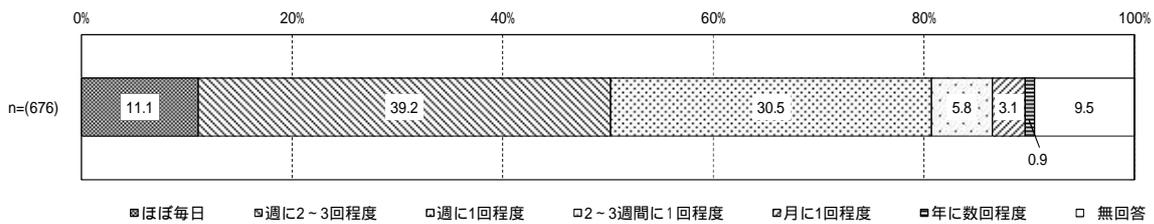
図表 2-23 千木良地域の人が食品や日用品を最も購入する地域



図表 2-24 千木良地域の人が買物に出かける際の主な交通手段



図表 2-25 千木良地域の人が買物に出かける頻度



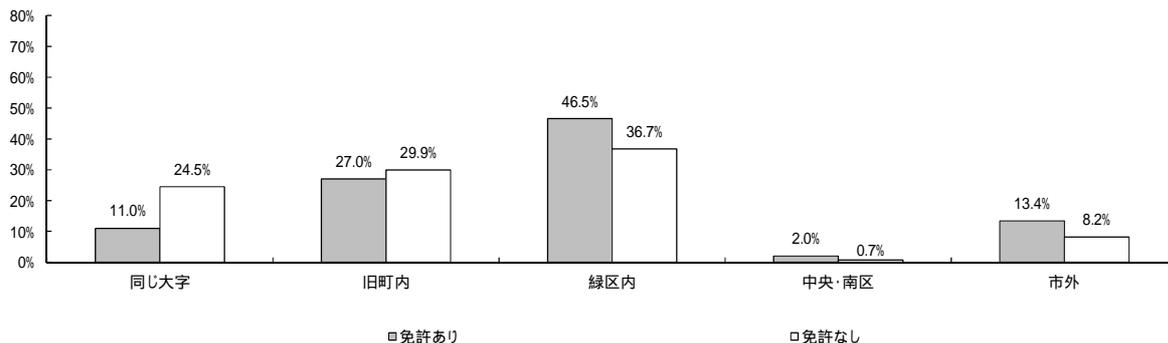
具体的な購入先についてみると、青野原地域同様、「マルエツ三ヶ木店」、「ダイエー三ヶ木店」、「フレサ津久井店」、「フレサ相模湖店」の4店舗のほかに地域内にある「有限会社なかみせ」を利用するという回答が多数みられた。また、国道20号線沿道ということもあり、八王子方面で買物すると回答した人も多く、回答結果では城山、橋本周辺の大型商業施設やホームセンターよりも利用頻度が高かった。

図表 2-26 具体的な購入先と回答のあった店舗名(千木良地域)

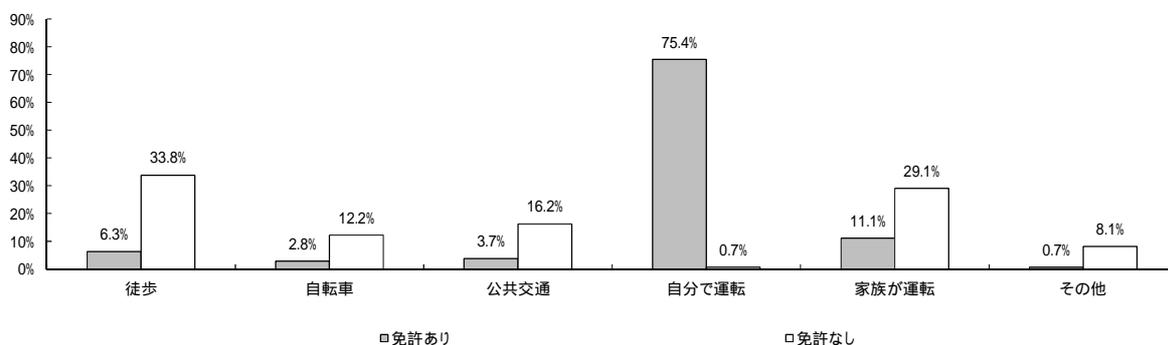


この結果を運転免許の所持別にみると、免許を持っている人の9割近くが自分又は家族の運転で買物に出かけており、徒歩、自転車、公共交通機関の利用はほとんどないが、免許を持っていない人は徒歩と回答した人の割合が33.8%と最も高く、地域内に立地する「有限会社なかみせ」が移動の利便性が低い地域の人々の日常生活を支えていることが推察される。

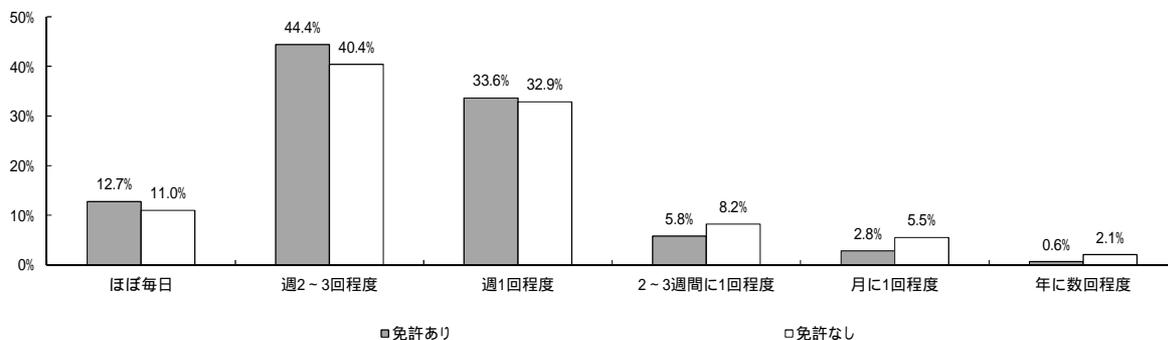
図表 2-27 千木良地域の人が食料品や日用品を最も購入する地域（免許の所持別）



図表 2-28 千木良地域の人が買物に出かける際の主な交通手段（免許の所持別）



図表 2-29 千木良地域の人が買物に出かける頻度（免許の所持別）

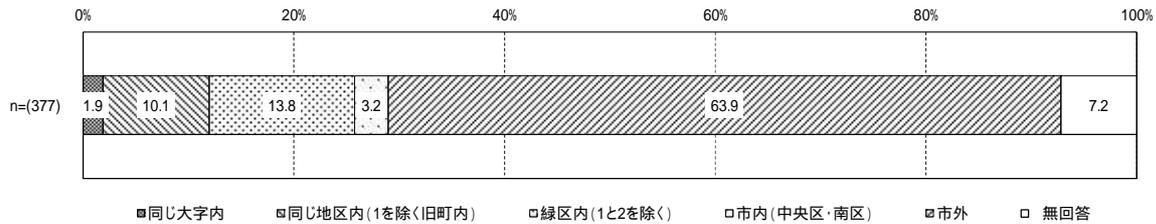


-3 名倉地域の買物の実態

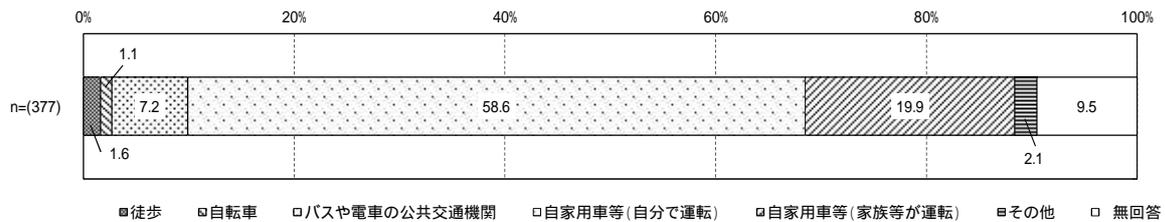
名倉地域の住民が主に買物に出かける場所は、他の2地域と異なり、「市外」が63.9%と最も高く、以下、「緑区内」13.8%、「同じ地区内」10.1%とつづく。

また、購入先までの主な交通手段をみると、他の地域同様、8割近くの人が自家用車を利用してはいるが、他の地域と異なり、徒歩や自転車の割合はほとんどない結果となった。

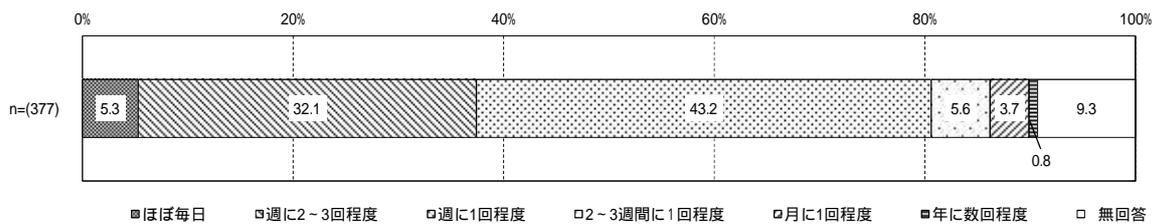
図表 2-30 名倉地域の人々が食料品や日用品を最も購入する地域



図表 2-31 名倉地域の人々が買物に出かける際の主な交通手段



図表 2-32 名倉地域の人々が買物に出かける頻度



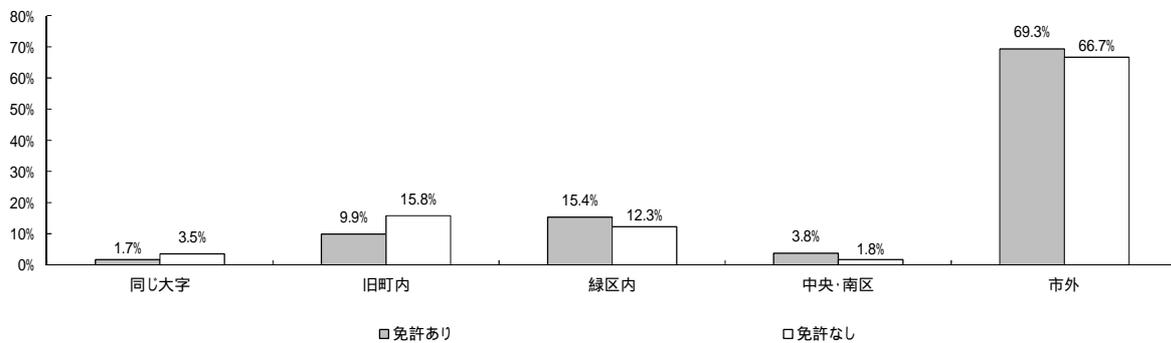
具体的な購入先についてみると、山梨県上野原市に立地する大型スーパーマーケットの「オギノ上野原店」、「スーパー公正屋上野原店」、「ウェルシア上野原店」との回答が多数を占め、同じ地区内（隣接する日連地域）に立地する「スーパーまつば」の回答を大きく上回る。これは山梨県上野原市と隣接し、国道20号線沿道という地理的条件が大きく影響していると推察される。

図表 2-33 具体的な購入先と回答のあった店舗名（名倉地域）

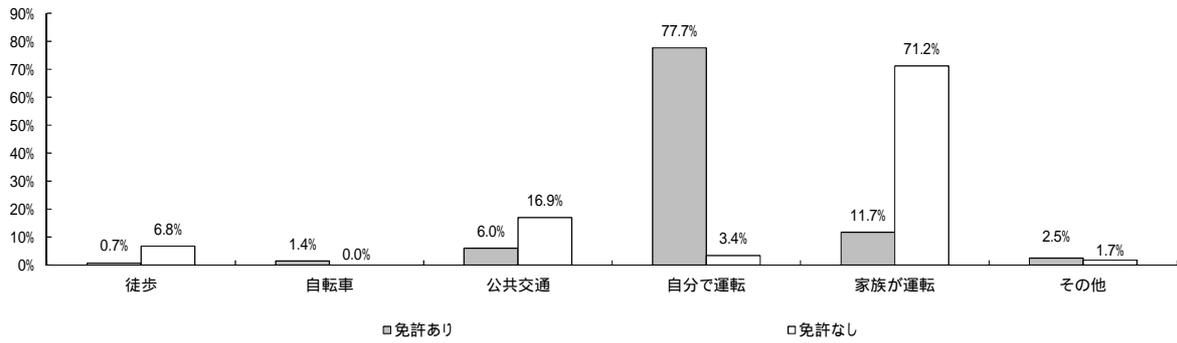


この結果を運転免許の所持別にみると、他の地域同様、免許を持っている人の9割近くが自分または家族の運転で買物に出かけており、徒歩、自転車、公共交通機関の利用はほとんどなく、免許を持っていない人の場合でも7割強の人が家族の運転で買物に出かけており、自家用車への依存度は非常に高い。

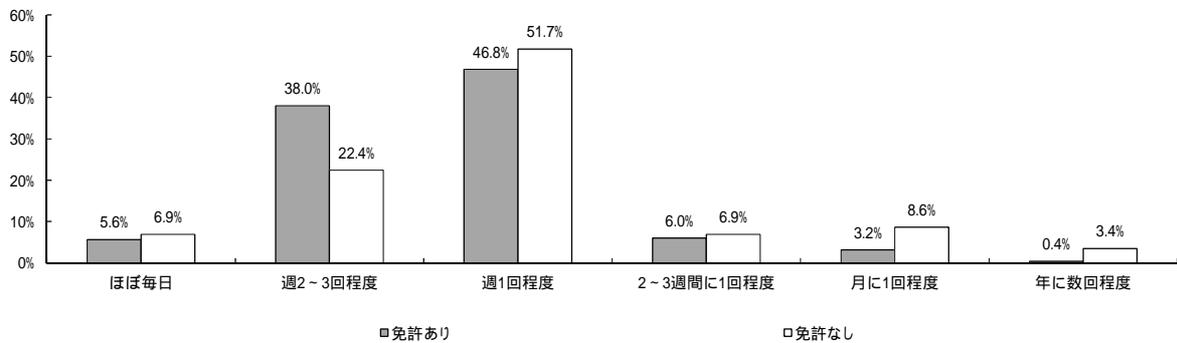
図表 2-34 名倉地域の人が食料品や日用品を最も購入する地域（免許の所持別）



図表 2-35 名倉地域の人が買物に出かける際の主な交通手段（免許の所持別）



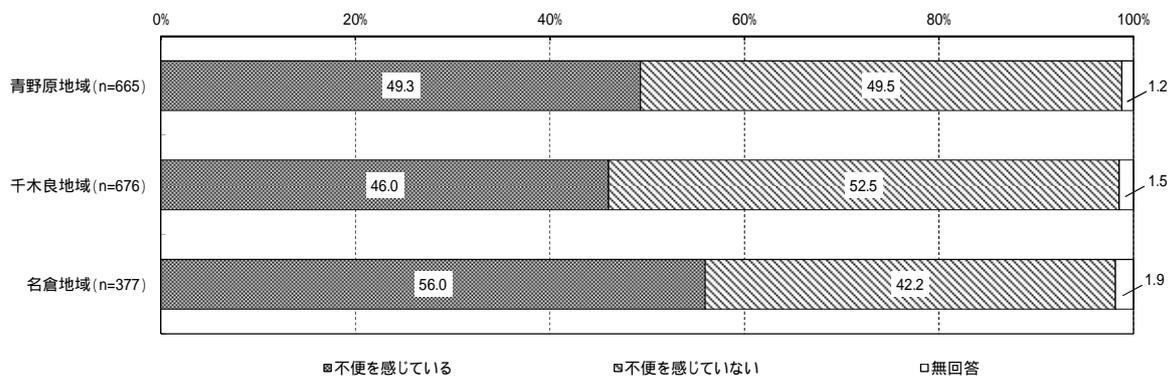
図表 2-36 名倉地域の人が買物に出かける頻度（免許の所持別）



買物に対する利便性

各地域の買物先の実態を踏まえ、アンケート調査において食料品や日用品等の購入について不便を感じているかを尋ねたところ、名倉地域が他の2地域よりも「不便を感じている人」の割合が若干高いものの、概ね「不便を感じている人」と「不便を感じていない人」の割合は概ね半々という結果となった。

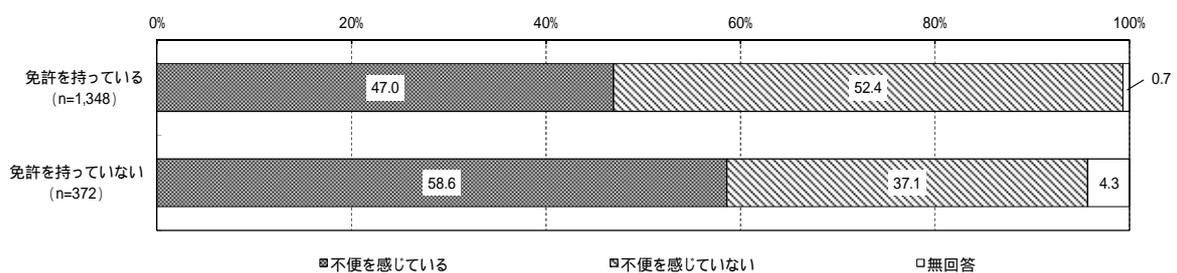
図表 2-37 食料品や日用品の購入についての不便度（地域別）



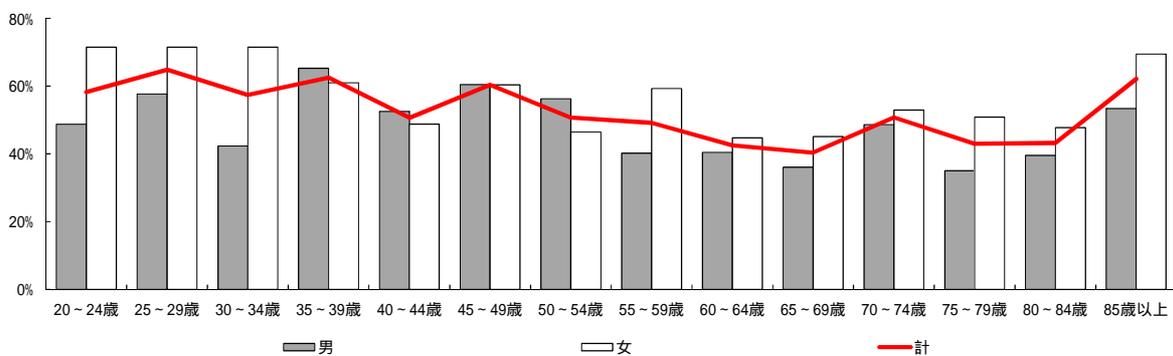
この買物に対する利便性について、運転免許の所持別にみても、免許を持っていない人は免許を持っている人より10ポイントほど不便を感じている割合が高く、また、性・年齢別にみても、若い世代の方が不便を感じている傾向が高いという結果となった。

買物の利便性は移動の容易さによる差異はあるものの、移動が比較的容易である若い世代が不便を感じているということは、店舗の立地の問題だけでなく、品揃えや値段等、個人的な消費ニーズも大きく影響していると考えられ、多様なニーズに近隣の店舗が応えられていない可能性がある。

図表 2-38 食料品や日用品の購入についての不便度(免許の所持別)



図表 2-39 食料品や日用品の購入についての不便度(性・年齢別)

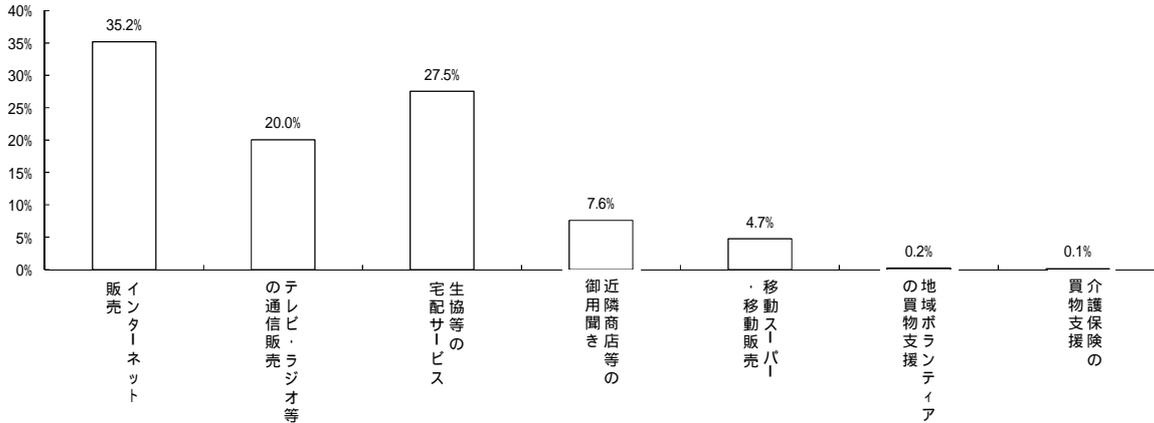


日常的な買物を補完するサービスの利用実態

日常的に自家用車等を利用し、買物に行っている現状を踏まえ、買物をする本人が直接店舗へ行かずに商品を購入できるサービスの利用経験についてアンケート調査で尋ねたところ、1年以内にインターネット販売を利用したことがある人は3人に1人程度という結果となった。

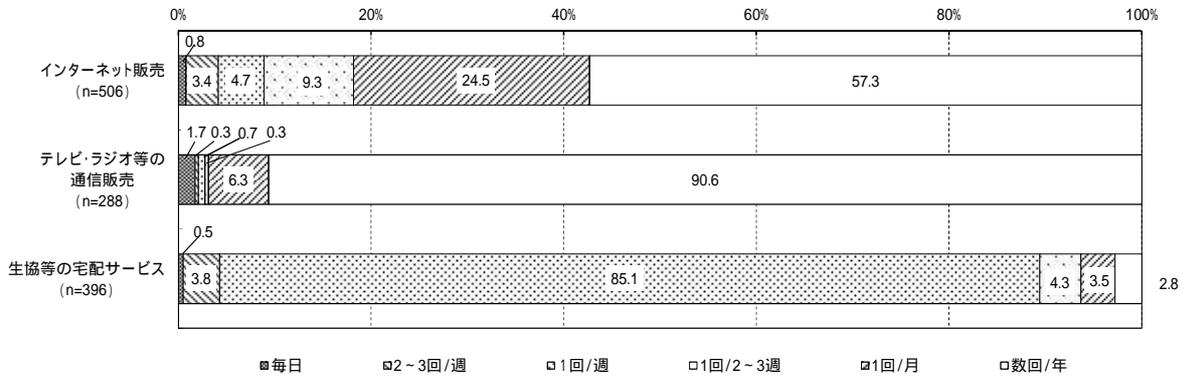
また、生協等の宅配サービスは4人に1人程度が利用している結果となり、日常的な買物の代替や補完として定着しつつあることが推察される。

図表 2-40 1年以内に店舗以外の買物サービスの利用経験



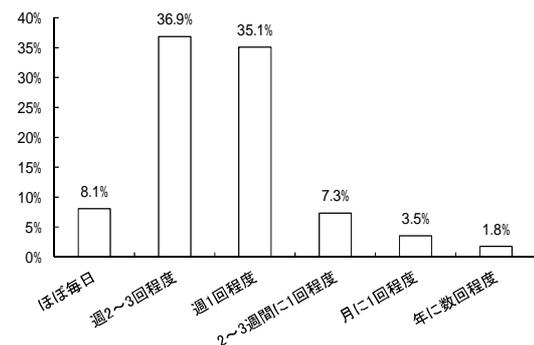
これらのサービスが日常的な買物を補完するものかを確認するため、利用経験の多かった「インターネット販売」、「テレビ・ラジオ等の通信販売」、「生協等の宅配サービス」についてその利用頻度をみると、インターネット販売やテレビ通販は「年に数回程度」と回答した割合が最も高く、日常的な買物としてあまり活用されていない状況がうかがえる。

図表 2-41 店舗以外の買物サービスの利用頻度



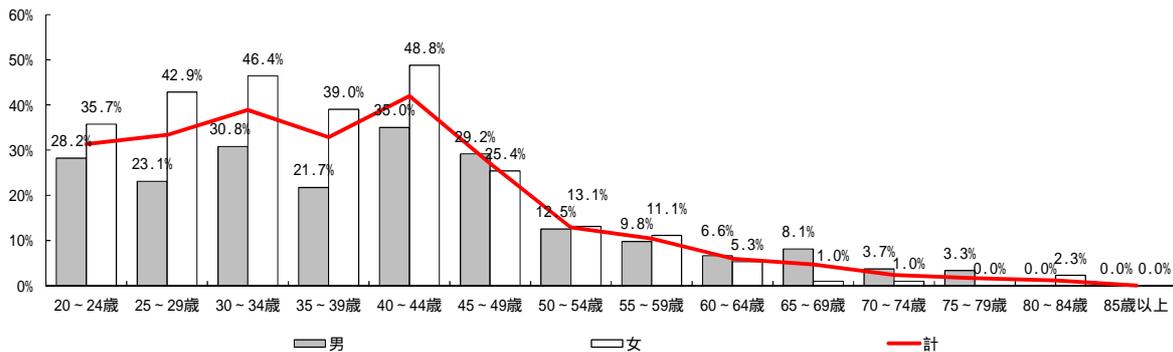
一方、「生協等の宅配サービス」はサービス自体が週1回程度の配送であるが、利用している人の日常的な買物に出かける頻度をみると、週に1回以上買物に出かける人の割合は約8割となっており、まさに日常的な買物を補完する利用方法となっていることが推察される。

図表 2-42 宅配サービス利用者の日常の買物頻度



また、インターネット販売について、その利用頻度を性・年齢別にみると、44歳以下では概ね3割から4割の人が月1回以上の定期的な利用をしているが、45歳以上になると、利用率は急に低くなる結果となった。若い世代において、日常生活にインターネットが必要不可欠なアイテムとなっていることがわかる。

図表 2-43 インターネット販売を月1回以上利用する割合（性・年齢別）



買物に関する予測される将来

買物に関するアンケート調査の自由意見をみると、自家用車等が運転出来なくなった後のことを危惧する意見が最も多く、前述の移動に関する問題と密接な関係にあることがうかがえる。

その一方で、買物の利便性は個人的な消費ニーズもあり、地域内に店舗が立地している、していないという距離的な問題だけではないことがアンケート調査結果から明らかになった。店舗の立地は需要と供給のバランスにより成り立っている面もあり、新たな店舗を誘致するのも一筋縄にはいかない現状がある。

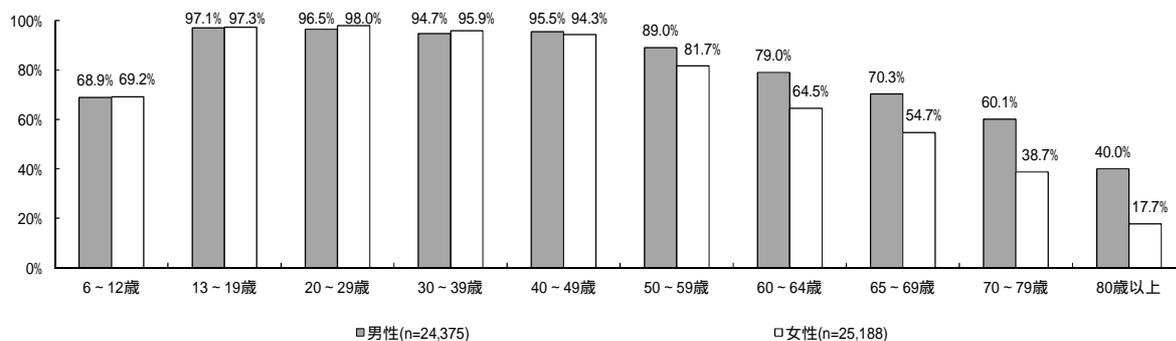
図表 2-44 買物に関するアンケート自由意見（抜粋）

- ・現在、買物等は自家用車でしていますが、先々になり路線バスが運行されるのか不安です。（60歳代男性）
- ・家族は運転できないので今でも公共交通機関の利用、買物には不便を感じている。今以上に不便になると生活をしていくのがとても大変になる。（40歳代男性）
- ・今はどうか健康に過ごしていますが、10~20年後はわかりません。日常生活に毎日必要な食事が一番だと思います。その買物が歩いていける近くにあればいいなと思っています。（60歳代女性）
- ・スーパー等に行く定期的なバスの運行が必要。高齢化すると買物に行けなくなる（60歳代男性）
- ・宅食サービスに電話したら配達対象区域外と言われた。（60歳代男性）

上記現状を踏まえ、買物に関する将来を予測すると、宅配サービスやインターネット販売サービスは皆に認知され、利用されているとはまだまだ言い難いものの、徐々に定着してきていることは確かである。平成 24 年度通信利用動向調査（総務省）によれば、10～20 年後に 70～80 歳代となる現在 50～60 歳の人のインターネット利用率は、50 歳代の方は性別に関係なく 8 割を超え、利用率が一番低い 65～69 歳代女性であっても 5 割を超える利用率があり、今後インターネットを利用する割合は増えていくことが予想される。

また、大手コンビニチェーンが宅配サービスを充実させていくという報道もされており、移動の不便性を低減させるサービスの利用は今後拡大していく可能性は十分に考えられる。さらに、前述の運転可能者が増加する可能性が高い将来も踏まえると、自動車やバイクで買物に出かける状況はさほど変化しない可能性が高い。

図表 2-45 インターネット利用率



出典：平成 24 年度通信利用動向調査（総務省）

その一方で、移動に関する問題に密接な関係がある買物は、ここ 10～20 年の間に車を運転できない人が増加することに伴い、その人たちの買物を如何に支援していくかは課題である。新たに店舗を誘致することも一筋縄にはいかない現状を踏まえると、今ある店舗（地域の拠点）をいかに維持し、存続させていくかが大きな焦点となる可能性が高い。

買物に関する予測される将来

- インターネット・宅配の利用が増加する可能性がある。
- 運転可能者が増加する可能性も考慮すると、買物の実態は現状とさほど変わらない。
- 地域の拠点となっている店舗の維持は取り組む必要がある。

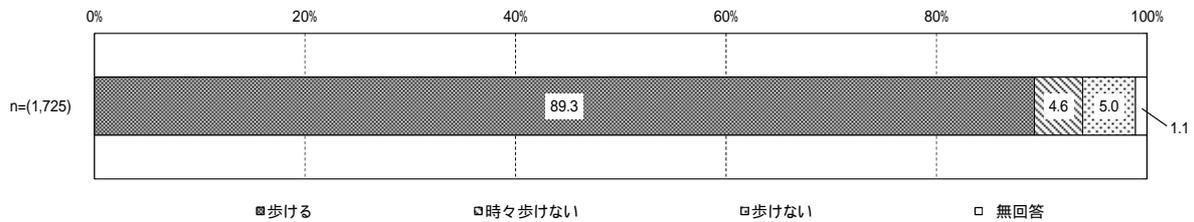
(3) 中山間地域における介護の実態

少子高齢化が進展すると、担い手不足から支援を必要とする高齢者や障害者等へのサービス供給が低下すると一般的に言われている。この問題は市街化地区・中山間地区を問わず日常生活に大きな影響を与えることが予想され、地域の将来を考えていく上で、とても重要な要素となる。そこで、現在の健康状態及び介護の意向等についてみていくこととする。

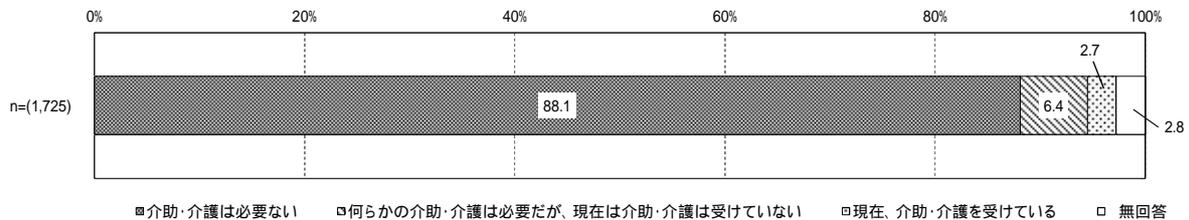
現在の健康状態と介護の必要性

健康状態を把握する項目として、アンケート調査で現在 15 分以上続けて歩行できるか及び日常生活において何らかの介助・介護が必要かを尋ねたところ、概ね 9 割の人が歩け、介助・介護の必要はないと回答しており、現状の健康状態は概ね良好であることがうかがえる。

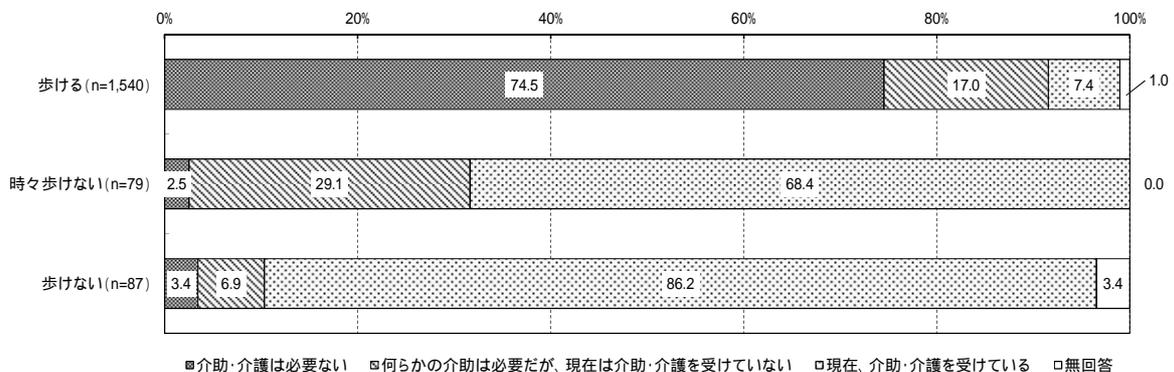
図表 2-46 現在の歩行状況（15分以上連続歩行）



図表 2-47 現在の介助・介護の必要性



図表 2-48 現在の介助・介護の必要性（現在の歩行状態別）

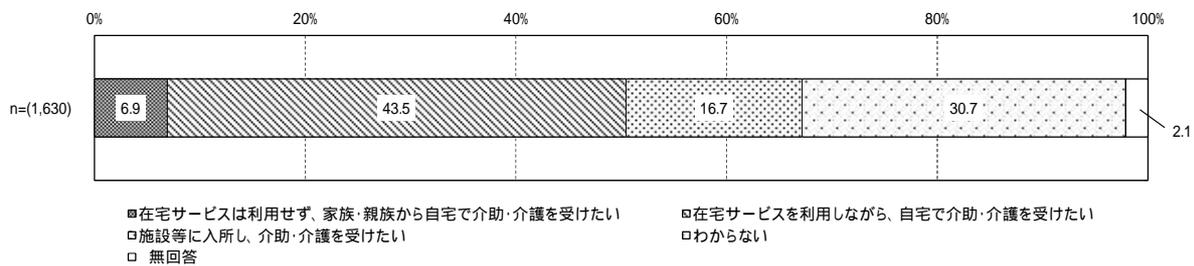


介助・介護の意向

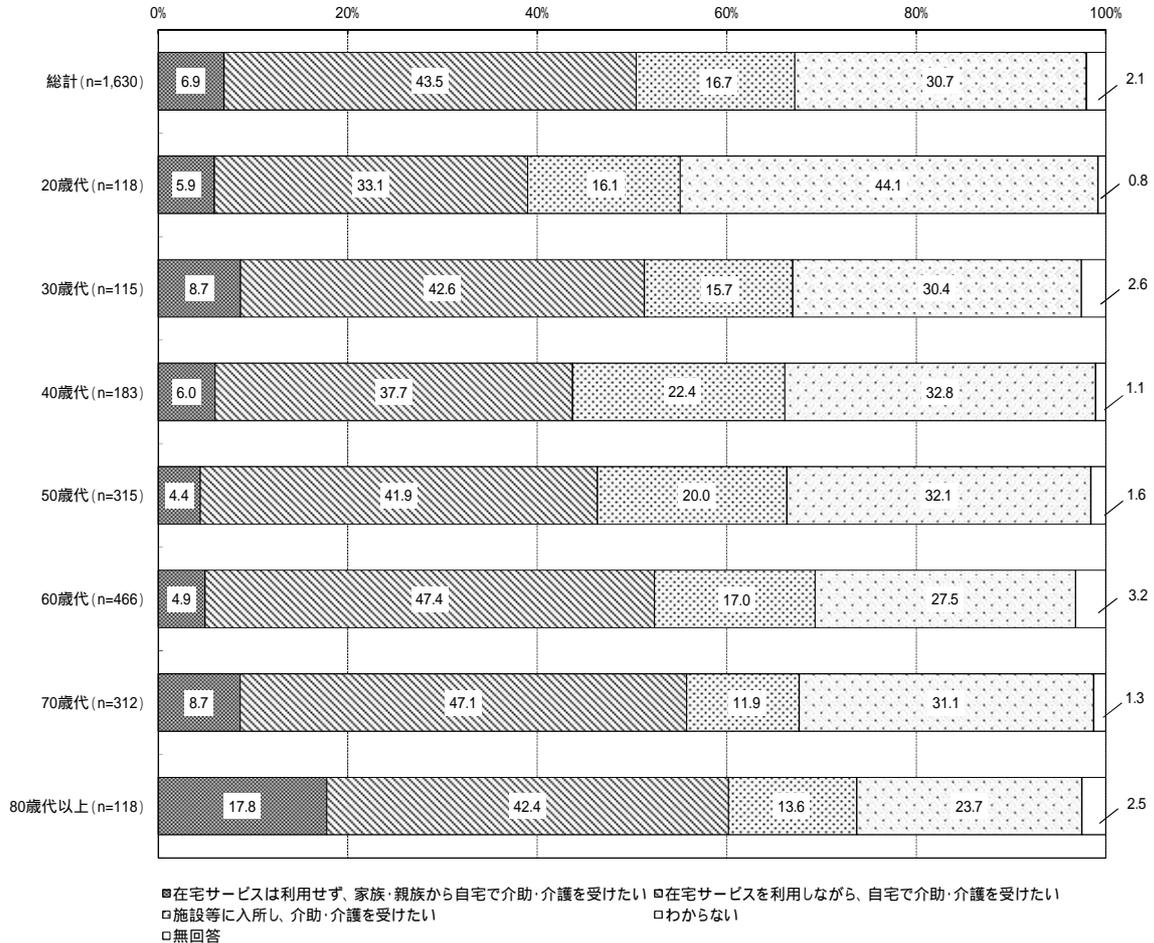
現在、介助・介護を必要としていない人に介助・介護が必要となった場合にどのような介助・介護を望むかを尋ねたところ、「在宅サービスを利用しながら自宅で介助・介護を望む」人が43.5%と最も高く、以下、「わからない」30.7%、「施設入所を望む」人も16.7%とつづく結果となった。

これを年代別にみても、「わからない」と回答する割合は、若い年代ほど高いが、どの年代も半数近くが在宅での介助・介護を希望している。

図表 2-49 望む介護希望（介助・介護が現在必要のない人）



図表 2-50 望む介護希望（介助・介護が現在必要のない人）



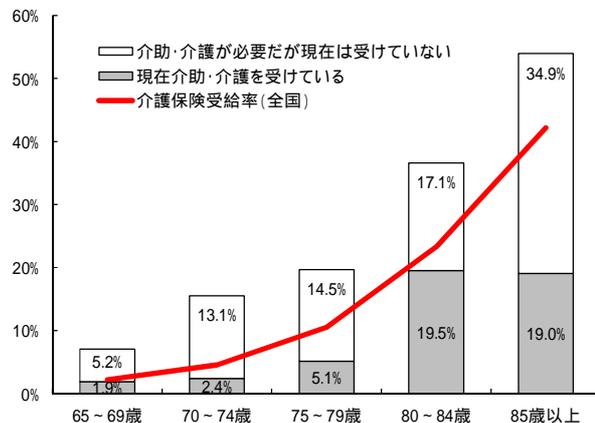
介護に関する予測される将来

上述のとおり、日常生活において概ね 9 割の人が現在は介助・介護の必要がないと回答しているが、この結果を 65 歳以上の高齢者だけ抽出したのが図表 2-51 である。

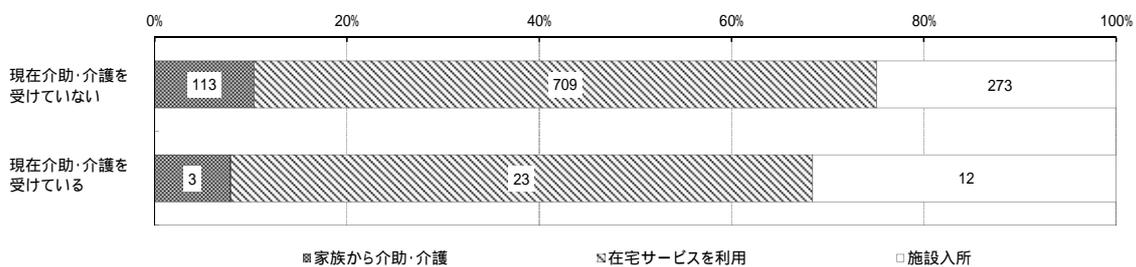
介助・介護を受けている人の割合は、全国の介護保険受給率と比較すると、かなり低くなっているが、介助が必要だが受けていない人も相当数存在するため、介護需要の傾向は全国と大きく変わらないと考えられる。

また、今後、希望する介助・介護の方法は自分が介護される立場、する立場ともに希望に大きな差異はなく、家族による介護は少数、在宅サービスと施設入所の比率は 3 対 1 程度となっており、全国の介護サービス利用者の実態と大きく変わらない。

図表 2-51 65 歳以上の介護の状況と介護保険受給率（全国）との比較



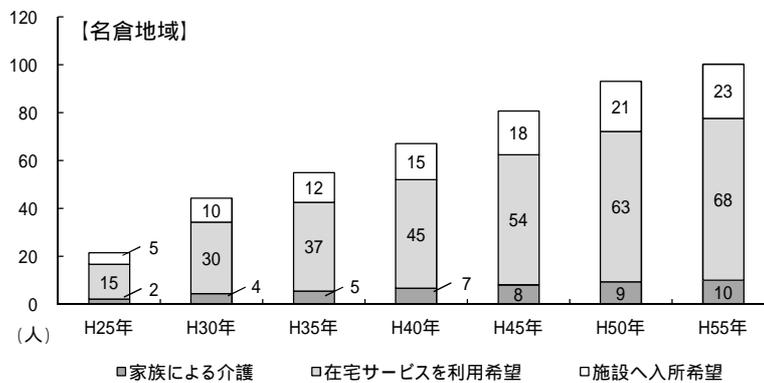
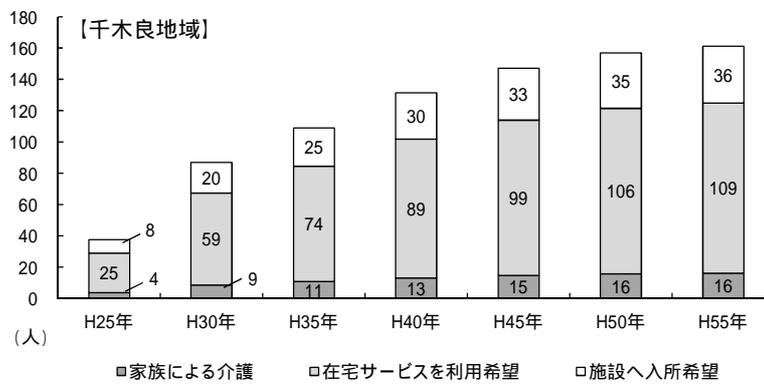
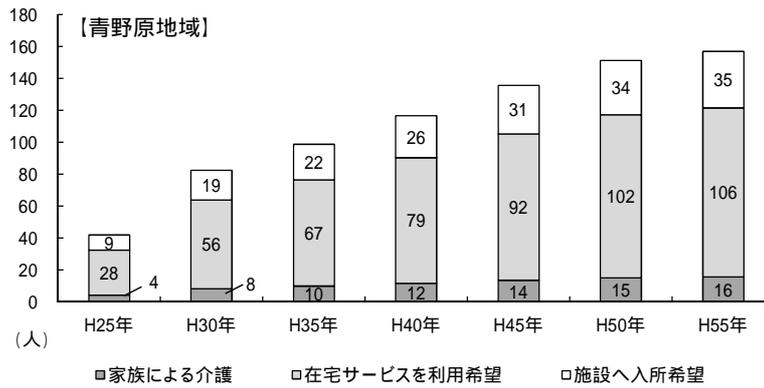
図表 2-52 介護の希望（現在の状態別）



このことを踏まえ、介護需要の量、介護方法の希望がともに全国の傾向と変わらないという前提のもと、各地域の今後の介護需要を予測すると、次のような結果となった。

介護を必要とする人は 5 年後の平成 30 年には現在の倍増、15 年後の平成 40 年には 3 倍増、30 年後の平成 55 年には 4～5 倍増と右肩上がりに増加する。その介護の方法に目を向けてみると、在宅サービスの需要の伸びは大きく、地域内に在宅介護サービス事業者が不足する可能性が高く、事業所の立地が求められる可能性が高い。

図表 2-53 各地域の介護需要（推計）



介護に関する予測される将来

介護を必要とする人は 15 年後には現在の 3 倍となる。

介護を必要とする人が増加することに伴い、在宅サービス提供者の確保が大きな問題となる可能性が高い。

(4) 家族とのつながり

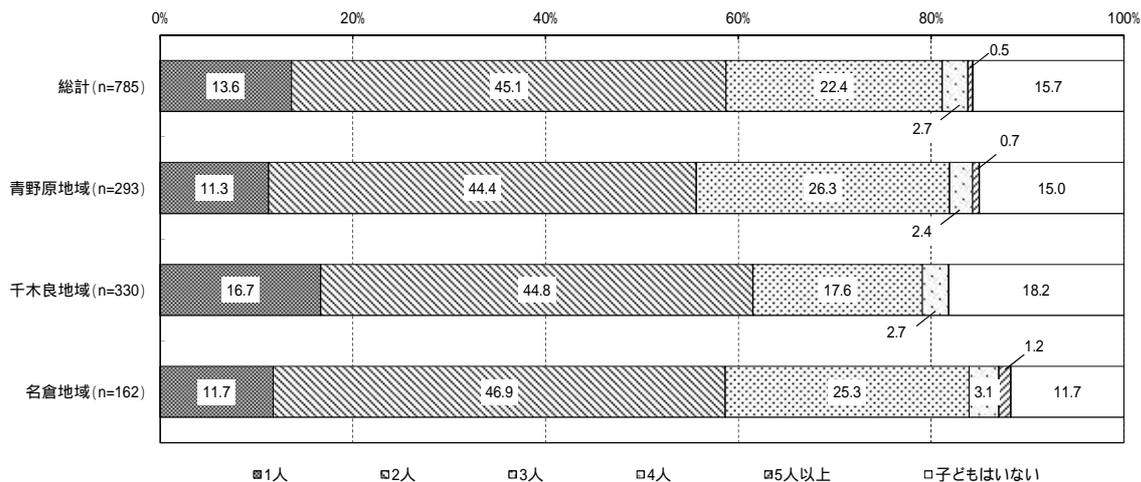
市街地地区よりも若年層の流出傾向が高い中山間地域において、今後、高齢者夫婦世帯や高齢者単身世帯が増加していくことが予想されている。そのような世帯を支援していく担い手として、家族が大きな役割を果たすことは間違いない。そこで、アンケート調査で世帯主と回答し、各設問においてすべて回答した人を対象に家族のつながりについて分析を行った。

子どもの有無とその人数

回答した人のうち、子どものいる世帯は84.3%（1人～5人以上と回答した人の合計）で、その人数は「2人」が45.1%と最も高く、以下、「3人」22.4%、「1人」13.6%とつづく。

一方、子どものいない世帯は全体で15.7%あり、これを地域別にみても、千木良地域で若干高いものの、特に大きな差異はみられず、各地域とも15%前後は生活の支援を行政サービスや地域で行っていく必要がある。

図表 2-54 子どもの有無及び人数（地域別）

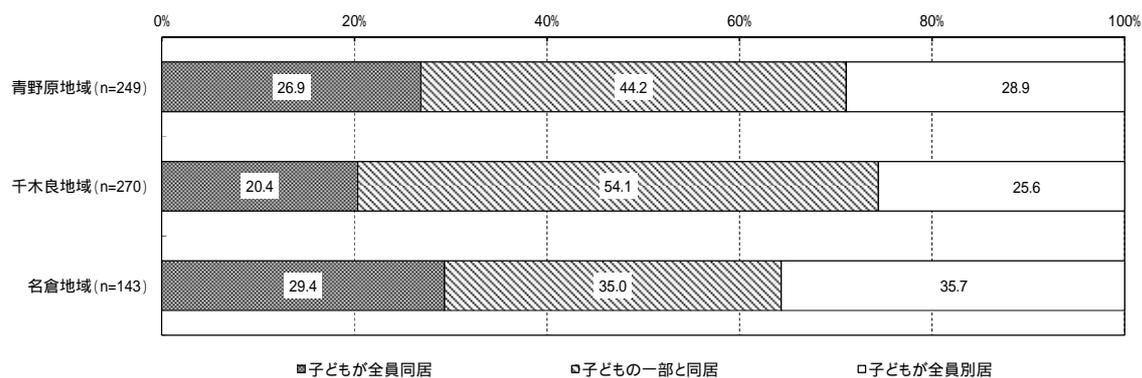


子どもとの同居状況

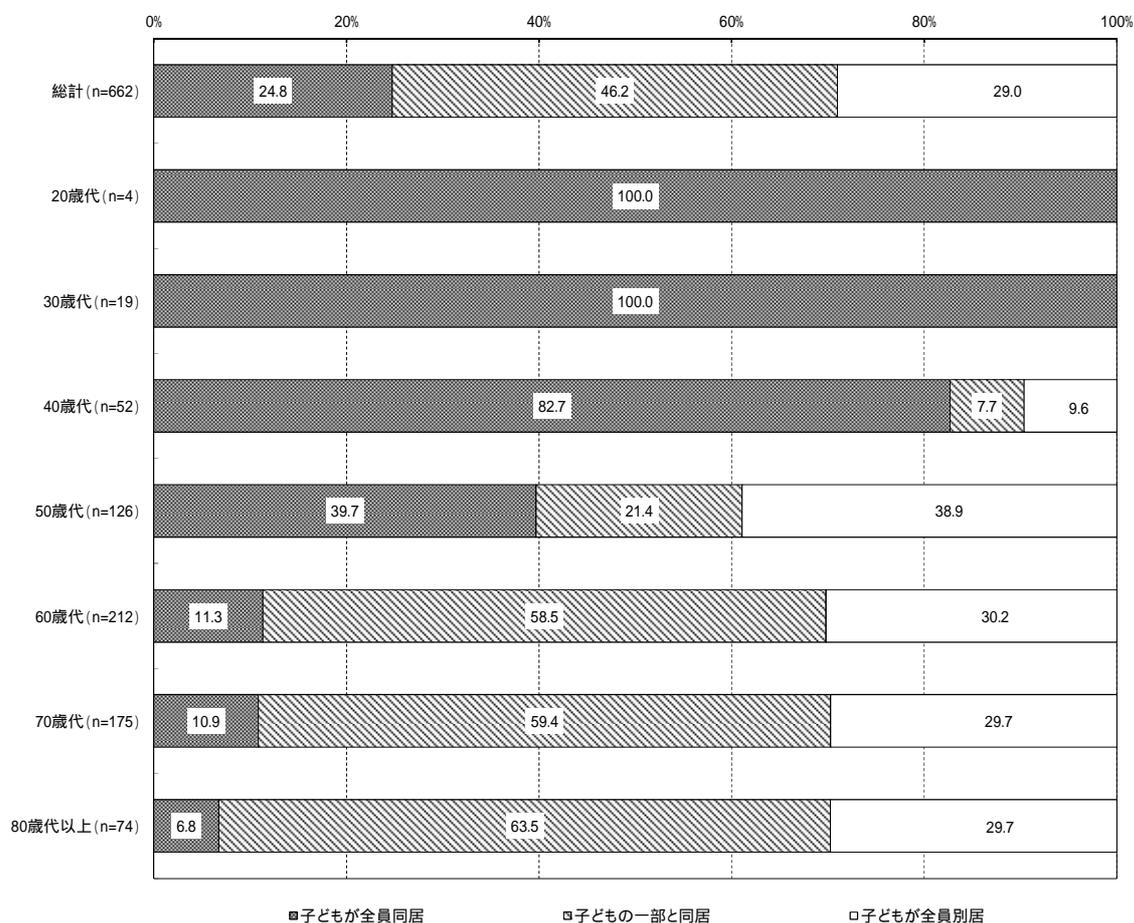
子どものいる世帯の現在の家族構成をみると、名倉地域で若干低くなるものの、概ね7割程度の世帯は子どもと同居している。

これを世帯主の年代別にみると、子どもが婚姻等により別世帯となっている可能性が高い60歳代以降でも約7割の世帯は子どもと同居しており、子どもの生活環境に大きな変化がない限り、生活支援が受けられる可能性がある。

図表 2-55 子どもと同居している世帯の割合（地域別）



図表 2-56 子どもと同居している世帯の割合（世帯主の年代別）

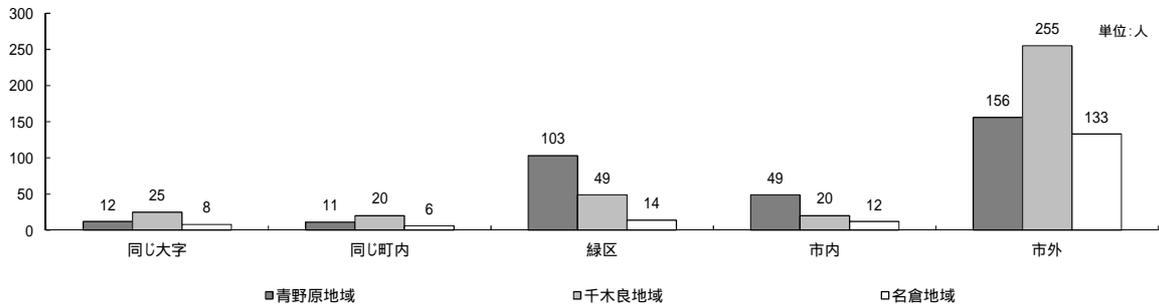


別居している子どもの状況

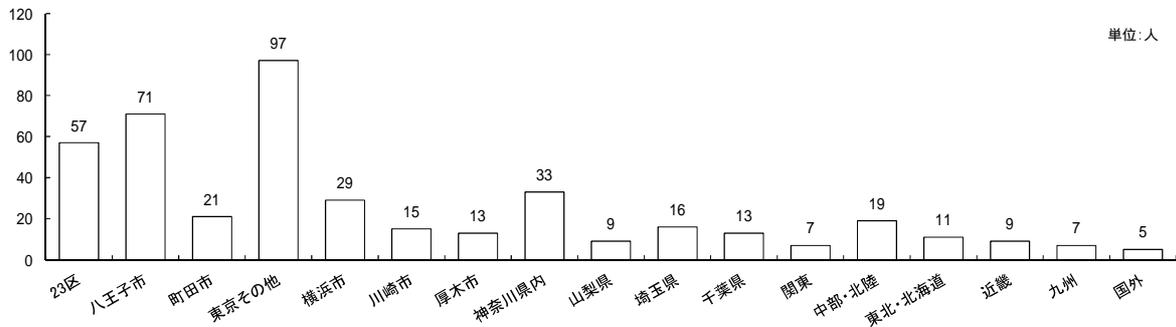
その一方で、子どもはいるが、全員別居している世帯は各地域とも概ね3割程度おり、その世帯の生活支援は子の面会頻度が大きな鍵となる。そこで、現在、別居している子どもの状況について尋ねてみた。

別居している子どもの多くは市外に居住しており、特に千木良地域、名倉地域についてはその傾向が高い。一方、青野原地域では、約半数が市内に居住しており、地域の生活圏（P101参照）と同様な結果になっているのは興味深い。なお、市外に住む子どもの多くは、東京都に居住している。

図表 2-57 別居している子どもの居住先（地域別）



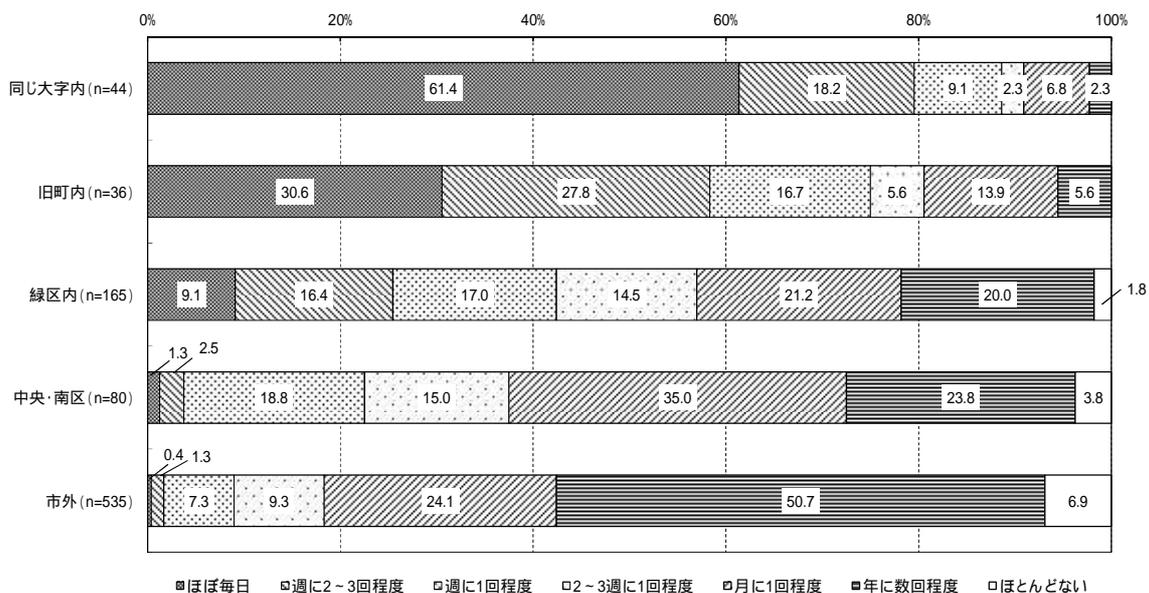
図表 2-58 別居している子どもの居住先（居住地別）



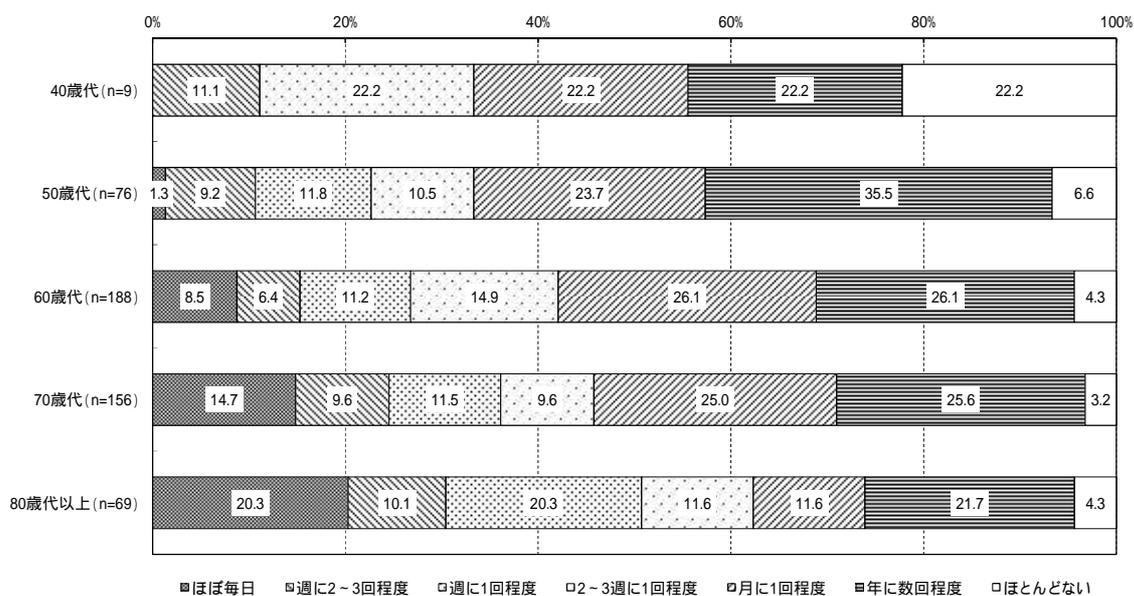
別居している子どもの面会頻度をみると、「同じ大字内」に居住している子どもは週に1回以上の面会が9割近いが、距離が遠くなるにつれ、面会頻度は低くなり、週に1回以上の面会は市外居住者では約1割となる。

また、この面会頻度を世帯主の年代別にみると、年代が高くなるにつれ、面会頻度も高くなり、何らかの生活支援を行っていることがうかがえる。

図表 2-59 別居している子どもの面会頻度（子どもの居住地別）



図表 2-60 別居している子どもの面会頻度（世帯主の年代別）

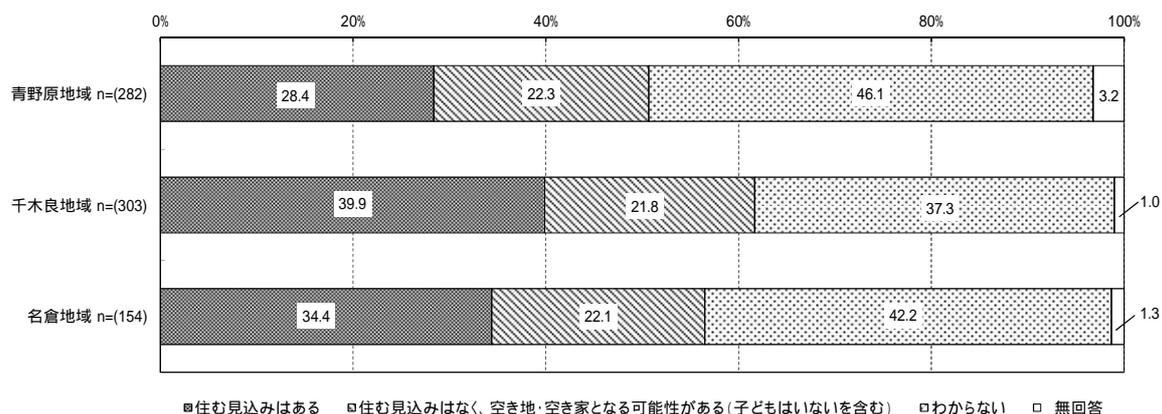


土地や家屋が相続される可能性

中山間地域の人口減少の大きな要因は前述のとおり死亡者数の増加によるものが最も大きな要因（第1章中山間地域の将来人口推計参照）であるが、人口減少を少しでも抑制するためには、若年層の流出を防ぐことは大きな要素である。そこで、現在、居住する家屋や土地を相続する人がいるのか尋ねてみた。

現在居住している家屋や土地に「住む見込みがある」と回答した世帯は青野原地域で若干低いものの、各地域とも概ね 3 割程度おり、2 割程度が「住む見込みはなく、空き家・空き地となる可能性がある」と回答した。一方、「わからない」と回答した人が各地域とも概ね 4 割程度おり、空き家・空き地となる可能性は更に高くなる可能性を含んでいる。

図表 2-61 現在の住居等を相続し、住む見込みがある割合（地域別）



家族のつながりに関する予測される将来

子どもがいる世帯では、子どもと同居する世帯が概ね 7 割おり、また、子どもが全員別居している世帯においても別居家族による支援がある程度期待できる現状を踏まえると、子どものいる世帯の日常生活の利便性は現状から大きく低下する可能性は低いと考えられる。その一方で、子どものいない世帯は約 15%おり、その世帯を中心とした日常生活を支援する仕組みづくりを早急に進めていく必要がある。

また、現在居住する家屋や土地に相続者が居住しない可能性も高く、今後、空き家、空き地の数は増加する可能性が非常に高い。空き家、空き地の増加に伴う防災、防犯のあり方をどうしていくかを地域で今から十分に検討する必要がある。特に若い世代が就労等で居住地から離れている日中の防災体制は早急な課題となる。

家族に関する予測される将来

子どものいる世帯は子どもの支援がある程度期待できるため、日常生活の利便性は（買物・移動）においては現状から大きく低下する可能性は低い。

その一方で、地域人口は減少するため、地域の防犯、防災は大きな課題となり、特に日中の防犯、防災体制については早急な課題となる。

(5) 地域とのつながり

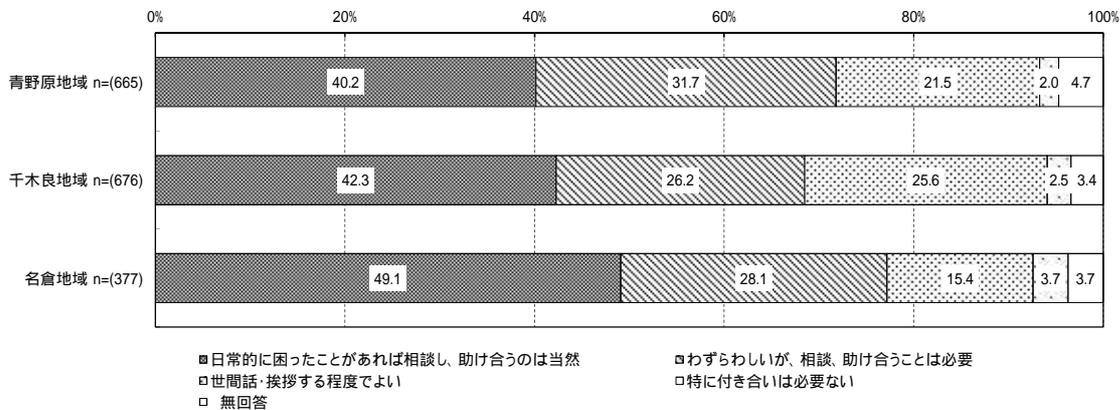
子どものいる世帯においては、子どもと同居する世帯が約7割おり、また、別居している世帯においても家族の支援がある程度期待できる現状とはいえ、少子高齢、人口減少が進展する中山間地域では個人・家族で補えない部分は行政サービスやその他のサービス、地域で補う必要がある。そこで、日常生活を送る上でおきる諸問題を地域の取組で補えるかを探るため、近所との付き合い方、地域での活動状況・活動意向等についてみていくこととする。

近所との付き合い、助け合いに関する考え方

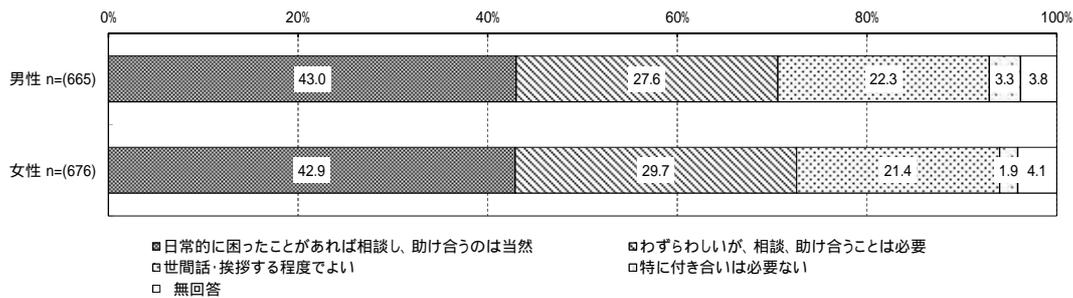
アンケート調査において、近所との付き合い、助け合いに関する考え方を尋ねたところ、「助け合う必要がある」(助け合うのは当然+わずらわしいが必要と回答した人の合計)と回答した人の割合は青野原地域で71.9%、千木良地域で68.5%、名倉地域で77.2%という結果となった。

これを性別にみても、男女間に大きな差異はなく、また年代別にみても、20歳代、80歳代以上で若干低くなるものの、各世代とも6割~7割が「助け合う必要がある」と回答しており、地域のつながりを重視していることが推察される。

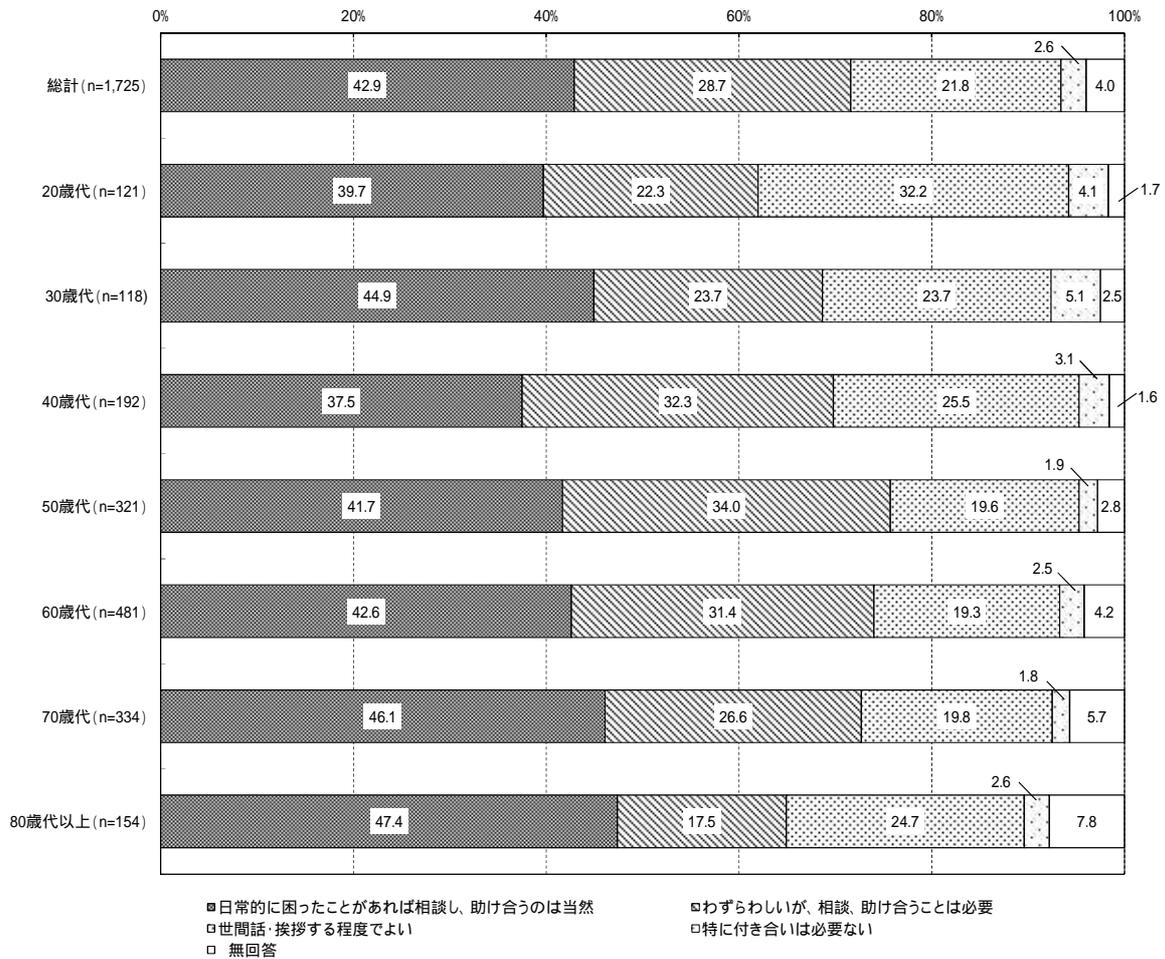
図表 2-62 近所との付き合い、助け合いに関する考え方（地域別）



図表 2-63 近所との付き合い、助け合いに関する考え方（性別）

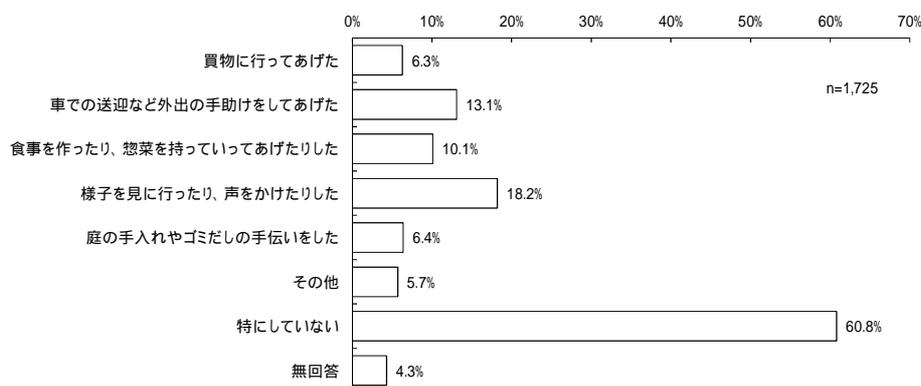


図表 2-64 近所との付き合い、助け合いに関する考え方（年齢別）

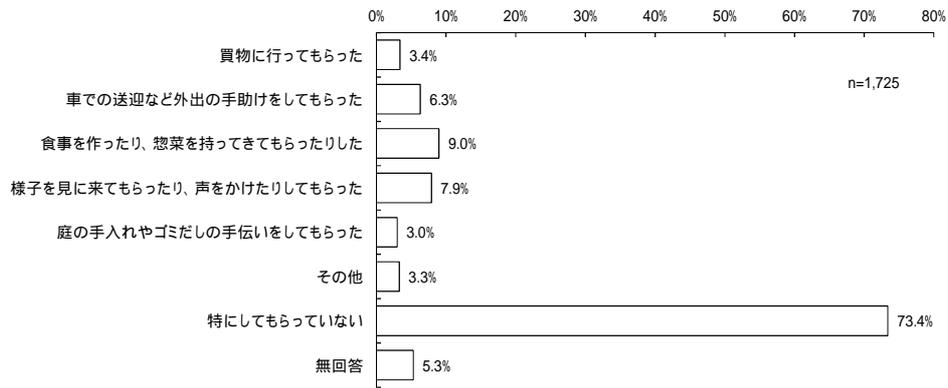


しかし、地域において実際に手伝いをした経験があるかと尋ねたところ、「特にしていない」が60.8%と最も高い回答となった。また、手伝いをしてもらった経験もあわせて尋ねたところ、「特にしてもらっていない」という回答が73.4%と最も高かった。

図表 2-65 近所や地域の人の手伝いをした経験

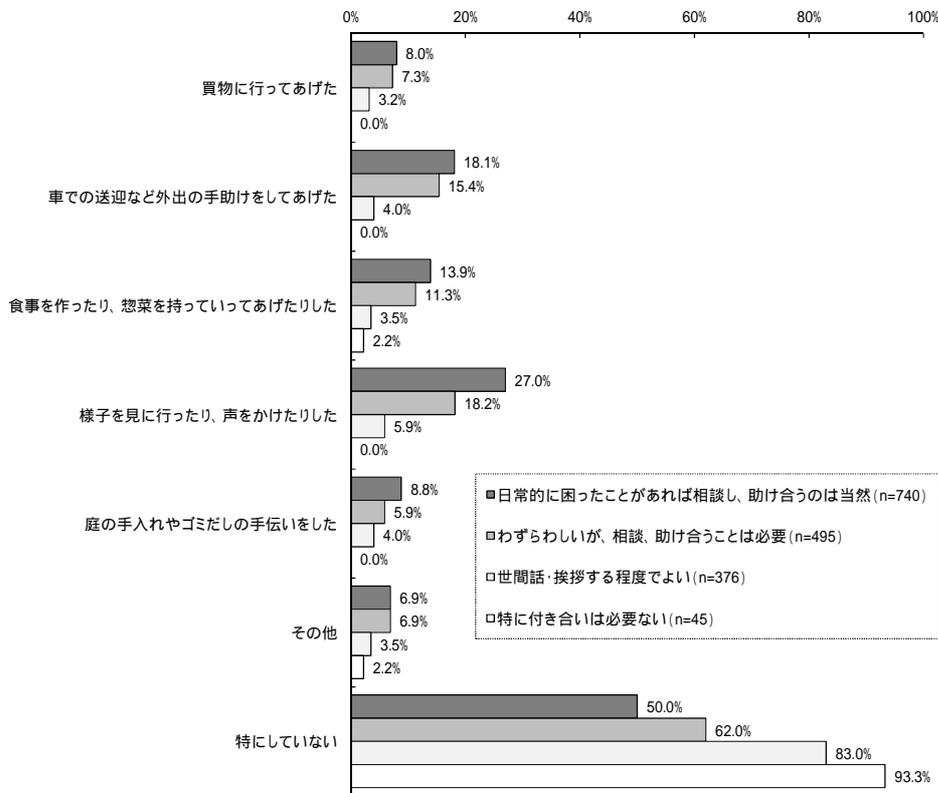


図表 2-66 近所や地域の人の手伝いをしてもらった経験



この手伝いをした経験を近所との付き合い、助け合いに関する考え方にみても、助け合うのは当然と考えている人であっても、特に何もしていない人が5割おり、助け合う意識は高いものの、行動に移すきっかけや機会がない状況がうかがえる。

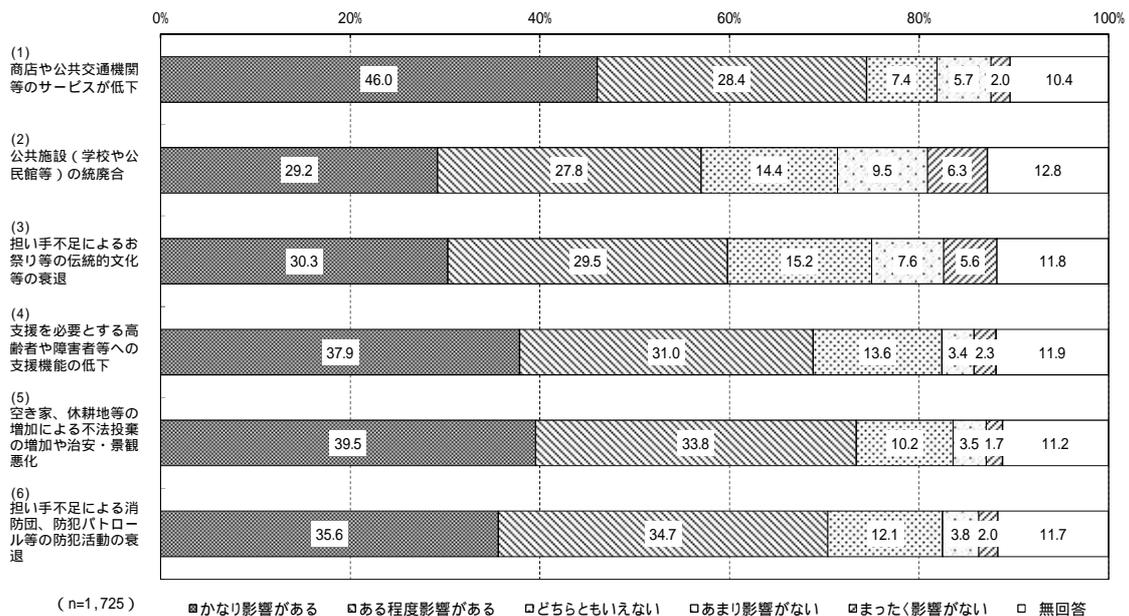
図表 2-67 近所や地域の人の手伝いをした経験（近所との付き合いの考え方別）



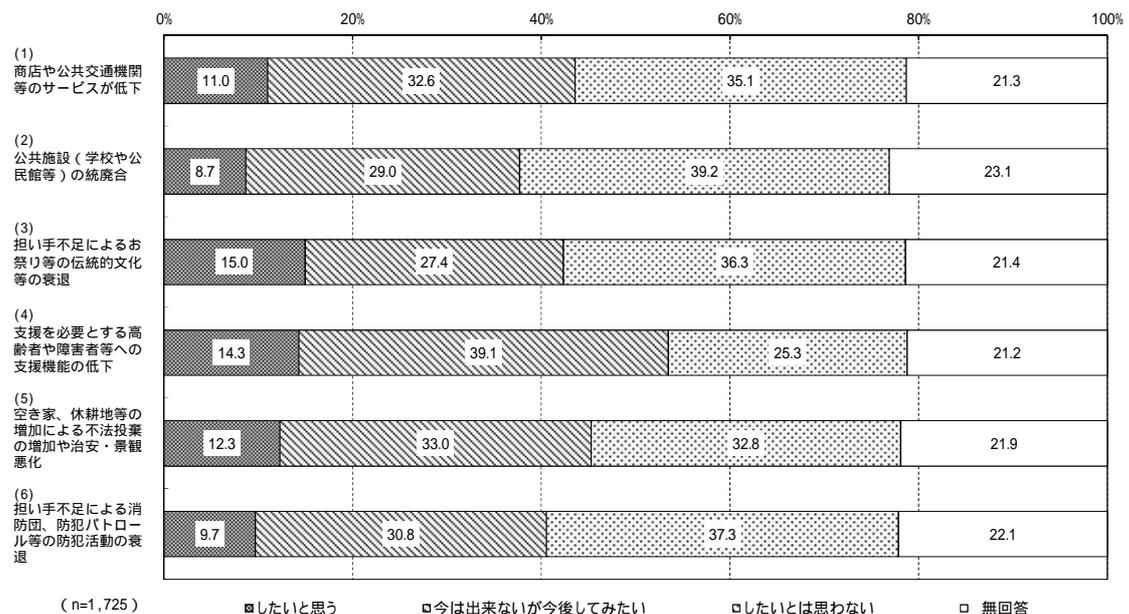
地域問題に対する意識と解決に向けた活動意向

人口減少により、一般的に地域で発生すると言われている諸問題（図表 2-1 参照）が日常生活に及ぼす影響度を尋ねたところ、「商店や公共交通機関等のサービス低下」が若干、影響度が高いものの、各項目とも大きな差異はなく、問題意識の高さがうかがえる。しかし、これらの問題を解決するために地域で活動する意向はあるか尋ねたところ、活動には消極的な回答結果となった。

図表 2-68 地域で発生する諸問題が生活に与える影響度



図表 2-69 地域で発生する諸問題に対し、課題解決に向けた活動意向

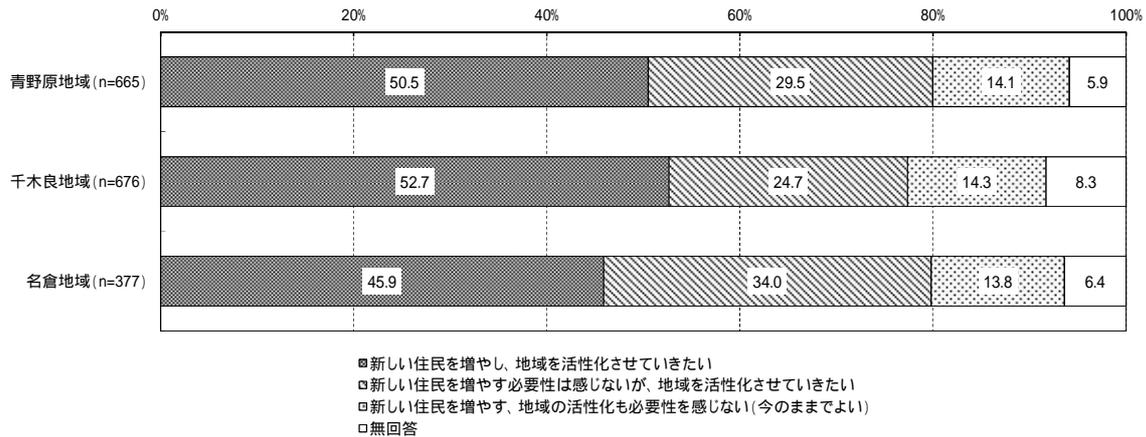


地域の望ましい将来像と今後の居住意向

地域の現状を踏まえ、地域が目指すべき将来の方向性について尋ねたところ、「人口を増やし、地域活性化を進めるべき」と回答した人が最も多く、「住民は増やさず活性化を望む」を含めると、活性化をしていくべきと考える人は各地域とも全体の概ね8割にのぼる。

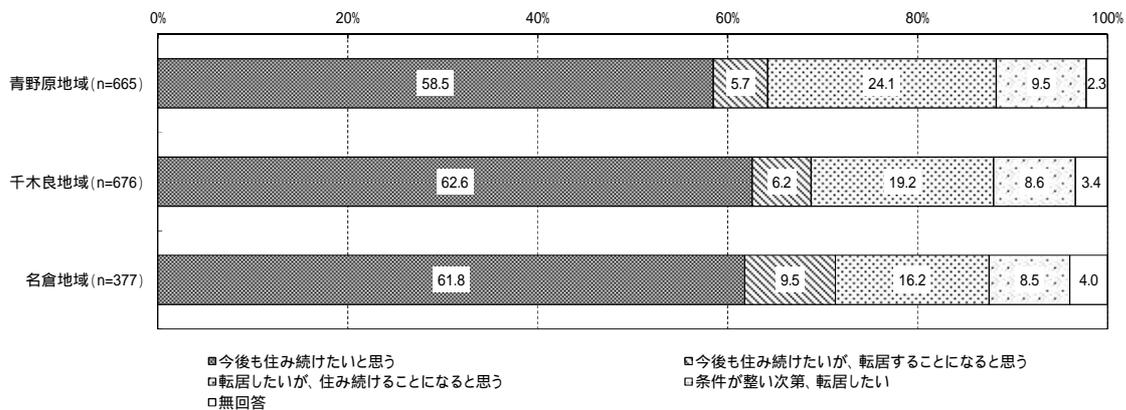
その一方で「今のままでよい」と回答する人も約15%程度存在する。

図表 2-70 地域の目指すべき将来像（地域別）



また、将来の居住意向について尋ねてみると、「今後も住みたい」と回答した人は各地域とも概ね6割おり、居住に対して消極的ではあるが、「転居したいが住み続けることになると思う」も含めると、現住民の約8割は住み続けるという回答結果となった。

図表 2-71 将来の居住意向（地域別）



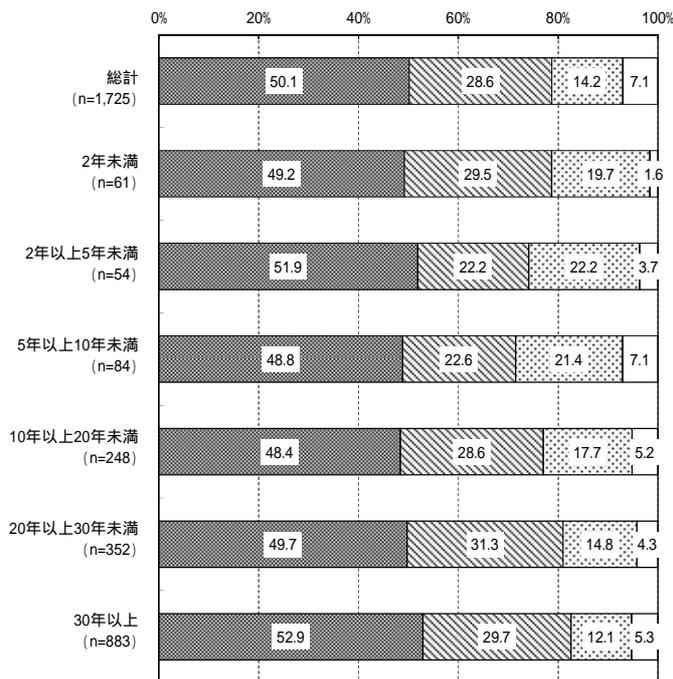
この結果を居住年数別にみると、居住年数が短い人（概ね10年以内）は、地域の目指すべき将来像を現状維持と回答する傾向が高く、逆に居住年数が長い人（20年以上）は活性化を望む傾向が高い。

また、居住意向については、居住年数がとても短い人（2年未満）及びとても長い人（30年以上）は居住意向は高いが、居住年数が徐々に長くなるにつれ、積極的な居住意向は低下していく結果となった。

今回の調査ではそれぞれの回答理由までは把握していないため、推測の域を超えないが、居住年数が短い人は、公共交通機関や買物等日常生活を送る上で、市街地地区と比べ利便性が悪いものの、中山間地域の魅力である豊かな自然や閑静な住環境を求め居住先を決定している可能性が高く、過度な発展を望んでいない可能性が高い。

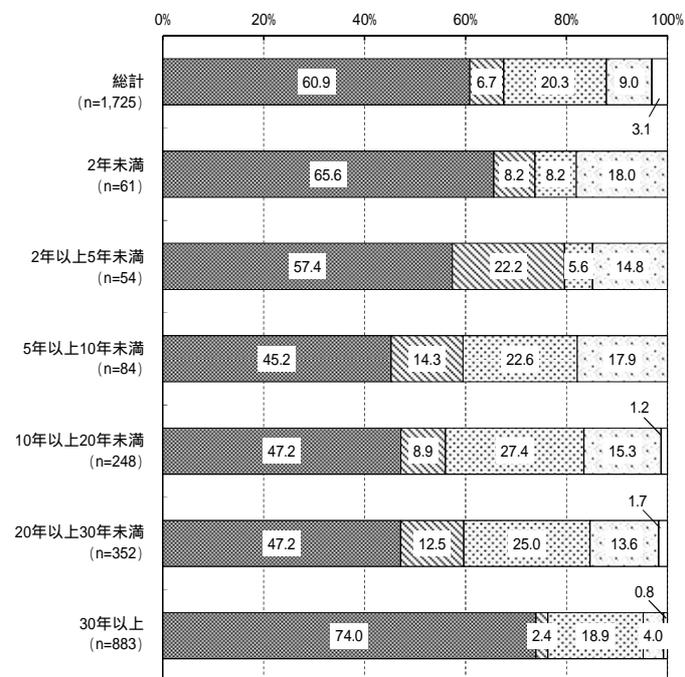
一方、居住年数が長い人は、子どもたちが就労先等の関係で長年住み慣れた居住先を離れ、少子高齢化していく地域の現状や年齢を重ね、今後、移動手段に制限がかかる可能性のある今後を鑑み、地域の活性化を望んでいる可能性が高い。

図表 2-72 地域の目指すべき将来像（居住年数別）



■新しい住民を増やし、地域を活性化させていきたい
□新しい住民を増やす必要は感じないが、地域を活性化させていきたい
□新しい住民を増やす、地域の活性化も必要を感じない(今のままでよい)
□無回答

図表 2-73 将来の居住意向（居住年数別）



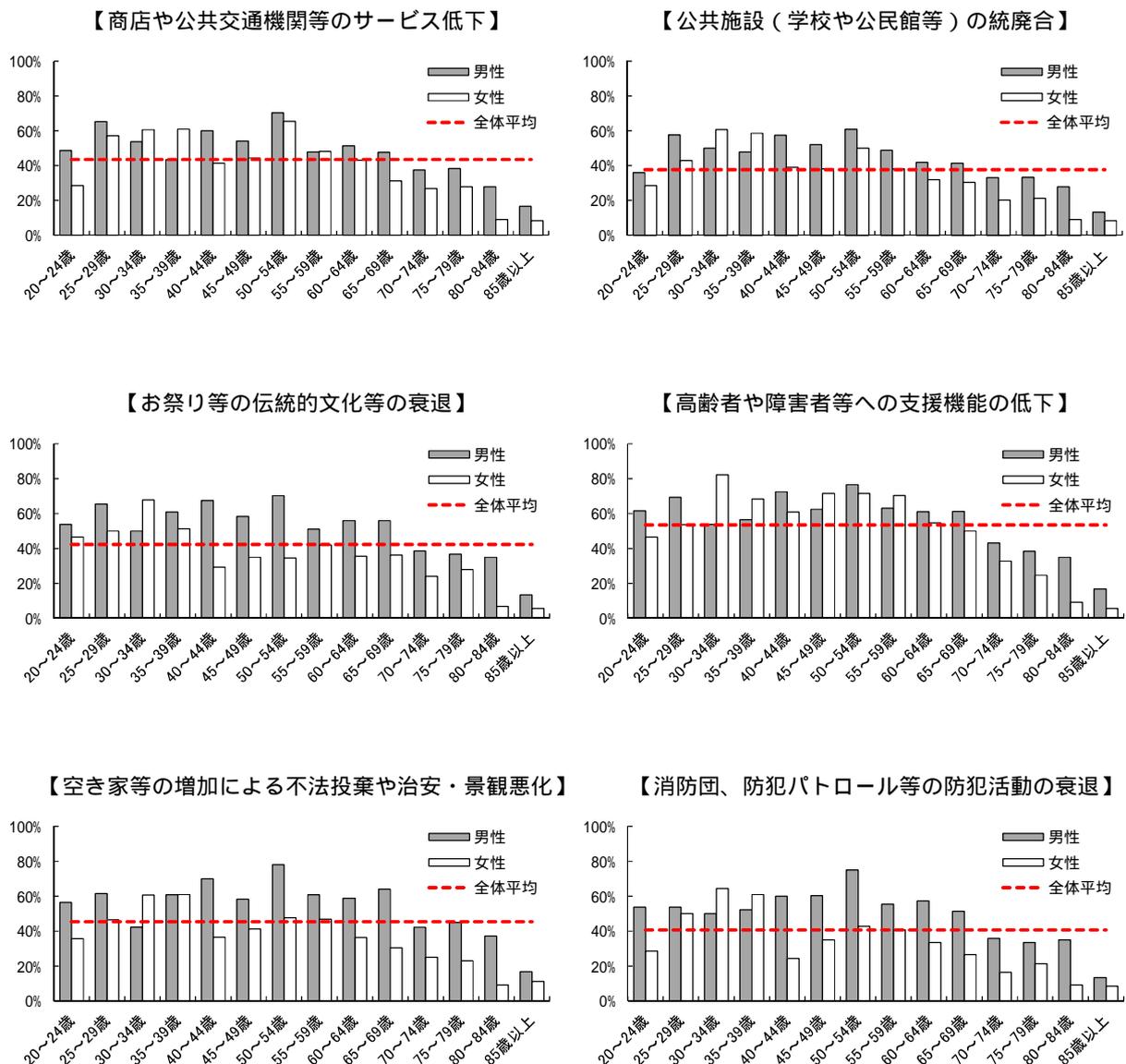
■今後住み続けたいと思う
□今後住み続けたいが転居することになると思う
□転居したいが、住み続けることになると思う
□条件が整い次第、転居したい
□無回答

地域活動に関する将来の予測

地域に発生する問題に対して、高い問題意識を持っているものの、実際にその解決に向けた取組には消極的である現状を踏まえると、既に起きている担い手不足という問題はより一層厳しくなる可能性は高い。

その一方で、地域課題の解決に向けた活動意向を性・年齢別に見てみると、現在働き盛りである40歳～50歳代の男性の意向は高く、この世代が退職する10～20年後にはある程度の担い手が確保できる可能性は秘めている。しかし、アンケート調査結果にもあったように意向はあるものの、実際に活動を行う人は少なく、この潜在的な人材が活動しやすい環境整備をいかに行っていかかが早急な取組となってくる。

図表 2-74 地域での活動意向(性・年齢別)



地域のつながりに関する予測される将来

地域活性化を望む意向は高いものの、地域課題に対する取組には消極的な意見が多く、既に発生している担い手不足の問題はより深刻化する可能性が高い。

その一方で、現在働き盛りである40歳～50歳代の地域活動意向は高く、活動しやすい環境整備次第では地域の担い手として期待できる

第3章

地域の将来を考えるグループワーキング調査

第3章 地域の将来を考えるグループワーキング調査

1 調査概要

(1)目的

地域の目指す将来像を考えていくためには、地域の現状を正確に把握するとともに地域住民の意思を集約することが重要である。しかし、その方法は確立されておらず、地域政策を担当する職員の能力に委ねられている部分が多い。

そこで本調査は地域住民の意思を集約する手法の実践事例として、第2章「データでみる中山間地域の実態と将来予測」から得られた結果をもとに、アンケート対象地域においてグループワーキングを実施するとともに地域住民が主体となった取組のきっかけとすることを目的に実施した。

図表 3-1 グループワーキングの様子



(2)調査対象者

アンケート調査回答者で、グループワーキングへ参加を示された市民。

(3)実施日時

| | 青野原地域 | 千木良地域 | 名倉地域 |
|-----|--|--|--|
| 第1回 | 平成 25 年 11 月 25 日 (月) 19:00 ~ 21:00 | 平成 25 年 11 月 29 日 (金) 19:00 ~ 21:30 | 平成 25 年 11 月 27 日 (水) 19:00 ~ 21:30 |
| 第2回 | 平成 25 年 12 月 2 日 (月) 19:00 ~ 21:00 | 平成 25 年 12 月 6 日 (金) 19:00 ~ 21:30 | 平成 25 年 12 月 4 日 (水) 19:00 ~ 21:30 |
| 第3回 | 平成 25 年 12 月 9 日 (月) 19:00 ~ 21:00 | 平成 25 年 12 月 13 日 (金) 19:00 ~ 21:00 | 平成 25 年 12 月 11 日 (水) 19:00 ~ 21:00 |

(4)参加者数

| | 青野原地域 | 千木良地域 | 名倉地域 |
|-----|-------|-------|------|
| 第1回 | 6名 | 11名 | 11名 |
| 第2回 | 6名 | 9名 | 10名 |
| 第3回 | 5名 | 5名 | 11名 |

各まちづくりセンター地域政策担当1名を含む。ただし、千木良地域の第1・2回は2名参加。グループインタビュー調査の参加希望者数、参加者数は次のとおり。

(1)当初の参加希望者数・・・青野原地域 16名、千木良地域 27名、名倉地域 21名

(2)日程の都合の合う参加希望者数・・・青野原地域 6名、千木良地域 14名、名倉地域 11名

(5)調査方法

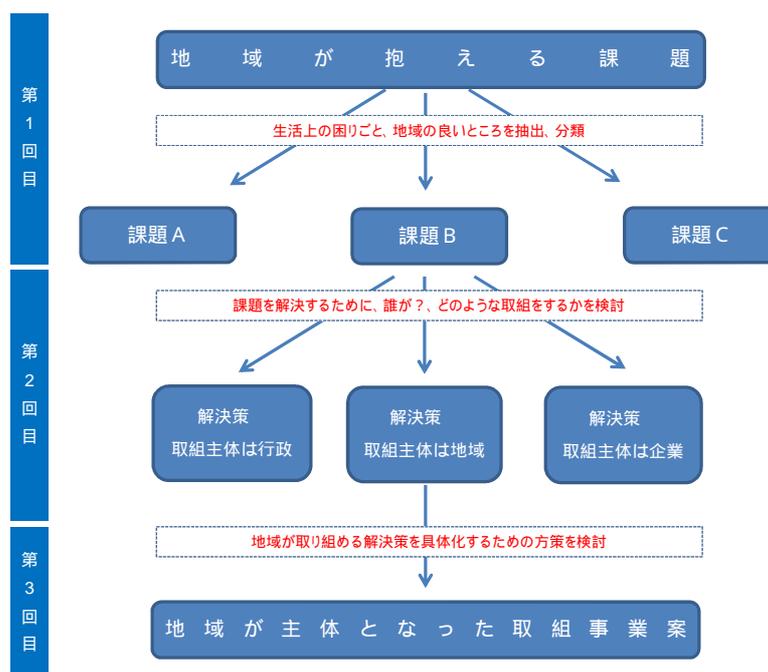
今回のグループワーキングはブレインストーミング手法を用い、地域課題の抽出、その課題を解決する主体、具体的な取組等について検討を行った。また、全3回で構成し、地域が主体となった取組の事業案を作成することを最終目標とした。なお、今回のグループワーキングには、津久井・相模湖・藤野各まちづくりセンターの地域政策担当職員も参加しているが、行政としての立場ではなく、地域を知る人として、地域住民と同じ目線で参加してもらった。

具体的な手順として、第1回目は、アンケート調査等から予測される地域将来を共有するとともに、日常生活において実際に問題となっていることや困っていること、または地域の良い所を洗い出し、その意見を「交通に関する困りごと」や「介護に関する困りごと」等に分類を行った。

第2回目は、第1回目で分類した課題ごとに、誰（行政・地域等）が、どのような取組みをすべきか、を検討した。なお、この段階では取組の実現性は考慮していない。

第3回目は、第2回目で地域が担う取組と分類されたもののうち、実際に地域で取り組みたい（取り組める）ものを選び、その取組を具体化するために、どのようなことをしていく必要があるかを地域で活動する個人・団体のネットワーク化ということも視野にいれながら検討し、ひとつの事業案として完成させた。なお、今回の事業案は、グループワーキングに参加いただいた方の意見を集約したものであり、地域全体の意見ではない。故に、これらの事業案を地域の目指す将来像として、取組を進めていくためには、まちづくり会議等、地域内での合意形成が必要となる場合もあることに留意されたい。

図表 3-2 グループワーキング調査フロー図



2 グループワーキング調査結果

(1) 青野原地域におけるグループワーキング調査結果

第 1 回目 青野原地域の困りごと等の把握、整理

青野原地域は駅から離れており、自家用車を利用する以外は、どこへ行くにもバスが不可欠である。しかし、そのバスの本数が少なく、最終バスの時間も早いことから、「バスの本数が少なく不便」、「車がないとどこにも行けない」といった移動手段の確保に関することをはじめ、「バス代が高いため、通学は送迎することを選択せざるを得ない」や「三ヶ木で乗り換えないと目的地へ着けない」等、経済的理由や利便性の課題等、様々な交通問題に関する意見が聞かれた。また、「通勤・通学の不便さもあり、子供たちはみんな外へ出て行った」という交通不便が人口減少の要因となっていることがうかがえる意見も聞かれた。

一方、青野原地域特有の課題として、山ビルやサル、シカ等の鳥獣被害に関する意見も多く聞かれた。「鳥獣被害によって耕作を放棄する人も多く、その結果、耕作放棄地が増加している」というような地域の現状がうかがえた。また、「青野原地域は細長く、沢ごとに考え方も異なる。何かを一緒にやるというのは難しい」や「地域での活動意識・意欲は薄いと感じている。だから色々な行事も人が集まらない」等、青野原地域の地理的特徴に起因する課題も聞かれた。主な意見を整理すると、図表 3-3 のとおり。

図表 3-3 青野原地域で抽出された地域の困りごと等

| 交通問題 | 介護問題 | 空き家・空き地問題 | 鳥獣対策 |
|--|---------------------------------------|--|--|
| 飲み会の時は迎えが必要 バスの本数が少なく不便 車が運転できなくなった時の生活が心配 通学の送迎が大変 バスで買物・病院に行くには三ヶ木で乗り継ぎとなる 歩いて行ける所にスーパーがない 終バスが早すぎる 車がないとどこにも行けない 週末の国道 413 号の渋滞がひどい 除雪された雪が歩道で凍ってあぶない 除雪作業が大変 | 独居老人が倒れたら現状ではアウト 昼間に若者が少なく、お年寄りが心配 | 空き家の木が育ってしまい、隣の人が片付けた 枯葉が庭に落ちる 年齢的に畑の草刈りで精一杯 手が回らない農地は放置が現状 自分の土地（畑・山林等）を自由に売買できない | 山ビルがお墓にいて墓参りができない 山ビルの増加で子どもが里で遊べない サルの出没で子どもの通学が心配 鳥獣被害でお年寄りが畑を放棄せざるを得ない |

図表 3-3 青野原地域で抽出された地域の困りごと等 - つづき -

| 地域資源の発掘 | 雇用の創出 | 地域や家族のつながり |
|---|------------------------------------|--|
| 人を呼べる資源がない 夏は良いが、冬は山中湖へ抜ける途中の街という雰囲気 | 近くに働く場所がない 仕事がないため、若者が橋本方面へ出ていく | 自治会加入者が減ってきた 人が少ないため、地域の役職がすぐ回ってきて大変 地域を活性化するリーダーがいない 災害が起きたとき心配 地域の付き合いを強制され、若い人には住みにくい 高齢者ばかり残り、将来が心配 人とのつながりや協力体制が乏しくなっている お年寄りの集まる場所がない いまだによそ者という考え方がある イベントの数、参加者が少ない 地域が細長く広いため、一体感がない 神社が遠い |

第 2 回目 課題を解決する方策とその取組主体の検討

第 1 回目で抽出された地域の困りごと等を整理し、青野原地域として課題解決に向け、取組の検討をしなければならない項目は図表 3-4 のとおりである。第 2 回目では、この検討項目に添って、誰が、どのような取組をすれば、課題が解決できるかを検討した。なお、この時点では、解決策の実現性は考慮していない。

図表 3-4 抽出された困りごと等からみえてくる青野原地域の検討項目

| 交通問題 | 介護問題 | 空き家・空き地問題 |
|--|---|---|
| 運転できない人への移動支援はどうしたらよいか？ 高齢者が安全に運転できるようにするためにはどうしたらよいか？ 雪が降った際の移動支援をどうしたらよいか？ | 高齢単身者の見守りをどうしたらよいか？ 在宅サービス提供者の確保をどうしたらよいか？ | 放置された空き家・空き地の管理をどうしたらよいか？ 放置される空き家・空き地を増やさないようにするためにはどうしたらよいか？ |
| 鳥獣対策 | 地域資源の発掘 | 雇用の創出 |
| 山ビルを増やさない環境整備はどうしたらよいか？ サル、シカ等から子どもや畑を守るためにはどうしたらよいか？ | 人（観光客）を呼べる地域資源はあるのか？ 地域資源をつかって人（観光客）を呼びとめる方策は何か？ | 雇用を創出するためにはどうしたらよいか？ |

検討した結果を整理すると図表 3-5 のとおりとなり、地域課題を解決する方策は、概ね「行政が行う取組」と「地域が行う取組」に分けられ、「家族が行う取組」という意見はなかった。

また、その取組内容に目を向けてみると、費用がかかるものは行政、費用をかけずに協力してできることは地域で行うといった傾向が見られた。

図表 3-5 青野原地域で抽出された取組とその取組主体

| | 交通問題 | 介護問題 | 空き家・空き地問題 |
|----------|---|--|--|
| 検討項目 | <p>運転できない人への移動支援はどうしたらよいか？</p> <p>高齢者が安全に運転できるようにするためにはどうしたらよいか？</p> <p>雪が降った際の移動支援をどうしたらよいか？</p> | <p>高齢単身者の見守りをどうしたらよいか？</p> <p>在宅サービス提供者の確保をどうしたらよいか？</p> | <p>放置された空き家・空き地の管理をどうしたらよいか？</p> <p>放置される空き家・空き地を増やさないようにするためにはどうしたらよいか？</p> |
| 行政が行う取組 | <p>【移動支援】</p> <p>コミュニティバスの導入</p> <p>乗合タクシーの導入</p> <p>【安全運転】</p> <p>高齢者への安全講習会開催</p> <p>道路改良</p> <p>【降雪支援】</p> <p>4WD車のレンタル事業</p> <p>女性でも動かせるようなミニ除雪機を導入し、各支所に配備</p> | <p>【見守り支援】</p> <p>日本郵便・ガス会社等と見守り協定を結ぶ</p> <p>緊急通報システムの導入</p> <p>ポットの使用頻度で高齢者の見守りを行うようなIT機能の導入</p> <p>定期巡回システムの強化</p> <p>介護予防事業の強化（保健師による講習会增加、見習うべき人の事例紹介等）</p> <p>保育園等と一緒に活動</p> <p>老人コミュニティセンターの設置</p> <p>【サービス提供者の確保】</p> <p>サービス提供事業者の誘致、助成</p> <p>在宅サービスセンターの設置</p> | <p>【増やさない方策】</p> <p>農地付空き家の募集</p> <p>被災し、家を失った方に家を提供</p> <p>農地の特区利用、太陽光発電設備に転用</p> <p>農業組合の導入</p> <p>空き家・空き地に転入してきた人の固定資産税を何年か免除する</p> |
| 地域が行う取組 | <p>【移動支援】</p> <p>割烹料理屋が持っているマイクロバスを利用し、巡回バスを走らせる</p> <p>隣近所で声を掛け合い一緒に買物</p> <p>定期的な巡回バス運行</p> <p>【安全運転】</p> <p>危険箇所マップを作成し、啓蒙</p> <p>【降雪支援】</p> <p>除雪隊の編成</p> <p>除雪自体は行政が主に行い、地元土建業、自治会等が応援（補完）</p> | <p>【見守り支援】</p> <p>民生委員の活動強化</p> <p>高齢者の集まる機会を多く作り、外出させる機会をつくる</p> <p>見守り隊の結成</p> <p>となり組による見守りシステム構築</p> <p>地域内にある個人商店による御用聞きを地域で支援</p> <p>地域でNPO（ヘルパー）の立上げ、見守り事業とリンクさせる</p> | <p>【増やさない方策】</p> <p>都心居住者への効果的な情報発信（町外者をターゲットに）畑でパーベキューのような事業を実施</p> <p>田舎暮らしへ憧れる人への貸出し</p> |
| 家族が行う取組 | - | - | - |
| その他が行う取組 | <p>【移動支援】</p> <p>NPOが行政の支援をうけて、コミュニティバスの運行</p> <p>宅配サービスの充実や移動販売車の導入</p> <p>【安全運転】</p> <p>NPOによる交通安全講習会開催</p> | - | <p>【管理】</p> <p>草刈りをNPOの実績作りに利用してもらう</p> <p>【増やさない方策】</p> <p>農協等が農地を借り受け、利用希望者へ提供</p> |

図表 3-5 青野原地域で抽出された取組とその取組主体 - つづき -

| | 鳥獣対策 | 地域資源の発掘 | 雇用の創出 |
|----------|---|---|---|
| 検討項目 | 山ビルを増やさない環境整備はどうしたらよいか？ サル、シカ等から子どもや畑を守るためにはどうしたらよいか？ | 人（観光客）を呼べる地域資源はあるのか？ 地域資源をつかって人（観光客）を呼びとめる方策は何か？ | 雇用の創出するためにはどうしたらよいか？ |
| 行政が行う取組 | 【環境整備】 鳥獣買い取り制度（1頭： 円）の導入 従前施策の強化 | 【地域資源】 道志道の始点・終点となる場所だから道の駅の利用は見込める 【呼びとめる方策】 青野原バイパス沿いをブルーベリー通りとして売りたい 滝の観光用遊歩道の整備 | 【雇用創出】 税金優遇し、企業誘致を積極的に行う 市の火葬場の建設 道の駅の設置 企業の内職ができるようにする |
| 地域が行う取組 | 【環境整備】 里山の手入れ、耕作放棄地の手入れ | 【呼びとめる方策】 ブルーベリーの加工販売 切り干し大根、イモの茎等の乾物を販売する 販売する乾物等に各家オススメレシビを同封する 空き家を貸し別荘として貸し出す | - |
| 家族が行う取組 | - | - | - |
| その他が行う取組 | 【サル・シカ】 捕まえたシカでシカ料理を提供する（脂をのせないと美味しくないので、空き地を利用してシカ牧場をつくる） | 【地域資源】 木炭の販路があれば、生業として成り立つ | 【雇用創出】 特産品の創出、生産 鳥獣を駆除したものを商品化する施設をつくる 農業株式会社の設立 現在、地域で作られているもの ・酒まんじゅう（餡入り、餡なし（ジャムをつけて食べる）） ・煮込みうどん ・ブルーベリー ・りんご（青根（栽培は難しい）） 珍しいもの ・鮎まんじゅう |

第3回目 地域が主体となった取組の具体的な検討

地域が主体となった取組の具体的な検討を行うにあたり、地域が目指す将来像を尋ねたところ、一定の交通量がある道志みち沿線という地域特性を活かし、地域を活性化させていきたいという意見が多く聞かれた。そのため、今回のワーキングでは、「通過する車にいかにか立ち寄ってもらうだろうか」を柱として具体的な取組の検討を行った。

道志みちを利用する人に立ち寄ってもらうためには、道の駅の設置や特産品の開発等考えられるが、地域内でブルーベリーの生産実績があることやフルーツ狩りは人気があること等から、ブルーベリーの直売や摘み取り農園をメインとした取組について検討を行った。

空き地を活用したコミュニティビジネス事業

事業を行う背景 ～地域の現状と課題～

青野原地域は転入による新たな住民が少なく、30年後の高齢化率は57%を超える予測となっており、地域活動の担い手不足が一層深刻となる恐れが高い。また、地域が細長く、沢で分断されていることもあり、青野原地域としての一体感が乏しく、地域全体で何かをするという雰囲気が高い状況である。

一方、青野原地域は山中湖等へ抜ける道志みちの沿線に位置し、キャンプ場もあることから、夏を中心に交通量も多い。また、地域内には収穫体験が可能な農園も存在し、比較的ビジネスチャンスに恵まれており、交流人口を増やす取組は地域の将来を考える鍵のひとつとなる。

事業の概要と目的 ～何のために何をやるのか？～

少子高齢化が進む時代に地域課題を地域内で解決していくためには、住民同士が「つながる」ことが大事である。しかも、地域全体が高齢化していき、地域活動の担い手不足がますます深刻化する可能性が高い将来を考えれば、若年層から地域の担い手を発掘し、地域が一丸となって活性化に取り組んでいくことが重要である。

本事業は下記コンセプトのもと、地区・世代等の垣根を越えて「青野原ブルーベリー街道」を作ることと、地域内を通過する車に立ち寄ってもらう仕組み（交流人口を増やす仕組）を構築し、地域で収益を上げるとともにコミュニティの強化、活性化を目指す。

事業コンセプト

- 地域内を通過する車をキャッチ
- 特産品の創出
- 若年層を中心とした地域活動の担い手の発掘
- 「沢」にとらわれないネットワークづくり

事業の範囲・規模、実施主体 ～誰がどのような組織で、誰を対象に実施するのか？～

本事業の実施主体は趣旨に賛同する住民(有志)により、若年層を中心とした新たな組織を立ち上げ、企画・運営を行っていく。

また、事業開始当初は初期投資がかかることから小規模でスタートするが、将来的(20年後を目安)には青野原地域全体に広げることを目指す。

具体的な取組内容 ～どんなことを実施するのか？～

取組 1 ブルーベリー農園の設立

休耕地や耕作放棄地を借り受け、ブルーベリーを栽培し、直売所や津久井観光センターでの販売や、摘み取り体験（観光農園）を行う。

「青野原」は他に無い地名であり、「青」と「ブルーベリー」を掛けて売り出し、将来的にはブルーベリー街道まで発展させることを目標とする。

休耕地や耕作放棄地の借受先はまだ決まっていないが、土地所有者としても、草刈りなどの手入れの手間が省けるので、安価に貸してもらえる可能性が高い。更には土地所有者にも組織に入ってもらえると望ましい。また、JAや学校、キャンプ場といった既存の組織との協力体制も視野に入れていきたい。

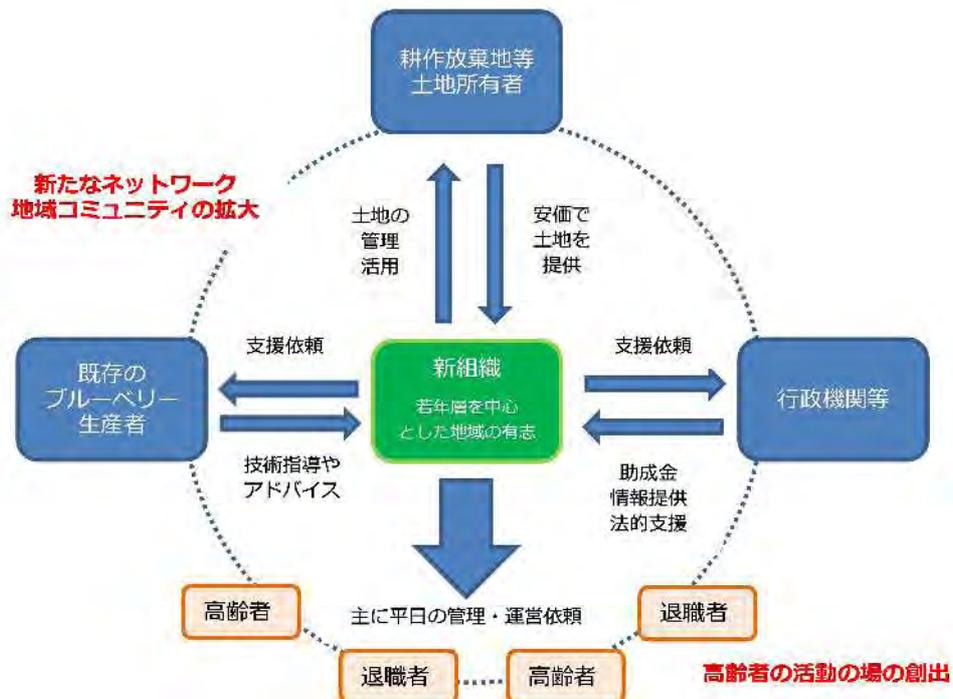
ブルーベリーの販売、摘み取り体験（観光農園）の次のステップとして、加工品の販売や喫茶店、花や紅葉の季節を活かした呼び込み、落葉後はイルミネーションなど1年を通じて交流人口を増やし、収益を上げられるような仕組づくりを目指していく。

取組 2 地域のコミュニティの拡大と高齢者の活動の場の創出

グループ生産による新しいネットワークの発生と、農業経験者から知恵を貸してもらうなどの交流が生まれることにより、コミュニティの拡大・強化が期待できる。

また、事業のコアメンバーは仕事を持っている人達だとしても、日中は高齢者や退職者に接客・管理をしてもらうことによって、活動の場を創出するとともに介護予防につなげる。

【ブルーベリー農園事業概念図】



必要な施設、設備・費用

ブルーベリーが収穫できるようになるまでには概ね2~3年の年数を要し、その間に必要と考えられる主な設備、費用は以下のとおり。

事業に必要な費用については、地域活性化事業交付金等の助成金を利用しながら運営をしていく。

- ・畑の賃料
 - ・苗代（年数にもよるが、一本1,500円～）
 - ・防護ネット代（18m×54m 42,000円、支柱代別）
 - ・肥料
 - ・農業用機材の燃料
 - ・人件費
- 金額についてはインターネット等による一般的な金額

事業実施までのプロセス（事業実施から3年程度をイメージ）

STEP 1 有志の会の設立

運営方針、体制等の確認

地権者の把握及び打診、農地制度のクリア（どういう組織で、どういう枠組で土地を借りるか）

初期費用確保

栽培方法の勉強、品種の選定

規模の検討

STEP 2 農園開設の準備

コンセプトの明確化（他の農園との差別化）

農園形態の検討（規模の拡大につれて販売 観光農園へと発展させていくのか、最初から観光農園とするのか等）

- ・販売品目の検討（ブルーベリーだけにするか、加工品も販売するか）
- ・価格、時間制限等の設定
- ・苗、防護ネット等必要物品の準備
- ・販路の確保（直売所、観光センター、インターネット等）
- ・ブルーベリー以外の収入源の確保（野菜の販売等）

栽培、管理等の人員確保

農地使用の手続き（地権者との契約、農業委員会への申請等）

事務所の用意

STEP 3 広報

- ・ホームページの運営
- ・観光情報誌、フリーペーパーなどへの売り込み
- ・DM、チラシの作成
- ・他の農園、業種（加工業者、レストラン、ケーキ店等）との連携

助成金の申請については、随時行っていく

(2)千木良地域におけるグループワーキング調査結果

第 1 回目 千木良地域の困りごと等の把握、整理

千木良地域は通勤・通学でJR相模湖駅を利用する住民が多い。駅からやや離れており、アップダウンがあることから、駅までの移動手段は自転車ではなく、自家用車・バスを利用する人が多い。そのため、「バスと電車の接続が悪い」、「駅前にバス・電車を待つ場所が少ない」といった意見が多く聞かれた。また、介護に関する問題も同様に通院先までの移動手段を課題とする意見が多く聞かれ、交通問題が日常生活に大きく影響していることがうかがえる。

また、意見の数こそ多くはなかったが、「空き家が目立つ(完全空き家が千木良全体で55軒)」、「山林の荒廃が目に残る」といった、空き家・空き地に関する深刻な状況がうかがえた。

一方、千木良地域は相模湖や隣接する高尾山、プレジャーフォレスト等、比較的観光資源に恵まれている地域ではあるものの、それらの資源を生かしきれていない現状がうかがえ、「相模湖観光船の施策が不足している」や「高尾山のハイキング客に相模湖まで足を伸ばしてもらいたい」というような意見も聞かれた。主な意見を整理すると、図表3-6のとおり。

図表3-6 千木良地域で抽出された地域の困りごと等

| 交通・買物問題 | 介護問題 | 空き家・空き地問題 | その他 |
|---|---|--|---|
| バスの便が少なく、JRとの接続も悪い 駅前にバス・電車を待つ場所が少ない 駅前が8時くらいで暗く、危険。地域全体の照明も暗い 駅前の駐車場の使い勝手が悪い 送迎のマナーが悪い タクシーが2台、電車を降りてから競争 中学が遠く、バス代が負担となっている 近くに大きなスーパーがない プレジャーフォレストのイルミネーション渋滞 県道515号は交通量が多く、騒音が激しい 中央線が止まると都心に出られなくなるなど、移動の自由度が低い | 病院が少なく、専門的なものは津久井や八王子に行く必要がある 老人が多い 運転できないので、病院に行けない デイサービス施設はあるが、宿泊できる介護施設がない | 完全空き家が千木良全体で55軒(2~3年前の調査) 荒廃している元農地は、ほとんどが相続されたもの 山林の荒廃が目に残る | 遊べる場所(公園)がない イノシシ・サルが怖い シカが山ビルを連れてくる 地域全体の照明が暗い 学校のプール開放の回数が少なくなった 子どもたちの同世代の競争が無い 総合事務所に権限が無いので、地域のことを自由裁量で決められない 土曜保育の時間が午後1時までは短すぎる 関東にしては冬の気温が低く、耐寒仕様への支援がほしい |

図表 3-6 千木良地域で抽出された地域の困りごと等 - つづき -

| 地域資源の発掘 | 雇用の創出 | 地域・家族のつながり |
|---|---|---|
| 駅前にコンビニがほしい 喫茶店等、お茶が出来る場所がほしい 高尾山のハイキング客に相模湖まで足を伸ばしてもらいたい 相模湖観光船の施策が不足している 相模湖駅周辺が寂れている 自分の地区の良さを知らない 道路網の発達につれ、交通量が少なくなり、町が寂れた | 女性のパート先がない 介護施設ができて、有資格者じゃないと雇って貰えない | 自治会役員のなり手がいない 自治会の数が人口に対して多い 旧市と同じ役割分担では、自治会役員の負担が大きい 家族間・隣近所との関係が希薄になり、振り込め詐欺の増加につながっている 民生委員も欠員が出そう 新しい人を受け入れてくれない 人情があり、住みやすい[良い点] 隣近所の様子がわかる[良い点] 地域の絆が強い[良い点] 近所の助け合いがある[良い点] |

第 2 回目 課題を解決する方策とその取組主体の検討

第 1 回目で抽出された地域の困りごと等を整理し、千木良地域として課題解決に向け、取組の検討をしなければならない項目は図表 3-7 のとおりである。第 2 回目では、この検討項目に添って、誰が、どのような取組をすれば、課題が解決できるかを検討した。なお、この時点では、解決策の実現性は考慮していない。

図表 3-7 抽出された困りごと等からみえてくる千木良地域の検討項目

| 交通・買物問題 | 介護問題 | 空き家・空き地問題 |
|--|---|---|
| 運転できない人の移動・買物支援を含め、今ある施設・サービスをどう維持・活用したらよいか？ 高齢者が安全に運転できるようにするためにはどうしたらよいか？ | 高齢世帯・単身者の支援をどうしたらよいか？ 在宅サービス提供者の確保をどうしたらよいか？ | 管理の行き届かない空き家・空き地等の管理をどうしたらよいか？ 放置される空き家・空き地を増やさないようにするためにはどうしたらよいか？ 転入してくる世帯が住居を見つけやすくするにはどうしたらよいか？ |
| 地域資源の発掘 | 雇用の創出 | |
| 千木良地域（相模湖地区）の地域資源とは何か？ 地域資源をいかして定住者・観光客を呼びこむ方策は何か？ | 雇用の創出するためにはどうしたらよいか？ | |

検討した結果を整理すると図表 3-8 のとおりとなり、青野原地域同様、費用がかかるものや大きな枠組づくりは行政の役割、その下支えを地域で行うという傾向がうかがえる。

また、比較的観光資源を多く有する千木良地域（相模湖地区）においては、観光行政の強化が雇用の創出にも大きく寄与すると考えられており、「相模湖地区・藤野地区の観光行政の一本化や湖を活用したイベント」や「歴史・文化を生かした観光客の受け入れ」、「田舎移住希望者が求めているものを把握」といった様々な意見、アイデアが出され、活発な議論が行われた。

図表 3-8 千木良地域で検討された取組とその取組主体

| | 交通・買物問題 | 介護問題 |
|----------|---|---|
| 検討項目 | <p>運転できない人の移動・買物支援を含め、今ある施設・サービスをどう維持・活用したらよいか？</p> <p>高齢者が安全に運転できるようにするためにはどうしたらよいか？</p> | <p>高齢世帯・単身者の支援をどうしたらよいか？</p> <p>在宅サービス提供者の確保をどうしたらよいか？</p> |
| 行政が行う取組 | <p>【移動・買物支援】</p> <p>乗合タクシーの運行（予約方式ではなく、停留所方式）</p> <p>バス会社を指導・補助金等を出して、電車とバスの時間を合わせる</p> <p>プレジャーフォレスト経由の循環線をつくる</p> <p>やまゆり園等のバスを空き時間に活用する</p> <p>宅配事業の強化</p> <p>【安全運転】</p> <p>千木良バイパスの早期着工</p> <p>高齢者向けの講習会</p> <p>駅前駐車場の見直し</p> | <p>【高齢者等支援】</p> <p>地域包括支援センターの充実を図り、地域のサポートにもっと力を出せるようにする</p> <p>保健師による戸別訪問</p> <p>高齢単身者の見守りを隣人に依頼する（有償）</p> <p>高齢世帯・単身者の精神的支援を、行政を中心に地域で取り組む</p> <p>地域サロン</p> <p>介護状況に応じたタクシー券の配布</p> <p>【サービス提供者の確保】</p> <p>ヘルパー・ボランティアを養成し、地域内での雇用・利用を相互に増やす（行政が補助）</p> <p>空き小学校を介護施設にする</p> <p>元気な高齢者が見守り・介護をするシステムをつくる</p> |
| 地域が行う取組 | <p>【移動・買物支援】</p> <p>自動車所有者による代行運転</p> <p>1人乗りの電気自動車や電動三輪車等を自治会で所有して貸し出す</p> <p>社協の「ちょっと乗って行きなよ」の制度を、もっと地域の有志で実施する</p> <p>近所で声かけをして、一緒に買物に行く</p> <p>地域の中の希望者に担当してもらう</p> <p>商店の宅配事業を促進する</p> <p>近所での助け合い</p> <p>仕事をしていない人が登録して、手助けをする</p> <p>なるべく千木良で買物をする</p> <p>なかみせを使う</p> | <p>【高齢者等支援】</p> <p>商店の人が配達時に安否確認をする</p> <p>民生委員や地域の人が高齢者宅を訪問して、状況確認</p> <p>地域のコミュニティ等で高齢者を集め、顔見知りになった元気な高齢者に、介護者の支援をしてもらう</p> <p>高齢者が寝たきりにならないように、日頃から運動</p> <p>高齢者サロン等、集まる場所を増やす</p> <p>共同生活をして、お互いに助けあう</p> |
| 家族が行う取組 | <p>【移動・買物支援】</p> <p>支援できる家族が近隣の手伝いをする</p> | <p>【高齢者等支援】</p> <p>健康寿命の延伸</p> <p>サービスを積極的に利用する</p> <p>高齢者を積極的に外出させる</p> |
| その他が行う取組 | <p>【移動・買物支援】</p> <p>移動販売車を促進する</p> <p>地区内の店を一箇所に集中させる</p> <p>宅配事業の促進</p> <p>各施設・店の駐車場を利用しやすいように整備する</p> | <p>【高齢者等支援】</p> <p>サービスを使いやすくして、利用者を増やす</p> <p>運動と食育、生きがいづくり等、高齢者が元気で長生きできるようにする</p> <p>【サービス提供者の確保】</p> <p>通所の介護施設を増やす</p> <p>帝京大の特養を地元優先で利用できるようにする</p> |

図表 3-8 千木良地域で検討された取組とその取組主体 - つづき -

| | 空き家・空き地問題 | 地域資源の発掘・雇用の創出 |
|----------|--|---|
| 検討項目 | <p>管理の行き届かない空き家・空き地の管理をどうしたらよいか？</p> <p>放置される空き家・空き地を増やさないようにするためにはどうしたらよいか？</p> <p>転入してくる世帯が住居を見つけやすくするにはどうしたらよいか？</p> | <p>千木良地域（相模湖地区）の地域資源とは何か？</p> <p>地域資源をいかして定住者・観光客を呼びこむ方策は何か？</p> <p>雇用を創出するためにはどうしたらよいか？</p> |
| 行政が行う取組 | <p>【管理】</p> <p>所有者へ家の状況を写真等で知らせる</p> <p>【増やさない方策】</p> <p>災害時に有効利用できるようにする</p> <p>空き家バンク</p> <p>再利用案を含めて検討できる場をつくる</p> <p>市民農園の拡大</p> <p>相模湖地区都市計画区域の見直し</p> <p>野菜づくりの畑として貸し出すシステムをつくる</p> <p>【その他】</p> <p>「水源の森」制度のPR</p> | <p>【呼びこむ方策】</p> <p>駅前からプレジャーフォレストにウォークルートをつくる</p> <p>湖を利用した行事（コンサート・つり大会・カヌー・ボート）</p> <p>高尾山という名勝地を利用すべくPRする</p> <p>相模湖・藤野という行政区域を見直し、観光行政を一元化する</p> <p>千木良の歴史・文化等を活用しての来訪者の受け入れ</p> |
| 地域が行う取組 | <p>【管理】</p> <p>空き家を調査して、地主に意向を聞く</p> <p>除草等ができない人から、管理費をもらって、地域で管理する</p> <p>【増やさない方策】</p> <p>空き地を自治会や団体に共同利用し、収穫・イベント等を実施する。子どもたちも一緒に活動し、食育等に役立てる</p> <p>田舎に関心のある都市住民を対象に「会員制宿泊施設」や「滞在施設付き市民農園（クラインガルテン）」をつくる</p> <p>空き家を民泊施設とする</p> <p>空き地を農地として貸し出す</p> <p>農業をやりたい若い人を募集する</p> <p>【転入】</p> <p>空き家に転入する家族の目的を知って、地域で応える</p> | <p>【呼びこむ方策】</p> <p>自然と遊べる場所をつくる</p> <p>外部からの観光客・定住者を受け入れる</p> <p>外部からの移住者に地域の魅力を聞く</p> <p>田舎への移住希望者が何を求めているか把握する</p> |
| 家族が行う取組 | - | - |
| その他が行う取組 | <p>【増やさない方策】</p> <p>空き家と畑をセットにして、都心の人が週末に田舎暮らしができるようなシステムをつくる（個人ではなく、グループでもOK）</p> | <p>【地域資源】</p> <p>東海自然歩道</p> <p>林間公園のテニスコート・野球場</p> <p>桂橋（川下りやバンジージャンプによさそう）</p> <p>豊かな自然</p> <p>のんびりした空気が子育てにぴったり</p> <p>都内に近く、自然が多い</p> <p>相模湖湖畔</p> <p>美女谷～陣場の湯間の林道</p> <p>弁天橋等のハイキングコース</p> <p>【呼びこむ方策】</p> <p>空き家・空き地を利用して、人を呼び込む働きかけ（田舎のゆっくりライフ・野菜づくり生活）</p> |

地域が主体となった取組の具体的な検討を行うにあたり、地域が目指す将来像を尋ねたところ、人口が増加すれば、現在焦点となっている将来の問題は解消されるという意見が多く聞かれ、今回のワーキングでは、人口増加による地域活性化を目指す方向で検討することとした。

地域の困りごとに抽出されたように、千木良地域は都心も通勤圏内であるものの、JR相模湖駅～千木良間の利便性が低いため、若い世代の流出が止まらない状況である。そのため、人口を維持、増加させるためには通勤の利便性を確保することが不可欠であり、特にJR相模湖駅～千木良間のバス交通の利便性の向上は若い世代を呼び込むためには必須である。

また、採算性の問題からバス交通の利便性低下が危惧される状況にある中、通勤の利便性を維持・向上するためには、従前通りの要望活動では不足であり、地域が中心となり、より能動的な取組を行う必要がある。そこで、更なる要望活動のためにできること、またバスを今よりも使ってもらうためにできることについて検討を行った。

作成した事業案（千木良地域）

バス通勤の利便向上促進事業

事業を行う背景 ～地域の現状と課題～

千木良地域は、JR相模湖駅から約2～5キロメートル離れており、徒歩では30分～1時間以上かかる。また、ややアップダウンがあり、国道の歩道整備が十分でなく、自転車の利用も少ない。JR相模湖駅前には月極めや一日利用の駐車場がある程度存在しているものの、駐車料金が安いことから、マイカー通勤者や駅まで家族に送迎してもらう通勤者が多い。

一方、千木良地域を経由しJR相模湖駅と三ヶ木バスセンターを結ぶバスは、1日に22便が往復運行しており、通勤の時間帯には1時間に2～3便、その他の時間帯には1時間に1便程度の運行となっている。千木良地域は鉄道交通を利用する通勤者が多く居住する地域であり、人口維持のためにバス交通の更なる充実を求める声が高い。

事業の概要と目的 ～何のために何をやるのか？～

千木良地域は、東京へ通勤することが可能な場所として高度経済成長期に人口が増加した地域であり、ベッドタウンとしての色合いが濃い。このため、通勤利便性の確保は地域の生命線である。

人口減少期に入り、採算性の問題からバス交通の利便性低下が危惧される状況にあって、通勤利便性を維持・向上するためには、従前通りの要望活動では不足であり、地域が中心となったより能動的な取組を行う必要がある。

本事業は、バス通勤の利便向上という地域だけでは解決し難い課題に対して、下記のコンセプトのもと、多面的にアプローチするものである。

事業コンセプト

バス交通の充実を要望するには、まず地域の実情を自ら把握し、根拠をもって活動する
バス交通で不足な部分は、自らの地域活動で補う
交通以外の視点から通勤の快適性を高める

事業の範囲・規模、実施主体 ～対象者や誰がどのような組織で実施するのか？～

本事業は、バス事業者や個人の商店主といった商業者、自治体がサービス提供者となる内容が多く含まれるが、これらのサービス充実を促進していくための基礎調査、要望活動、啓発活動などについて地域が主体となって取り組んでいく。

また、他者への要望だけでは実現に時間がかかるほか、地域のことは地域で行うという自治意識の醸成と地域活動の活性化に繋がらないため、自治会を中心に自ら活動するメニューも盛り込んでいる。

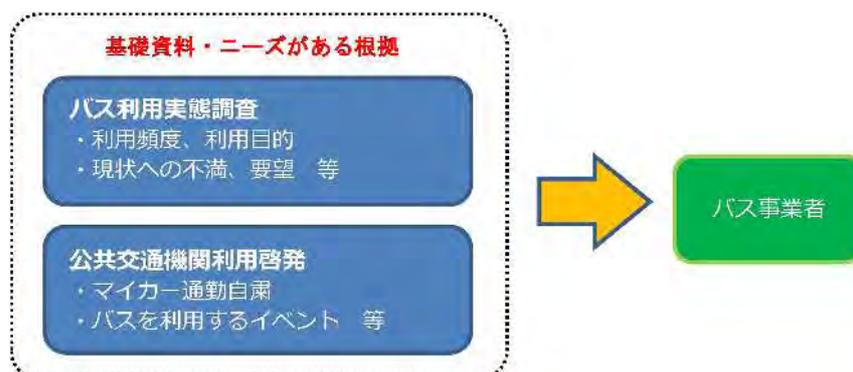
具体的な取組内容 ～どんなことを実施するのか？～

取組 1 バス利用希望者の把握と公共交通機関利用啓発

バスの増便、循環運行などをバス会社へ要望する根拠となる基礎資料として、現在のバス利用者のみではなく、潜在的なニーズも含めて実態把握を行う必要がある。この調査の対象はバスの乗降客に限らない全戸調査となるため、自治会の主導により実施する必要がある。

将来にわたってバス路線を維持するためには、利用者が増加しバス会社の収益が十分に確保されることが必要となる。通勤・通学を中心とした駅への移動や日常の買物、通院などの際になるべくバスを利用するよう意識啓発を行う。また、定期的にバスを利用するようなイベントを行うことも効果的だと思われる。

【取組イメージ図】



取組 2 地域コミュニティによる帰宅時間帯の共同送迎

通勤・通学者の帰宅時間帯である 18：00 以降についてみると、20：00 頃までは電車が相模湖駅に着いてから 30 分程度の中にバスに乗ることができるが、逆にそれ以降は 1 時間以上のバス待ちとなる時間帯も存在する。バスによる帰宅が不便な時間帯に地域コミュニティによる共同送迎を実施することでバス運行本数の不足を補う。

仮案として、20：35、21：55、23：10 の 1 日 3 回共同送迎を実施すると、バス又は送迎の待ち時間は次のとおりとなり、大きく改善される。

共同送迎の実施は、複数の自治会がワンボックス車を共同所有し当番制で運行する方法、共同送迎を利用する者のみでグループを組織し各家庭の自家用車を送迎に用いる方法などが考えられる。

【共同送迎を実施した場合のバスの待ち時間の比較】

| 電車・バスの発着時間 | | バスの待ち時間 | |
|------------|------|---------|--------|
| 発着時刻 | 種別 | 現状 | 共同送迎導入 |
| 18:02 | 下り | | |
| 18:03 | 上り | | |
| 18:13 | 下り | | |
| 18:17 | バス | | |
| 18:28 | 下り | | |
| 18:29 | 上り | | |
| 18:54 | 上り | | |
| 18:54 | 下り | | |
| 18:59 | バス | | |
| 19:06 | 上り | | |
| 19:10 | 下り | | |
| 19:29 | 上り | | |
| 19:31 | 下り | | |
| 19:36 | バス | | |
| 19:38 | 上り | | |
| 19:58 | 上り | | |
| 19:59 | 下り | | |
| 20:03 | バス | | |
| 20:10 | 下り | 69分 | 25分 |
| 20:28 | 下り | 51分 | 7分 |
| 20:30 | 上り | 49分 | 5分 |
| 20:35 | 共同送迎 | | |
| 20:44 | 上り | 35分 | |
| 20:50 | 下り | 29分 | |
| 21:13 | 下り | 6分 | |
| 21:17 | 上り | 2分 | |
| 21:19 | バス | | |
| 21:22 | 下り | 63分 | 33分 |
| 21:28 | 上り | 57分 | 27分 |
| 21:39 | 上り | 46分 | 16分 |
| 21:51 | 下り | 34分 | 4分 |
| 21:55 | 共同送迎 | | |
| 22:03 | 上り | 22分 | |
| 22:03 | 下り | 22分 | |
| 22:13 | 下り | 12分 | |
| 22:21 | 上り | 4分 | |
| 22:25 | 最終バス | | |
| 22:35 | 下り | | 45分 |
| 22:36 | 上り | | 44分 |
| 22:51 | 上り | | 19分 |
| 23:06 | 下り | | 4分 |
| 23:10 | 共同送迎 | | |
| 23:22 | 上り | | |
| 23:52 | 下り | | |
| 0:42 | 下り | | |

取組 3 駅前小休憩スポットの設置促進

駅前に賑わいがあれば、バス待ちの時間が多少長くとも我慢できる。時間をつぶせるスポットとしては、居酒屋、立ち飲み屋、喫茶店、コンビニエンスストア、無料休憩所など、様々な業態が考えられる。駅前には空き店舗も目立っており、地権者や商店会に出店を働きかける。

相模湖ふれあいパーク（市営駐車場）の一部に無料の休憩所、待合所を設置できないか。

必要な施設、設備・費用

取組 1 バス利用希望者の把握と公共交通機関利用啓発

- アンケート調査にかかる紙、印刷、配布回収の費用
郵送配布を行わなければ安価で済む。
- アンケート調査の設計と集計
調査のノウハウなどはさがみはら都市みらい研究所が支援
- バス利用啓発にかかるチラシやイベント等の費用
啓発活動の内容による

取組 2 地域コミュニティによる帰宅時間帯の共同送迎

- ・車両購入費用、保管場所
- ・燃料や車検、保険等の運用にかかる費用
- ・運転者への謝礼

地域活性化事業交付金や協働事業提案制度などを活用するほか、利用者から一定の負担金を受領し運営する。

取組 3 駅前小休憩スポットの設置促進

- ・現状では要望活動のみで設備、費用等はおかからないが、例えば駅前スポットを地域が自ら運営することになれば、店舗の賃料や運営費が必要となる場合も考えられる。

事業実施までのプロセス

取組 1 バス利用希望者の把握と公共交通機関利用啓発

- アンケート調査実施の意思確認（自治会が中心となって地域の合意形成）
- アンケート調査の設計、費用の確保
- アンケート調査の実施、集計、分析
- 分析結果に基づく要望活動の方針策定
- 策定した方針に基づく要望活動の実施、必要に応じた啓発活動の実施

取組 2 地域コミュニティによる帰宅時間帯の共同送迎

- 共同送迎のニーズ調査（取組 1 のアンケート調査に質問を盛り込む）
- 実施主体と事業規模の決定（自治会主導か、参加者主導かなど）
- 制度面の検討（事業運営のルール作り、法制度のクリアなど）
- 事業費の確保（補助金の申請、自治会費からの補助、会費徴収など）
- 事業実施

取組 3 駅前小休憩スポットの設置促進

- スポット設置のニーズ調査（取組 1 のアンケート調査に質問を盛り込む）
- アンケート調査結果を商店会の会議やまちづくりセンターなどに報告、要望

(3) 名倉地域におけるグループワーキング調査結果

第 1 回目 名倉地域の困りごと等の把握、整理

名倉地域は比較的駅に近いものの、アップダウンが多く、また、地域内に買物ができる場所がないため、日常生活に自家用車やバスは欠かせない存在である。そのため、他の地域同様、「バスとJRの接続が悪い」、「坂が多く、高齢になったときの移動が不安」といった移動、公共交通に関する意見が多く聞かれた。

また、千木良地域（相模湖地区）同様、豊かな自然環境のほか、野外芸術や農業体験施設等の観光資源を有するがゆえに、「ハイキング客のマナーが悪い」、「落書きが多い」といった観光客や地域資源に関する意見も聞かれた。

一方、「自治会活動が活発」、「新住民を受け入れる土壌がある」、「地域通貨のような福祉的ネットワークがある」といった地域の良い点が多く抽出されたことは、名倉地域の将来を考える上で、大きな推進力になると考えられる。主な意見を整理すると、図表 3-9 のとおり。

図表 3-9 名倉地域で抽出された地域の困りごと等

| 交通・買物問題 | 介護問題 | 空き家・空き地問題 | その他 |
|--|---|---|---|
| 電車を出かけると、高尾駅や相模湖駅での待ち時間が疲れる 電車とバスの接続が悪く、使えない バス料金が高く、循環バスなので駅に行くにもとても遠回り シュタイナー学園が休みの時は、バスが運行されない 駅前の駐車場はいつも満車。電車を使う時は相模湖駅やその先の駅まで行って、駐車することがある つい車で出かけることが多く、体が鈍る 近くに大きなスーパーがない 地元の商店（スーパーまっば）の客数が少なく、経営継続が不安 子どもの学用品で必要なものを急に揃えられる店が近くにない 坂が多く、高齢になった時の移動が心配 道路の除草作業回数が減り、通行しづらい 無人の店で野菜が買える【良い点】 | 家族を安心して預けられる通所先（介護事業所）がない 車椅子でも気軽に出かけられる場所が徒歩圏内がない 介護事業者がどこにいるかわからない 子どもがいないため、独りになった時や死亡した時にどうしたら良いかわからない 病院が少ない | 家の周りの高木のメンテナンスが追いつかない 空き地の雑草を誰が刈るのがわからない セカンドハウスとして利用されている家の木が伸び放題 お墓が点在しているので、まとまって売れる土地が少ない 豊かな自然環境の中で子育てが出来るので気に入っている【良い点】 | ハイキング客のマナーが悪い 落書きが多い（書いているのはおそらく地元の人ではない） 避難所の設定が不適切 手入れのされていない人工林がとても多く、土砂災害等が心配 ゴミを捨てずに燃やす（野焼き）する人がいて困る |

図表 3-9 名倉地域で抽出された地域の困りごと等 - つづき -

| 地域資源の発掘 | 雇用の創出 | 地域・家族のつながり |
|--|---|---|
| 駅前に魅力的な店がない コーヒー店がほしい たくさんある野外芸術が生かされていない 平地が少ないため、子どもが近くで遊べる広々とした場所（公園）がない 子どもの宿題に必要な本が見つげにくく、八王子の図書館まで行っている 山の中にある遊歩道の整備が不十分 街道がとてもきれい【良い点】 高速が近くて、遠出に便利【良い点】 緑の景色に癒される【良い点】 | 介護の合間にできる在宅の仕事がほしい 地域内で自分の仕事に近い職種を見つけることが難しい | 近所にどんな（技術をもった）人がいるのかわからない 地域（5地区）の交流に差がある 新住民と地元住民の交流の場がない 昔からの顔なじみが多く、気軽に声をかけてくれる【良い点】 自治会活動が活発【良い点】 新住民を受け入れる土壌がある【良い点】 地域通貨のような福祉的ネットワークがある【良い点】 団塊の世代が遊歩道の整備をしている【良い点】 |

第2回目 課題を解決する方策とその取組主体の検討

第1回目で抽出された地域の困りごと等を整理し、名倉地域として課題解決に向け、取組の検討をしなければならない項目は図表 3-10 のとおりである。第2回目では、この検討項目に添って、誰が、どのような取組をすれば、課題が解決できるかを検討した。なお、この時点では、解決策の実現性は考慮していない。

図表 3-10 抽出された困りごと等からみえてくる名倉地域の検討項目

| 交通・買物問題 | 介護問題 | 空き家・空き地問題 |
|--|---|---|
| 運転できない人の移動・買物支援を含め、今ある施設・サービスをどう維持・活用したらよいか？ 高齢者が安全に運転できるようにするためにはどうしたらよいか？ 駅前駐車場の混雑を緩和するためにはどうしたらよいか？ | 高齢世帯・単身者の支援をどうしたらよいか？ 在宅サービス提供者の確保をどうしたらよいか？ | 管理の行き届かない空き家・空き地等の管理をどうしたらよいか？ 放置される空き家・空き地を増やさないようにするためにはどうしたらよいか？ 転入してくる世帯が住居を見つけやすくするためにはどうしたらよいか？ |
| 地域資源の発掘 | 雇用の創出 | |
| 地域資源をいかして定住者・観光客を呼びこむ方策は何か？ 地域の景観を維持するにはどうしたらよいか？ | 雇創出するためにはどうしたらよいか？ | |

検討した結果を整理すると図表 3-11 のとおりとなり、他の地域同様、助成金や施設整備等が行政に期待される役割である。

一方、行政に期待されることが多い仕組づくりや情報発信の分野についても様々な主体を巻き込むことで地域が主体となって取り組んでいけるのではないかという意見も多く聞かれたことは名倉地域の大きな特徴である。話し合いの中ではより具体的な解決方策も提案され、これらの姿勢は活発な地域活動や地域のつながりが背景にあることが推察される。

図表 3-11 名倉地域で検討された取組とその取組主体

| | 交通・買物問題 | 介護問題 |
|----------|--|--|
| 検討項目 | <p>運転できない人の移動・買物支援を含め、今ある施設・サービスをどう維持・活用したらよいか？</p> <p>高齢者が安全に運転できるようにするためにはどうしたらよいか？</p> <p>駅前駐車場の混雑を緩和するためにはどうしたらよいか？</p> | <p>高齢者帯・単身者の支援をどうしたらよいか？</p> <p>在宅サービス提供者の確保をどうしたらよいか？</p> |
| 行政が行う取組 | <p>【移動・買物支援】</p> <p>名倉循環バスのバス料金を高齢者等に補助する</p> <p>市役所まで行かなくても、全ての行政サービスが津久井内で受けられるようにする</p> <p>補助金を出して、タクシーの台数を増やす</p> <p>100 円のコミュニティバス</p> <p>【安全運転】</p> <p>国道 20 号線の整備・道路幅の拡張</p> <p>高齢者が運転しやすい車の推薦・購入補助をする</p> <p>安全運転講習会を開催する</p> <p>【駅前対策】</p> <p>駐車場の需要と供給のバランスを考える</p> <p>ロータリーの駐車位置を線引きして、利便性を向上</p> <p>交通整理員の配置</p> | <p>【高齢者等支援】</p> <p>二世帯・三世帯住宅世代への補助金（ある程度継続した期間）</p> <p>健康保険を予防事業にも使えるようにする</p> <p>民生委員の待遇を、職業に近いくらいに改善する</p> <p>健康を維持できる生活支援サービスを充実させる</p> <p>【サービス提供者の確保】</p> <p>介護事業の起業を支援する仕組みをつくる</p> <p>介護事業者の誘致</p> |
| 地域が行う取組 | <p>【移動・買物支援】</p> <p>野菜直売所を増やす</p> <p>御用聞きを復活させる</p> <p>地域内で買物支援を担当する人を持ち回りで設ける</p> <p>コミュニティーカーの運行</p> <p>運転者でグループを編成して、運転できない人をカバーする</p> <p>バスが継続維持できるようなるべく利用する</p> <p>地域通貨による移動・買物支援</p> | <p>【支援】</p> <p>介護予防のためのグループを立ち上げる</p> <p>地域通貨の活用</p> <p>地域の見守りネットワークを充実させる（個々の住民 民生委員・自治会 地域包括・福祉課 市）</p> <p>多世代共生型のコーポラティブハウスプロジェクトをつくる</p> <p>新聞配達時に安否確認</p> <p>高齢者が集まれるサロンをつくる</p> <p>【サービス提供者の確保】</p> <p>専門家でなくても、自治会等の助け合いの一環でやってみる</p> <p>介護経験者を集めてヘルパーの不足部分を補う</p> <p>介護・介助に訪問できる人を登録制で募る</p> |
| 家族が行う取組 | <p>【移動・買物支援】</p> <p>自分のことだけでなく、親のことを思いやる</p> <p>子どもに遠慮せず、SOSを出す</p> <p>若い人が結婚しても家に残る</p> | |
| その他が行う取組 | <p>【買物支援】</p> <p>通販を高齢者でも利用できるような紹介システム</p> <p>スーパーまつばのワゴン車による買物ツアー</p> <p>社協の輸送サービスの自由度をあげる</p> <p>駅に行くバスの回数を増やす</p> <p>富士急に社会貢献事業として、コミュニティバスを走らせてもらう</p> <p>【安全運転】</p> <p>道路の除草作業は、障害者の就労継続支援 B 型などをお願いして作業してもらう</p> <p>【駅前対策】</p> <p>駅の北口を整備して、南口に送迎・駐車が集中しないようにする</p> <p>駅近くの農協等の駐車場を営業時間外に駐車可能にする</p> | <p>【サービス提供者の確保】</p> <p>介護従事者の待遇改善</p> |

図表 3-11 名倉地域で検討された取組とその取組主体 - つづき -

| | 空き家・空き地問題 | 地域資源の発掘・雇用の創出 |
|----------|--|---|
| 検討項目 | <p>管理の行き届かない空き家・空き地の管理をどうしたらよいか？</p> <p>放置される空き家・空き地を増やさないようにするためにはどうしたらよいか？</p> <p>転入してくる世帯が住居を見つけやすくするにはどうしたらよいか？</p> | <p>地域資源をいかして定住者・観光客を呼びこむ方策は何か？</p> <p>地域の景観を維持するにはどうしたらよいか？</p> <p>雇用を創出するためにはどうしたらよいか？</p> |
| 行政が行う取組 | <p>【増やさない方策】 畑・山林の境界を行政が把握して、利用しやすくする 空き地・青地を国の政策として見直す</p> <p>【転入】 藤野総合事務所に「移住促進室」をつくる（行政・観光協会・商工会・不動産業者・建築業者等で構成） 売家・貸家の情報を集約 探している人につなげる仕組みづくり 空き家リサイクルへの補助金 地主が貸しやすく売りにやすくするために、行政が保証者になるようなシステムをつくる 空き家情報を出しやすくする仕組みづくり</p> | <p>【呼びこむ方策】 太陽光発電を全戸に設置する（エコタウンとしてPR） 住みたい人が、求める家・土地に出会える仕組み 保育園の充実 結婚・新婚・子育て奨励金 在宅ワークに最適な条件を備えた地域であることをPR（「ソフトの工業団地」を藤野に） 都市部にリピーターになってもらうようPR</p> <p>【景観維持】 けばけばしいホテルの建設規制 緑のラブレター周辺に市民の森をつくる 幼児から高齢者まで楽しめる空間をつくる 街灯の整備</p> <p>【雇用】 高齢化などで手入れができなくなった所は、企業やNPOを呼び込んで活動フィールドとして活用できる仕組みをつくる</p> |
| 地域が行う取組 | <p>【増やさない方策】 外部の人でも農地を気軽に借りられるようにする 遊休農地の活用（半農半 の暮らし方をPR） 地域共有の倉庫として利用する</p> <p>【転入】 自然住宅など、優良住宅の見学会 空き家リサイクルし隊の結成 一世代で気軽に移転できる環境 貸すこと売ることのメリットを、地主に理解してもらうような働きかけ（経験者から説明） 都市住民が共同で借りられるシェアハウスとして利用する</p> | <p>【定住者】 在宅ワークに最適な条件を備えた地域であることをPR（「ソフトの工業団地」を藤野に）</p> <p>【観光客】 芸術家の工房訪問＋野外芸術の見学会 民泊の推進（普通の暮らしが観光になる） 駅前に滞在しやすい店・施設をつくる 昔のことをよく知る人や昔の知恵を受け継いでいる人の話を聞く機会を設ける 紙で見られるスキルの棚卸し・リストの作成 藤野の魅力を広く伝える取組（ツアー・パンフレット等）</p> <p>【景観維持】 針葉樹を切って、落葉樹のある雑木林を取り戻す</p> <p>【雇用】 無農薬・無化学肥料で野菜を栽培 差別化した野菜の販売</p> |
| 家族が行う取組 | - | - |
| その他が行う取組 | - | - |

名倉地域は参加者人数が多かったため、2つのグループに分かれ、今の生活を維持していくための取組と地域活性化に向けた取組の両方から1つずつ分野を選択し、検討した。

今の生活を維持していくための取組

名倉地域は藤野地区の他地域と比べ、転入者が多く、将来も人口を維持できる見込みとなっており、また自治会や地域のボランティア活動も活発である。しかし、新住民と地元住民の交流の場が少ない、各世代間の連携が希薄である等の問題を抱えている。

小地域（集落）で顔と顔が「つながる」関係づくりを進めていくことは高齢者支援の面からも重要であることから、新旧住民・世代・地域・団体等の垣根を超えた住民が集える場所作りとして「空き家を活用した新たな地域コミュニティの場づくりモデル事業」を事業案とした。

作成した事業案（名倉地域）

空き家を活用した新たな地域コミュニティの場づくりモデル事業

事業を行う背景 ～地域の現状と課題～

名倉地域は藤野地域の他の地域と比べ、転入者も多く、将来的な人口も現状を維持できる予測となっている。また、自治会活動や地域（ボランティア）活動も高齢者支援をはじめ、森林整備等、様々な分野で活発に行われており、今後、少子高齢化に伴い発生するであろう地域課題を地域内で解決する土壌は比較的整っている。

その一方で、新住民と地元住民の交流の場が少ない、各世代（70代の家長世代、その子どもたちの世代、孫世代）間の連携が希薄である、区内5自治会の地域活動に差がある等の問題も抱えており、今後も住みやすい地域を作っていくためには、地域全体が顔の見える関係づくりや、名倉を誇らしく思える環境づくりを進めていくことが重要である。

事業の概要と目的 ～何のために何をやるのか？～

少子高齢化が進む時代に地域課題を地域内で解決していくためには、住民同士が「つながる」ことが大事である。しかも、地域全体が高齢化していき、移動が制限される可能性が高い将来を考えれば、インターネット等による機械的・広範囲の「つながり」だけではなく、小地域（集落）で顔と顔が「つながる」関係づくりを進めていくことは高齢者支援の面からも重要である。

本モデル事業は下記コンセプトのもと、新旧住民・世代・地域・団体等の垣根を超えた住民が集える場を新たに作ることで、「顔と顔がつながる」関係を構築していくことを目指す。

モデル事業コンセプト

小地域（各集落）で顔と顔がつながる関係づくりの推進
ものづくりを中心とした誰でも参加・協力できる仕組づくり
地域の伝統、風習等、名倉地区の良いものを伝承していく
役員も楽しみ、負担感のすくない運営組織づくり

事業の範囲・規模、実施主体 ～誰がどのような組織で、誰を対象に実施するのか？～

本事業はモデル事業のため、事業開始当初は名倉地域全体を事業範囲として実施するが、「小地域で密な関係づくり」を主目的としているので、将来的には名倉地域の各自治会（5自治会）に1箇所設置できるような体制づくりを行い、それぞれの組織が連携していくことを目指す。

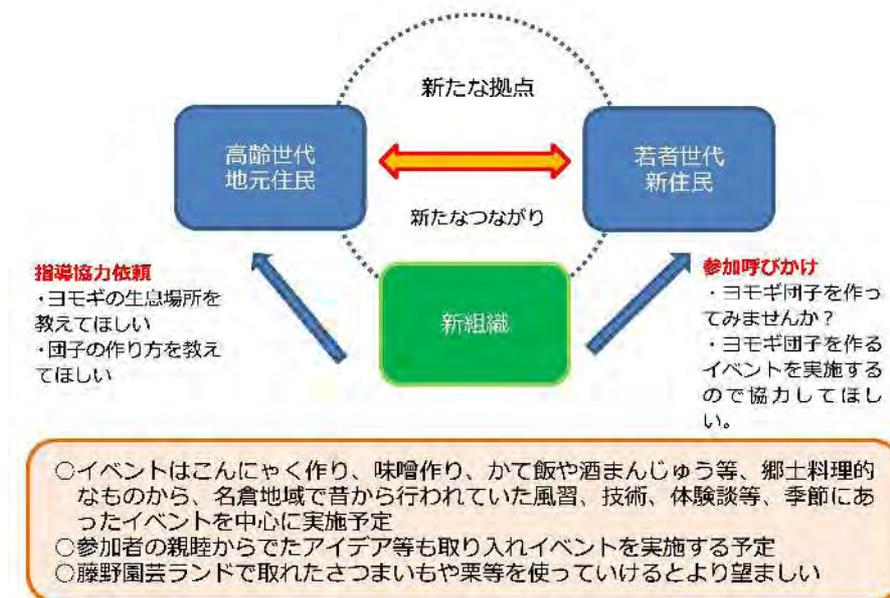
また、実施主体は本モデル事業の趣旨に賛同する名倉地域に居住する住民（有志）により、新たな組織を立ち上げ、会の企画・運営を行っていく。

具体的な取組内容 ～どんなことを実施するのか？～

取組1 手作り料理や風習・体験談を通じた多世代のつながりづくり

名倉地域に昔から伝わるこんにやく作りや味噌作り、名倉地域で昔から行われていた風習（お月見等）等を通じて、伝統文化の伝承及び地域のつながりを醸成

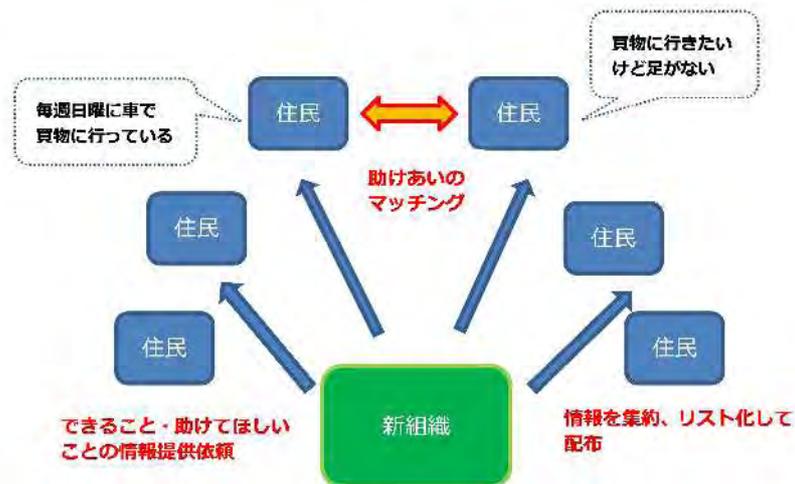
【多世代のつながりづくり ～ヨモギ団子を作るイベント（仮）を例に～】



取組 2 地域の助け合いリストの作成

取組 1 を通じて出来た新しいつながりをベースに日常生活上、提供できる（助けてあげられる）技術、知識、サービス及び提供してほしい（助けてほしい）技術、知識、サービスをリスト（紙媒体）として作成し、日常生活上の困りごとを助け合う仕組みづくりの構築。将来的に高齢者の見守り、買物ツアーまで拡大を想定。

【地域助け合いリスト概念図】



必要な施設、設備・費用

本モデル事業は、空き家等を活用し、住民が集える場を提供する予定。また、イベントに使用する設備、道具においても、各家庭にある物や自治会所有の備品等を貸借し、利用する予定のため、若干の施設修繕費用等は予定するものの、施設、設備整備の費用は特にかからず、ランニングコストも低いと想定している。

会の運営に必要な費用については、地域活性化事業交付金等の助成金を利用しながら運営をしていく。

事業実施までのプロセス

| ヨモギ団子を作るイベント（仮）を例に | H26.1 | | | H26.2 | | | H26.3 | | | H26.4 | | |
|---|--------------------------------------|----|----|--------------------------------------|----|----|--------------------------------------|----|----|-------|----|----|
| | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 上旬 | 中旬 | 下旬 |
| STEP1 有志の会設立 ・会の名称決定 ・規約、運営方針、体制等の確認 ・既存団体（自治会、老人会、育成会等）との調整 等 | [Blue arrow spanning H26.1 to H26.2] | | | | | | | | | | | |
| STEP2 イベント内容の検討 ・情報収集 ・講師候補の選定 ・役員による予行練習 ・施設、設備等の準備 等 | | | | [Blue arrow spanning H26.2 to H26.3] | | | | | | | | |
| STEP3 イベント参加者周知 ・チラシ作成、周知方法の検討・配布 ・既存団体への協力依頼 等 | | | | | | | [Blue arrow spanning H26.3 to H26.4] | | | | | |

助成金の申請については、随時行っていく

地域活性化に向けた取組

名倉地域は芸術の道や藤野園芸ランドといった観光資源を有しているが、「展示されている野外芸術の手入れがされていない」、「藤野園芸ランドのシステムがわかりにくい」等、観光客からの声も聞かれ、資源を生かしきれていない現状がある。その一方で、「都心から最も近い田舎」である藤野地域の中でも、特に名倉はその風土に惹かれて移住してくる人が多い。今後、更に観光客や移住者を呼び込み、地域活性化につなげるためには、様々な分野の情報を集約し発信していくことが欠かせない。

また、「普通の暮らしが観光になる」時代において、藤野観光協会で民泊事業の検討が開始されていることから、民泊で提供できるサービスの整備をきっかけとして、名倉地域の新しい観光資源の発掘と、資源と資源をつなげ、名倉の魅力を発信していく「民泊を中心としたコミュニティビジネス事業」を事業案として検討した。

作成した事業案（名倉地域）

民泊を中心としたコミュニティビジネス事業

事業を行う背景 ～地域の現状と課題～

名倉地域は藤野地域の他の地域と比べ、転入者も多く、将来的な人口も現状を維持できる予測となっている。また、自治会活動や地域（ボランティア）活動も高齢者支援をはじめ、森林整備等、様々な分野で活発に行われており、今後、少子高齢化に伴い発生するであろう地域課題を地域内で解決する土壌は比較的整っている。

その一方で、地域資源が活かされていない、観光情報が埋もれ、集約ができていない等の問題も抱えており、今後も地域が活性化していくためには、地域資源を活かした取組を進めるとともに、資源と資源を結びつけていくことが重要である。

事業の概要と目的 ～何のために何をやるのか？～

名倉地域には「芸術の道」や「藤野園芸ランド」といった観光資源を有するとともに、名倉の風土に惹かれて移住してくる人が他の地域と比べて多いなど、「都心から最も近い田舎」として名倉地域がもつポテンシャルは高い。今後、更に観光客や移住者を呼び込み、地域活性化につなげるためには、情報発信が欠かせない。それも、各分野がバラバラに情報を発信するのではなく、集約して発信していくことが必要になる。

本事業は下記コンセプトのもと、名倉地域の新しい資源を発掘するとともに、既存の観光資源を見直すことで、名倉の魅力を発信し、観光客・移住者の増加につなげることを目指す。

事業コンセプト

民泊を核とした地域資源の（再）発掘
資源と資源をつなげる仕組づくり
観光情報の集約と発信

事業の範囲・規模、実施主体 ～誰がどのような組織で、誰を対象に実施するのか？～

本事業は、名倉地域全体を事業範囲として実施する。

また、実施主体は藤野観光協会及び旅行会社になるが、受入先の募集など、地域に対する周知活動は自治会を想定。他にもなぐら談会（名倉地域の団塊世代で構成するボランティア団体）やトランジション藤野も主体となる可能性がある。将来的には、これらをベースとした新しい組織の設置も考えられる。

具体的な取組内容 ～どんなことを実施するのか？～

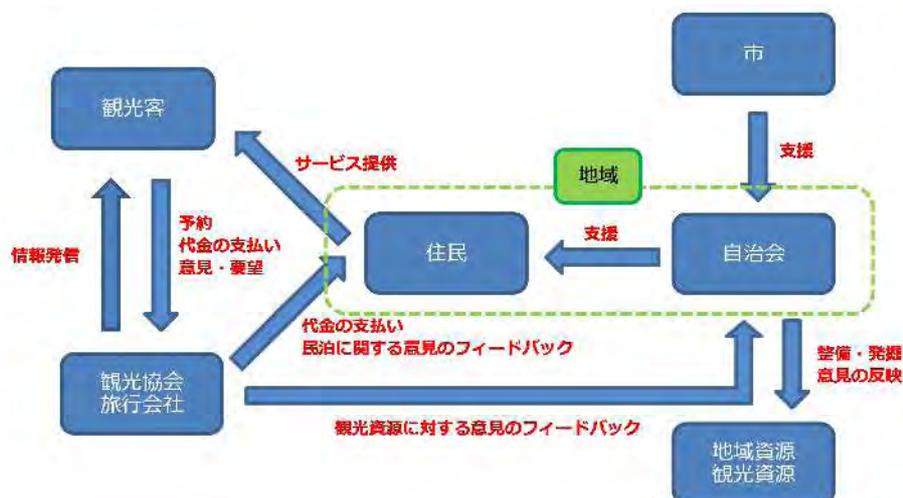
取組 1 民泊の推進

旅行会社と連携して民泊事業を行うことにより、運用や広報等のノウハウの活用を図り、効率的・効果的な事業展開を進めることができ、また地域とユーザー（客）を繋げることができる。自治会は、受入先の募集など地域への周知活動を行うとともに、観光資源等地域全体にかかわるユーザー意見等のフィードバック及び市からの支援の受け皿を担い、民泊事業をバックアップする。

また、確保すべき受入先は、宿泊先だけでなく農業体験など体験メニューの提供者も必要なことから、地域資源だけでなく個人が持っているスキルの集約も期待できる。

民泊や体験を通じて名倉の魅力を知った人達がPRしてくれ、リピーターになってくれれば、最終的に移住の増加につなげることができるかもしれない。（民泊体験者からのPR 観光客の増加 名倉に惹かれる人達の増加 移住 その人たちからのPR…の正の循環）

【民泊事業概念図】



取組 2 名倉総合情報ステーションの開設

取組 1 で集約された情報を発信するとともに、新たな情報を収集し、外部からの問い合わせに対応できるようにする。また、移住希望者対応や、高齢者や子育て支援などの情報提供と地域交流ができる場所にもしていく。

なお、芸術の道のパンフレット改定や園芸ランドの情報集約については、現段階でもできる見込み。ステーションの開設については、最初は助成金を活用し、事業者を募集することも考えられる。

必要な施設、設備・費用

旅館業許可に関する費用（3万円程度）は、一部を民泊受入先に負担してもらい、残りを助成金対応とする。なお、本事業は一般家庭から民泊受入先を募集するので、宿泊施設の建設費用などはかからないが、各受入先で修繕等をする場合はどこで負担するか整理が必要（助成金対応、全額各受入先負担、観光協会と折半など）。

また、民泊の性質上、特別な設備は必要ないが、リネン・タオル類は新たに用意する必要がある。運営に必要な費用については、地域活性化事業交付金等の助成金を利用していく。

事業実施までのプロセス（イメージ）

STEP 1 受入先の確保

- ・ 運営方針、体制等の確認（観光協会、旅行会社、自治会）
- ・ 事前説明会の開催（「民泊ってなに？」からスタート）
- ・ 宿泊先、体験先の確保
- ・ 協力先の確保（伝統料理の指導・提供、食材の提供、温泉など）
- ・ 先進地の視察
- ・ 料金体系の整備（宿泊費、体験費、キャンセル料等）

STEP 2 民泊の準備

- ・ 民泊施設としての許可取得（必要に応じて）
- ・ 宿泊先の修繕（必要に応じて）
- ・ 必要物品の準備（リネン類といった宿泊先で必要になるものの他、観光案内等）
- ・ お試し民泊の実施
- ・ 保険（賠償責任保険等）加入
- ・ 病院等緊急連絡先の準備と到着時間目安のチェック

STEP 3 広報

- ・ ホームページの運営（旅行会社と連携）
- ・ 観光情報誌、フリーペーパーなどへの売り込み
- ・ DM（リピーター向け）、チラシの作成

助成金の申請については、随時行っていく

藤野観光協会の取組

名倉地域の「民泊を中心としたコミュニティビジネス事業」案のきっかけとなった「藤野観光協会の民泊事業の検討」は市内旅行会社と連携し、既に実際の事業として動き始めている。ここでその取組も含め、地域活性化に向け積極的に活動を行っている藤野地域の取組について紹介したい。

行政区域にとらわれない民泊事業

この民泊事業は藤野観光協会が主体となって進められているが、旧藤野町だけではなく、旧相模湖町・旧津久井町も事業エリアとして事業を進めている。既に平成26年1月31日に開催された相模湖・藤野自治会連絡会において事業提案がなされ、藤野・相模湖まちづくりセンターの職員にもこの事業に関する相談を行っているところである。千木良地域のグループワーキング2回目において「相模湖・藤野という行政区域を見直し、観光行政を一元化する」という意見が住民から出されたが、まさに行政区域にとらわれない事業となっている。

藤野観光協会では平成26年2月に山梨県甲府市で開催された農家民泊やまなしフォーラム（主催：農家民泊やまなし研究会）へ参加するなど、積極的に民泊に関する情報収集を行うとともに、平成26年4月18日には個人や各団体を対象に、「民泊とは何か」、「民泊と民宿の違い」などを説明する「農家民泊を知ろう！の集い」を開催する予定である。また、既に受入先の打診も始めており、平成26年3月10日現在、旧藤野町で6件、旧相模湖町で2件の民家が受入れの意向を示している。

～里山暮らしをおすそ分けしてみませんか～

農家民泊を知ろう！の集い

**参加無料！
申込不要！**

特別なおもてなしは必要ありません。普通の食事、普通の部屋に泊まり、農作業などを体験するのが農家民泊といわれるものです。お客さんには親戚の家を訪ねる感覚で来ていただき、受け入れる側は自分の子供が帰ってきた感覚で受入れかつ副収入を得ることができます(4人宿泊で2万円程度)。そんな農家民泊を知っていただく集いを企画しました。ぜひご参加下さい！

日時:2014年4月18日(金) 午後2時～4時
場所:藤野総合事務所4階大会議室
(相模原市緑区小淵2000番地 JR藤野駅徒歩3分)
講師:山梨県立大学 教授 前澤哲爾氏

主催・問い合わせ先:藤野地区まちづくり会議 藤野地域力サポート部会
電話 042-684-9503/080-5448-7138



期待される行政のバックアップ

藤野観光協会では、平成 26 年度中に民泊受入希望者の集約と旅館業法など関係法令の許可取得を目指しているが、課題も抱えている。それは、神奈川県では民泊に関する制度が確立されておらず、許可取得までに時間を要する可能性があることである。

農家民宿を開業するために必要な旅館業法等の関係法令の許可は概ね県で行われているが、市の支援体制によりその期間は大きく異なる。実際、市として全面協力している栃木県大田原市では、第 1 号の許可取得までにわずか 2 週間であったが、山梨県では第 1 号の許可取得に 2 年間を要している。本市は政令指定都市であるため、許可業務を市で行える可能性が高く、どの窓口で、どの手続きができるかを予めはっきりさせておくなど、市としての協力体制を整え、第 1 号の許可取得がスムーズにできることが今後の事業展開に弾みをつけることになると思われる。

また、許可取得にかかる手数料（3 万円程度）や、受入れに必要な修繕や物品購入にかかる費用の一部を地域活性化交付金などで助成できると、希望者が手を挙げやすくなり、事業の拡大につながるであろう。

地域力の向上にむけて・・・

現在は藤野観光協会が主体となって進めているこの民泊事業であるが、今後は主体組織として「民泊事業促進協議会」を設立するとともに、この協議会を移住促進事業の主体機能をも持ち合わせた組織にし、専従者を配置することも視野に入れている。協議会の運営に必要な費用を助成できると、十分な専従者の配置が可能となり、中山間地域の雇用確保にもつながっていくと考えられる。

また、藤野観光協会以外でも地域活性化に向けた取組は活発に行われている。藤野地区まちづくり会議では空き家バンクや地域おこし協力隊について先進市である秩父市を視察し、移住者促進や地域の担い手育成など地域力の向上に取り組んでいる。なお、本市において地域おこし協力隊で総務省の支援が受けられる地域は、山村振興法の指定を受けている旧青根村・旧鳥屋村・旧牧野村（いずれも昭和 25 年 2 月 1 日の区域）のみだが、この地域であればどんな活動がふさわしいのか検討が始められている。

第4章

中山間地域の目指す将来像と行政・地域の役割、 取組の検討

第4章 中山間地域の目指す将来像と行政・地域の役割、取組の検討

1 中山間地域の現状と問題点の整理

序章から第3章において、中山間地域の現状と地域で起こりうる課題（将来予測）、地域住民が主体となって取り組む課題等について様々な角度から抽出、整理してきた。本章では、各章の結果や他自治体で進められている地域活性化施策等を踏まえ、本市の中山間地域が目指す将来像と行政・地域の役割、取組等について、特に行政職員の役割（視点）から検討していくこととする。

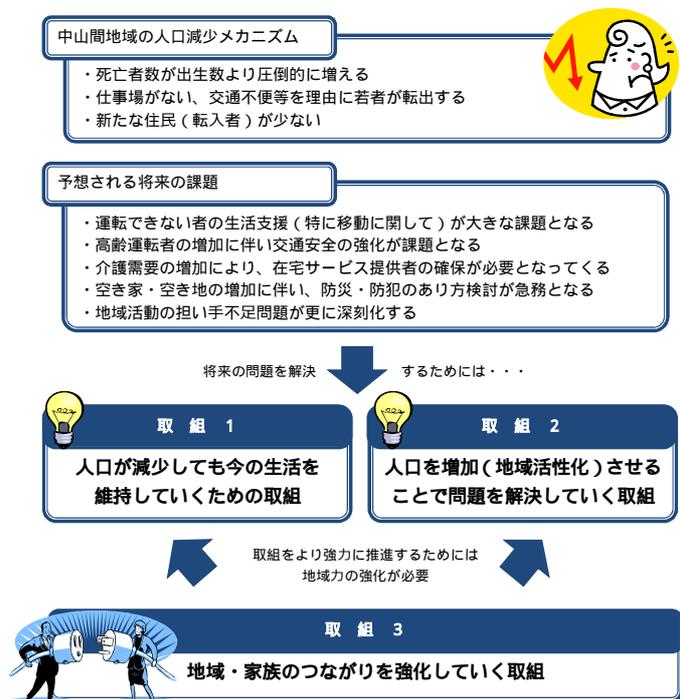
(1) 本調査研究結果から抽出された現状と課題点

本調査結果から抽出された地域の現状及び地域で起こりうる課題を今一度整理すると、図表4-1のとおりである。また、これらの課題を解決していく取組は「人口が減少しても今の生活を維持していく取組（取組1）」と「人口を増加（地域活性化）することで問題を解決していく取組（取組2）」に大きく分類することができる。

これから地域で起こりうる課題を解決していくためには、この取組1と取組2を地域の実情に合わせて、バランスよく取り組んでいかなければならない。なぜなら、取組1だけでは地域住民の生活は維持することは可能だが、人口増加にはなかなか繋がっていかない。一方、産業誘致や都市基盤の充実を図る政策が中心となる取組2だけを推し進めれば、そもそも課題と考えられていることは起きないかもしれないが、現在の経済状況や厳しい財政状況等を踏まえると、実現するには時間を要すると思われる。さがみ縦貫道の全面開通や中央リニア新幹線の整備等により、津久井方面の都市基盤は劇的に変化する可能性はあるものの、その波及効果が現れる前に地域はさらに深刻な状況となっている可能性もある。どちらの取組も一長一短なのである。

また、これらの取組を強力に推進していくためには地域力の向上は欠かせない。「地域・家族のつながりを強化していく取組（取組3）」という視点もとても重要となってくる。

図表4-1 抽出された中山間地域の現状と将来予測される課題

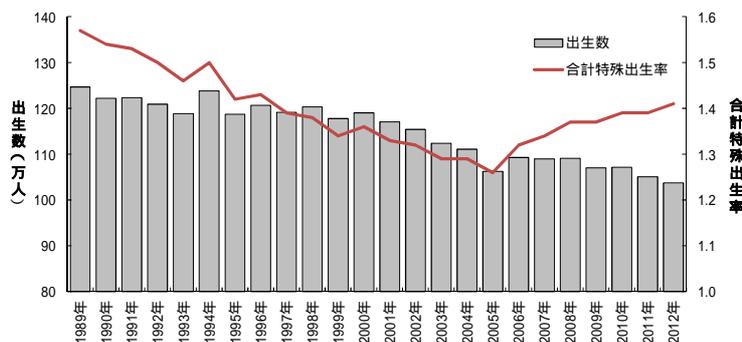


(2) 目指すべき将来像を考えていく前提

地域の人口減少が進む一番の要因は、死亡数が出生数を大幅に上回るころにある。人口構成上、一番のボリュームである団塊世代がこれから10年～15年の間に70歳～80歳という年代となるため、今後、人口減少が急速に進展することは避けられない事実である。

この人口減少を回避するためには出生数をあげるか、或いは他の地域からの転入を増やすしかない。しかし、出生数の代表的な指標である合計特殊出生率は回復傾向であるものの、現状の人口を維持する人口置換水準値 2.07 という数字には遠く及ばない。

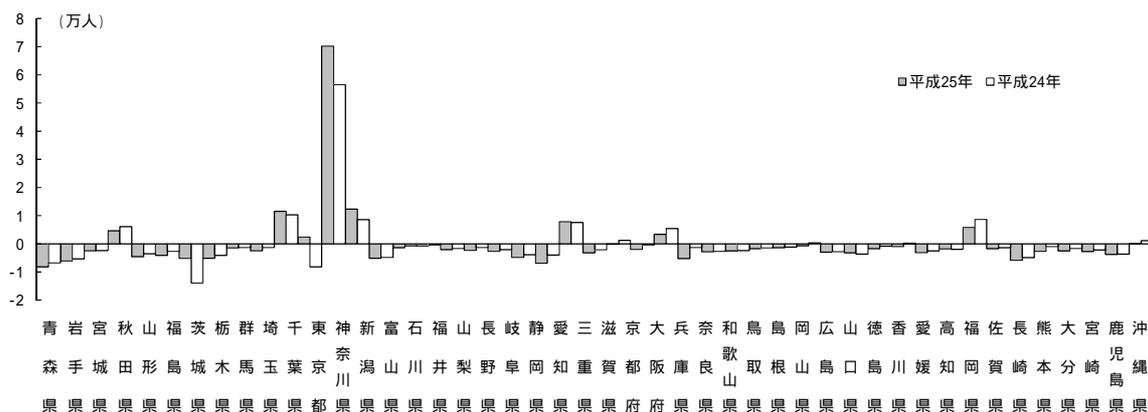
図表 4-2 出生数と合計特殊出生率の推移



出典：平成 26 年我が国の人口動態（厚生労働省）をもとに作成

また、転入についても、住民基本台帳人口移動報告平成 25 年結果（総務省）によれば、東京圏は 96,524 人で 18 年連続転入超過となっているが、その内訳をみると、6 割強は特別区内への転入であり、東京圏にある政令指定都市であっても、人口減少が急速に進んでいくことは間違いない。そのような状況を踏まえると、これからの中山間地域の将来を考えていくためには、これらの事実とともに以下の点について留意しておく必要がある。

図表 4-3 都道府県別転入・転出超過数（平成 25 年度、平成 24 年度）



出典：住民基本台帳移動報告（総務省）をもとに本市作成

合計特殊出生率：その年次の 15 歳から 49 歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1 人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生涯の間に生むとしたときの子どもの数に相当する。平成 23 年度は 1.39。

人口置換水準値：人口が将来にわたって増えも減りもしないで、親の世代と同数で置き換わるための大きさを表す指標である。人口置換水準に見合う合計特殊出生率は、女性の死亡率等によって変動するので一概にはいえないが、日本における平成 24 年の値は 2.07 である。

東京圏：東京圏は東京都、神奈川県、埼玉県及び千葉県と定義されている

自家用車により確保されている利便性

調査結果による将来予測では、本市の中山間地域は日常生活の中心である移動や買物に関しては一定の利便性が確保される可能性が高く、今回予測対象とした30年後までは現状と大きく変化しない可能性が高い。しかし、この利便性は自家用車の利用が望めるから確保されているに過ぎず、運転が出来なくなれば、その世帯・個人は一気に過疎地域と同じ状況に陥る。そのような状況を行政（職員）はきちんと把握して、地域の将来設計を行っていかねなければならない。

地域住民が望む地域の将来像とは

また、地域の将来設計を行っていくにあたり、上記状況とともに地域の意向もきちんと把握しなければならない。アンケート調査やグループワーキングの調査結果で明らかになったように地域住民の多くは人口増加し、地域が活性化することを望んでおり、そのために必要なことは「公共交通の利便性を向上すること」と「地域内に雇用の場を確保すること」が重要だと考えている。

図表 4-4 アンケート結果自由意見（抜粋）

- ・地域活性化には仕事の導入が重要である。高齢者でないと出来ない仕事を取り入れる。(60歳代男性)
- ・通勤に不便、バスがない等の理由で近くにすむ20歳以上の人達は地域をどんどん離れています。バスが減ってしまったことは悪循環。(50歳代女性)
- ・公共交通（バス）が十分に確保されれば、東京都内等への通勤が可能となり、子どもたちが定住することが出来ると思う(60歳代女性)
- ・空気がきれいだけでは地域活性化にはなりません。中央との距離をもっと近づけない限り、課題は解決しないと思う。交通手段の確保が第一です。(70歳代女性)

行政の限界、地域の限界の共有

長引く不況が改善しつつあるものの、生産年齢人口の減少により経済成長が鈍化する可能性や高齢化による義務的経費の増大、それに伴う財政の硬直化等を踏まえると、今後、行政がこれまでのような地域サービスを担うことは困難である。

一方、地域においても人口減少、少子高齢化に伴い、活動できる人自体が減るという事実を踏まえると、これまで行政が地域にお願いしてきた防犯や防災、環境美化、地域福祉、親睦ふれあい活動等が存続できない可能性も十分に考えられる。お互いに何が出来て、何が出来ないかをきちんと理解し、互いに協力しながら地域課題を解決していく必要がある。

(3) 目指すべき将来像への取組の視点

上記前提を踏まえ、目指すべき将来像へ向けた取組を行っていくには、行政が主導するにしても、民間が主導し、行政がその取組を支援していくにしても以下の視点が重要である。

危機感の共有を如何に図っていくか

一般的に言われている限界集落とは様相は異なり、過疎地でもなく、都会でもないという中途半端な状況にある本市の中山間地域の最大の課題は、中途半端ゆえに地域の課題（危機感）が共有しづらい点にある。これから起こりうる地域課題を地域住民と如何に共有し、対策を講じていくかが重要である。そのためには、地域の中心となるメンバーを見出すこと、地域の実情を把握し、課題を可視化する作業は避けては通れない。

地域の中心となるメンバーは、自治会組織が大きな役割を果たすことは言うまでもないが、これから起こりうる地域課題は、地域に対する愛着や当事者意識を持った団体でなければ事業を推進していくことは難しい。故に課題によっては、地域内で活動するNPO団体やボランティア団体、サークル活動等、テーマ別に活動している団体を中心に考えたほうがスムーズに進む場合もあり得る。

また、地域の実情を把握するためには、図表 4-5 に示したものを把握しなければならない。これらを把握するためには、今回の調査研究で行ったようにアンケート調査やヒアリング・グループワーキング調査はとても有効である。しかし、大規模な調査は集計や分析に技量を要し、また時間も必要とする。現在、事業として実施している防犯や防災、環境美化、福祉、子育て、教育といった個別分野の講座とセットで、現在の課題を聴取する機会をつくる等、「少人数から始めるニーズ把握」、「活動団体との接点づくり」を進めることも有効な手段のひとつである。

図表 4-5 地域の実情を把握するために必要な要素

どのような点に困っているかを確認すること
地域内に困っている人が、どこに、どれくらいいるかを確認すること
困っていることを解決できる人や場所、施設がどこにあるかを確認すること

支え合いマップ（民間 住民流福祉総合研究所）

住民主体で地域の福祉力（支え合い）をどうやって強化するかを主に研究している住民流福祉総合研究所では、地域の実情を把握する方法として、「支え合いマップ」の作成方法をホームページに掲載している。

この「支え合いマップ」は、地域住民の支え合い実態を住宅地図に記し、その結果から、福祉のまちづくりへの取組課題を探し出すという手法である。

具体的には、50世帯を1つの調査単位として、その調査単位から5名程度の住民に参加してもらい、近所の様子（例えば、どんな要援護者が住んでいるのか、その人に誰がどのように関わっているか、どんな生活上の問題を抱えているか等）について語ってもらい、その情報（関係性）

を地図上に落とすと、住民がどのように繋がっている（支えあっている）のか、そして、どのような問題があるのかが浮かび上がってくる。これをもとに地域で取り組む課題、解決策を考えていくというものである。

この「支え合いマップ」を作るにあたってはいくつか留意すべき点がある。それは、支え合いの実態は、複数の人の情報を集約することでようやく見えてくるものなので、民生委員や関係機関の職員が1人で作ってはいけないこと、住民（ご近所）のお互いがわかる範囲はせいぜい50世帯であり、それ以上の範囲を超えてマップづくりをしないこと、マップを作ることが目的ではなく、地域（ご近所）課題を抽出し、解決していく方法を考えることが目的であることを念頭に入れることである。

支え合いマップ入門 <http://www5a.biglobe.ne.jp/~wakaru/mapnyumon.pdf>

出典：住民流福祉総合研究所ホームページ

【支え合いマップのイメージ】



身の丈にあった取組・目標設定の必要性

危機感を共有するとともに重要なのは、置かれている現状をもとに地域で何が出来るのかをきちんと考えることである。つまり、地域の将来像を具体的に地域住民と共有（イメージ）し、適切な目標に向かって取組を行うことである。

例えば、将来の地域像を「地域外の人が訪れた際に懐かしさを感じられるような地域にしたい」というイメージが共有されたとすると、「空き家等を活用して民泊事業をやってみては

どうか」や「地域で昔から行われている行事や祭事を体験メニューとして組み込んでみてはどうか」等、イメージを実現するためのアイデアは自ずとわいてくる。行政は「地域住民は地域の将来をどうしたいのか」、「地域を活性化するということはどういうことなのか」を地域住民と一緒に考えることが重要である。そうすることで地域住民には主体性が生まれ、活動へのモチベーションに繋がっていく。

また、その取組は右肩上がりの発展が望めない前提（将来）を踏まえると、必ずしも人口増加に繋がる取組とは限らない。急速な人口減少による地域における不便を少しでも緩和するような取組も視野に入れる必要がある。

地域資源の活用

財政的に厳しい状況や活動できる人自体が減少する今後においては、如何に地域の資源を活用し、効率よく課題解決につなげていくかが重要である。地域資源となりうる場所や特産物及び地域で活動をしている人、団体、事業所等を把握し、これを如何に効率よくネットワーク化していくかが地域政策を考える上で重要な視点となる。

先進事例

地域資源を活かした移動支援

送迎バスの空席を活用した高齢者等外出応援事業（千葉県我孫子市）

千葉県我孫子市では、高齢者や障害者の日中の外出支援として、市内の病院や自動車教習所、大学、市の福祉施設等が運行する送迎バスに施設利用者以外でも無料で乗車できる「送迎バスの空席を活用した高齢者等外出応援事業」を平成 17 年 3 月より実施している。主な事業内容は以下のとおり

【送迎バス利用パスポート】



- ・ 運行ルートは各事業所の送迎ルートで、乗降方式はフリー乗降や専用停車場所に限る等、路線によって異なる。
- ・ 利用できる時間帯は原則として、平日の 9:00～17:00（送迎バスの運休日は除く、一部ルートでは土日でも運行）
- ・ 利用できる者は市内在住の 65 歳以上の高齢者または障害者であり、原則 1 人で乗降できる人に限定（介助者の同伴で乗降できる人も可）
- ・ 送迎バスの利用希望者は市へ送迎バス利用パスカードを申請し、乗車時にはパスカードを提示して乗車。ただし、事業者の利用者で座席が満席の場合は乗車できない。

この事業は市と協力事業所（平成 25 年 3 月現在 11 事業所）との間で協定書を取り交わし、協力事業所の厚意というスタンスで実施されており、あくまでも高齢者や障害者の外出支援の補助手段として実施されている。そのため、事業所の利用者で満席の場合には乗車できないが、地域住民からは「買物時の重たい荷物持たなくなって良くなった。」等の好意的な意見が寄せられ、年間 1,400 人程度の利用があり、地域の高齢者等の貴重な外出の足となっている。

地域で運行している送迎バスの空席を有効活用しているため、新たに車両を購入する必要もなく、通常のコミュニティバスや乗合タクシーよりも安価に実施できることが最も利点であり、市の負担は送迎バス車両の座席に対する保険料やパスカード発行にかかる費用等、総額 100 万円程度となっている。

出典：地域公共交通支援センター 地域公共交通活性化事例

2 地域課題の解決にむけた取組の検討

(1) 移動に関する地域課題の取組検討

移動に関する地域課題の最も大きな要因は、アンケート調査自由意見やグループワーキング調査結果にもあるように公共交通機関の不便さにあり、その結果、自家用車を中心とした生活にならざるを得ないという現状である。不便が故に公共交通機関を利用しない(出来ない)公共交通機関の採算性が悪化 公共交通機関の便数削減 更に公共交通機関が不便となり利用しない(できない)という地域はまさに悪循環に陥っている。

この問題を解決するためにはコミュニティバスやデマンド交通、乗り合いタクシー等、基幹公共交通を補完する仕組の導入やそれらを地域で導入する際の補助金交付等、比較的予算規模が大きいものが行政として期待されている役割である。しかし、これらの制度を導入、維持するためには、営業収支について考慮する必要がある、住民も自家用車の利用を制限し、バス等に乗る等、いわゆる「買い支え」的な覚悟も必要となることは言うまでもない。

一方、地域として取組が可能ではないかと考えられていることは、近所への声かけ等により同じ目的地まで一緒に行くことや代わりに買物を代行してあげる等、近所のつながりの強化につながるような行為が多かった。そういう意味では、相模湖地区社会福祉協議会で実施されている「ついでにちょっと乗っていきなよ」制度や厚木市森の里地区で実施されている「厚木市地域住民乗合交通事業(森の里ぐるっと)」は参考となる事例である。

先進事例

地域住民が主体となった地域内巡回バス

厚木市地域住民乗合交通事業(森の里ぐるっと)(神奈川県厚木市)

緑豊かな丘を開発した厚木市森の里地区は小田急線本厚木駅と愛甲石田駅の間に位置し、閑静な郊外住宅地の典型である。

1周3.5km程の地域内にはスーパーや銀行、公民館、病院等が1カ所に集まっており、大半の用事は地域内で済ませることは可能である。しかし、それらの店舗は地域内で一番低い場所に立地しているため、地域住民は買い物に出かけると、重たい荷物を持って坂道を登る格好となる。

開発から20年以上が経ち、地域の高齢化も進み、お年寄りや子育て世代の買物、通院、公共施設等への移動が負担となっていることが課題であった。

そのような中、地域の課題解決に取り組むことを目的に自治会役員経験者が中心となって設立された市民団体「森の里ふぉーらむ」が提案した「路線バスでは困難な地域内循環のコミュニティバスを地域内に運行させる計画」が「平成21年度厚木市市民協働提案事業制度」(事業期間は平成22年度～平成

【森の里ぐるっと】



25年度の4年間、ただし負担金期間は平成23年度より3年間)として採択され、地域へのアンケート調査、ルート決定のためのワークショップを経て、平成23年10月より「森の里ぐるっと」として地域住民乗合交通の運行をスタートさせた。この「森の里ぐるっと」の特徴は以下のとおりである。

- ・地域住民乗合交通のため、運賃は無償。
- ・停留所方式による週3回(月・水・金)1日に8便の運行。(ルート内自由乗降可)
- ・車両は8人乗りワゴン車で運転手と助手の2人体制(6名の送迎)
- ・初めての利用者には事故時の補償等の重要事項を説明して、パスポートを発行、乗車してもらう。
- ・ガソリン代を除く車両に関する経費は市が負担、運行にかかる経費は運営者が負担。
- ・運行にかかる経費は市から受託した地域の除草作業等により賄っている。
- ・将来の安定成長を目指し、一般社団法人厚木ぐるっとを設立し、組織体制を固める。

運行開始後、利用者は着実に増えていき、平成24年度の利用者数は4,500人を超え、地域の足として定着しつつある。しかし、地域交通で一番のネックとなるのは事業の採算性であると一般的に言われている。

「森の里ぐるっと」は無償運行のため、事業に係る経費を運賃から見込むことはできない。また、平成25年度までは市との協働事業であるため、ガソリン代を除く車両経費は市が負担しているが、協働事業期間が終了する平成26年度以降はその経費(車両リース代等)も含め、すべて自分たちで賄わなければならない。事業を継続するためには、何らかの手段で資金を得なければならない。

そのため、代表理事を中心として、現在、運営の原資となっている市からの受託件数の増加に向けた取組や地区内企業へのアプローチ、車両に関する経費を捻出するために「厚木ぐるっと基金」を創設する等、様々な営業努力を行っている。

その成果もあり、平成26年度以降も安定的な運営が見込まれるとともに、平成26年度の収入ベースが続くと、4年後には新車の購入も可能となる見込みである。

出典：森の里ぐるっとホームページ

(2) 介護に関する地域課題の取組検討

15年後には介護を必要とする人が現状の3倍となり、地域内に介護の担い手が不足すると予想される将来においては、同居、別居を問わず、家族が中心となって支援をしていくのは当然のことである。しかし、人口自体が減る時代においては地域全体で高齢者を支援していくという考え方も非常に重要となってくる。そのためには、まず人と人が繋がるのが大事である。

グループヒアリングの結果に目を向けてみると、地域内で見守りを行うことや顔と顔の見えつながりを構築することは可能だと考えられていることは大きな望みである。行政はこのような意識に如何に寄り添い、育て、支援していくかが大きな役割となる。その方法は場所の確保や、人材・資金の確保、活動団体や地域の商店、資源等のマッチング、ネットワーク作りなど様々考えられる。

都営亀戸 9 丁目 2 号棟自治会の取組（東京都江東区）

江東区都営亀戸 9 丁目 2 号棟自治会には約 200 世帯が住んでいる。10 数年前にアパート内で孤立死や孤立死寸前の事例が起きたこともあり、早い時期から自治会として高齢者見守りの必要性を感じていた。平成 20 年度に、区が推し進めていた支えあいマップづくりを柱とした「高齢者地域見守り支援事業」のモデル地区に選定されたこともあり、外部アドバイザーの支援を受け、支えあいマップの作成に着手した。

支えあいマップは主に一人暮らしの高齢者や住民のたまり場を地図に記し、付き合いのある世帯同士を線で結ぶという形で作成した。すると、一人暮らしの高齢者を家族同然に世話している隣人の状況や地域住民と全く関わりのない人がいることが浮かび上がってきた。このマップづくりを通じて、地域に見守り意識が高まり、平成 21 年度に自治会の自主防災組織（災害協力隊）に見守り班が設置され、「電気がついている

【支えあいマップ作成風景】



か」、「ポストに郵便物等が溜まっていないか」等の外観見守りのほか、見守り対象者とつながりのある住民からの情報収集や声かけ、戸別訪問等、積極的に見守り活動を現在行っている。

一方、行政は活動拠点となる場や住民が気軽に集まり、情報交換が出来る場の設置に係る費用の助成や先進地への視察、活動地域住民以外の区民も対象としたセミナーを開催するなど、地域で見守りを行う機運の醸成を行い、地域活動の後押しを行っている。（高齢者地域見守り支援事業は、現在、社会福祉協議会が市からの委託事業として受託し、実施している。）

出典：東京都高齢社会対策部 東京都における高齢者見守り活動・事業事例集

(3) 空き家・空き地に関する地域課題の取組検討

今後、地域に空き家・空き地が増えることは間違いない。地域の防災、防犯を考えていく上でこの問題はとても重要な課題となるが、個人的資産でもあるため、行政、地域とも踏み込んで何かをするというのはなかなか難しい現状がある。

そのような状況の中、日本各地で取り組まれている空き家・空き地対策を大きく分類すると、空き家・空き地に移住（売却・賃貸）してもらおう、空き家・空き地を活用し、地域の拠点をつくる、空き家・空き地を適正に管理する、の3つに分類できる。その中でも「空き家・空き地を活用し、地域の拠点をつくる」取組は地域が主体となって取り組みやすく、地域住民の見守り事業や活性化施策と連携しやすい取組である。

ひゃくえん喫茶「みのる」(岐阜県大垣市)

岐阜県大垣市「青野ふるさと福祉村」では、誰もが住み慣れた地域で安心して尊厳を持って暮らし続けられるために自治会役員、民生・児童委員、福祉推進委員、赤十字奉仕団、食生活改善グループ、老人会等が一体となって、支え合いや助け合いによる福祉コミュニティづくりを行っている。

その活動は高齢者や子育て世代向けのサロンの運営や三世代ふれあい事業等、様々であるが、その中で特徴的なものが「ひゃくえん喫茶『みのる』」の運営である。

この「青野ふるさと福祉村」とは、当時、岐阜県が推し進めていた「ふるさと福祉村構想」に基づき、大垣市社会福祉協議会の支援のもと、青野町自治会が中心となって平成18年5月に設立され、行政サービスや社会福祉協議会等が実施する地域福祉活動と連携しながら、地域で求められている生活支援サービスや福祉教育、人材の育成などに取り組む新たな地域福祉活動組織である。

青野町自治会では、青野ふるさと福祉村設立以前から、高齢者を中心とした交流の場として「サロン青野」を月1回、運営していた。その中で「月1回のサロンでは物足りない」、「毎日でも気軽に集える場所が欲しい」という声が多く聞かれるようになり、町内の空き民家を借用し、「サロン青野」の縮小版で、常設サロンとして「ひゃくえん喫茶『みのる』」を開設させた。

「ひゃくえん喫茶『みのる』」は、毎週火・木・土の午前中に開催し、利用料金は1人1回100円でコーヒーや紅茶などを飲みながら、住民が気軽に集まれる場を提供しているが、特徴的なのは運営スタッフが全員町民ボランティアという点である。開設にあたり、店員(世話役)として自治会員に広くボランティアを募集したところ、自治会員の約1割にあたる80名から応募があり、常時4~5名が毎回交代して運営にあっている。そのため、ある時は運営スタッフ、また、ある時はお客として店を訪れ、一杯のお茶を飲みながら楽しいひと時を過ごしている。また、喫茶以外にも健康体操や手芸教室等の催しも開かれており、地域の皆に愛される交流拠点となっている。

【ひゃくえん喫茶みのるの風景】



出典：大垣市社会福祉協議会ホームページ

(4) 地域資源を活用した取組の検討

地域資源を活かし、地域活性化を図る取組にはそれぞれの地域が持つ強み、弱みを含めて徹底的に洗い出しすることはもちろん重要だが、それ以上に重要なことは前述のとおり、地域の将来像を具体的に地域住民と共有(イメージ)できるかである。そのためには膝を突き合わせた関係作りが大切なのは言うまでもない。

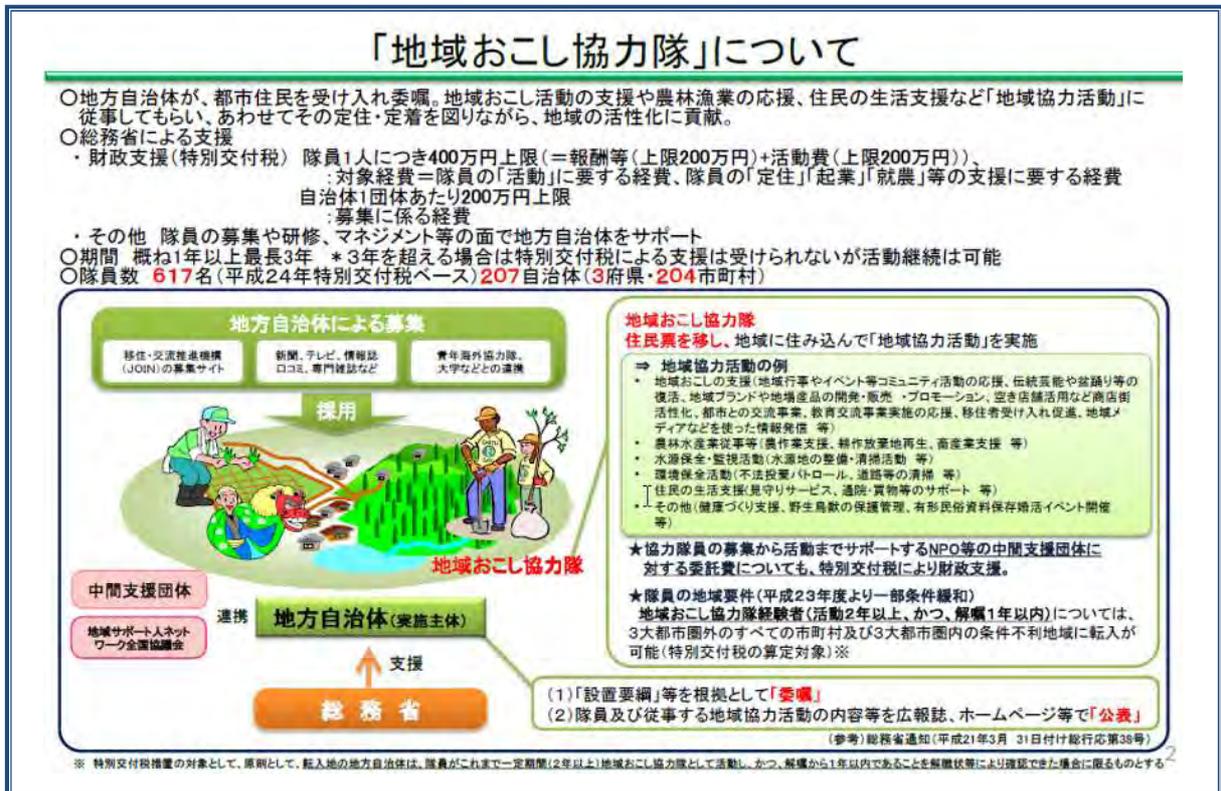
一方、新たな事業に取り組む時には資金が必要となることが多い。地域活性化交付金以外にも国や県、財団組織、企業等、多くの団体で助成金、補助金を募集しているので、どういう助成金、補助金があるか常日頃からアンテナを高く張っておく必要がある。

地域おこし協力隊による地域活性化の取組（埼玉県秩父市）

埼玉県秩父市では、総務省の支援を受けて地域おこし協力隊による地域活性化に取り組んでいる。（地域おこし協力隊の制度については、下図参照。）

平成 25 年度、秩父市で活躍する地域おこし協力隊員は 2 名。1 名は田舎暮らしを実践する中で地域の高齢者の健康促進事業に取り組むほか、田舎暮らしの魅力を P R することで秩父市への移住促進につとめている。もう 1 名は秩父市の伝統的な工芸品として有名な「秩父銘仙」を普及・保存するため、地域の小学校などで出前講座、市内外で「秩父銘仙」の展示会や織機実演などのイベントを行うほか、メディアへの P R 活動を行っている。

いずれの活動も地域が有する有形、無形の資源の魅力を再発掘し、市内外へ発信することで地域への観光誘客、移住促進などの活性化へ繋げることを目的とし、一定の成果をあげている。



出典：総務省ホームページ

3 おわりに

団塊の世代が皆 75 歳以上となり、年金、医療、福祉等の社会保障費が増大するほか、様々な面で問題が発生すると言われるいわゆる「2025 年問題」まであと 10 年となった。本市においても 75 歳以上の高齢者は現状の 54,000 人程度から 121,000 人程度まで増加すると見込まれ、税収が伸び悩む現状を踏まえると、今以上に財政が硬直化し、住民サービスの向上が進まなくなる可能性は高い。行政はこの事実を真摯に受け止め、「自助・共助・公助」の視点から真剣に対策を講じていかなければならない。

今回の調査研究は、そのような社会状況を踏まえ、市街地地区よりも人口減少に起因した地域の課題が顕在化するのが早いと想定される中山間地域を含む地区の実態を明らかにするとともに中山間地域が目指す地域の将来像とそれに向けた行政と地域の役割に焦点をあて、先進事例の紹介も含め、地域の将来設計に必要な視点を示唆してきた。

本市の中山間地域は大都市圏内という地理的条件もあり、一定の利便性が確保されており、いわゆる限界集落とは様相が異なるのは前述のとおりである。故に、人口減少・地域活性化といっても他地域で成功をおさめている地域活性化方策をそのまま持ち込んでも成功するとは限らない。地域の将来像及びそれに向けた地域の取組は地域の実情によって異なるため、一律の答えはなく、その地域に存在する資源、人材、予算を活用し、多くの主体を巻き込みながら行政と地域が連携し取り組んでいく必要がある。

最後になるが、本調査研究を終えるにあたり、これからの地域政策に必要なと感じたことを追記しておきたい。

儲けを意識した取組の必要性 ~ ボランティアの限界 ~

高齢化による義務的経費の増大による財政の硬直化、人口減少による慢性的な人材不足が進む今後を考えると、今まで以上に「共助」という概念がクローズアップされる。しかし、「共助」という概念のもと、地域で新たな事業を立ち上げようとした場合、とかくボランティアによる活動となりやすい。もちろん、高齢者の見守り支援等はボランティアによる活動で成功している事例も多く存在するため、ボランティアによる制度設計を否定するわけではないが、慢性的な人材不足が予測される今後においては、強い意思のもと、活動を行っている人であっても、活動を負担に感じることも考えられる。

また、その人が何らかの理由で活動から欠けてしまった場合に取組自体が停止してしまうこともあり、本当に大事なものは、活動に携わる人達が如何に負担を感じずに意欲をもって活動を持続できるかであると考え。そう考えると、少額でも収益があることは活動意欲につながるのではなかろうか。

このことは、助成金頼みとなっている活動が多い現状にも通ずる。せっかく良い取組を地域で行っていても、助成金がなくなった時点で活動が終了してしまっただけではもったいない。ビジネス的な感覚も取り入れ、如何に持続できる仕組みを作り上げるかがこれからの制度設計には必要な視点と思われる。

住民の活動意欲を持続させるのは行政の仕事

地域活動を推進していく方法は行政が主導し、民間（地域）が継続していく方法と民間（地域）が主導し、行政がその取組を支援していく方法の2通りあることは前述の通りである。どちらの方法にしても活動がある程度軌道に乗ったのであれば、行政は住民の活動（意欲）を如何に持続させるかに注力する必要がある。そのためには、ビジネス的な視点とともに活動を積極的に外部へアピールすることが大事である。

どんな成功事例であっても、活動が継続するにつれ、どうしてもモチベーションが下がり、活動が停滞する時期がある。その大きな要因は、活動の成果が見えづらいところにある。そういう時期に行政が活動を積極的に情報発信し、外部からの評価（表彰）をうけることで、住民は活動に自信を持つとともに新たなやる気につながっていく。また、周囲の活動に対する目も変化し、活動自体がスムーズに行えるという相乗効果も期待できる。

平等から選択と集中という考え方へ

日常生活における多様なサービスの多くは市場の原理で動いている。そのため、儲けが薄い地域は当然のようにサービスの提供量は少ない。そう考えると、これから人口減少が急速に進展する可能性が高い中山間地域においては、今以上に日常生活の利便性が低くなることは明白である。

しかし、これから起きると予想される地域課題を解決していくためには行政、地域、企業等が連携しなければ、一筋縄には行かず、地域住民が安心して日常生活を送るためには、今後、行政も市場の原理で動いている分野についても、公共サービスの一部として積極的に取り組んでいかなければならない。

これまで行政には市場の原理で動いていない部分について、誰もが平等にサービスを受けられるように税金を投入するとともに特定の営利事業者の支援となることが無いように公平性の確保が求められてきた。公民館等の公共施設内で特定の事業者が営利を目的とした使用に制限があるのはその例である。この使用制限については、平成7年の文部省通知により、一定の要件のもとであれば、営利事業者が公共的利用をすることが可能との見解が示されたものの、行政内部では慎重な意見が今も多い。しかし、地域資源が限られている地域では、杓子定規な判断をしては、住民サービスは進まないどころか維持さえ難しい。特に買物支援については

営利事業者の利益に大きく関与しようとも、強力なタッグを組んで事業を推し進める必要があるのではないか。

地域政策担当の職務は求められる職員像そのものである

地域政策担当の職務は、地域で起きる様々な課題を行政内部の縦割りの思考ではなく、地域という視点から「横串」を刺して課題解決をすることであり、地域と行政を繋ぐパイプ役であるとよく言われている。

耳触りのよい言葉で表現すれば、確かにその通りであるが、実際にこの職務を遂行するためには、地域を詳細に観察・分析する能力や企画提案力、折衝・行動力等、様々な能力を必要とし、地域とともに汗をかき、行政職員ではあるが、時には地域のために行政（本庁）と戦うぐらいの熱意と意気込みがなければ、その職務は全うできない。

決まったやり方がある訳わけでもなく、自らの創意・工夫によって地域をコーディネート（プロデュース）する職務は、行政職の中でも一番の技量を要する職種といっても過言ではなく、まさに、職員研修計画に掲げられている「求められる職員像」の体現、そのものである。

そう考えると、地域政策担当でなくても、地域政策担当の業務に必要なスキルの向上に主眼を置いた研修を実施していく必要があるのではないか。特にこれから予想される地域課題に直結するような「地域を分析する能力（手法）」や、「地域の課題（危機感）を共有する能力（手法）」、「地域内活動の後継者発掘や人材育成を促す能力（手法）」等、実践的かつ具体的な研修は重要であると考えられ、職員研修所が中心となって特別研修または階層研修の1つとして全職員を対象とした研修に体系づけられることを期待する。

參考資料

1 中山間地域における日常生活実態アンケート調査票

アンケートの前に、まずは以下の説明文をおよみください



○津久井・相模湖・藤野地区の将来人口

本市の総人口は、平成 25 年 8 月現在 720,203 人ですが、急速な少子高齢化の進展を背景に平成 31 年（2019 年）の 73 万 2 千人まで減少すると推計されています。

高齢化率（65 歳以上の人口比率）も平成 22 年（2010 年）は 19.3%ですが、平成 72 年（2080 年）には 42.3%まで増加し、全国平均を上回ると推計されています。

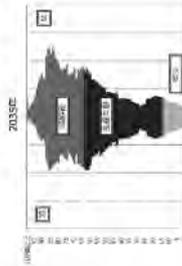
市の人口減少が予想される中、中山間地域を含む津久井・相模湖・藤野地区では既に人口減少が始まっており、他の地域よりも高齢化率が高い現状や若年層の流出、少子化傾向が高い等の理由から、平成 72 年（2080 年）には高齢化率は 60%を超える、人口も現在の半分以下となり、地区によっては出生率が 0 となる恐れも言われています。

○人口減少がもたらす地域課題

地域の人口減少が進むと、その地域の経済活動が低下する。また、商店や交通機関等は採算性等の理由から、サービスの縮小や撤退が進み、地域は静寂とともに、利便性が失われていくと一般的に言われています。

また、地域の利便性が失われていくことで、利便性を求める住民（特に若者世代）が地域外へ流出し、自治会・町内会活動をはじめ、防犯や祭事等の担い手が減り、やがて、今まで行われてきた地域活動の存続も難しくなると考えられます。

津久井地区の人口ピラミッドの推移



津久井・相模湖・藤野地区の人口推移

| 2010 年（平成 22 年） | | 2060 年（平成 72 年） | |
|-----------------|-------|-----------------|------|
| 人口 | 高齢化率 | 人口 | 高齢化率 |
| 10,326 | 62.1% | 18 | 0 |
| 2,689 | 70.3% | 0 | 0 |
| 2,590 | 65.9% | 0 | 0 |

まとめ



地域の人口減少が進むと、以下のような問題が発生する可能性が高い

- 商店や公共交通機関等のサービスが低下
- 公共施設（学校や公民館等）の縮減
- 担い手不足によるお祭り等の伝統的文化的行事の衰退
- 変遷を必要とする高齢者や障害者への支援機能の低下
- 空き家、休耕地等の増加による不法投棄の増加や治安・景観悪化
- 担い手不足による消防団、防犯パトロール等の防犯活動の衰退

平成 25 年 9 月

『中山間地域における日常生活実態調査』ご協力をお願い

市民の皆様には、頃頃から市政にご理解とご協力をお願いがございまして、さて、近年、急速な少子高齢化の進展や人口減少により、私たちの生活環境は大きく変化することが予想されます。

特に中山間地域を含む地区においては、他の市街地並みよりも少子高齢化の進展や人口減少に起因する地域課題が顕在化する時期が早いと予想され、今から地域特性を考慮した対応が必要とされています。

今後のまちづくりを考えていく上で、皆様の生活実態や生活の上での課題を把握することは重要であり、このたび、青野原地域・千本良地域・名倉地域に居住する 20 歳以上の方を対象に、日常生活に関するアンケート調査を実施することになりました。

このアンケートは〇を避けた方は個人で全体の「%」等の形で集計するもので、回答された方が特定されることは一切ございません。また、集計結果につきましては平成 28 年 3 月頃に研究報告書の一部として相模原市ホームページで公表する予定です。

お忙しいところ大変恐縮ですが、趣旨をご理解の上、ご協力くださいましたことを心より感謝いたします。
相模原市長 加山 俊夫

「ご記入いただく上でお願い」

- 平成 25 年 9 月 1 日現在の状況でお答えください
- 返事またはボールペンを使用してください
- 回答については、あてはまる選択肢の番号を〇で囲んでください
- ご自分のご意見に近い選択肢がない場合は、「その他（ ）」の選択肢の番号を〇で囲み、（ ）の中にその内容を具体的に記入してください
- 一部の方だけに限定している質問もありますが、その場合は説明文に従ってください
- 返信用封筒には何も記入しないでください

ご記入いただいた調査票は同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに

平成 25 年 9 月 20 日（金）まで にご返信ください。

この調査に関するご不明な点は、市役所内の下宿部までお問い合わせください。

（問い合わせ先）
相模原市役所 企画財政課 企画部 企画政策課
さがなはら市市民ららい建設所
番 話：012-769-9224（直通）012-764-1111（代表）内線 2375
メー ル：surv@city.sagamihara.kanagawa.jp

1 はじめにあなたについてお伺いします。(平成 25 年 9 月 1 日現在)

問 1 あなたがお住まいの地域はどちらですか。あてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

1. 背野原地域 2. 千木良地域 3. 名倉地域

問 2 あなたの性別はどちらですか。あてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

1. 男性 2. 女性

問 3 あなたの年齢はいくつですか。あてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

1. 20～24 歳 2. 25～29 歳 3. 30～34 歳 4. 35～39 歳
5. 40～44 歳 6. 45～49 歳 7. 50～54 歳 8. 55～59 歳
9. 60～64 歳 10. 65～69 歳 11. 70～74 歳 12. 75～79 歳
13. 80～84 歳 14. 85 歳以上

問 4 あなたは自動車またはバイクの運転免許をお持ちですか。あてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

1. 持っている →問 5 へ
2. 持っていない →問 6 へ

問 5 は問 4 で「1.持っている」とお答えした方にお伺いします。

問 5 あなたは自動車やバイクをどの位の頻度で利用していますか。あなたの状況に一番近いものに○をつけてください。(○は1つ)

1. ほぼ毎日 2. 週に2～3 回程度 3. 週に1 回程度 4. 2～3 週間に1 回程度
5. 月に1 回程度 6. ほとんど運転しない

問 6 あなたは次のうち、どなたと同居されていますか。あなたから見た続柄であてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 配偶者 2. 子 3. 子の配偶者 4. 孫
5. 父(義父含む) 6. 母(義母含む) 7. 祖父(義祖父含む) 8. 祖母(義祖母含む)
9. 兄弟・姉妹 10. その他親族 11. その他(具体的に:
12. 同居者はいない)

問 7 あなたと同居されている方で、自動車を運転されている方はいらっしゃいますか。あなたから見た続柄であてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 配偶者 2. 子 3. 子の配偶者 4. 孫
5. 父(義父含む) 6. 母(義母含む) 7. 祖父(義祖父含む) 8. 祖母(義祖母含む)
9. 兄弟・姉妹 10. その他親族 11. その他(具体的に:
12. 同居者はいない)

問 8 あなたは世帯主ですか。あてはまるものに○をしてください。(○は1つ)

1. はい →問 9 へ
2. いいえ →7 ページ問 15 へ

問 9～問 14 は、問 8 で「1.はい」とお答えした方にお伺いします。

2 あなたのご家庭の状況についてお伺いします。(平成 25 年 9 月 1 日現在)

問 9 あなたは世帯全体で昨年 1 年間にどの位の収入(税込み、年金収入を含む)がありましたか。あてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

1. 100 万円未満 2. 100 万円以上～200 万円未満
3. 200 万円以上～300 万円未満 4. 300 万円以上～400 万円未満
5. 400 万円以上～500 万円未満 6. 500 万円以上～600 万円未満
7. 600 万円以上～700 万円未満 8. 700 万円以上～800 万円未満
9. 800 万円以上～900 万円未満 10. 900 万円以上～1,000 万円未満
11. 1,000 万円以上

問 10 あなたは現在、生活する中で、経済的な不安を感じていますか。世帯全体の収入を踏まえ、あなたの考えに最も近いものに○をつけてください。(○は1つ)

1. 現在、経済的に余裕があり、今後には不安を感じていない
2. 現在、経済的に余裕はあるが、今後には不安を感じている
3. 現在、経済的に余裕はないが、今後には不安を感じていない
4. 現在、経済的に余裕がなく、今後には不安を感じている

問11 あなたにお子様はいらっしゃいますか。あてはまるものに○をつけてください。(○は1つ、□はなっていない方は除く)

| | |
|-------------|-------|
| 1. 1人 | □問12ハ |
| 2. 2人 | □問12ヘ |
| 3. 3人 | →問12ハ |
| 4. 4人 | →問12ヘ |
| 5. 5人以上 | →問12ハ |
| 6. 7人以上(多い) | →問13ハ |

問12は、問11で「子どもがいる(1～5.を塗抹)」とお答えした方にお伺いします。

問12 あなたのお子様の状況を教えてください。なお、お子様が5人以上いらっしゃる場合は、年齢順に5人までご記入ください。(項目ごとに□は1つ)

| 1人目 | 2人目 | 3人目 | 4人目 | 5人目 |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1. 男性 |
| 2. 女性 |

| 1. 19歳以下 | 2. 20～24歳 | 3. 25～29歳 | 4. 30～34歳 | 5. 35～39歳 | 6. 40～44歳 | 7. 45～49歳 | 8. 50～54歳 | 9. 55～59歳 | 10. 60～64歳 | 11. 65～69歳 | 12. 70歳以上 |
|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 1. 19歳以下 |
| 2. 20～24歳 |
| 3. 25～29歳 |
| 4. 30～34歳 |
| 5. 35～39歳 |
| 6. 40～44歳 |
| 7. 45～49歳 |
| 8. 50～54歳 |
| 9. 55～59歳 |
| 10. 60～64歳 |
| 11. 65～69歳 |
| 12. 70歳以上 |

| 1. 既婚 | 2. 未婚 |
|-------|-------|
| 1. 既婚 | 1. 既婚 |
| 2. 未婚 | 2. 未婚 |

説明は次ページへ続きます。Q12-4以降もお答えください。

問12-4: お子様はご同居されていますか。あてはまるものに○をつけてください。

| | |
|-------|-------|
| 1. 同居 | 1. 同居 |
| 2. 別居 | 2. 別居 |

Q12-5以降は、Q12-4で「2.別居」とお答えしたお子様についてお伺いします。

Q12-5: 別居されているお子様のお住まいはどちらですか。あてはまるものに○をつけてください。

| 1人目 | 2人目 | 3人目 | 4人目 | 5人目 |
|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 1. 同じ大字内 |
| 2. 同じ地区内 (1.を除く(甲町内)) |
| 3. 緑区内 (1.、2.を除く) |
| 4. 市内 (中央区・南区) |
| 5. 市外 市区町村名 |

Q12-6: 別居されているお子様のお住まいの形態はどちらですか。あてはまるものに○をつけてください。

| | |
|--------|--------|
| 1. 持ち家 | 1. 持ち家 |
| 2. 借家 | 2. 借家 |

Q12-7: 別居されているお子様とはどの位の頻度でお会いしていますか。一番近いものに○をつけてください。

| | |
|---------------|---------------|
| 1. ほぼ毎日 | 1. ほぼ毎日 |
| 2. 週に2～3回程度 | 2. 週に2～3回程度 |
| 3. 週に1回程度 | 3. 週に1回程度 |
| 4. 2～3週間に1回程度 | 4. 2～3週間に1回程度 |
| 5. 月に1回程度 | 5. 月に1回程度 |
| 6. 年に数回程度 | 6. 年に数回程度 |
| 7. ほとんどない | 7. ほとんどない |

問13 あなたのお住まいの形態は次のうちどれですか。あてはまるものに○をつけてください。

| | |
|----------------|-------|
| 1. 持ち家 | →問14ハ |
| 2. 借家 | →問15ハ |
| 3. その他(具体的に:) | →問15ハ |

問14は、問13で「1.持ち家」とお答えした方にお伺いします。
 問14 現在あなたがお住まいの土地・家屋をお子様やお孫様が継承・相続し、お住まいになる見込みはございますか。あなたの考えに最も近いものに○をつけてください。(○は1つ)

| | |
|--|--|
| 1. 住む見込みはある | |
| 2. 住む見込みはなく、空き地・空き家となる可能性がある(子どもはいないを含む) | |
| 3. わからない | |

3 あなたの買物状況についてお伺いします。(平成25年9月1日現在)

問15 あなたは食料品や日用品の購入について不便を感じていますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。(○は1つ)

| | |
|--------------|--|
| 1. 不便を感じている | |
| 2. 不便を感じていない | |

問16 あなたが歩いて行ける範囲に日常生活に必要な食料品や日用品を購入できるお店はありますか。あてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

| | |
|-------|--|
| 1. ある | |
| 2. ない | |

問17 あなたが食料品や日用品を最もよく購入されるお店はどこですか。また、どの位の頻度で購入されていますか。あなたの状況に一番近いものに○をつけてください。(項目ごとに○は1つ)

| 店舗の所在地 | 購入頻度 | 主な交通手段 |
|------------------------|---------------|------------------|
| 1. 同じ大字内 | 1. ほぼ毎日 | 1. 徒歩 |
| 2. 同じ地区内(1.を除く旧町内) | 2. 週に2~3回程度 | 2. 自転車 |
| 3. 緑区内(1. 2.を除く) | 3. 週に1回程度 | 3. バスや電車の公共交通機関 |
| 4. 市内(中央区・南区) | 4. 2~3週間に1回程度 | 4. 自家用車等(自分で運転) |
| 5. 市外 | 5. 月に1回程度 | 5. 自家用車等(家族等が運転) |
| 市区町村名 | 6. 年に数回程度 | 6. その他 |
| ※店舗名は差し変えのたい範囲でご記入ください | | |
| 店舗名 | | |

問18 あなたは同居の家族以外に食料品や日用品の購入を気兼ねなくお願いできる人はいらっしゃいますか。あてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

| | |
|--------|--|
| 1. いる | |
| 2. いない | |

問19 あなたは次の(1)~(7)のサービスを利用していますか。あてはまるものに○をつけてください。(項目ごとに○は1つ)

| | ほぼ毎日 | 2週間に3回程度 | 1週間に1回程度 | 1、2回程度 | 1、2週間に1回程度 | 1月に1回程度 | 数年間に1回程度 | 利用していない |
|------------------------|------|----------|----------|--------|------------|---------|----------|---------|
| (1)インターネット販売 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | |
| (2)テレビ・ラジオ等の通信販売 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | |
| (3)生協等の宅配サービス | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | |
| (4)近隣商店等の御用聞き | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | |
| (5)移動スーパー・移動販売 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | |
| (6)地域ボランティア等の買物支援サービス | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | |
| (7)介護保険の買物支援サービス(ヘルパー) | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | |

4 あなたの健康状態についてお伺いします。(平成25年9月1日現在)

問20 あなたは現在、15分以上続けて歩けますか。あなたの状況に一番近いものに○をつけてください。(○は1つ)

| | |
|-----------|--|
| 1. 歩ける | |
| 2. 時々歩けない | |
| 3. 歩けない | |

問21 あなたは10年後、15分以上続けて歩けると思えますか。あなたの考えに一番近いものに○をつけてください。(○は1つ)

| | |
|--------------|--|
| 1. 歩けると思う | |
| 2. 時々歩けないと思う | |
| 3. 歩けないと思う | |

問23 あなたは、日常生活において現在、何らかの介助・介護が必要です。あなたの状況に一番近いものに○をつけてください。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------------------|-------|
| 1. 介助・介護は必要ない | →問23へ |
| 2. 何らかの介助・介護は必要だが、現在は介助・介護を受けていない | →問23へ |
| 3. 現在、介助・介護を受けている | →問25へ |

問23～問24は問22で「介護を受けていない(1)または2を選択)」とお答えした方にお伺いします。

問23 日常生活において、あなたが介助・介護が必要となった場合、あなたはどのような介助・介護を望みますか。あなたの考えに一番近いものに○をつけてください。(○は1つ)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 在宅サービスは利用せず、家族・親族から自宅で介助・介護を受けたい |
| 2. 在宅サービスを利用しながら、自宅で介助・介護を受けたい |
| 3. 施設等に入所し、介助・介護を受けたい |
| 4. わからない |

問24 日常生活において、同居の家族が介助・介護が必要となった場合、あなたはどのような介助・介護をしますか。あなたの考えに一番近いものに○をつけてください。(○は1つ)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 在宅サービスは利用せず、家族・親族と自宅で介助・介護をしたい |
| 2. 在宅サービスを利用しながら、自宅で介助・介護をしたい |
| 3. 施設等に入所し、介助・介護をしたい |
| 4. わからない |
| 5. 同居の家族はいない |

→問27へお進みください

問25～問26は問22で「3.現在、介助・介護を受けている」とお答えした方にお伺いします。

問25 日常生活において、あなたは介護保険サービスやその他の在宅サービスを利用していますか。あてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

- | |
|------------|
| 1. 利用している |
| 2. 利用していない |

問26 現在の状況を踏まえ、あなたは今後どのような介助・介護を望みますか。あなたの考えに一番近いものに○をつけてください。(○は1つ)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 在宅サービスは利用せず、自宅で家族・親族から介助・介護を受けたい |
| 2. 在宅サービスを利用しながら、自宅で介助・介護を受けたい |
| 3. 施設等に入所し、介助・介護を受けたい |
| 4. わからない |

問27 介護保険やその他の在宅サービスを利用する費用について、あなたはどのように開うことになると思いますか。あなたの考えに一番近いものに○をつけてください。(○は1つ)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 現在の収入や預貯金で開うことができる |
| 2. 現在の収入や預貯金では開えないため、何らかの援助が必要になると思う |
| 3. まだ先のことなので、考えていない |

5 あなたの地域活動の状況についてお伺いします。(平成25年9月1日現在)

問28 あなたはご近所や地域の人との付き合いについてどのように考えていますか。あなたの考えに一番近いものに○をつけてください。(○は1つ)

- | |
|------------------------------|
| 1. 日常的に困ったことがあれば相談し、助け合うのは当然 |
| 2. わずらわしいが、相談、助け合うことは必要 |
| 3. 世間話・挨拶する程度でよい |
| 4. 特に付き合いは必要ない |

問29 あなたは昨年1年間にご近所や地域の人をお手伝いした経験はありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | |
|----------------------------|
| 1. 買物に行っただけ |
| 2. 車での送迎など外出の手助けをしてあげた |
| 3. 食事を作ったり、惣菜を持って行ってあげたりした |
| 4. 様子を見に行ったり、声をかけたりした |
| 5. 庭の手入れやゴミ出しの手伝いをした |
| 6. その他(具体的に:) |
| 7. 特にしていない |

問30 あなたは昨年1年間にご近所や地域の人からお手伝いを受けた経験はありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | |
|----------------------------|
| 1. 買物に行ってもらった |
| 2. 車での送迎など外出の手助けをしてもらった |
| 3. 食事を作ったり、惣菜を持ってきてもらった |
| 4. 様子を見に来てもらったり、声をかけられたりした |
| 5. 庭の手入れやゴミ出しの手伝いをしてもらった |
| 6. その他(具体的に:) |
| 7. 特にしてもらっていない |

問31 一般的に人口が減少すると、2ページに書かれたような問題が地域で発生すると言われていますが、次の(1)~(6)のような問題は、あなたの日常生活においてどの程度影響がありますか。あなたの考えに一番近いものに○をつけてください。(項目ごとに○は1つ)

| | 影が 響な がり あ る | 影 あ る が 程 度 あ る | い ど え ら な い と も | 影 あ ま り な く な い | 影 ま り な く な い |
|----------------------------------|--------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------|
| (1)商店や公共交通機関等のサービスが低下 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (2)公共施設(学校や公民館等)の統廃合 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (3)担い手不足によるお祭り等の伝統的文化等の衰退 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (4)支援を必要とする高齢者や障害者等への支援機能の低下 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (5)空き家、休耕地等の増加による不法投棄の増加や治安・景観悪化 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (6)担い手不足による消防団、防犯パトロール等の防犯活動の衰退 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問32 あなたは今後、問31のような地域の問題を解決するために、お住まいの地域で活動してみたいと思いますか。あなたの考えに一番近いものに○をつけてください。(項目ごとに○は1つ)

| | し た い と 思 う | 今 後 は し て 来 な い が | |
|----------------------------------|----------------------------|---|---|
| (1)商店や公共交通機関等のサービスが低下 | 1 | 2 | 3 |
| (2)公共施設(学校や公民館等)の統廃合 | 1 | 2 | 3 |
| (3)担い手不足によるお祭り等の伝統的文化等の衰退 | 1 | 2 | 3 |
| (4)支援を必要とする高齢者や障害者等への支援機能の低下 | 1 | 2 | 3 |
| (5)空き家、休耕地等の増加による不法投棄の増加や治安・景観悪化 | 1 | 2 | 3 |
| (6)担い手不足による消防団、防犯パトロール等の防犯活動の衰退 | 1 | 2 | 3 |

6 最後にお住まいの地域の名称についてお伺いします。(平成 25 年 9 月 1 日現在)

問33 あなたは現在お住まいの地域(大字)に居住して、何年になりますか。あてあまるものに○をつけてください。(○は1つ)

| | | |
|------------------|------------------|-----------------|
| 1. 2 年未満 | 2. 3 年以上 5 年未満 | 3. 5 年以上 10 年未満 |
| 4. 10 年以上 20 年未満 | 5. 20 年以上 30 年未満 | 6. 30 年以上 |

問34 あなたは現在お住まいの地域(大字)に、今後もお住まいになりたいですか。あなたの考えに一番近いものに○をつけてください。(○は1つ)

| |
|-----------------------------|
| 1. 今後とも住み続けたいと思う |
| 2. 今後とも住み続けたいが、転居することになると思う |
| 3. 転居したいが、住み続けることになると思う |
| 4. 条件が悪い原因で、転居したい |

問35 現在お住まいの地域(大字)の将来について、あなたはどのように考えますか。あなたの考えに一番近いものに○をつけてください。(○は1つ)

| |
|--------------------------------------|
| 1. 新しい住民を増やし、地域を活性化させたい |
| 2. 新しい住民を増やす必要性は感じないが、地域を活性化させたい |
| 3. 新しい住民を増やす、地域の活性化も必要は感じない(今のままでよい) |

問36 現在のお住まいの地域(大字)の将来について、ご意見があれば自由にお書きください。



◎質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

記入が終わりまりました調査票は、
9月20日(金)までに同封の封筒に入れて、切手を貼らずに
そのままご投函くださいますようお願いいたします。

※本調査の集計作業の一部を民間業者に委託しますが、お名前のないデータを対象にした機密的な作業なので、委託した業者が個人を特定することはできません。

2 中山間地域における日常生活実態アンケート調査単純集計結果

問1 あなたがお住まいの地域はどちらですか。

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|-------|-------|-------|
| 1 | 青野原地域 | 665 | 38.6 |
| 2 | 千木良地域 | 676 | 39.2 |
| 3 | 名倉地域 | 377 | 21.9 |
| | 無回答 | 7 | 0.4 |
| | 合計 | 1,725 | 100.0 |

問2 あなたの性別はどちらですか。

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|-----|-------|-------|
| 1 | 男性 | 848 | 49.2 |
| 2 | 女性 | 875 | 50.7 |
| | 無回答 | 2 | 0.1 |
| | 合計 | 1,725 | 100.0 |

問3 あなたの年齢はいくつですか。

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|--------|-------|-------|
| 1 | 20～24歳 | 67 | 3.9 |
| 2 | 25～29歳 | 54 | 3.1 |
| 3 | 30～34歳 | 54 | 3.1 |
| 4 | 35～39歳 | 64 | 3.7 |
| 5 | 40～44歳 | 81 | 4.7 |
| 6 | 45～49歳 | 111 | 6.4 |
| 7 | 50～54歳 | 148 | 8.6 |
| 8 | 55～59歳 | 173 | 10.0 |
| 9 | 60～64歳 | 268 | 15.5 |
| 10 | 65～69歳 | 213 | 12.3 |
| 11 | 70～74歳 | 213 | 12.3 |
| 12 | 75～79歳 | 121 | 7.0 |
| 13 | 80～84歳 | 88 | 5.1 |
| 14 | 85歳以上 | 66 | 3.8 |
| | 無回答 | 4 | 0.2 |
| | 合計 | 1,725 | 100.0 |

問4 あなたは自動車またはバイクの運転免許をお持ちですか。

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|--------|-------|-------|
| 1 | 持っている | 1,348 | 78.1 |
| 2 | 持っていない | 372 | 21.6 |
| | 無回答 | 5 | 0.3 |
| | 合計 | 1,725 | 100.0 |

問4で「1.持っている」とお答えした方にお伺いします。

問5 あなたは自動車やバイクをどの位の頻度で利用していますか。

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|------------|-------|-------|
| 1 | ほぼ毎日 | 967 | 71.7 |
| 2 | 週に2～3回程度 | 211 | 15.7 |
| 3 | 週に1回程度 | 63 | 4.7 |
| 4 | 2～3週間に1回程度 | 19 | 1.4 |
| 5 | 月に1回程度 | 17 | 1.3 |
| 6 | ほとんど運転しない | 68 | 5.0 |
| | 無回答 | 3 | 0.2 |
| | 合計 | 1,348 | 100.0 |

問6 あなたは次のうち、どなたと同居されていますか。

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|-----------|-------|-------|
| 1 | 配偶者 | 1,155 | 67.0 |
| 2 | 子 | 746 | 43.2 |
| 3 | 子の配偶者 | 101 | 5.9 |
| 4 | 孫 | 112 | 6.5 |
| 5 | 父(義父含む) | 266 | 15.4 |
| 6 | 母(義母含む) | 352 | 20.4 |
| 7 | 祖父(義祖父含む) | 20 | 1.2 |
| 8 | 祖母(義祖母含む) | 33 | 1.9 |
| 9 | 兄弟・姉妹 | 124 | 7.2 |
| 10 | その他親族 | 11 | 0.6 |
| 11 | その他 | 8 | 0.5 |
| 12 | 同居者はいない | 144 | 8.3 |
| | 無回答 | 42 | 2.4 |
| | 合計 | 1,725 | 100.0 |

問7 あなたと同居されている方で、自動車を運転されている方はいらっしゃいますか。

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|-----------|-------|-------|
| 1 | 配偶者 | 923 | 53.5 |
| 2 | 子 | 545 | 31.6 |
| 3 | 子の配偶者 | 94 | 5.4 |
| 4 | 孫 | 42 | 2.4 |
| 5 | 父(義父含む) | 229 | 13.3 |
| 6 | 母(義母含む) | 171 | 9.9 |
| 7 | 祖父(義祖父含む) | 8 | 0.5 |
| 8 | 祖母(義祖母含む) | 2 | 0.1 |
| 9 | 兄弟・姉妹 | 101 | 5.9 |
| 10 | その他親族 | 7 | 0.4 |
| 11 | その他 | 30 | 1.7 |
| 12 | 同居者はいない | 142 | 8.2 |
| | 無回答 | 218 | 12.6 |
| | 合計 | 1,725 | 100.0 |

問8 あなたは世帯主ですか。

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|-----|-------|-------|
| 1 | はい | 809 | 46.9 |
| 2 | いいえ | 884 | 51.2 |
| | 無回答 | 32 | 1.9 |
| | 合計 | 1,725 | 100.0 |

問9～問14は、問8で「1.はい」とお答えした方にお伺いします。

問9 あなたの世帯全体で昨年1年間にどの位の収入(税込み、年金収入を含む。)がありましたか。

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|-------------------|-----|-------|
| 1 | 100万円未満 | 67 | 8.3 |
| 2 | 100万円以上～200万円未満 | 123 | 15.2 |
| 3 | 200万円以上～300万円未満 | 210 | 26.0 |
| 4 | 300万円以上～400万円未満 | 86 | 10.6 |
| 5 | 400万円以上～500万円未満 | 92 | 11.4 |
| 6 | 500万円以上～600万円未満 | 49 | 6.1 |
| 7 | 600万円以上～700万円未満 | 43 | 5.3 |
| 8 | 700万円以上～800万円未満 | 41 | 5.1 |
| 9 | 800万円以上～900万円未満 | 33 | 4.1 |
| 10 | 900万円以上～1,000万円未満 | 16 | 2.0 |
| 11 | 1,000万円以上 | 32 | 4.0 |
| | 無回答 | 17 | 2.1 |
| | 合計 | 809 | 100.0 |

問10 あなたは現在、生活する中で、経済的な不安を感じていますか。

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|----------------------------|-----|-------|
| 1 | 現在、経済的に余裕があり、今後に不安は感じていない | 57 | 7.0 |
| 2 | 現在、経済的に余裕はあるが、今後に不安を感じている | 272 | 33.6 |
| 3 | 現在、経済的に余裕はないが、今後に不安は感じていない | 128 | 15.8 |
| 4 | 現在、経済的に余裕がなく、今後に不安を感じている | 347 | 42.9 |
| | 無回答 | 5 | 0.6 |
| | 合計 | 809 | 100.0 |

問11 あなたにお子様はいらっしゃいますか。

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|---------|-----|-------|
| 1 | 1人 | 110 | 13.6 |
| 2 | 2人 | 357 | 44.1 |
| 3 | 3人 | 178 | 22.0 |
| 4 | 4人 | 22 | 2.7 |
| 5 | 5人以上 | 4 | 0.5 |
| 6 | 子どもはいない | 124 | 15.3 |
| | 無回答 | 14 | 1.7 |
| | 合計 | 809 | 100.0 |

問13 あなたのお住まいの形態は次のうちどれですか。

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|-----|-----|-------|
| 1 | 持ち家 | 740 | 91.5 |
| 2 | 借家 | 41 | 5.1 |
| 3 | その他 | 13 | 1.6 |
| | 無回答 | 15 | 1.9 |
| | 合計 | 809 | 100.0 |

問14 現在あなたがお住まいの土地・家屋をお子様やお孫様が継承・相続し、お住まいになる見込みはございますか。

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|---------------------------------------|-----|-------|
| 1 | 住む見込みはある | 255 | 34.5 |
| 2 | 住む見込みはなく、空き地・空き家となる可能性がある（子どもはいないを含む） | 163 | 22.0 |
| 3 | わからない | 308 | 41.6 |
| | 無回答 | 14 | 1.9 |
| | 合計 | 740 | 100.0 |

問15 あなたは食料品や日用品の購入について不便を感じていますか。

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|-----------|-------|-------|
| 1 | 不便を感じている | 853 | 49.4 |
| 2 | 不便を感じていない | 847 | 49.1 |
| | 無回答 | 25 | 1.4 |
| | 合計 | 1,725 | 100.0 |

問16 あなたが歩いて行ける範囲に日常生活に必要な食料品や日用品を購入できるお店はありますか。

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|-----|-------|-------|
| 1 | ある | 851 | 49.3 |
| 2 | ない | 851 | 49.3 |
| | 無回答 | 23 | 1.3 |
| | 合計 | 1,725 | 100.0 |

問17 あなたが食料品や日用品を最もよく購入されるお店はどこですか。また、どの位の頻度で購入されていますか。

(1) 店舗の所在地

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|----------------|-------|-------|
| 1 | 同じ大字内 | 148 | 8.6 |
| 2 | 同じ地区内(1を除く旧町内) | 344 | 19.9 |
| 3 | 緑区内(1と2を除く) | 745 | 43.2 |
| 4 | 市内(中央区・南区) | 55 | 3.2 |
| 5 | 市外 | 332 | 19.2 |
| | 無回答 | 101 | 5.9 |
| | 合計 | 1,725 | 100.0 |

(2) 購入頻度

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|------------|-------|-------|
| 1 | ほぼ毎日 | 180 | 10.4 |
| 2 | 週に2~3回程度 | 645 | 37.4 |
| 3 | 週に1回程度 | 571 | 33.1 |
| 4 | 2~3週間に1回程度 | 107 | 6.2 |
| 5 | 月に1回程度 | 59 | 3.4 |
| 6 | 年に数回程度 | 18 | 1.0 |
| | 無回答 | 145 | 8.4 |
| | 合計 | 1,725 | 100.0 |

(3) 主な交通手段

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|---------------|-------|-------|
| 1 | 徒歩 | 122 | 7.1 |
| 2 | 自転車 | 48 | 2.8 |
| 3 | バスや電車の公共交通機関 | 92 | 5.3 |
| 4 | 自家用車等(自分で運転) | 998 | 57.9 |
| 5 | 自家用車等(家族等が運転) | 264 | 15.3 |
| 6 | その他 | 37 | 2.1 |
| | 無回答 | 164 | 9.5 |
| | 合計 | 1,725 | 100.0 |

問18 あなたは同居の家族以外に食料品や日用品の購入を気兼ねなくお願いできる人はいらっしゃいますか。

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|-----|-------|-------|
| 1 | いる | 500 | 29.0 |
| 2 | いない | 1,135 | 65.8 |
| | 無回答 | 90 | 5.2 |
| | 合計 | 1,725 | 100.0 |

問19 あなたは次の(1)~(7)のサービスを利用していますか。

(1) インターネット販売

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|------------|-------|-------|
| 1 | ほぼ毎日 | 4 | 0.2 |
| 2 | 週に2~3回程度 | 17 | 1.0 |
| 3 | 週に1回程度 | 24 | 1.4 |
| 4 | 2~3週間に1回程度 | 47 | 2.7 |
| 5 | 月に1回程度 | 124 | 7.2 |
| 6 | 年に数回程度 | 290 | 16.8 |
| 7 | 利用していない | 932 | 54.0 |
| | 無回答 | 287 | 16.6 |
| | 合計 | 1,725 | 100.0 |

(2)テレビ・ラジオ等の通信販売

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|------------|-------|-------|
| 1 | ほぼ毎日 | 5 | 0.3 |
| 2 | 週に2~3回程度 | 1 | 0.1 |
| 3 | 週に1回程度 | 2 | 0.1 |
| 4 | 2~3週間に1回程度 | 1 | 0.1 |
| 5 | 月に1回程度 | 18 | 1.0 |
| 6 | 年に数回程度 | 261 | 15.1 |
| 7 | 利用していない | 1,150 | 66.7 |
| | 無回答 | 287 | 16.6 |
| | 合計 | 1,725 | 100.0 |

(3)生協等の宅配サービス

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|------------|-------|-------|
| 1 | ほぼ毎日 | 2 | 0.1 |
| 2 | 週に2~3回程度 | 15 | 0.9 |
| 3 | 週に1回程度 | 337 | 19.5 |
| 4 | 2~3週間に1回程度 | 17 | 1.0 |
| 5 | 月に1回程度 | 14 | 0.8 |
| 6 | 年に数回程度 | 11 | 0.6 |
| 7 | 利用していない | 1,042 | 60.4 |
| | 無回答 | 287 | 16.6 |
| | 合計 | 1,725 | 100.0 |

(4)近隣商店等の御用聞き

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|------------|-------|-------|
| 1 | ほぼ毎日 | 3 | 0.2 |
| 2 | 週に2~3回程度 | 23 | 1.3 |
| 3 | 週に1回程度 | 29 | 1.7 |
| 4 | 2~3週間に1回程度 | 7 | 0.4 |
| 5 | 月に1回程度 | 22 | 1.3 |
| 6 | 年に数回程度 | 25 | 1.4 |
| 7 | 利用していない | 1,329 | 77.0 |
| | 無回答 | 287 | 16.6 |
| | 合計 | 1,725 | 100.0 |

(5)移動スーパー・移動販売

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|------------|-------|-------|
| 1 | ほぼ毎日 | - | - |
| 2 | 週に2~3回程度 | 9 | 0.5 |
| 3 | 週に1回程度 | 31 | 1.8 |
| 4 | 2~3週間に1回程度 | 2 | 0.1 |
| 5 | 月に1回程度 | 12 | 0.7 |
| 6 | 年に数回程度 | 14 | 0.8 |
| 7 | 利用していない | 1,370 | 79.4 |
| | 無回答 | 287 | 16.6 |
| | 合計 | 1,725 | 100.0 |

(6)地域ボランティア等の買物支援サービス

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|------------|-------|-------|
| 1 | ほぼ毎日 | - | - |
| 2 | 週に2~3回程度 | - | - |
| 3 | 週に1回程度 | - | - |
| 4 | 2~3週間に1回程度 | - | - |
| 5 | 月に1回程度 | - | - |
| 6 | 年に数回程度 | 3 | 0.2 |
| 7 | 利用していない | 1,435 | 83.2 |
| | 無回答 | 287 | 16.6 |
| | 合計 | 1,725 | 100.0 |

(7)介護保険の買物支援サービス(ヘルパー)

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|------------|-------|-------|
| 1 | ほぼ毎日 | - | - |
| 2 | 週に2~3回程度 | 1 | 0.1 |
| 3 | 週に1回程度 | - | - |
| 4 | 2~3週間に1回程度 | - | - |
| 5 | 月に1回程度 | 1 | 0.1 |
| 6 | 年に数回程度 | - | - |
| 7 | 利用していない | 1,436 | 83.2 |
| | 無回答 | 287 | 16.6 |
| | 合計 | 1,725 | 100.0 |

問20 あなたは現在、15分以上続けて歩けますか。

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|--------|-------|-------|
| 1 | 歩ける | 1,540 | 89.3 |
| 2 | 時々歩けない | 79 | 4.6 |
| 3 | 歩けない | 87 | 5.0 |
| | 無回答 | 19 | 1.1 |
| | 合計 | 1,725 | 100.0 |

問21 あなたは10年後、15分以上続けて歩けるとお思いますか。

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|--------|-------|-------|
| 1 | 歩ける | 1,155 | 67.0 |
| 2 | 時々歩けない | 291 | 16.9 |
| 3 | 歩けない | 243 | 14.1 |
| | 無回答 | 36 | 2.1 |
| | 合計 | 1,725 | 100.0 |

問22 あなたは、日常生活において現在、何らかの介助・介護が必要ですか。

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|--------------------------------|-------|-------|
| 1 | 介助・介護は必要ない | 1,519 | 88.1 |
| 2 | 何らかの介助・介護は必要だが、現在は介助・介護は受けていない | 111 | 6.4 |
| 3 | 現在、介助・介護を受けている | 47 | 2.7 |
| | 無回答 | 48 | 2.8 |
| | 合計 | 1,725 | 100.0 |

問23～問24は問22で「介護を受けていない(1.または2.を選択)」とお答えした方にお伺いします。

問23 日常生活において、あなたが介助・介護が必要となった場合、あなたはどのような介助・介護を望みますか。

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|----------------------------------|-------|-------|
| 1 | 在宅サービスは利用せず、家族・親族から自宅で介助・介護を受けたい | 113 | 6.9 |
| 2 | 在宅サービスを利用しながら、自宅で介助・介護を受けたい | 709 | 43.5 |
| 3 | 施設等に入所し、介助・介護を受けたい | 273 | 16.7 |
| 4 | わからない | 501 | 30.7 |
| | 無回答 | 34 | 2.1 |
| | 合計 | 1,630 | 100.0 |

問24 日常生活において、同居の家族が介助・介護が必要となった場合、あなたはどのような介助・介護をしますか。

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|--------------------------------|-------|-------|
| 1 | 在宅サービスは利用せず、家族・親族と自宅で介助・介護をしたい | 84 | 5.2 |
| 2 | 在宅サービスを利用しながら、自宅で介助・介護をしたい | 786 | 48.2 |
| 3 | 施設等に入所し、介助・介護をしたい | 230 | 14.1 |
| 4 | わからない | 385 | 23.6 |
| 5 | 同居の家族はいない | 95 | 5.8 |
| | 無回答 | 50 | 3.1 |
| | 合計 | 1,630 | 100.0 |

問25～問26は問22で「3.現在、介助・介護を受けている」とお答えした方にお伺いします。

問25 日常生活において、あなたは介護保険サービスやその他在宅サービスを利用していますか。

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|---------|-----|-------|
| 1 | 利用している | 38 | 80.9 |
| 2 | 利用していない | 8 | 17.0 |
| | 無回答 | 1 | 2.1 |
| | 合計 | 47 | 100.0 |

問26 現在の状況を踏まえ、あなたは今後どのような介助・介護を望みますか。

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|----------------------------------|-----|-------|
| 1 | 在宅サービスは利用せず、自宅で家族・親族から介助・介護を受けたい | 3 | 6.4 |
| 2 | 在宅サービスを利用しながら、自宅で介助・介護を受けたい | 23 | 48.9 |
| 3 | 施設等に入所し、介助・介護を受けたい | 12 | 25.5 |
| 4 | わからない | 8 | 17.0 |
| | 無回答 | 1 | 2.1 |
| | 合計 | 47 | 100.0 |

問27 介護保険やその他在宅サービスを利用する費用について、あなたはどのように賄うことになると思いますか。

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|-----------------------------------|-------|-------|
| 1 | 現在の収入や預貯金で賄うことができる | 335 | 19.4 |
| 2 | 現在の収入や預貯金では賄えないため、何らかの援助が必要になると思う | 749 | 43.4 |
| 3 | まだ先のことなので、考えていない | 517 | 30.0 |
| | 無回答 | 124 | 7.2 |
| | 合計 | 1,725 | 100.0 |

問28 あなたはご近所や地域の人との付き合いについてどのように考えていますか。

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|---------------------------|-------|-------|
| 1 | 日常的に困ったことがあれば相談し、助け合うのは当然 | 740 | 42.9 |
| 2 | わずらわしいが、相談、助け合うことは必要 | 495 | 28.7 |
| 3 | 世間話・挨拶する程度でよい | 376 | 21.8 |
| 4 | 特に付き合いは必要ない | 45 | 2.6 |
| | 無回答 | 69 | 4.0 |
| | 合計 | 1,725 | 100.0 |

問29 あなたは昨年1年間にご近所や地域の人をお手伝いした経験はありますか。

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|-------------------------|-------|-------|
| 1 | 買物に行っておげた | 108 | 6.3 |
| 2 | 車での送迎など外出の手助けをしておげた | 226 | 13.1 |
| 3 | 食事を作ったり、惣菜を持って行ってあげたりした | 174 | 10.1 |
| 4 | 様子を見に行ったり、声をかけたりした | 314 | 18.2 |
| 5 | 庭の手入れやゴミだしの手伝いをした | 110 | 6.4 |
| 6 | その他 | 99 | 5.7 |
| 7 | 特にしていない | 1,049 | 60.8 |
| | 無回答 | 75 | 4.3 |
| | 合計 | 1,725 | 100.0 |

問30 あなたは昨年1年間にご近所や地域の人からお手伝いを受けた経験はありますか。

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|---------------------------|-------|-------|
| 1 | 買物に行ってもらった | 59 | 3.4 |
| 2 | 車での送迎など外出の手助けをしてもらった | 108 | 6.3 |
| 3 | 食事を作ったり、惣菜を持ってきてもらったりした | 155 | 9.0 |
| 4 | 様子を見に来てもらったり、声をかけたりしてもらった | 137 | 7.9 |
| 5 | 庭の手入れやゴミだしの手伝いをしてもらった | 52 | 3.0 |
| 6 | その他 | 57 | 3.3 |
| 7 | 特にしてもらっていない | 1,266 | 73.4 |
| | 無回答 | 92 | 5.3 |
| | 合計 | 1,725 | 100.0 |

問31 一般的に人口が減少すると、2ページに書かれたような問題が地域で発生すると言われていますが、次の(1)～(6)のような問題は、あなたの日常生活においてどの程度影響がありますか。

(1) 商店や公共交通機関等のサービスが低下

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|-----------|-------|-------|
| 1 | かなり影響がある | 793 | 46.0 |
| 2 | ある程度影響がある | 490 | 28.4 |
| 3 | どちらともいえない | 128 | 7.4 |
| 4 | あまり影響がない | 99 | 5.7 |
| 5 | まったく影響がない | 35 | 2.0 |
| | 無回答 | 180 | 10.4 |
| | 合計 | 1,725 | 100.0 |

(2) 公共施設（学校や公民館等）の統廃合

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|-----------|-------|-------|
| 1 | かなり影響がある | 503 | 29.2 |
| 2 | ある程度影響がある | 479 | 27.8 |
| 3 | どちらともいえない | 249 | 14.4 |
| 4 | あまり影響がない | 164 | 9.5 |
| 5 | まったく影響がない | 109 | 6.3 |
| | 無回答 | 221 | 12.8 |
| | 合計 | 1,725 | 100.0 |

(3)担い手不足によるお祭り等の伝統的文化等の衰退

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|-----------|-------|-------|
| 1 | かなり影響がある | 522 | 30.3 |
| 2 | ある程度影響がある | 509 | 29.5 |
| 3 | どちらともいえない | 262 | 15.2 |
| 4 | あまり影響がない | 131 | 7.6 |
| 5 | まったく影響がない | 97 | 5.6 |
| | 無回答 | 204 | 11.8 |
| | 合計 | 1,725 | 100.0 |

(4)支援を必要とする高齢者や障害者等への支援機能の低下

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|-----------|-------|-------|
| 1 | かなり影響がある | 654 | 37.9 |
| 2 | ある程度影響がある | 534 | 31.0 |
| 3 | どちらともいえない | 234 | 13.6 |
| 4 | あまり影響がない | 58 | 3.4 |
| 5 | まったく影響がない | 39 | 2.3 |
| | 無回答 | 206 | 11.9 |
| | 合計 | 1,725 | 100.0 |

(5)空き家、休耕地等の増加による不法投棄の増加や治安・景観悪化

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|-----------|-------|-------|
| 1 | かなり影響がある | 681 | 39.5 |
| 2 | ある程度影響がある | 583 | 33.8 |
| 3 | どちらともいえない | 176 | 10.2 |
| 4 | あまり影響がない | 61 | 3.5 |
| 5 | まったく影響がない | 30 | 1.7 |
| | 無回答 | 194 | 11.2 |
| | 合計 | 1,725 | 100.0 |

(6)担い手不足による消防団、防犯パトロール等の防犯活動の衰退

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|-----------|-------|-------|
| 1 | かなり影響がある | 614 | 35.6 |
| 2 | ある程度影響がある | 599 | 34.7 |
| 3 | どちらともいえない | 209 | 12.1 |
| 4 | あまり影響がない | 66 | 3.8 |
| 5 | まったく影響がない | 35 | 2.0 |
| | 無回答 | 202 | 11.7 |
| | 合計 | 1,725 | 100.0 |

問32 あなたは今後、問31のような地域の問題を解決するために、お住まいの地域で活動してみたいと思いますか。

(1) 商店や公共交通機関等のサービスが低下

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|----------------|-------|-------|
| 1 | したいと思う | 189 | 11.0 |
| 2 | 今は出来ないが今後してみたい | 562 | 32.6 |
| 3 | したいとは思わない | 606 | 35.1 |
| 4 | 無回答 | 368 | 21.3 |
| | 合計 | 1,725 | 100.0 |

(2)公共施設（学校や公民館等）の統廃合

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|----------------|-------|-------|
| 1 | したいと思う | 150 | 8.7 |
| 2 | 今は出来ないが今後してみたい | 500 | 29.0 |
| 3 | したいとは思わない | 677 | 39.2 |
| 4 | 無回答 | 398 | 23.1 |
| | 合計 | 1,725 | 100.0 |

(3)担い手不足によるお祭り等の伝統的文化等の衰退

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|----------------|-------|-------|
| 1 | したいと思う | 258 | 15.0 |
| 2 | 今は出来ないが今後してみたい | 472 | 27.4 |
| 3 | したいとは思わない | 626 | 36.3 |
| 4 | 無回答 | 369 | 21.4 |
| | 合計 | 1,725 | 100.0 |

(4)支援を必要とする高齢者や障害者等への支援機能の低下

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|----------------|-------|-------|
| 1 | したいと思う | 247 | 14.3 |
| 2 | 今は出来ないが今後してみたい | 675 | 39.1 |
| 3 | したいとは思わない | 437 | 25.3 |
| 4 | 無回答 | 366 | 21.2 |
| | 合計 | 1,725 | 100.0 |

(5)空き家、休耕地等の増加による不法投棄の増加や治安・景観悪化

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|----------------|-------|-------|
| 1 | したいと思う | 213 | 12.3 |
| 2 | 今は出来ないが今後してみたい | 569 | 33.0 |
| 3 | したいとは思わない | 566 | 32.8 |
| 4 | 無回答 | 377 | 21.9 |
| | 合計 | 1,725 | 100.0 |

(6)担い手不足による消防団、防犯パトロール等の防犯活動の衰退

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|----------------|-------|-------|
| 1 | したいと思う | 168 | 9.7 |
| 2 | 今は出来ないが今後してみたい | 532 | 30.8 |
| 3 | したいとは思わない | 643 | 37.3 |
| 4 | 無回答 | 382 | 22.1 |
| | 合計 | 1,725 | 100.0 |

問33 あなたは現在お住まいの地域（大字）に居住して、何年になりますか。

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|------------|-------|-------|
| 1 | 2年未満 | 61 | 3.5 |
| 2 | 2年以上5年未満 | 54 | 3.1 |
| 3 | 5年以上10年未満 | 84 | 4.9 |
| 4 | 10年以上20年未満 | 248 | 14.4 |
| 5 | 20年以上30年未満 | 352 | 20.4 |
| 6 | 30年以上 | 883 | 51.2 |
| | 無回答 | 43 | 2.5 |
| | 合計 | 1,725 | 100.0 |

問34 あなたは現在お住まいの地域（大字）に、今後もお住まいになりたいですか。

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|-------------------------|-------|-------|
| 1 | 今後も住み続けたいと思う | 1,050 | 60.9 |
| 2 | 今後も住み続けたいが、転居することになると思う | 116 | 6.7 |
| 3 | 転居したいが、住み続けることになると思う | 351 | 20.3 |
| 4 | 条件が整い次第、転居したい | 155 | 9.0 |
| | 無回答 | 53 | 3.1 |
| | 合計 | 1,725 | 100.0 |

問35 現在お住まいの地域（大字）の将来について、あなたはどのように考えますか。

| No | | 回答数 | 構成比% |
|----|------------------------------------|-------|-------|
| 1 | 新しい住民を増やし、地域を活性化させていきたい | 865 | 50.1 |
| 2 | 新しい住民を増やす必要性は感じないが、地域を活性化させていきたい | 493 | 28.6 |
| 3 | 新しい住民を増やす、地域の活性化も必要性を感じない（今のままでよい） | 245 | 14.2 |
| | 無回答 | 122 | 7.1 |
| | 合計 | 1,725 | 100.0 |

中山間地域の現状と将来に関する調査研究

2014(平成 26)年 4 月発行

相模原市 企画財政局企画部 企画政策課
さがみはら都市みらい研究所

住 所 〒252 - 5277 相模原市中央区中央2 - 11 - 15

T E L 042 - 769 - 9224

E - mail surv@city.sagamihara.kanagawa.jp